



# 順天堂大学医学部附属静岡病院年報

2018年度版



2018 年度版静岡病院年報発刊によせて

静岡病院院長 佐藤浩一

順天堂大学静岡病院は地域の皆様に信頼される病院であるために、医療の質向上の取り組みとして、2004 年より日本医療機能評価機構が定める病院機能評価の認定を受けています。2018 年 12 月 6 日、7 日にも 4 回目の同機構の審査を受審し、医療の質の向上と信頼できる医療の確保に務めています。

当院は、静岡県東部ドクターヘリ運航基地病院に指定され、2004 年 4 月より運航が開始されました。導入後、ヘリの運行回数は毎年増加し、2017 年度には総出動件数 1175 件と国内第 3 位となり、救急救命センターと協働し、静岡県東部の救急医療の中心として貢献しています。2018 年度は運行回数がさらに増加し、国内第 2 位となっております。最近の発表では、静岡県のドクターヘリ 2 機の出動回数が 2 万回を超え、これは全国で初めてのことです。伊豆半島の複雑な地形にはドクターヘリが大変有効で、心血管疾患、脳血管疾患、外傷性疾患の救命に極めて威力を発揮しており、多くの患者さんを救命しております。しかしながら最近、いくつかの問題点も浮き上がっています。その一つとして、毎年の出動回数の増加は、フライトドクター、フライトナース、パイロットに体力的、精神的に大きなストレスを与えているということです。この問題は今後、静岡県東部ドクターヘリ運航調整委員会に安全管理部会を設置し検討していく予定です。

2019 年 1 月 25 日、小川秀興理事長、小野登志子伊豆の国市長にお越し頂き、新棟地鎮祭が行われ、長年の懸案であった新棟の建設が始まりました。救急救命センターを始めとする各センター機能の向上、高度化する手術への対応、外来機能の強化などを目標にしています。これにより、最新の医療機器の導入、最新の医療の提供、外来待ち時間の短縮など多くのメリットが得られると考えられます。順天堂大学静岡病院は今後も、地域住民の皆様と共に、最新で最良の医療を目指していきます。

# 行事写真



新入職員オリエンテーション (4月2～4日)



実践医学英語セミナー (6月1日)



新入職員フォローアップ研修 (6月23～24日)



東部周産期研究会 (7月26日)



韓国看護師研修 (9月)



消防訓練 (10月24日)

# 行事写真



テント・自助 (10月24日)



接遇マナー研修 (11月27日)



賀詞交歓会 (1月7日)



新棟地鎮祭 (1月25日)



特別講演会 (2月13日)



院内コンサート (2月16日)

# 市民公開講座

◎ 順天堂大学医学部附属静岡病院  
第66回 市民公開講座(手話通訳付き)

## 放射線治療

～過去・現在・未来～

順天堂大学医学部附属静岡病院  
放射線科 准教授 **水谷 好秀**

1895年レントゲン博士により線が発見され、1898年キュリー夫妻によりラジウムが発見されました。以降現在に至るまで次々と放射線治療が進化してきました。過去から現在に至る放射線治療を概説し、将来についても話をしたいと思います。

日時 平成30年 **4月19日(木)**  
17時30分～18時30分(開場:17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
(伊豆の国市長岡1129番地)



参加無料・申込不要



ミニレクチャー:放射線治療Q&A  
順天堂大学医学部附属静岡病院  
がん放射線療法看護認定看護師 **山田 真紀**

【共催】順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡県がん医療センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携課 電話:055-948-3111

◎ 順天堂大学医学部附属静岡病院  
第67回 市民公開講座(手話通訳付き)

## こどもの食物アレルギー のはなし

～いつから?どうやって?何に気をつければいいのか?～

講師 順天堂大学医学部附属静岡病院  
小児科 助教 **馬場 洋介**



こどもの食物アレルギーは増えていますが、的確に診断し、不必要な除去なく管理するにはどうしたら良いのでしょうか。過剰な除去が食物アレルギーを増悪させることもわかっており、正しい理解が大切です。

日時 平成30年 **5月17日(木)**  
17時30分～18時30分(開場:17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)



参加無料・申込不要

※定員になり次第受付終了致します

【共催】順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡県がん医療センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携課 電話:055-948-3111

順天堂大学医学部附属静岡病院  
第68回 市民公開講座(手話通訳付き)

## たかが肺炎、 されど肺炎

～高齢者の肺炎予防も含めて～

講師 順天堂大学医学部附属静岡病院  
呼吸器内科 教授  
**岩神 真一郎**



肺炎の診断、治療、予防法を解説いたします。

日時 平成30年 **6月18日(月)**  
17時30分～18時30分(開場:17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)



参加無料・申込不要

※定員120名(満員になり次第受付終了致します)

【共催】順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡県がん医療センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携課 電話:055-948-3111

◎ 順天堂大学医学部附属静岡病院  
第69回 市民公開講座(手話通訳付き)

## 低侵襲 心臓手術

6cmの創で  
心臓手術!?

～とくに右小開胸大動脈弁置換術について～

講師 順天堂大学医学部附属静岡病院  
心臓血管外科 教授  
**丹原 圭一**



日時 平成30年 **7月23日(月)**  
17時30分～18時30分(開場:17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)



参加無料・申込不要

※定員120名(満員になり次第受付終了致します)

【共催】順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡県がん医療センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携課 電話:055-948-3111

# 市民公開講座

順天堂大学医学部附属静岡病院  
第70回 市民公開講座 (手話通訳付き)

## あなたの おっばいの話

～ 乳がん検診から最新の話まで ～

順天堂大学医学部附属静岡病院  
外科 先任准教授

講師 田中 顕一郎



乳がんは女性のかかるがんの第1位ですが、早期発見すれば治る可能性の高い病気です。最近では家族性乳がんの原因遺伝子が一部分かってきたり、診療が大きく変わろうとしています。今の治療のトレンドをご紹介します。

日時 平成30年 8月30日 (木)

17時30分～18時30分 (開場: 17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)



参加無料・申込不要

※定員120名(満員になり次第受付終了致します)

【共催】順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡山梨医学研究センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話: 055-948-3111  
病院ホームページ: <http://www.hosp-shizuoka-junendo.ac.jp/>

## こころのケア できていますか?

公開講座 三島キャンパス

第19回 順天堂大学保健看護学部 公開講座  
第7回 順天堂大学医学部附属静岡病院 市民公開講座

参加無料  
申込不要

平成30年  
9月29日 土  
13:30～15:50 (開場13:00)

会場 順天堂大学保健看護学部  
三島キャンパス  
〒411-0707 静岡県三島市大字町3丁目7番33号



手話通訳あり

第1 うつ病ってどんな病気?



第2 企業の健康経営とメンタルヘルス対策



順天堂大学保健看護学部  
TEL:055-991-3111 (内線)  
E-mail: [mishima@junendo.ac.jp](mailto:mishima@junendo.ac.jp)

順天堂大学  
医学部附属静岡病院  
TEL:055-948-3111  
E-mail: [shizuoka@junendo.ac.jp](mailto:shizuoka@junendo.ac.jp)

順天堂大学医学部附属静岡病院 第73回 市民公開講座

## 糖尿病と 合併症

～ いつまでも自分の足で元気に歩きましょう～

講師 順天堂大学医学部附属静岡病院  
糖尿病・内分泌内科 准教授

池田 富貴

日時 平成30年 11月29日 (木)  
17時30分～18時30分 (開場: 17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)

参加無料

申込不要

手話通訳あり

順天堂大学医学部附属静岡病院  
第72回 市民公開講座 (手話通訳付き)

## シミの診断と治療 正しいスキンケア

～ 男女ともに健康な皮膚を目指して～

順天堂大学医学部附属静岡病院  
皮膚科 先任准教授

講師 長谷川 敏男



シミを中心に、肌老化に伴うさまざまな症状や皮膚がんについて、その予防法や治療法についてお話しします。

日時 平成30年 10月9日 (火)

17時30分～18時30分 (開場: 17時00分)

場所 順天堂大学医学部附属静岡病院  
管理棟4階 第1会議室  
(伊豆の国市長岡1129番地)



参加無料・申込不要

※定員になり次第受付終了致します

【共催】順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡山梨医学研究センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話: 055-948-3111  
病院ホームページ: <http://www.hosp-shizuoka-junendo.ac.jp/>

【共催】順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡山梨医学研究センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話: 055-948-3111  
病院ホームページ: <http://www.hosp-shizuoka-junendo.ac.jp/>

# 市民公開講座

順天堂大学医学部附属静岡病院 第74回 市民公開講座

## 薬剤による腎障害

そのお薬大丈夫ですか？  
皆さんが薬局で購入したり、お医者さんからいただいた薬の中には、腎臓を傷めてしまうものがあります。お薬で腎臓を悪くしないようにするコツをお教えます。

**講師** 順天堂大学医学部附属静岡病院 腎臓内科 先任准教授 **清水 芳男**

**日時** 平成30年 **12月11日(火)**  
17時30分～18時30分 (開場：17時00分)

**場所** 順天堂大学医学部附属静岡病院 管理棟4階 第1会議室 (伊豆の国市長岡1129番地)

**参加無料** **申込不要** **手話通訳あり**

【共催】順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡川島医学研究センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携課 電話：055-948-3111

順天堂大学医学部附属静岡病院 第75回 市民公開講座

## 肺癌外科治療最前線

肺癌と診断された際の心構えからda Vinci Surgical System (ロボット手術) まで

日本においてがんで死亡する人は、年間37万人。その中で、最も多い原発臓器が肺です。もし、身内の方が肺癌と診断された場合、どうしたらよいか、私の経験した3千人以上の手術症例を基に、解りやすく解説します。また、東京の順天堂医院に潜入取材し、最先端のロボット手術についても解説します。

**講師** 順天堂大学医学部附属静岡病院 呼吸器外科 助教 **市之川 英臣**

**日時** 平成31年 **1月23日(水)**  
17時30分～18時30分 (開場：17時00分)

**場所** 順天堂大学医学部附属静岡病院 管理棟4階 第1会議室 (伊豆の国市長岡1129番地)

**参加無料** **申込不要** **手話通訳あり**

【共催】順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部、静岡川島医学研究センター、伊豆の国市、一般社団法人田方医師会  
【お問い合わせ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携課 電話：055-948-3111  
病院ホームページ：http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/

平成27年度 文部科学省 「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」採択  
大規模災害に対応する包括的医療提供体制構築を目指す統合型研究拠点の形成

順天堂大学大学院 医学研究科 静岡災害医学研究センター

## 足元大丈夫ですか？

～開渠側溝に潜む危険～

2019年 **2/7** (木) 17:30～18:30 (開場 17:00)

**参加無料** **申込不要**

**講師** 順天堂大学 医学部附属静岡病院 管理棟4階 第1会議室 (伊豆の国市長岡1129番地)

**講師** 順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科(救命救急センター) **日域 佳**

【お問い合わせ】順天堂大学大学院 医学研究科 静岡災害医学研究センター TEL.055-948-3111  
http://www.juntendo.ac.jp/hospital\_shizuoka/center/

公開講座 合同開催 in 三島キャンパス

第20回 順天堂大学保健看護学部 公開講座  
第76回 順天堂大学医学部附属静岡病院 市民公開講座

平成31年 **3月2日(土)** 13:30～15:50 (開場13:00)

**講演1** 見逃されやすい 股関節の病気と治療法  
**講師/諸橋 達** 順天堂大学医学部附属静岡病院 整形外科 准教授

**講演2** 股関節の手術前と手術後の 日常生活支援  
**講師/柴子 嘉美** 順天堂大学保健看護学部 成人看護学 教授

**会場** 順天堂大学保健看護学部 三島キャンパス  
〒411-8787 静岡県三島市大宮町3丁目7番13号

**手話通訳あり** **託児つき** (1歳～就学前児)

【お問い合わせ】順天堂大学保健看護学部 TEL.055-991-3111 (代機)  
E-mail:mishima@juntendo.ac.jp

# 目次

## 1. 病院概要

1-1	基本理念	1
1-2	基本方針	1
1-3	施設概要	1
1-4	組織機構図	2
1-5	所属長一覧	3
1-6	医師名簿	4
1-7	職員数	5
1-8	各種委員会	6
1-9	活動報告	7
1-10	社会貢献・地域交流活動	11
1-11	指定・認定・許可事項	12

## 2. 診療科報告

2-1	膠原病内科・リウマチ科・アレルギー科	14
2-2	血液内科	16
2-3	消化器内科	19
2-4	呼吸器内科	23
2-5	腎臓内科	26
2-6	糖尿病・内分泌内科	29
2-7	循環器内科	31
2-8	小児科	40
2-9	一般外科	43
2-10	脳神経外科	50
2-11	整形外科	55
2-12	脳神経内科	63
2-13	心臓血管外科	65
2-14	呼吸器外科	67
2-15	形成外科	69
2-16	眼科	72
2-17	耳鼻咽喉科	79
2-18	麻酔科	82
2-19	放射線科	85
2-20	メンタルクリニック	86
2-21	皮膚科	89
2-22	泌尿器科	92
2-23	産婦人科・総合周産期母子医療センター	95
2-24	救急診療科	101
2-25	病理診断科	110
2-26	リハビリテーション科	111
2-27	臨床検査科	113

### 3. 部門報告

3-1	薬剂科	114
3-2	栄養科	118
3-3	放射線室	120
3-4	検査室	123
3-5	手術室	125
3-6	血液浄化センター	126
3-7	臨床工学室	128
3-8	輸血室	129
3-9	看護部	131
3-9 (1)	看護総務課	137
3-9 (2)	看護外来業務課	139
3-9 (3)	看護教育課	141
3-10	救命救急センター	149
3-11	ドクターヘリ運航対策室	150
3-12	新生児センター	154
3-13	がん治療センター	157
3-14	予防医学センター	159
3-15	GCP センター	162
3-16	臨床研修センター	164
3-17	医療サービス支援センター	
3-17 (1)	地域医療連携室	168
3-17 (2)	医療福祉相談室	169
3-17 (3)	退院支援看護師	170
3-17 (4)	患者・看護相談室	172
3-17 (5)	受診相談・総合案内	173
3-18	医療安全管理室	174
3-19	感染対策室	177
3-20	健康管理室	180

### 4. 統計

4-1	病床利用率	182
4-2	在院日数	182
4-3	診療科別延患者数(外来)	183
4-4	診療科別延患者数(入院)	184
4-5	新患者数(外来)	185
4-6	新患者数(入院)	186
4-7	退院患者数	187
4-8	年齢別延患者数(外来)	188
4-9	年齢別延患者数(入院)	188
4-10	地区別延患者数(外来)	189
4-11	地区別延患者数(入院)	190

# 1. 病院概要



## 1-1 基本理念

1. 学是「仁」の精神で人々の生命を尊重する
2. 「不断前進」の理念で創造的な前進と改革を進める
3. 大学医学部附属病院として、診療・教育・研究の充実を計る

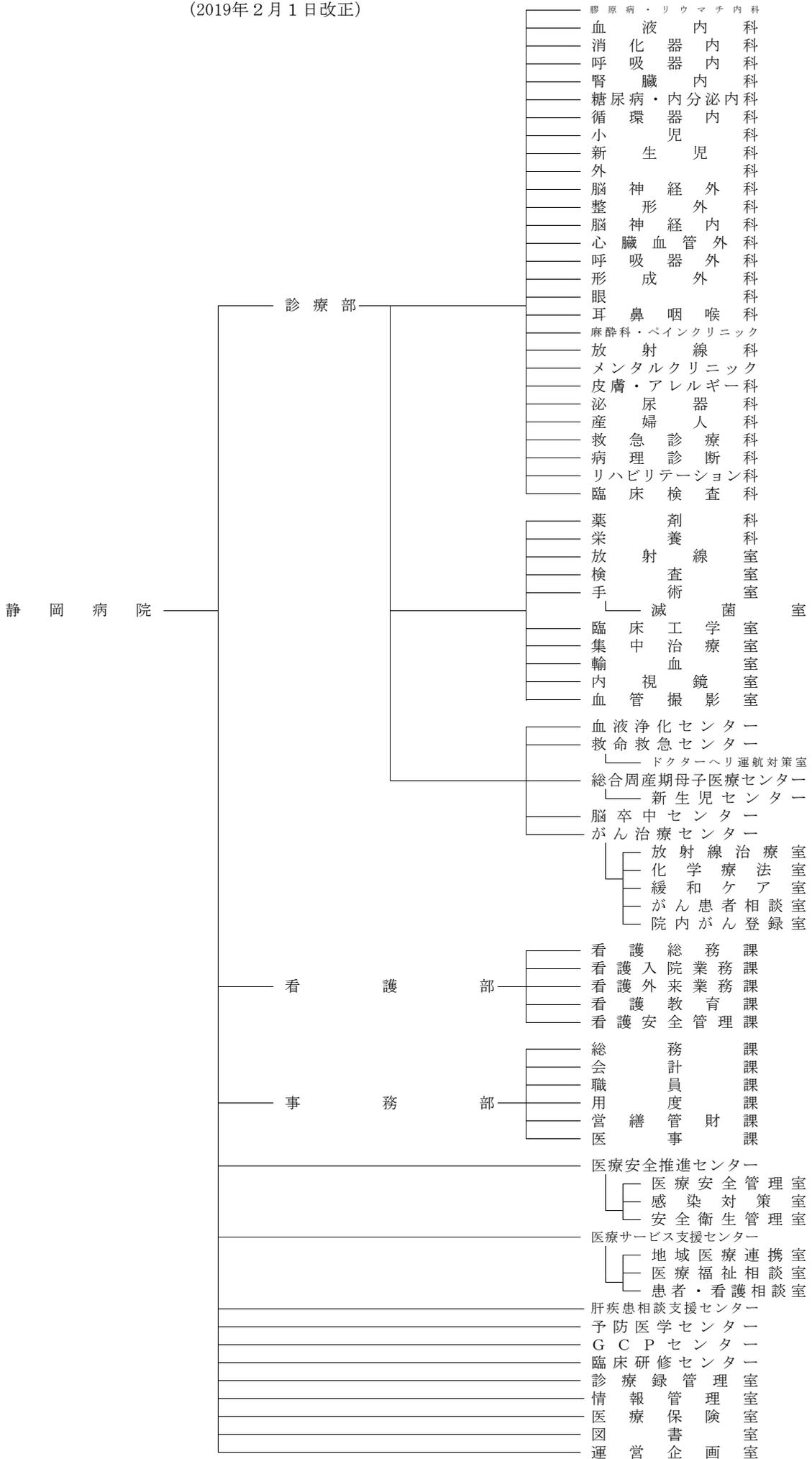
## 1-2 基本方針

1. 患者さん一人一人に、安全で根拠に基づく高い質の医療を提供する
2. 患者さんに満足していただける、きめ細かい手作りの看護をおこなう
3. 快適な療養生活ができる環境を提供する
4. 医療安全対策、病病・病診連携に取り組む
5. 最新の医療情報の提供に努める

## 1-3 施設概要

名称	:	順天堂大学医学部附属静岡病院
所在地	:	〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡 1129
電話番号	:	055-948-3111(代表)
FAX	:	055-948-5088
敷地面積	:	27,122.83 平方メートル
病床数	:	577 床

順天堂大学医学部附属静岡病院組織機構図  
(2019年2月1日改正)



## 1-5 所属長一覧

平成31年3月31日現在

部 署	責 任 者	部 署	責 任 者
院長	三橋 直樹	看護部長	堀江 みどり
副院長	藤田 和彦	看護総務課	堀込 克代
副院長	佐藤 浩一	看護入院業務課	萩島 真弓
院長補佐	小池 道明	看護外来業務課	田中 ひとみ
院長補佐	太田 俊彦	看護教育課	濱口 真知子
診療部長	佐藤 浩一	看護安全管理課	矢田 みどり
膠原病・リウマチ内科	片桐 彰	事務部長	落合 美智子
血液内科	小池 道明	総務課	小野 隆宏
消化器内科	玄田 拓哉	会計課	落合 美智子
呼吸器内科	岩神 真一郎	職員課	落合 美智子
腎臓内科	清水 芳男	用度課	市川 政雄
糖尿病・内分泌内科	池田 富貴	営繕管財課	市川 政雄
循環器内科	諏訪 哲	医事課	萩原 賛泰
小児科	寒竹 正人	救命救急センター	柳川 洋一
外科	佐藤 浩一	新生児センター	寒竹 正人
脳神経外科	山本 拓史	総合周産期母子医療センター	田中 利隆
整形外科	大林 治	脳卒中センター	山本 拓史
脳神経内科	野田 和幸	がん治療センター	飯島 克順
心臓血管外科	丹原 圭一	予防医学センター	清水 芳男
呼吸器外科	市之川 英臣	GCPセンター	玄田 拓哉
形成外科	播野 裕子	臨床研修センター	中尾 保秋
眼科	太田 俊彦	診療録管理室	諏訪 哲
耳鼻咽喉科	楠 威志	情報管理室	岡崎 敦
麻酔科・ペインクリニック	岡崎 敦	医療安全推進センター	藤田 和彦
放射線科	松波 環	医療安全管理室	藤田 和彦
メンタルクリニック	桐野 衛二	感染対策室	岩神 真一郎
皮膚科	長谷川 敏男	安全衛生管理室	桐野 衛二
泌尿器科	藤田 和彦	医療サービス支援センター	櫻田 睦
産婦人科	田中 利隆	地域医療連携室	櫻田 睦
救急診療科	柳川 洋一	医療福祉相談室	櫻田 睦
病理診断科	和田 了	患者・看護相談室	櫻田 睦
臨床検査科	田内 一民	医療保険室	山本 拓史
薬剤科	玄田 拓哉	図書室	諸橋 達
栄養科	前川 博	運営企画室	落合 美智子
放射線室	松波 環		
検査室	和田 了		
手術室	尾前 毅		
リハビリテーション科	大林 治		
血液浄化センター	清水 芳男		
臨床工学室	岡崎 敦		
集中治療室	久米村 正輝		
輸血室	岩尾 憲明		

# 1-6 医師名簿

□併任 平成31年3月31日現在

膠原病・リウマチ内科	小児・新生児科	糸井陽	長谷川陽子	間所俊介
片桐彰	寒竹正人	守屋秀一	太田正孝	竹内郁人
津島浩	小児科	西嶋智子	久米村正輝	長澤宏樹
岡田隆	有井直人	東村潤	櫻庭園子	病理診断科
村田純一	馬場洋介	大谷慧	勝田陽介	和田了
血液内科	宮林和紀	玉川翔太	上園瑛子	臨床検査科
小池道明	田所愛弓	鶴上浩規	藤野隆史	田内一民
岩尾憲明	中道伸彰	佐々恵太	黒田唯	臨床研修医
三澤恭平	徳島香央里	リハビリテーション科	放射線科	安藤美沙
落合友則	乃木田正俊	□大林治	水谷好秀	池田恒基
消化器内科	新生児科	志村有永	松波環	池田裕至
玄田拓哉	大川夏紀	脳神経内科	井上達朗	植木響政
飯島克順	池田奈帆	大熊泰之	宮崎秀明	宇藤優
嶋田裕慈	加護祐久	野田和幸	木村琢	加藤友里子
松本紘平	森下俊真	安藤真矢	メンタルクリニック	木村僚喜
佐藤俊輔	阿部華子	城崇之	桐野衛二	葛島魁人
廿樂裕徳	柏木項介	加茂晃徳	野本宏	塩崎太郎
村田礼人	栗田健太郎	杉山瑞穂	吉成尚人	白川智也
富嶋享	外科	中野文	皮膚・アレルギー科	鈴木創太
天野希	佐藤浩一	心臓血管外科	長谷川敏男	田川康博
佐藤祥	前川博	丹原圭一	野口篤	森智世
中沢舜	田中頤一郎	齋藤洋輔	住吉泰子	阿部圭希
呼吸器内科	櫻田睦	町田洋一郎	小山智史	板倉萌
岩神真一郎	折田創	宮崎豪	高橋美帆	北祐次
原宗央	榎田知志	呼吸器外科	泌尿器科	佐々木響子
岩神直子	氷室貴規	市之川英臣	藤田和彦	鈴木崇丸
住吉一誠	櫻庭駿介	小森和幸	斎藤恵介	瀬川将史
鈴木宣史	徳田智史	小池悠太郎	中島晶子	武政尚暉
宮下洋佑	上田脩平	形成外科	野口尊弘	長崎勇典
松田浩成	加藤永記	播野裕子	増田奈々子	永野友理恵
腎臓内科	山本陸	内山美津希	霧崇光	仁平高朔
清水芳男	小泉明博	眼科	脇田春彦	野波隆寛
若林啓一	村井勇太	太田俊彦	産婦人科	舟本学
原一彰	朝倉孝延	土至田宏	三橋直樹	松田紘佳
岩崎裕幸	脳神経外科	松崎有修	田中利隆	待山祐一郎
糖尿病・内分泌内科	山本拓史	林雄介	金田容秀	水島和彦
池田富貴	中尾保秋	市川浩平	田中里美	三戸統
三浦正樹	渡邊瑞也	朝岡聖子	矢田昌太郎	松村賢一
中島健一	上野英明	大谷洋揮	村瀬佳子	森谷哲士
内藤仁嗣	石元玲央	反田蓉子	伊藤早紀	米本周平
循環器内科	宮原怜	耳鼻咽喉科	小林徹	渡邊碧音
諏訪哲学	植木泰仁	楠威志	柳原康穂	渡邊武大
萩田学	泉響介	本間博友	小熊響子	
塩澤知之	牧野健作	城所淑信	松澤奈々	
和田英樹	鈴木一幹	矢内彩	救急診療科	
磯隆史	杉山夏来	園田健二	柳川洋一	
園田健人	整形外科	齋川雄一郎	大出靖将	
安田健太郎	大林治	麻酔科	大坂裕通	
高橋徳仁	最上敦彦	岡崎敦	石川浩平	
竹内充裕	諸橋達	尾前景	大森一彦	
西尾亮太	神田章男	洪景都	谷津翔一朗	

# 1-7 職員数

平成31年3月31日現在

職 種	正規職員		パート		小計	派遣・委託		小計	合計
	男	女	男	女		男	女		
看護師	80	588		5	673			0	673
准看護師		9			9			0	9
介護福祉士	6	14		1	21			0	21
助手	1	13		1	15	1	70	71	86
中材・減菌事務員					0	7	29	36	36
事務員		3			3	1	61	62	65
小計	87	627	0	7	721	9	160	169	890
薬剤師	23	7		3	33			0	33
薬剤科事務員		1			1		9	9	10
診療放射線技師	24	5			29			0	29
放射線室助手					0			0	0
放射線室事務員					0		5	5	5
臨床検査技師	6	18		5	29			0	29
検査室看護師		2		2	4			0	4
検査室事務員					0		1	1	1
理学療法士	10	5			15			0	15
作業療法士	2	3			5			0	5
言語聴覚士	1	2			3			0	3
リハビリテーション科事務員					0		1	1	1
管理栄養士	2	5		1	8			0	8
栄養士	1	1			2			0	2
調理師	10				10			0	10
栄養科助手	4	4			8	3	27	30	38
栄養科事務員				1	1			0	1
視能訓練士	3	3			6			0	6
臨床工学技士	10	1			11			0	11
臨床心理士		1			1			0	1
メンタルクリニック助手			1	2	3			0	3
小計	96	58	1	14	169	3	43	46	215
事務員	49	27		5	81	9	122	131	212
社会福祉士	1	3			4			0	4
保育士		4			4		1	1	5
技術・労務・警備・施設	4				4	48	42	90	94
医療安全管理者		1			1			0	1
感染管理者		1			1			0	1
助手					0	1	15	16	16
医局秘書				4	4			0	4
小計	54	36	0	9	99	58	180	238	337
医	特任教授	2			2			0	2
	教授	15			15			0	15
	先任准教授	5			5			0	5
	先任准教授(臨床)	6			6			0	6
	准教授(大学院)				0			0	0
	准教授(講座)	4			4			0	4
	准教授(診療)	8			8			0	8
	准教授(実習)	4	1		5			0	5
	准教授(教育)	4			4			0	4
	講師		1		1			0	1
師	助教	30	6		36			0	36
	助手	53	18		71			0	71
	専攻生	2	1		3			0	3
	大学院生	15	3		18			0	18
	シニアレジデント	3			3			0	3
	臨床研修医	27	7		34			0	34
	小計	178	37	0	0	215	0	0	0
合計	415	758	1	30	1,204	70	383	453	1,657

## 1-8 各種委員会

平成 30 年 4 月 1 日時点

委員会名	委員長名	委員会名	委員長名
病院運営委員会	三橋直樹	運営協議会	三橋直樹
診療会議	佐藤浩一	管理会議	落合美智子
医療安全・危機管理委員会	藤田和彦	医療情報提供委員会	藤田和彦
災害対策委員会	柳川洋一	感染対策委員会	岩神真一郎
救命救急センター運営会議	柳川洋一	静岡病院安全衛生委員会	桐野衛二
褥瘡対策委員会	播野裕子	内視鏡運営委員会	折田創
放射線安全委員会	水谷好秀	放射線治療品質管理委員会	水谷好秀
CPC・CRC・デスカンファレンス委員会	和田了	薬事委員会	楠威志
資材委員会	太田俊彦	機種選定委員会	三橋直樹
医療保険委員会	山本拓史	施設基準委員会	山本拓史
クリニカルパス委員会	神田章男	DPC コーディング委員会	山本拓史
倫理委員会	小池道明	倫理審査委員会	玄田拓哉
治験審査委員会	玄田拓哉	診療録管理委員会	諏訪哲
がん治療センター運営委員会	飯島克順	がん診療委員会	飯島克順
栄養管理委員会	前川博	広報委員会	最上敦彦
児童虐待対策委員会	寒竹正人	脳死・臓器移植委員会	中尾保秋
輸血療法委員会	岩尾憲明	手術室運営委員会	尾前毅
病棟利用・外来対策委員会	佐藤浩一	臨床検査適正化委員会	和田了
予防医学センター運営委員会	清水芳男	医療ガス安全管理委員会	岡崎敦
廃棄物管理委員会	和田了	医療機器保守委員会	佐藤浩一
医療情報システム委員会	中尾保秋	業務委託委員会	小池道明
礼儀・接遇マナー向上委員会	三橋直樹	勤務環境改善委員会	太田俊彦
患者さん満足度調査委員会	櫻田睦	透析機器安全管理委員会	清水芳男
図書管理委員会	諸橋達	臨床研修センター会議	中尾保秋
研修管理委員会	三橋直樹		

## 1-9(1) 活動報告

年 月 日	会 議 ・ 行 事 実 施 事 項
30. 4. 2	新入職員オリエンテーション(2～4日)
4	新入職員歓迎会
5. 7	春季健康診断(～18日)
29	ドクターヘリ事後検証会
31	医療安全研修会「採血時の検体取り扱いの注意点」
6. 9	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会(～10日)
12	感染対策研修会「接触感染予防策～耐性菌とCDI～」
19	がん治療研修会 第一部「がん化学療法」 第二部「がん放射線治療」
23	新入職員フォローアップ研修会(～24日)
25	医療安全研修会「輸血の取扱い」
7. 9	感染対策研修会「耐性菌対策」
27	医療安全研修会「転倒・転落」について
8. 15	ドクターヘリ事後検証会
23	褥瘡対策研修会「医療関連機器圧迫創傷について」
28	医療安全研修会「適切な食事の形態・食べ方」
9. 4	静岡県東部ドクターヘリ運航調整委員会
20	保険診療講習会「真剣に取り組もう特定共同指導」
22	第17回初期臨床研修指導医講習会(～9/23)
10. 1	医療安全研修会「情報はどこから漏れる？」
23	医療安全研修会「輸液ポンプ・シリンジポンプのトラブル事例と対処」
24	消防訓練
27	がん在宅緩和ケア研修会
31	感染対策研修会「飛沫感染対策～インフルエンザ対策～」
11. 5	秋季健康診断(～9日)
21	東部保健所病院立入検査
21	ドクターヘリ事後検証会
28	感染対策研修会「小児の呼吸器感染症」
12. 6	病院機能評価受審(～7日)
14	ドクターヘリ事後検証会
18	感染対策研修会「抗菌薬の適正使用」
31. 1. 7	賀詞交歓会
1. 22	褥瘡対策研修会「褥瘡の処置について」

年月日	会議・行事実施事項
23	静岡県東部地区救命救急医学研修会
28	医療安全研修会「防犯教室・護身術」
2.5	地域がん診療連絡会 「地域に始まり地域に戻る 開かれた乳腺診療 ～乳がん検診から地域連携パスまで～」
6	内部監事監査
19	医療安全研修会「防犯教室・護身術」
20	災害対策訓練
20	ドクターヘリ事後検証会
22	医療安全研修会「医薬品安全性情報報告制度～副作用報告について」
25	感染対策研修会「抗菌薬について」
27	日本私立医科大学相互ラウンド
3.7	感染対策研修会「医療従事者として知っておくべきウイルス性肝炎の知識」
12	医療安全研修会「防犯教室・護身術」
13	総合的な機能評価に関する研修会「在宅療養における高齢者看護の実際」
26	保険診療講習会「特定共同指導とは」
27	医療安全研修会「防犯教室・護身術」
上記のほか毎月定例として開催される会議	
第1火曜日	薬事委員会
〃	治験審査委員会
〃	がん診療委員会
第1木曜日	管理会議
第2月曜日	資材委員会
第2木曜日	診療会議
〃	医療情報システム委員会
第3火曜日	看護配置に関する定期報告会(偶数月)
〃	業務委託委員会
第3水曜日	クリニカルパス委員会
第3木曜日	栄養管理委員会(奇数月+4月)
第3金曜日	医療安全危機管理委員会
〃	医療情報提供委員会
第4月曜日	運営協議会
第4水曜日	施設基準委員会
〃	静岡病院安全衛生委員会
第4木曜日	褥瘡対策委員会

年月日	会議・行事実施事項
〃	がん治療センター運営委員会(奇数月)
第4金曜日	感染対策委員会
最終火曜日	医療保険委員会
毎月1回	病院運営委員会
隔月1回	輸血療法委員会
〃	内視鏡運営委員会
〃	救命救急センター運営会議
〃	災害対策委員会
3ヶ月に1回	コーディング委員会
〃	臨床研修センター会議
〃	診療録管理委員会
〃	放射線安全委員会
〃	広報委員会

## 1-9(2) 講演会

年月日	講座名・テーマ
30.4.19	第66回市民公開講座 「放射線治療 ～過去・現在・未来～」
5.17	第67回市民公開講座 「こどもの食物アレルギーのはなし ～いつから？どうやって？何に気をつければいいの？～」
6.18	第68回市民公開講座 「たかが肺炎、されど肺炎 ～高齢者の肺炎予防も含めて～」
7.23	第69回市民公開講座 「低侵襲心臓手術 ～とくに右小開胸大動脈弁置換術について～」
26	第38回 東部周産期研究会 「出生前の遺伝カウンセリング(NIPTを中心に)について」 「NIPTで分かる染色体異常児について」
8.30	第70回市民公開講座 「あなたのおっぱいの話 ～乳がん検診から最新の話まで～」
9.16	第71回市民公開講座 ※三島キャンパス合同開催 「こころのケアできていますか？」 ①うつ病ってどんな病気？ ②企業のメンタルヘルス対策
10.9	第72回市民公開講座 「シミの診断と治療 正しいスキンケア ～男女ともに健康な皮膚を目指して～」
11.15	第39回 東部周産期研究会 「胎児心臓超音波(スクリーニングを中心に)」 「新生児室で見つける先天性心疾患」
29	第73回市民公開講座 「糖尿病と合併症 ～いつまでも自分の足で元気に歩きましょう～」
12.11	第74回市民公開講座 「薬剤による腎障害 ～そのお薬大丈夫ですか？～」
31.1.23	第75回市民公開講座 「「肺癌外科治療」最前線 ～肺癌と診断された際の心構えから da Vinci Surgical System (ロボット手術) まで～」
2.7	市民公開講座 「足元大丈夫ですか？ ～開渠側溝に潜む危険～」
3.2	第76回市民公開講座 ※三島キャンパス合同開催 「見逃せない股関節の病気」 ①見逃されやすい股関節の病気と治療法 ②股関節の手術前と手術後の日常生活支援
7	第40回 東部周産期研究会 「産科医の立場から(母体搬送を中心に)」 「新生児医の立場から(新生児搬送を中心に)」

## 1-10 社会貢献・地域交流活動

年 月 日	活 動 名
30. 5. 16	中学生職場体験（16～17日2日間）（伊豆市立修善寺中学校2名参加）
5. 23	中学生職場体験（23～25日3日間）（伊豆の国市立長岡中学校2名参加）
6. 6	高校生職場体験（6～9日4日間）（静岡県立田方農業高校1名参加）
23	高校生「職業講座」看護師派遣（静岡県立三島北高校）
7. 30	高校生1日体験ナース（30～31日）（30日30名、31日30名）
10. 18	中学生職場体験（裾野市立西中学校2名参加）
25	中学生職場体験（沼津市立第五中学校3名参加）
31. 2. 25	卒業生と在学生との懇談会 看護師派遣（聖隷クリストファー大学）

## 1-11 指定・認定・許可事項

指 定 事 項	指 定 年 月 日
救命救急センター 40床	昭和 56年 11月 1日
新生児センター 30床	昭和 57年 4月 1日
エイズ拠点病院	平成 8年 5月 20日
災害拠点病院	平成 8年 11月 26日
日本医療機能評価機構認定病院	平成 16年 3月 15日(初回認定日)
静岡県東部ドクターヘリ基地病院	平成 16年 3月 17日
臨床研修指定病院	平成 16年 4月 1日
地域がん診療連携拠点病院	平成 19年 1月 31日
総合周産期母子医療センター	平成 20年 8月 1日
静岡県肝疾患診療連携拠点病院	平成 21年 3月 10日
DPC 対象病院	平成 23年 4月 1日
災害派遣医療チーム静岡 DMAT 指定病院	平成 24年 3月 1日
指定小児慢性特定疾病医療機関	平成 27年 1月 1日
難病法に係る難病指定医療機関	平成 27年 1月 1日
静岡県アレルギー疾患医療拠点病院	平成 30年 10月 1日

診療科名	学会認定
内科	日本内科学会教育病院
呼吸器内科	日本呼吸器内視鏡学会認定施設
	日本呼吸器学会認定施設
消化器内科	日本消化器病学会認定施設
	日本肝臓学会認定施設
膠原病・リウマチ内科	日本リウマチ学会教育施設
血液内科	日本血液学会血液研修施設
腎臓内科	日本透析医学会教育関連施設
	日本腎臓学会研修施設
糖尿病・内分泌内科	日本糖尿病学会認定教育施設
循環器科	日本心血管インターベンション治療学会研修施設
	日本循環器学会循環器専門医研修施設
心臓血管外科	関連 10 学会構成 スtentグラフト実施基準管理委員会 腹部stentグラフト実施施設
	関連 10 学会構成 日本stentグラフト実施基準管理委員会 胸部stentグラフト実施施設
	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
小児科	日本小児科学会小児科専門医研修施設
新生児科	日本周産期・新生児医学会基幹施設

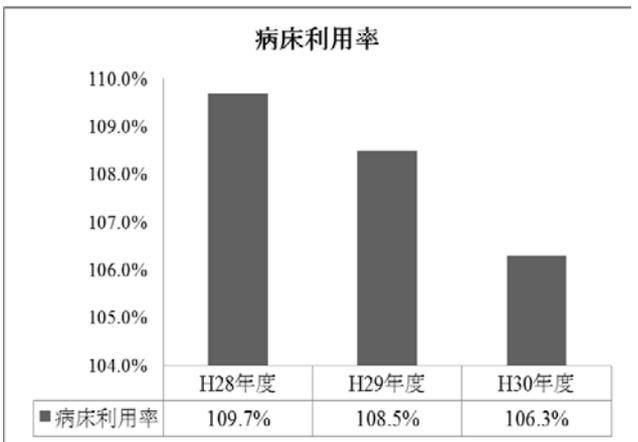
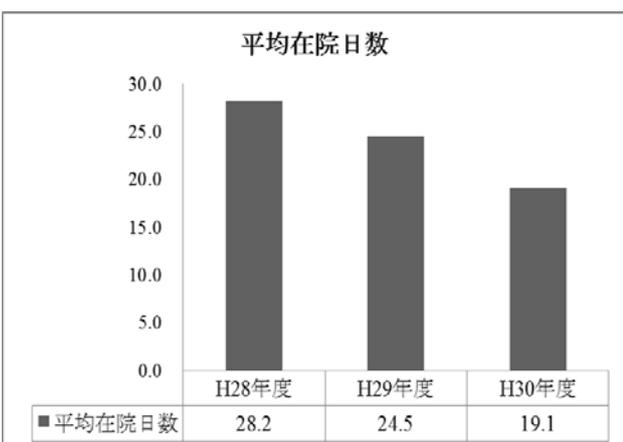
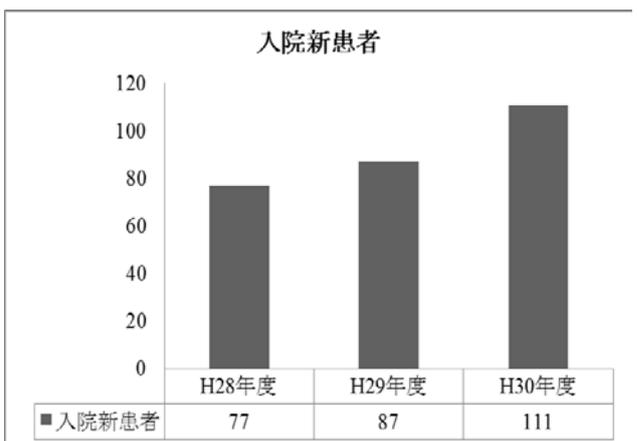
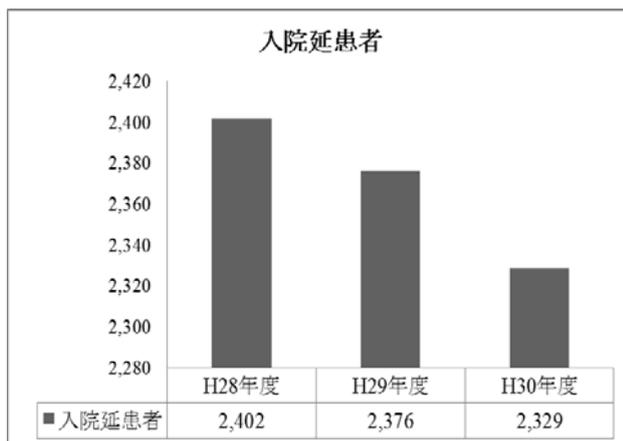
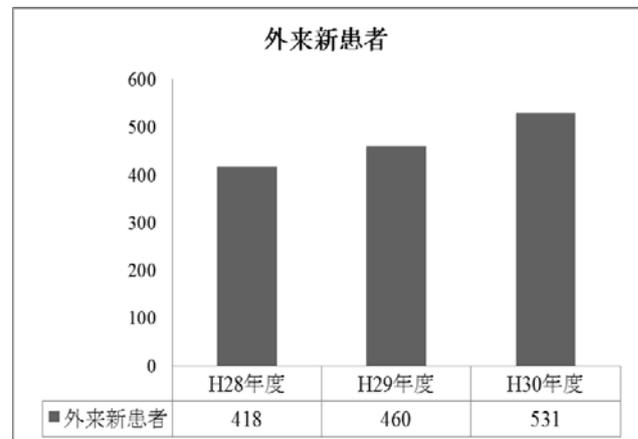
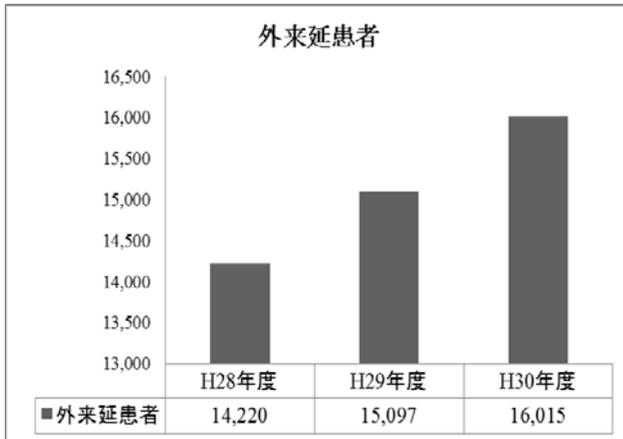
診療科名	学会認定
外科	日本消化器内視鏡学会指導施設
	日本外科学会外科専門医制度修練施設
	日本消化器外科学会専門医修練施設
	日本乳癌学会関連施設
	日本食道学会全国登録認定施設
	日本大腸肛門病学会関連施設
脳神経外科	日本脳卒中学会研修教育病院
	日本脳神経外科学会専門医研修連携施設
整形外科	日本整形外科学会研修施設
	日本手外科学会研修施設
脳神経内科	日本神経学会教育施設
呼吸器外科	呼吸器外科専門医合同委員会関連施設
眼科	日本眼科学会専門医制度研修施設
	日本角膜学会羊膜移植実施施設
耳鼻咽喉科	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
麻酔科・ペインクリニック	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
	日本ペインクリニック学会指定研修施設
メンタルクリニック	日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
	日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設
皮膚・アレルギー科	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
形成外科	日本形成外科学会認定施設
泌尿器科	日本泌尿器科学会専門医教育施設
産婦人科	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
	日本周産期・新生児医学会認定施設
	日本産科婦人科学会専門医研修連携施設
	日本超音波医学会超音波専門医制度研修施設
	静岡県医師会母体保護法指定医師研修機関
	日本女性医学学会専門医制度認定研修施設
救急診療科	日本航空医療学会認定施設
	日本救急医学会救急科専門医指定施設
病理診断科	日本病理学会研修認定施設
栄養科	日本病態栄養学会栄養管理・NST 実地施設
	日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
救命救急センター	日本集中治療医学会専門医研修施設
リハビリテーション室	日本リハビリテーション医学会認定施設
がん治療センター	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
	日本がん治療認定医機構認定研修施設
	日本緩和医療学会認定研修施設

## 2. 診療科報告



## 2-1 膠原病内科・リウマチ科

### 診療実績

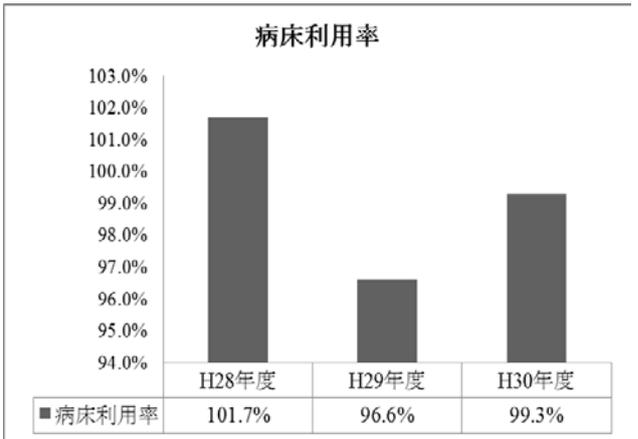
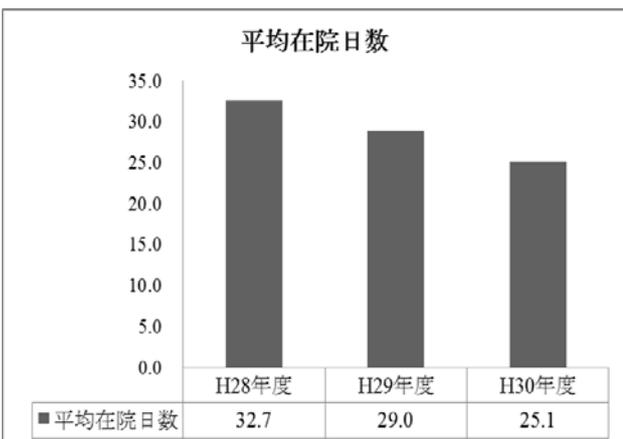
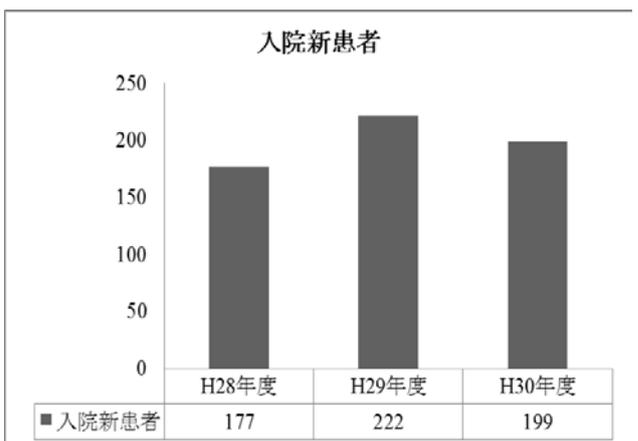
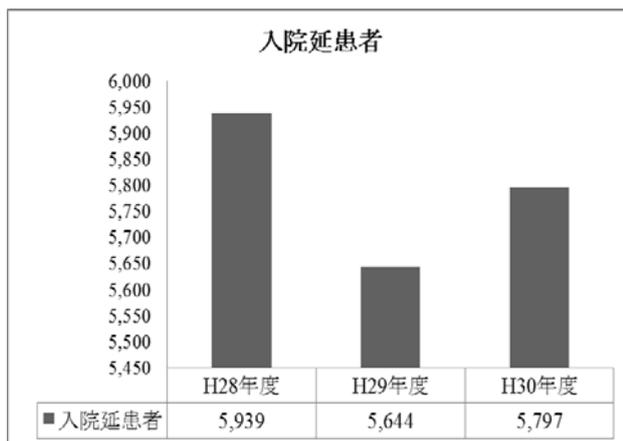
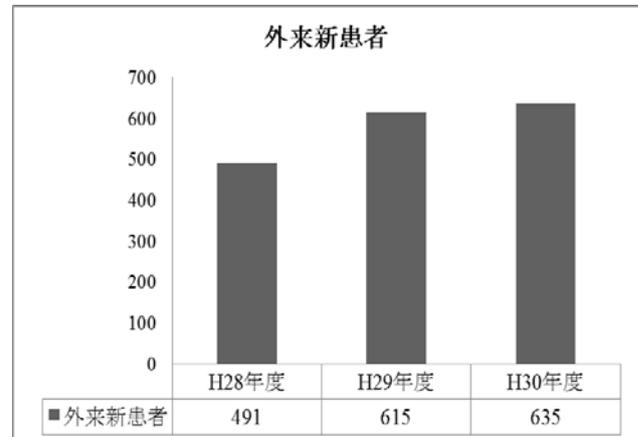
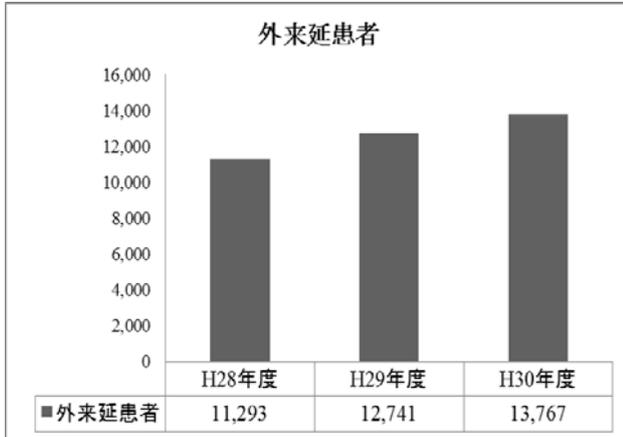


## 研究・教育活動

1. 丹治佳菜、牧山彩子、津島浩、岡田隆、片桐彰、山路健、田村直人： 妊娠中にループス腎炎の増悪と妊娠高血圧症候群との鑑別に難渋した一例 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 (東京) 2018 年 4 月 26 日
2. 岡田隆、牧山彩子、津島浩、丹治佳菜、片桐彰、山路健、田村直人： Sjogren 症候群に合併した自己免疫性好中球減少症にタクロリムスが有効であった一例 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 (東京) 2018 年 4 月 26 日
3. 津島浩、岡田隆、丹治佳菜、片桐彰、山路健、田村直人： Bent spine syndrome を伴ったまれな多発性筋炎の一例 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 (東京) 2018 年 4 月 28 日
4. 岡田隆： 実臨床における関節炎へのアプローチと最近の RA 治療について 賀茂医師会学術講演会 2018 年 5 月 18 日
5. 片桐彰： 患者背景に基づく関節リウマチの治療選択 ～MTX 投与困難例を中心に～ リウマチエリア WEB セミナー 2018 年 12 月 12 日
6. 村田純一、津島浩、岡田隆、片桐彰： 当院で診断された TIF1- $\gamma$  抗体陽性皮膚筋炎の 4 例 第 44 回リウマチ懇話会 2019 年 1 月 26 日
7. 片桐彰： 患者背景に基づく関節リウマチの治療選択 ～当院における csDMARD の使用状況～ DMARDs を語る会 2019 年 3 月 14 日

## 2-2 血液内科

### 診療実績



## 研究、研究活動

### 原著 (英文)

1. Watanabe N, Koike M, Kitahara H, Iwao N, Ohta Y, KOMATSU N. Retroperitoneal relapse in an elderly patient with multiple myeloma during pomalidomide and dexamethasone treatment. *Geriatrics & Gerontology International* 2018; 18; 977-979
2. Morschhauser F, Fowler NH, Feugier P, Bouabdallah R, Tilly H, Palomba ML, Fruchart C, Libby EN, Casasnovas RO, Flinn IW, Haioun C, Maisonneuve H, Ysebaert L, Bartlett NL, Bouabdallah K, Brice P, Ribrag V, Daguindau N, Le Gouill S, Pica GM, Martin Garcia-Sancho A, López-Guillermo A, Larouche JF, Ando K, Gomes da Silva M, André M, Zachée P, Sehn LH, Tobinai K, Cartron G, Liu D, Wang J, Xerri L, Salles GA. Rituximab plus Lenalidomide in Advanced Untreated Follicular Lymphoma. RELEVANCE Trial Investigators. *N Engl J Med.* 2018 ;379 :934-947.
3. Watanabe N, Takaku T, Takeda K, Shirane S, Toyota T, Koike M, Noguchi M, Hirano T, Fujiwara H, Komatsu N. Dasatinib-induced anti-leukemia cellular immunity through a novel subset of CD57 positive helper/cytotoxic CD4 T cells in chronic myelogenous leukemia patients. *Int J Hematol.* 2018 ;108; 588-597.
4. Kanakura Y, Shirasugi Y, Yamaguchi H, Koike M, Chou T, Okamoto S, Achenbach H, Wu J, Nakaseko C. A phase 3b, multicenter, open-label extension study of the long-term safety of anagrelide in Japanese adults with essential thrombocythemia. *Int J Hematol.* 2018 ;108; 491-498.
5. Takaku T, Iriyama N, Mitsumori T, Sato E, Gotoh A, Kirito K, Noguchi M, Koike M, Sakamoto J, Oba K, Komatsu N. Clinical Efficacy and Safety of First-Line Dasatinib Therapy and the Relevance of Velocity of BCR-ABL1 Transcript Decline for Achievement of Molecular Responses in Newly Diagnosed Chronic-Phase Chronic Myeloid Leukemia: Report from the Juntendo Yamanashi Oncology. 2018; 94; 85-91.

### 原著 (和文)

1. 土屋明美、岩尾憲明、小池道明：当院における新鮮凍結血漿の適正使用に向けた取り組み. *日本輸血細胞治療学会誌* : 64: 545-549,2018
2. 桐戸敬太、小池道明、野口雅章、木崎昌弘、杉本由片山直之、土橋史明、薄井紀子、小松則夫: 骨髄増殖性腫瘍例および健常者を対象にした新規 JAK2617F 変異量測定キットの臨床性能試験. *臨床血液* 59: 669-674, 2018

### (報告その他)

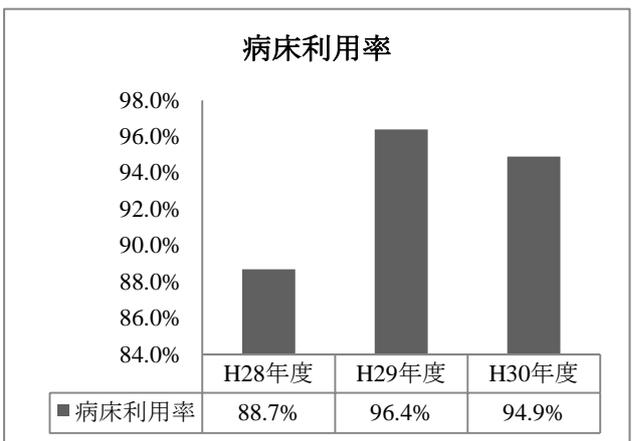
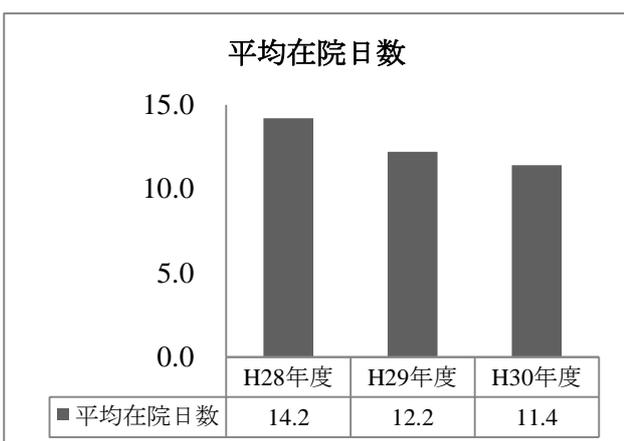
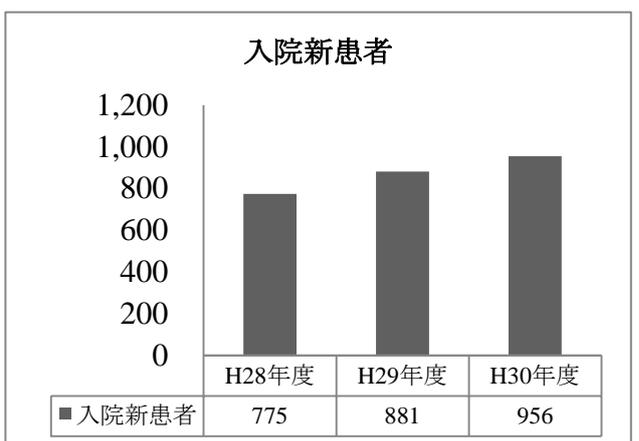
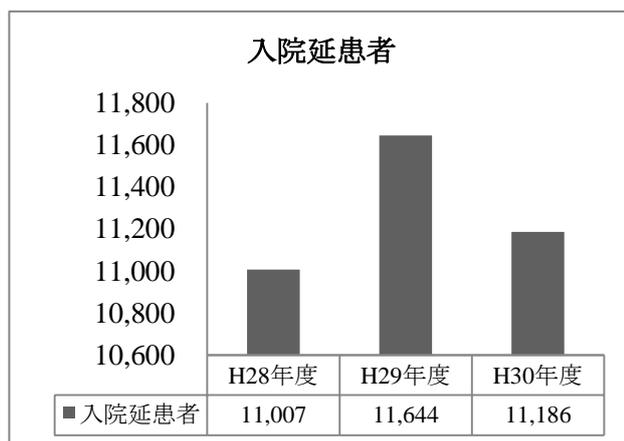
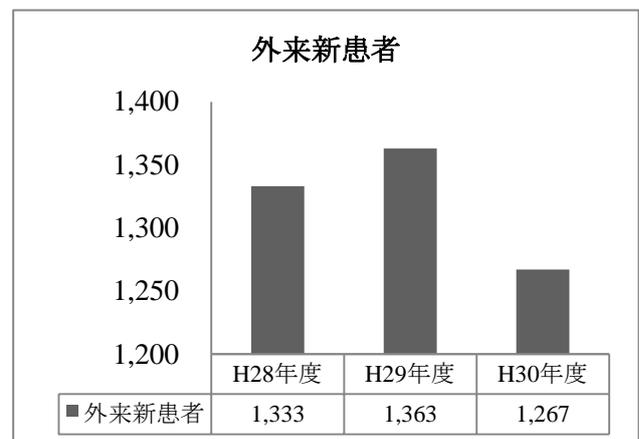
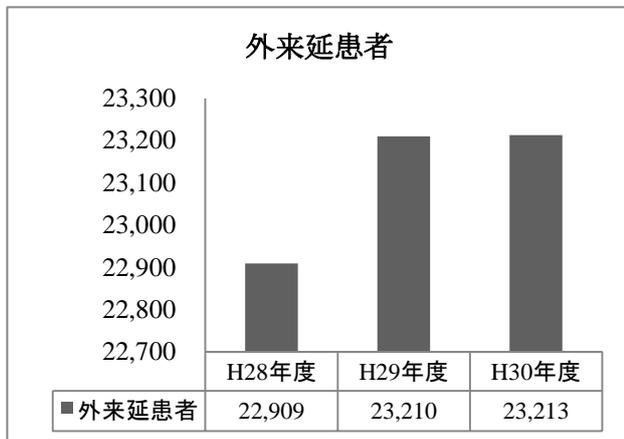
1. 岩尾 憲明 他：急性 GVHD マウスモデルにおける NMGB1 の動態に関する検討

第 40 回日本造血細胞移植学会総会 札幌 2018 年 2 月 2 日

2. 小池道明、岩尾憲明、今田春子、酒井寛美、菊地麻里、土屋明美、静岡県における大災害時の輸血療法に関するアンケート調査結果 第 70 回日本輸血・細胞治療学会東海支部例会 名古屋第一赤十字病院 2018 年 2 月 17 日
3. 森 智代, 小池道明 出血を繰り返し免疫抑制剤の併用療法が奏功した高インヒビター力価の後天性血友病 A 第 18 回 東海地区インヒビターセミナー 名古屋 2018 年 8 月 25 日
4. 小池道明 WHO 分類 2016 年改訂版を用いて分類した MDS 症例の 2017 年における単施設での検討 第 80 回日本血液学会学術集会 大阪 2018 年 10 月 14 日

## 2-3 消化器内科

### 診療実績



## 研究・教育活動

### 【原著（英文）】

1. Efficacy and safety of rifaximin in Japanese patients with hepatic encephalopathy: A phase II/III, multicenter, randomized, evaluator-blinded, active-controlled trial and a phase III, multicenter, open trial. *Hepatol Res.* 2018;48(6):411-423.
2. Ledipasvir-Sofosbuvir for Treating Japanese Patients With Chronic Hepatitis C Virus Genotype 2 Infection. *Liver Int.* 2018; 38(9):1552-1561.
3. A multicenter pilot survey to clarify the clinical features of patients with acute-on-chronic liver failure in Japan. *Hepatol Res.* 2018; 48(4):303-312.
4. Proposed diagnostic criteria for acute-on-chronic liver failure in Japan. *Hepatol Res.* 2018; 48(4): 219-224.
5. Nationwide survey for acute liver failure and late-onset hepatic failure in Japan. *J Gastroenterol. J Gastroenterol.* 2018;53(6):752-769.
6. Improved Visibility of Barrett's Esophagus with Linked Color Imaging: Inter- and Intra-Rater Reliability and Quantitative Analysis. *Digestion.* 2018;97(2):183-194
7. A case of ischemic gastroduodenal disease in a patient who was receiving hemodialysis treatment that was managed by conservative treatment. *Clin J Gastroenterol.* 2018 Oct;11(5):386-390.
8. Effect of Esophageal Endoscopic Submucosal Dissection on Motility and Symptoms: A Prospective Study. *Gastroenterol Res Pract.* 2018 Jun 3;2018:3735473.

### 【原著（和文）総説】

1. 末期肝硬変としてのPBCの病態と肝不全、肝胆膵、2018 ; 76(6): 1041-1046.
2. "胃炎の京都分類"に基づく小児及び若年成人の *Helicobacter pylori* 感染胃炎の内視鏡的特徴と年齢別推移. *日本ヘリコバクター学会誌*, 2018; 19(2): 81-83
3. 【危険なサインを見逃さない！いま知っておきたい薬剤性消化管障害】患者さんから薬剤性消化管障害を疑うポイント. *月間薬事*, 2018; 60(6): 1005-1011

### 【学会発表(国際)】

1. Does PPI play a protective role in gastric mucosa in patients taking DOACs? UEG Week 2018, Vienna, October 22, 2018
2. Efficacy and Safety of Granulocyte and Monocyte Adsorptive Apheresis in Elderly Patients with Ulcerative Colitis、AOCC、上海、2018年6月21日 - 23日
3. On-treatment serum *Wisteria floribunda* agglutinin-positive Mac-2 binding protein level and risk of hepatocellular carcinoma development in patients with chronic hepatitis B during nucleot(s)ide analog therapy EASL 2018—欧州肝臓学会議 Annual Meeting of the European Association for the Study of Liver. 開催期間: 2018/04/11 (水) ~2018/04/15 (日) Paris
4. Early quantitative response of hepatitis B surface antigen is associated with seroclearance in patients with chronic hepatitis B during nucleot(s)ide analog therapy AASLD2018 the Moscone North and South Convention Center in San Francisco November 9-13, 2018.
5. The Significance of *Wisteria Floribunda* Agglutinin-Positive Mac-2-Binding Protein (M2BPGi) from the Perspective of Patients with Hepatocellular Carcinoma、AASLD Liver meeting、San Francisco USA、November 11, 2018

6. Post-treatment Serum Wisteria floribunda Agglutinin-positive Mac-2-binding Protein (WFA+-M2BP) Levels Predict the Risk of Hepatocellular Carcinoma Development after Hepatitis C Virus Eradication、 APASL Single Topic Conference 2018 on HCC、 Yokohama Japan、 May 11, 2018

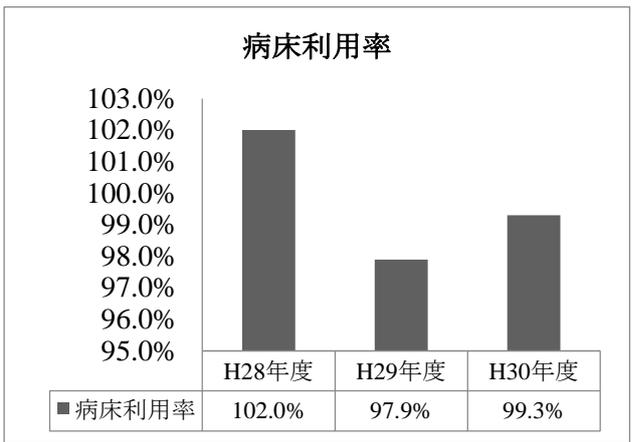
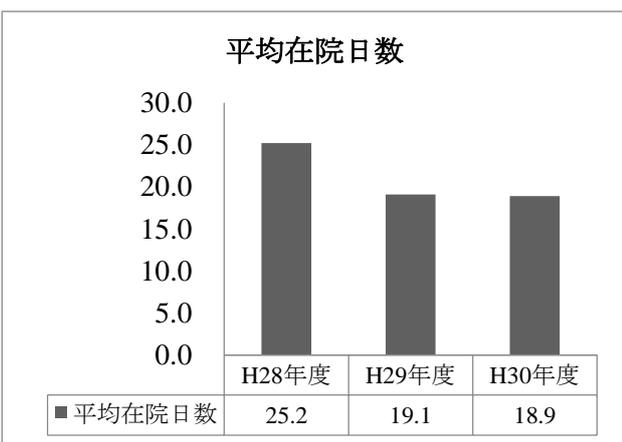
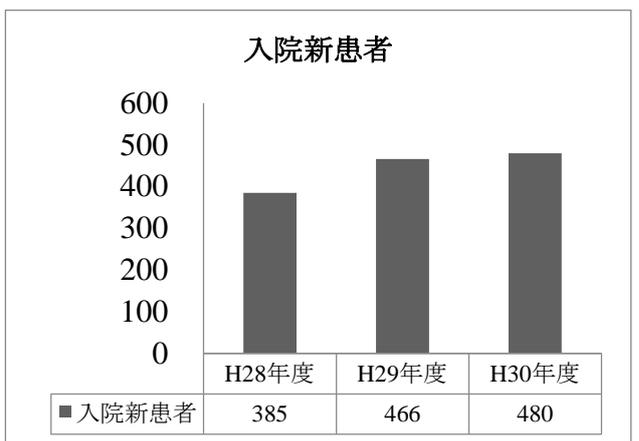
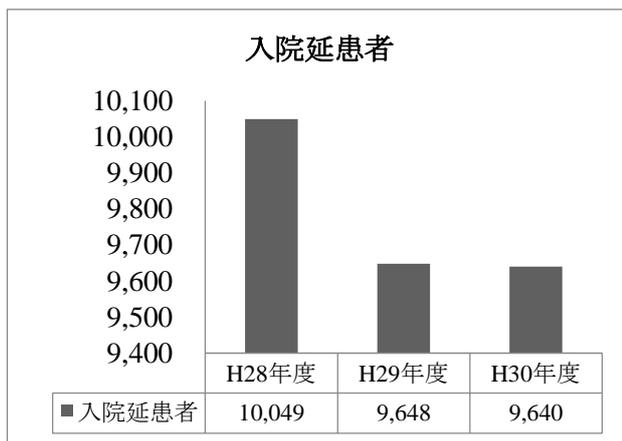
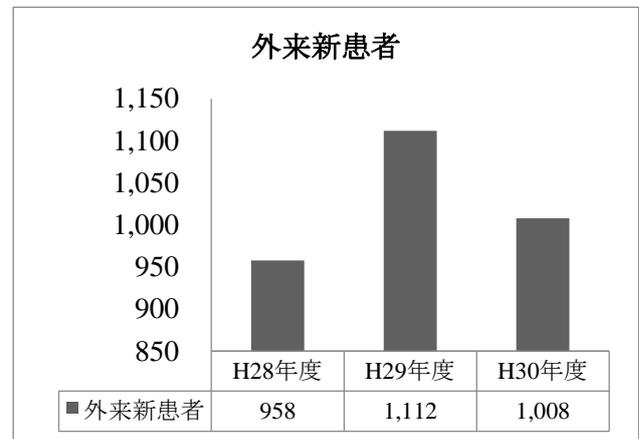
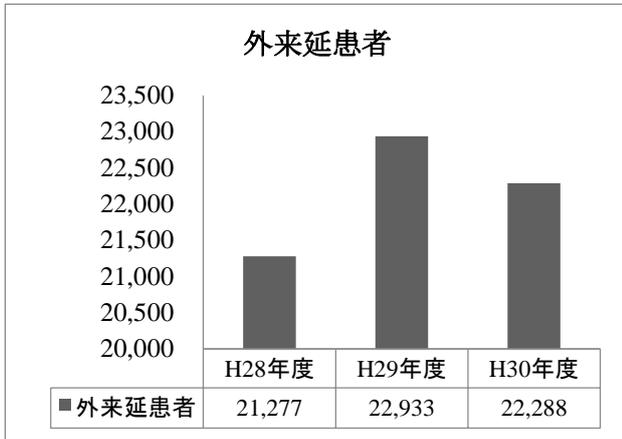
【学会発表(国内)】

7. DOAC 内服症例における上部消化管粘膜傷害の発症頻度の検討. 第 14 回日本消化管学会総会各術集会, 東京, 2017 年 2 月 9 日
8. H.pylori 除菌治療におけるプロバイオティクスとしての酪酸菌製剤の効果に関する検討. 第 24 回日本ヘリコバクター学会学術集会, 大分, 2018 年 6 月 30 日
9. 高齢者における制酸薬内服症例のアンメットニーズ. 第 20 回日本神経消化器病学会, 名古屋, 2018 年 10 月 5 日
10. 高齢者における上部消化管症状に対する薬物療法の特徴. 第 26 回日本消化器病学会大会 (JDDW 2018) , 神戸, 2018 年 11 月 1 日
11. 当院における Helicobacter pylori 未感染早期胃癌の内視鏡的・臨床病理学的特徴, 第 95 回 内視鏡学会総会, 東京, 2018 年 5 月 10 日
12. Helicobacter pylori 二次除菌療法におけるボノプラザン併用 3 剤療法対ラベプラゾール併用 3 剤療法の無作為比較試験, 第 24 回 日本ヘリコバクター学会, 大分, 2018 年 6 月 30 日
13. 胃型腺腫の一例, 第 2 回 RISE 研究会, 2018 年 7 月 27 日
14. Helicobacter pylori 二次除菌におけるボノプラザン併用 3 剤療法対プロトンポンプ阻害薬併用 3 剤療法の有用性における検討, 第 27 回消化器疾患治療研究会, 高知, 2018 年 9 月 15 日
15. Helicobacter pylori 未感染早期胃癌の内視鏡的・臨床病理学的特徴, 第 107 回 内視鏡学会関東支部例会, 東京, 2018 年 12 月 15 日
16. 肝硬変の成因別実態 当科における肝硬変の成因別実態、第 54 回日本肝臓学会総会、大阪、2018 年 6 月 14 日
17. ソラフェニブ不耐容例に対するレンバチニブの初期使用経験、第 18 回日本肝癌分子標的治療研究会、東京、2018 年 7 月 14 日
18. 核酸アナログ投与下の B 型肝炎患者の発癌と予後 第 54 回 肝癌研究会 平成 30 年(2018 年)6 月 28 日 (木) ~6 月 29 日 (金) 会 場 : 久留米シティプラザ
19. 高齢者に発症した HBV 関連急性肝障害の 3 例 第 42 回日本肝臓学会東部会 2018 年 12 月 7 日 (金)・12 月 8 日 (土) ザ・プリンス パークタワー東京
20. HBV 核酸アナログ治療症例における HBs 抗原消失の予測因子の検討 第 54 回日本肝臓学会総会 会期 : 2018 年 6 月 14 日(木)・15 日(金) 会場 : 大阪国際会議場/リーガロイヤル NCB
21. 当院における ERCP 後膵炎の危険因子の検討 2018 年 11 月 3 日 神戸国際会議場
22. 放射線療法により止血効果を認めた膵頭部癌による Hemosuccus pancreaticus の一例 日本消化器内視鏡学会東海支部例会 2018 年 11 月 24 日 名古屋国際会議場
23. 膵腺房細胞癌の 8 例の画像診断所見と予後因子の検討 日本膵臓学会 2018 年 6 月 29 日 和歌山
24. 術前画像診断が可能であった 非機能性後腹膜 paraganglioma(PG)の 1 切除例 2018 年 6 月 16 日、日本消化器病学会東海支部第 128 回例会
25. ソラフェニブからレゴラフェニブへの変更により病勢コントロールを得ている切除後再発肝細胞癌の 1 例、 第 17 回日本肝がん分子標的治療研究会、横浜、2018 年 1 月 13 日
26. B、C 型肝炎ウイルス制御後の血清肝線維化マーカー M2BPGi の変化と肝発癌、第 54 回肝臓学会総

会、 大阪、 2018 年 6 月 14 日

27. 初発巨大肝細胞癌に対するヘパスフィアを用いたDEB-TACEの治療成績、第54回日本肝癌研究会、久留米、2018年6月28日
28. 内視鏡的バルーン拡張術で改善が得られた腐食性食道炎後狭窄の一例、日本消化器病学会東海支部例会、愛知県、2018.11.17
29. 消化器内科外来受診者における高齢者のアンメットニーズ —出雲スケールの解析から—、消化器疾患病態治療研究会、高知県、2018.9.14
30. 脳死肝移植待機リストからみた肝不全患者の予後と特徴、第42回日本肝臓学会東部会、東京、2018年12月8日
31. 肝炎・肝癌診療 最近の話題、 富士市医師会学術講演会、富士、2018年3月13日

診療実績



研究・教育活動

英文原著

1. Iwakami N, Iwakami S, Hara M, Sekiya M, Dambara T, Takahashi K. The diagnostic yield using ultrasound-guided needle-aspiration for subpleural primary lung cancer is not affected by the radiological

properties of the lesions resulting from computed tomography. *Respiratory Investigation* 56: 238-242, 2018

2. Yamada T, Iwakami S, Abe S, Hara M, Iwakami N, Nakamura A, Suzuki Y, Sasaki S, Takahashi K. Disseminated nontuberculous mycobacterial infection caused by anti-interferon- $\gamma$  autoantibodies in a patient of very advanced years. *Geriatr Gerontol Int.*, 18:1132-1133, 2018
3. Hara M, Iwakami S, Sumiyoshi I, Yoshida T, Sasaki S and Takahashi K. Hydrocarbon pneumonitis caused by the inhalation of wood preservation. *Respirology Case Reports* 2018 Oct 26;6(9):e00379. doi: 10.1002/rcr2.379. eCollection 2018 Dec.

#### 和文原著

1. 雨宮徳直、岩神真一郎：遷延性咳嗽にて一般診療所を受診した PT-IgG 抗体価高値成人百日咳の臨床的特徴. *日本呼吸器学会雑誌* 7: 125-130, 2018

#### 和文著書

1. 岩神真一郎：喀痰 高橋和久編. *成人看護学2 呼吸器*. メジカルフレンド社、東京、53/57、2018

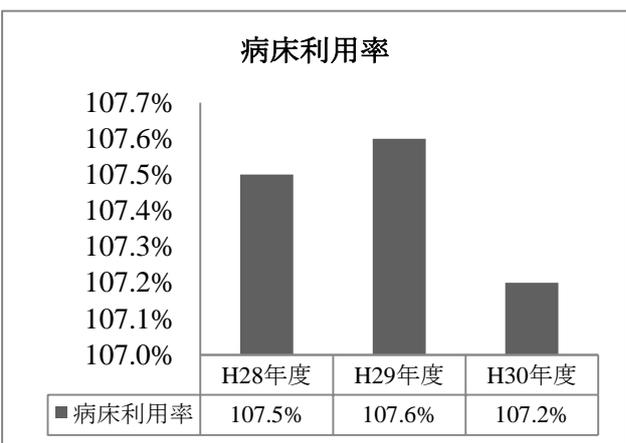
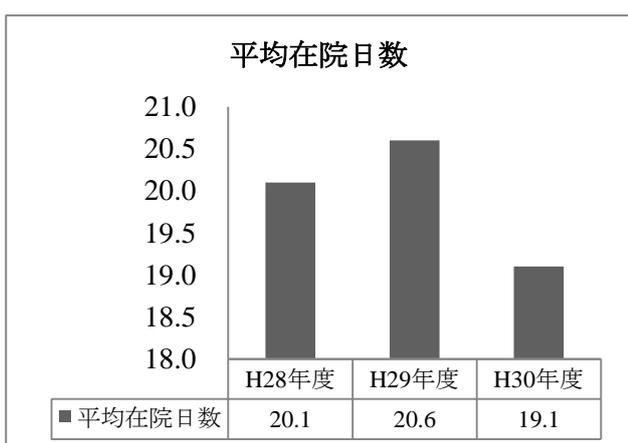
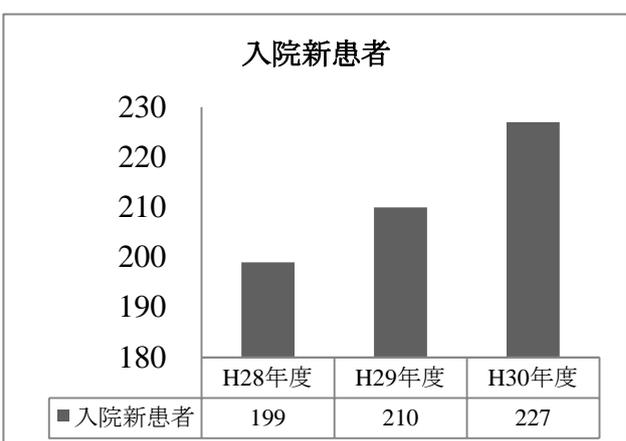
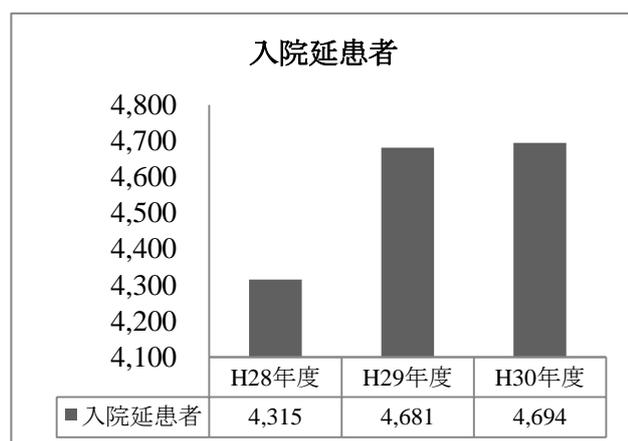
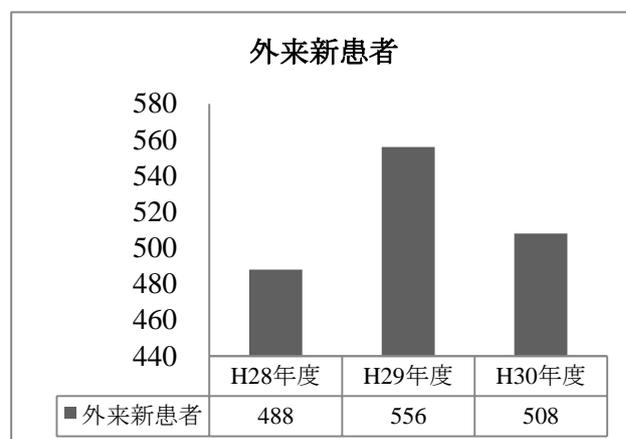
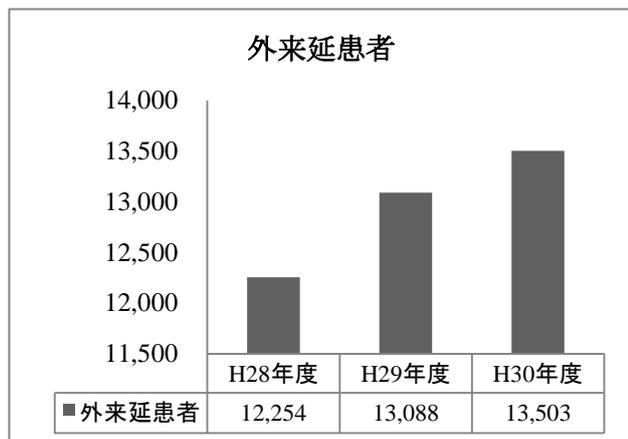
#### 和文報告その他

1. 岩神真一郎：第1部 病診連携（呼吸機能検査）、第2部 自然災害発生時における在宅酸素療法患者に対する地域ネットワークの構築. 田方医師会呼吸器研究会 2018年4月12日 田方医師会館
2. 住吉一誠、原宗央、安部寿美子、吉田隆司、宮脇太一、岩神直子、岩神真一郎、高橋和久：高齢者に対する気管支肺胞洗浄（BAL）の安全性と有用性に関する検討. 第58回日本呼吸器学会学術講演会 2018年4月28日 リーガロイヤルホテル大阪
3. 嶋田奈緒子、瀬山邦明、兼広裕美子、石渡俊次、守尾嘉晃、島田和典、岩神真一郎、高橋和久：禁煙に伴う肌の状況変化について. 第58回日本呼吸器学会学術講演会 2018年4月29日 リーガロイヤルホテル大阪
4. 原宗央、黒川加奈、宮下洋佑、住吉一誠、宮脇太一、岩神直子、岩神真一郎. 原発性肺癌に対する Pembrolizumab の治療中に胆汁うっ滞型肝障害を示唆する病理組織所見を確認できた1例. 第113回日本呼吸器学会東海地方学会 2018年5月26日 名古屋市中小企業振興会館
5. 岩神真一郎：たかが肺炎 されど肺炎. 第68回順天堂大学静岡病院市民公開講座 2018年6月18日 順天堂大学医学部附属静岡病院第1会議室
6. 宮脇太一、黒川加奈、宮下洋祐、住吉一誠、原宗央、岩神直子、岩神真一郎、高橋和久：進行/再発非小細胞肺癌において転移個数が治療転帰に及ぼす影響. 第16回日本臨床腫瘍学会学術集会 2018年7月20日 神戸国際会議場、神戸国際展示場

7. 宮脇太一、黒川加奈、宮下洋祐、住吉一誠、原宗央、岩神直子、岩神真一郎、高橋和久：小細胞肺癌における予後と増悪形式の検討. 第16回日本臨床腫瘍学会学術集会 2018年7月21日 神戸国際会議場、神戸国際展示場
8. 岩神真一郎、原宗央：自然災害発生時における在宅酸素療法患者に対する地域ネットワーク構築に関する検討. 平成29年度 静岡災害医学研究センター紀要 43-45, 2018
9. 住吉一誠、藤岡雅大、宮下洋祐、鈴木宣史、宮脇太一、原宗央、岩神直子、岩神真一郎：脳腫瘍との鑑別を要した脳結核腫の一例. 第114回日本呼吸器学会東海地方学会 2018年11月17日 浜松市浜北文化センター
10. 藤岡雅大、宮下洋祐、鈴木宣史、住吉一誠、原宗央、岩神直子、岩神真一郎：粘液水腫性昏睡によるⅡ型呼吸不全を呈した一例. 第114回日本呼吸器学会東海地方学会 2018年11月18日 浜松市浜北文化センター
11. 岩神真一郎：抗菌薬の適正使用. 順天堂大学医学部附属静岡病院、 感染対策委員会研修会 2018年12月18日 順天堂大学医学部附属静岡病院第1会議室
12. 岩神真一郎：身近な呼吸器の感染症～インフルエンザ、結核、肺炎など～. 田方歯科医師会講演会 2019年1月7日 サンバレー富士見

## 2-5 腎臓内科

### 診療実績



### 研究・教育活動

#### 英文原著

1. Honda D, Ohsawa I, Shimizu Y, Maiguma M, Hidaka T, Suzuki H, Io H, Mano S, Takahara H, Rinno H, Tomino Y, Suzuki Y. Suffocation due to Acute Airway Edema in a Patient with Hereditary Angioedema

Highlighted the Need for Urgent Improvements in Treatment Availability in Japan. Intern Med. 2018; 57: 3193-97.

## 和文図書

1. 清水 芳男. シヤント狭窄の原因とその治療法. 血液透析患者さんのためのシヤント管理とフットケアの新しい治療法-FIRAPY の効果. 富野 康日己編. 広稜社. 東京, pp. 36-55, 2018
2. 清水 芳男. 歯科医師が知っておきたい以下基本薬 6 抗血栓薬. 歯科におけるくすりの使い方. 富野 康日己他編. デンタルダイヤモンド社. 東京, pp. 191-95, 2018
3. 原 一彰、濱田 千江子、若林 啓一、神田 怜生、金子 佳代、堀越 哲、鈴木 祐介. 腹膜中皮細胞における高血糖刺激による炎症・上皮間葉転換進展機序およびそのアスタキサンチンによる抑制作用の検討. 腎とフリーラジカル 第 13 集. 東京医学社. 東京, pp. 118-19, 2018
4. 若林 啓一. 腹膜線維化モデルラットにおけるアスタキサンチンの効果. 腎とフリーラジカル 第 13 集. 東京医学社. 東京, pp. 88-90, 2018
5. 若林 啓一. 血尿・血色素の評価と意義. 尿検査のみかた、考えかた. 中外医学社. 東京, pp. 22-26, 2018
6. 原 一彰. 尿中ポドサイトの評価と意義. 尿検査のみかた、考えかた. 中外医学社. 東京, pp. 89-94, 2018
7. 清水 芳男. 成人において血尿をきたす鑑別疾患. 尿検査のみかた、考えかた. 中外医学社. 東京, pp. 195-198, 2018
8. 清水 芳男. 痛風. 歯科に押さえてほしい生活習慣病 Q&A 78. 富野 康日己編. デンタルダイヤモンド社. 東京, pp 81-89, 2018
9. 清水 芳男. 抗血小板薬・抗凝固薬服用患者への歯科治療時の注意点は？歯科に押さえてほしい生活習慣病 Q&A 78. 富野 康日己編. デンタルダイヤモンド社. 東京, pp 134-138, 2018

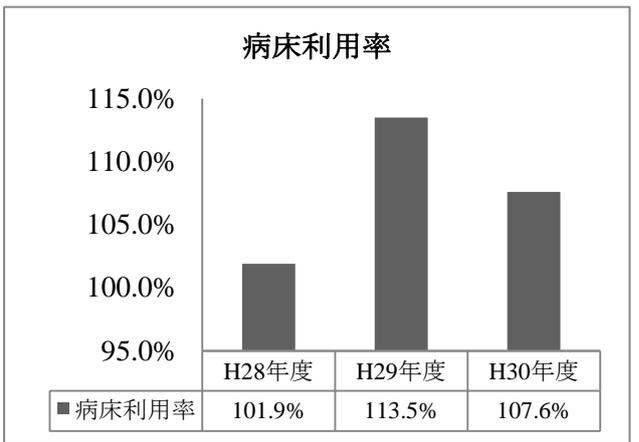
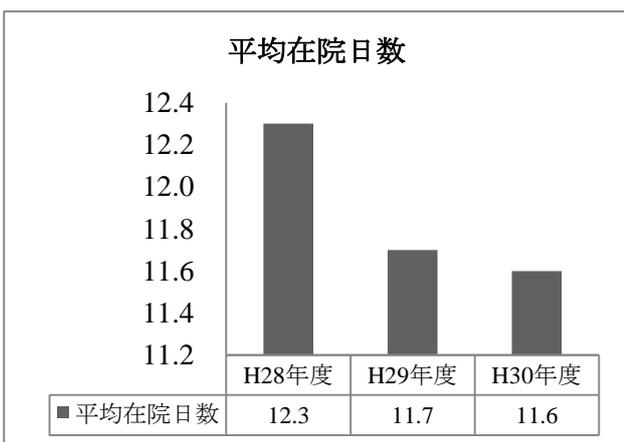
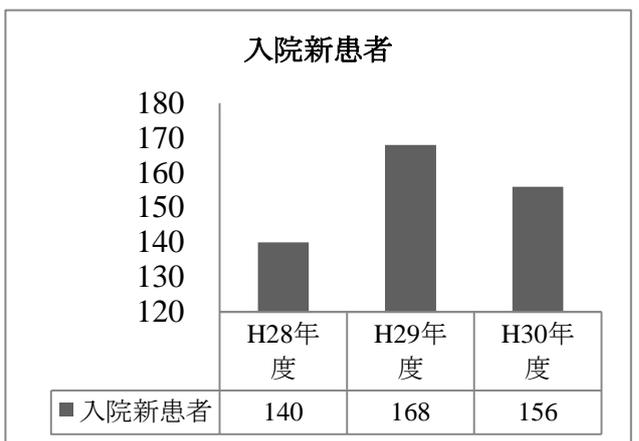
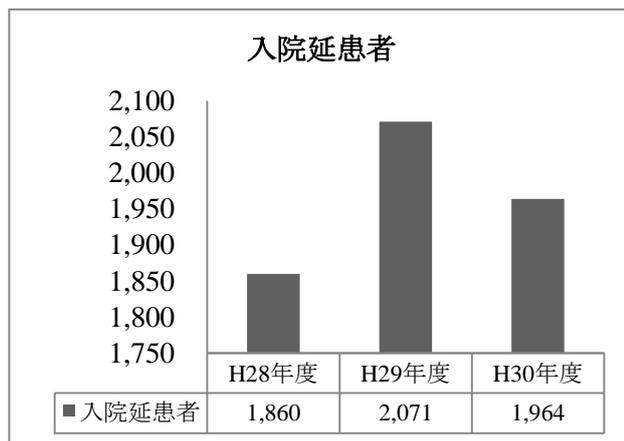
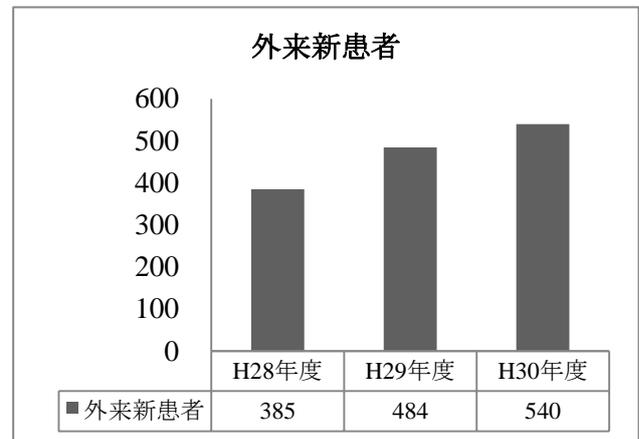
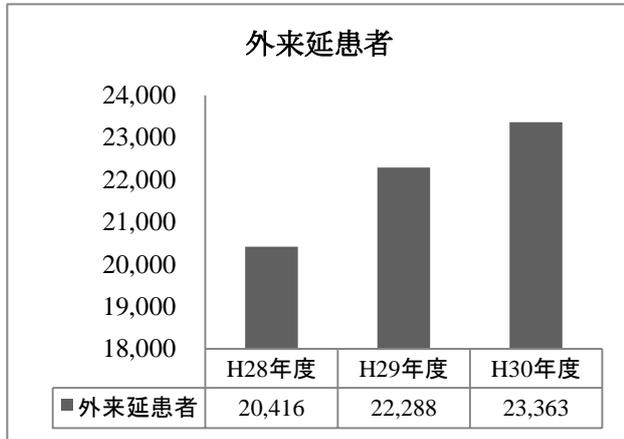
## 学会発表

1. 清水 芳男、桑澤 雅子、松山 容子、明樂 麻依子、原 一彰、若林 啓一、鈴木 祐介 非結核性抗酸菌症に合併したイムノタクトイド腎症の 1 例. 第 48 回日本腎臓学会東部学術大会. 2018 年 10 月 21 日. 京王プラザホテル
2. 原 一彰、若林 啓一、桑澤 雅子、明樂 麻依子、清水 芳男、鈴木 祐介. 筋萎縮性側索硬化症に合併した MPO-ANCA 陽性顕微鏡的多発血管炎の 1 例. 第 48 回日本腎臓学会東部学術大会. 2018 年 10 月 20 日. 京王プラザホテル
3. 若林 啓一、林 陽子、原 一彰、桑澤 雅子、松山 容子、戸塚 絢子、青山 留未、清水 芳男、鈴木 祐介.  
褐色細胞腫による二次性血栓性微小血管障害症(TMA)の一例. 第 48 回日本腎臓学会東部学術大会. 2018 年 10 月 20 日. 京王プラザホテル
4. 肥後 雅秀、中野 岳彦、高橋 和弘、尾藤 博康、久保田 京子、松山 容子、原 一彰、若林 啓一、清水 芳男. 低体温循環停止法と急性腎障害 (AKI) の関連. 第 63 回日本透析医学会学術総会. 2018 年 6 月 30 日. 神戸国際会議場
5. 清水 芳男、林 陽子、若林 啓一、原 一彰、富野 康日己、鈴木 祐介. 伊豆半島における慢性腎臓病患者の背景. 第 53 回日本成人病 (生活習慣病) 学術集会. 2019 年 1 月 12 日. 都市センターホテル
6. 河原 一剛、清水 芳男 他. 小児期より運動制限を継続してきた微小変化型ネフローゼ症候群に対

する運動療法の経験. 第29回サイコネフロロジー研究会. 2019年7月7日. 虎の門ヒルズ

## 2-6 糖尿病・内分泌内科

### 診療実績



## 研究・教育活動

### 英文原著

1. Miura M, et al. “Suppression of STAT3 signaling promotes cellular reprogramming into insulin-producing cells induced by defined transcription factors.” *EBioMedicine*. 2018 Oct;36:358-366.
2. Sugimoto D, et al. “Clinical Features of Nonobese, Apparently Healthy, Japanese Men With Reduced Adipose Tissue Insulin Sensitivity.” *J Clin Endocrinol Metab*. 2019 Jun 1;104(6):2325-2333.

### 学会発表

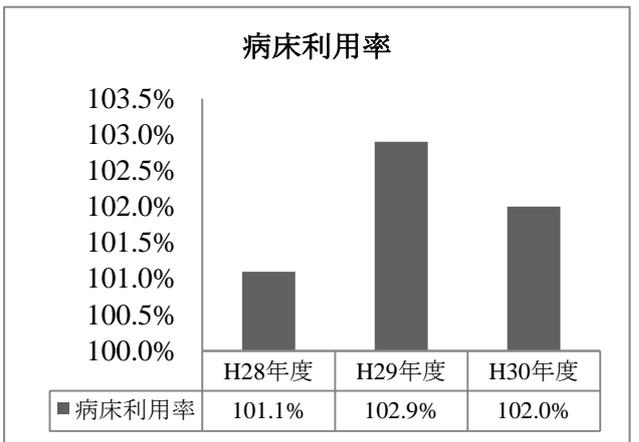
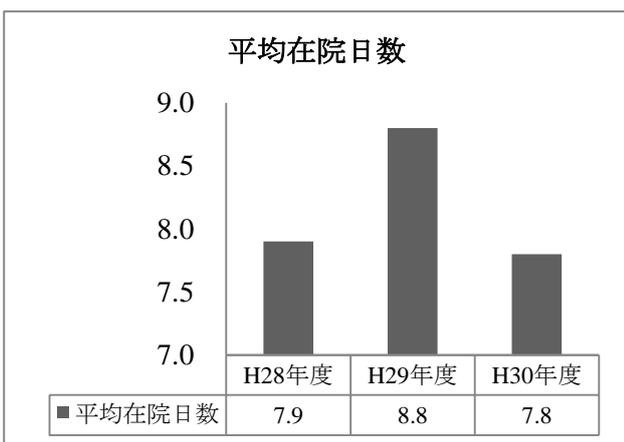
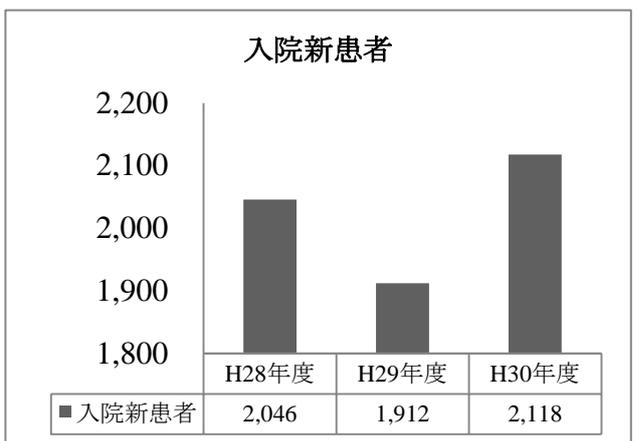
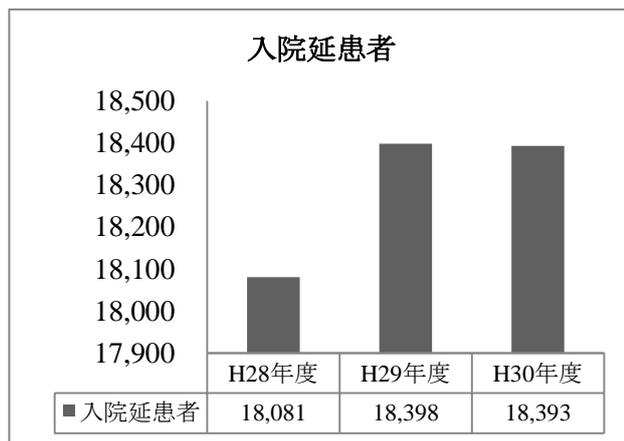
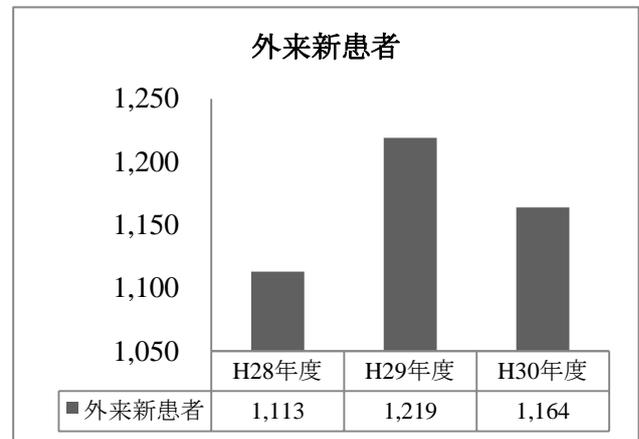
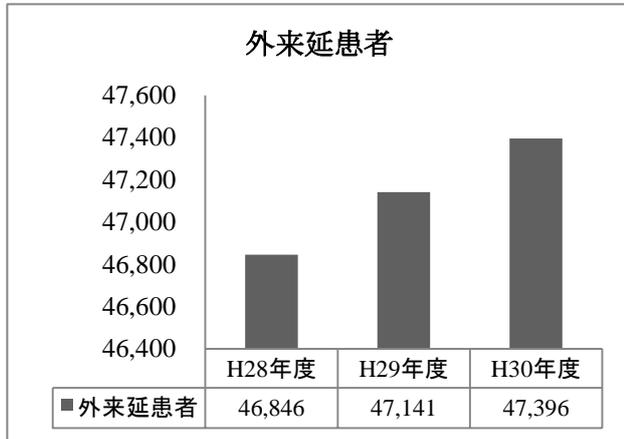
1. 木屋 舞, 他「頭部 MRI で異常所見を認めなかった糖尿病性舞蹈病の 1 例」第 237 回日本内科学会東海地方会, 三重県
2. 杉本 大介, 他「非肥満健常男性における脂肪組織におけるインスリン感受性の臨床的意義」第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会, 東京都, 2018.5.26, 口演
3. 池田 富貴 「進歩する CGM とインスリンポンプ」第 33 回日本糖尿病合併症学会, 第 24 回日本糖尿病眼学会, 東京都 (日本) , 2018.10.20, 教育講演
4. Fuki Ikeda et al. “Efficacy of Average Daily Risk Range (ADRR) to Estimate Glycemic Kinetics during Nighttime in Japanese Patients with Type 1 Diabetes Mellitus” American Diabetes Association 78<sup>th</sup> Scientific Sessions, Orlando. FL, June 23, 2018, Poster presentation
5. Masaki Miura et al. Suppression of STAT3 Signaling Promotes Acinar-to- $\beta$  Reprogramming Induced by Distinct Transcription Factors. American Diabetes Association 78<sup>th</sup> Scientific Sessions, Orlando. FL, June 25, 2018, Poster presentation
6. Daisuke Sugimoto et al. Clinical Significance of Insulin Sensitivity in Adipose Tissue in Apparently Healthy Nonobese Men. American Diabetes Association 78<sup>th</sup> Scientific Sessions, Orlando. FL, June 23, 2018, Poster presentation

### 市民公開講座

1. 池田 富貴 「糖尿病と合併症～いつまでも自分の足で元気に歩きましょう～」第 72 回市民公開講座 2018.11.28

## 2-7 循環器内科

### 診療実績



### 研究・教育活動

#### 英文原著

1. Watanabe H, Ozasa N, Morimoto T, Shiomi H, Bingyuan B, Suwa S, Nakagawa Y, Izumi C, Kadota K, Ikeguchi S, Hibi K, Furukawa Y, Kaiji S, Suzuki T, Akao M, Inada T, Hayashi Y, Nanasato M, Okutsu M,

Kametani R, Sone T, Sugimura Y, Kawai K, Abe M, Kaneko H, Nakamura S, Kimura T

Long-term use of carvedilol in patients with ST-segment elevation myocardial infarction treated with primary percutaneous coronary intervention.

PloS one. 2018

2. Iso T, Yanagawa Y, Takeuchi I, Suwa S

Concomitance Acute Cerebral Infarction and Remote Intra-Cerebral Hemorrhaging on Arrival.

Journal of emergencies, trauma, and shock. 2018 Apr-Jun

3. Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Shitara J, Endo H, Doi S, Konishi H, Naito R, Tsuboi S, Ogita M, Kasai T, Hassan A, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Daida H

Long-term clinical impact of serum albumin in coronary artery disease patients with preserved renal function.

Nutr Metab Cardiovasc Dis. 2018 Mar;28(3):285-290

4. Suda S, Kasai T, Matsumoto H, Shiroshita N, Kato M, Kawana F, Yatsu S, Murata A, Kato T, Hiki M, Chiang SJ, Miyazaki S, Daida H.

Prevalence and Clinical Correlates of Sleep-Disordered Breathing in Patients Hospitalized With Acute Decompensated Heart Failure.

Can J Cardiol. 2018 Jun;34(6):784-790.

5. Doi S, Iwata H, Wada H, Funamizu T, Shitara J, Endo H, Naito R, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Miyauchi K, Daida H

A novel and simply calculated nutritional index serves as a useful prognostic indicator in patients with coronary artery disease.

Int J Cardiol. 2018 Jul 1;262:92-98

6. Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Jun S, Endo H, Doi S, Konishi H, Naito R, Tsuboi S, Ogita M, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Daida H

Relationship between the prognostic nutritional index and long-term clinical outcomes in patients with stable coronary artery disease.

J Cardiol. 2018 Aug;72(2):155-161

7. Shoichiro Yatsu · Ryo Naito · Takatoshi Kasai · Hiroki Matsumoto · Jun Shitara · Megumi Shimizu · Azusa Murata · Takao Kato · Shoko Suda · Masaru Hiki · Eiryu Sai · Katsumi Miyauchi · Hiroyuki Daida

Influence of sleep-disordered breathing assessed by pulse oximetry on long-term clinical outcomes in patients who underwent percutaneous coronary intervention

Clin Res Cardiol. 2018 Aug;107(8):711-718.

8. Murata A, Kasai T, Matsue Y, Matsumoto H, Yatsu S, Kato T, Suda S, Hiki M, Takagi A, Daida H.

Relationship between blood urea nitrogen-to-creatinine ratio at hospital admission and long-term mortality in

patients with acute decompensated heart failure.

Heart Vessels. 2018 Aug;33(8):877-885.

9. Matsumoto H, Kasai T, Suda S, Yatsu S, Shitara J, Murata A, Kato T, Hiki M, Yanagisawa N, Fujibayashi K, Nojiri S, Nishizaki Y, Shinohara M, Daida H.

Randomized controlled trial of an oral appliance (SomnoDent) for sleep-disordered breathing and cardiac function in patients with heart failure.

Clin Cardiol. 2018 Aug;41(8):1009-1012.

10. Yukiko Matsumura-Nakano, Satoshi Shizuta, Akihiro Komasa, Takeshi Morimoto, Hisaki Masuda, Hiroki Shiomi, Koji Goto, Kentaro Nakai, Hisashi Ogawa, Atsushi Kobori, Yutaka Kono, Kazuaki Kaitani, Satoru Suwa, Takeshi Aoyama, Mamoru Takahashi, Yasuhiro Sasaki, Yuko Onishi, Toshiaki Mano, Mitsuo Matsuda, Makoto Motooka, Hirofumi Tomita, Moriaki Inoko, Takatoshi Wakeyama, Nobuhisa Hagiwara, Kengo Tanabe, Masaharu Akao, Katsumi Miyauchi, Junji Yajima, Keiichi Hanaoka, Yoshihiro Morino, Kenji Ando, Yutaka Furukawa. Yoshihisa Nakagawa, Koichi Nakao, Ken Kozuma, Kazushige Kadota, Takeshi Kimura Showless Authors

An Open-Label Randomized Trial Comparing Oral Anticoagulation with and without Single Antiplatelet Therapy in Patients with Artery Disease Beyond One Year after Coronary Stent Implantation: The OAC-ALONE Study

Circulation. 2018; Sep 24 2018 Originally published

11. Hashimoto T, Ako J, Nakano K, Ozaki Y, Kimura K, Noguchi T, Yasuda S, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Uematsu M, Hirota K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujuta K, Funayama H, Kokubo N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nakai M, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M.

Pre-Procedural Thrombolysis in Myocardial Infarction Flow in Patients with ST-Segment Elevation Myocardial Infarction.

International heart journal. 2018 Sep 26

12. Hiki M, Kasai T, Yatsu S, Murata A, Matsumoto H, Kato T, Suda S, Miyazaki T, Takagi A, Daida H. Relationship Between Serum Sodium Level Within the Low-Normal Range on Admission and Long-Term Clinical Outcomes in Patients with Acute Decompensated Heart Failure.

Int Heart J. 2018 Sep 26;59(5):1052-1058.

13. Endo H, Dohi T, Shitara J, Wada H, Doi S, Naito R, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Miyauchi K, Daida H

Impact of body mass index on long-term outcomes in Japanese patients following percutaneous coronary intervention: The Juntendo PCI Registry.

J Cardiol. 2018 Sep;72(3):208-214

14. Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Shitara J, Endo H, Doi S, Tsuboi S, Ogita M, Iwata H, Kasai T, Okazaki S,

Isoda K, Suwa S, Daida H.

Mean platelet volume and long-term cardiovascular outcomes in patients with stable coronary artery disease.  
*Atherosclerosis*.2018 Oct;277:108-112

15. Wada H, Dohi T, Kasai T, Yatsu S, Naito R, Kato Y, Okai I, Iwata H, Isoda K, Okazaki S, Miyauchi K, Daida H.

Culprit Plaque Characteristics in Patients With Sleep-Disordered Breathing Undergoing Percutaneous Coronary Intervention: An Intravascular Ultrasound Study.  
*J Am Heart Assoc*. 2018 Oct 2;7(19):e009826

16. Okura H, Saito Y, Soeda T, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Uematsu M, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Nishimura K, Miyamoto Y, Ishihara M.

Frequency and prognostic impact of intravascular imaging-guided urgent percutaneous coronary intervention in patients with acute myocardial infarction: results from J-MINUET.  
*Heart and vessels*. 2018 Nov 02

17. Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Daida H

Reply to: "Comment on "Mean platelet volume and long-term cardiovascular outcomes in patients with stable coronary artery disease" ".  
*Atherosclerosis*. 2018 Nov 14. pii: S0021-9150(18)31478-3

18. Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Endo H, Tsuboi S, Ogita M, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Daida H

Combined effect of nutritional status on long-term outcomes in patients with coronary artery disease undergoing percutaneous coronary intervention.  
*Heart Vessels*. 2018 Dec.;33(12):1445-1452

19. Shitara J, Ogita M, Wada H, Tsuboi S, Endo H, Doi S, Konishi H, Naito R, Dohi T, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Miyauchi K, Daida H

Clinical impact of high-sensitivity C-reactive protein during follow-up on long-term adverse clinical outcomes in patients with coronary artery disease treated with percutaneous coronary intervention.  
*J Cardiol*.2019 Jan;73(1):45-50

20. Dohi T, Kasai T, Endo H, Wada H, Yanagisawa N, Nojiri S, Funamizu T, Shitara J, Doi S, Kato Y, Okai I, Iwata H, Isoda K, Okazaki S, Miyauchi K, Daida H

CPAP effects on atherosclerotic plaques in patients with sleep-disordered breathing and coronary artery disease: The ENTERPRISE trial  
*J Cardiol*. 2019 Jan;73(1):89-93

## 海外学会発表

1. Takahashi N, Ogita M, Sonoda T, Tsuboi S, Suwa S

Successful rotational atherectomy for an angulated calcified lesion in an anomalous right coronary artery using the mother and child technique.

EUROPCR 2018 • Paris, France • 2018/5/22

2. Shoichiro Yatsu, Takatoshi Kasai, Hiroki Matsumoto, Shoko Suda, Nanako Shiroshita, Mitsue Kato, Fusae Kawana, Jun Shitara, Azusa Murata, Megumi Shimizu, Takao Kato, Masaru Hiki, Hiroyuki Daida

Utility of Cyclic Variation of Heart Rate Index as a Screening Tool for Sleep Disordered Breathing.

American Thoracic Society international conference 2018 • San Diego, United States • 2018/5/18-23

3. Shoichiro Yatsu, Ryo Naito, Takatoshi Kasai, Hiroki Matsumoto, Jun Shitara, Megumi Shimizu, Azusa Murata, Takao Kato, Shoko Suda, Masaru Hiki, Eiryu Sai, Katsumi Miyauchi, Hiroyuki Daida

Influence of sleep-disordered breathing assessed by pulse oximetry on long-term clinical outcomes in patients who underwent percutaneous coronary intervention

European Society of Cardiology • Munich • 2018/8/28

4. Shitara J, Kasai T, Miyauchi K, Endo H, Wada H, Doi S, Naito R, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Okazaki S, Isoda K, Daida H

Differing efficacy of beta blockers on long-term clinical outcomes between ischemic heart failure patients with reduced and mid-range ejection fraction following percutaneous coronary intervention.

European Society of Cardiology • Munich • 2018/8/28

5. Iso T, Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Shitara J, Endo H, Doi S, Tsuboi S, Ogita M, Iwata H, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Daida H

Mean platelet volume and long-term cardiovascular outcomes in patients with stable coronary artery disease.

American Heart Association's Scientific Sessions 2018 • Chicago • 2018/11/10

6. Wada H, Ogita M, Suwa S, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita Y, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M

Guideline adherence and long-term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction: Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) Substudy.

American Heart Association's Scientific Sessions 2018 • Chicago • 2018/11/10

7. Hideki Wada, Tomotaka Dohi, Katsumi Miyauchi, Takatoshi Kasai, Shoichiro Yatsu, Ryo Naito, Yoshiteru Kato, Iwao Okai, Shinya Okazaki, Hiroyuki Daida

Culprit plaque characteristics in patients with sleep disorder breathing undergoing percutaneous coronary intervention: An intravascular ultrasound study.

American Heart Association's Scientific Sessions 2018 • Chicago • 2018/11/10

8. Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Takeuchi M, Endo H, Ogita M, Suwa S, Daida H

Combined effect of nutritional status on long-term outcomes in patients with coronary artery disease undergoing percutaneous coronary intervention.

American Heart Association's Scientific Sessions 2018 • Chicago • 2018/11/11

9. Takahashi N, Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Takeuchi M, Endo H, Ogita M, Suwa S, Daida H

Pre-Procedural Neutrophil to Lymphocyte Ratio on Long-Term Clinical Outcomes in Coronary Artery Disease Patients With Low High-Sensitivity C-Reactive Protein Level.

American Heart Association's Scientific Sessions 2018 • Chicago • 2018/11/11

10. Takeuchi M, Ogita M, Tsuboi S, Takahashi N, Sonoda T, Wada H, Suwa S, Daida H

Impact of Living Alone on Long-Term Mortality in Patients With Acute Coronary Syndrome Treated With Percutaneous Coronary Intervention.

American Heart Association's Scientific Sessions 2018 • Chicago • 2018/11/11

11. Nishio R, Takahashi N, Ogita M, Yasuda K, Takeuchi M, Iso T, Sonoda T, Yatsu S, Wada H, Shiozawa T, Tsuboi S, Suwa S, Daida H

Clinical characteristics and long-term outcomes in patients with acute coronary syndrome during the trip  
European Society of Cardiology • Malaga-Spain • 2019/3/2-4

12. Wada H, Ogita M, Suwa S, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M

Impact of myocardial infarction on long-term mortality in a contemporary Japanese cohort of patients with acute myocardial infarction: Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) Substudy

European Society of Cardiology • Malaga-Spain • 2019/3/2-4

### 国内学会発表

1. 阿部 寛史、坪井 秀太、荻田 学、竹内 充裕、藤原 圭、高橋 徳仁、海老名 秀城、園田 健人、磯 隆史、塩澤 知之、小西 宏和、諏訪 哲

ステント使用を回避し得た STEMI 患者の症例

日本心血管インターベンション治療学会第 39 回東海北陸地方会 • 愛知 • 2018/5/12

2. 和田 英樹、宮内 克己、代田 浩之

脂質管理の二次予防 心血管疾患のコレステロール管理

日本心血管脳卒中学会・東京・2018/6/16

3. 藤原 圭、高橋 徳仁、竹内 充裕、園田 健人、海老名 秀城、磯 隆史、塩澤 知之、小西 宏和、坪井 秀太、荻田 学、諏訪 哲

特発性冠動脈解離により心室細動を来した一例

第 151 回日本循環器学会東海地方会・岐阜・2018/6/30

4. 西尾 亮太、土井 信一郎、岡崎 真也、船水 岳大、宮崎 彩記子、土肥 静之、桑木 健次、稲田 英一、天野 篤、代田 浩之

重度慢性閉塞性肺疾患、両側総腸骨動脈ステント留置後に対して麻酔およびアプローチ法をハートチームで熟考し経カテーテル的大動脈弁植え込み術を施行した 1 例

第 9 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会・大阪・2018/7/8

5. Shoichiro Yatsu, Takatoshi Kasai, Hiroki Matsumoto, Shoko Suda, Nanako Shiroshita, Mitsue Kato, Fusae Kawana, Jun Shitara, Azusa Murata, Megumi Shimizu, Takao Kato, Masaru Hiki, Hiroyuki Daida

睡眠時無呼吸スクリーニングにおける Cyclic Variation of Heart Rate (CVHR) の有用性

第 43 回日本睡眠学会・札幌・2018/7/11-13

6. Hideki Wada, Tomotaka Dohi, Katsumi Miyauchi, Takatoshi Kasai, Shoichiro Yatsu, Ryo Naito, Yoshiteru Kato, Iwao Okai, Shinya Okazaki, Hiroyuki Daida.

Culprit plaque characteristics in patients with sleep disorder breathing undergoing percutaneous coronary intervention: An intravascular ultrasound study.

日本心血管インターベンション治療学会・兵庫・2018/8/4

7. 堂垂 大志、坪井 秀太、竹内 充裕、高橋 徳仁、園田 健人、和田 英樹、荻田 学、土肥 智貴、諏訪 哲、宮内 克己、代田 浩之

当院における急性冠症候群の臨床的特徴と長期予後に関する研究

第 66 回日本心臓病学会学術集会・大阪・2018/9/7

8. 高橋 徳仁、荻田 学、諏訪 哲、中尾 浩一、尾崎 行男、木村 一雄、阿古 潤哉、野口 暉夫、安田 聡、藤本 和輝、中間 泰治、西村 邦宏、宮本 恵宏、小川 久雄、石原 正治

クレアチンキナーゼの上昇を認めない非 ST 上昇型急性心筋梗塞の患者における BNP 値と長期予後についての検討 (J-MINUET サブ解析)

第 66 回日本心臓病学会学術集会・大阪・2018/9/7

9. Shoichiro Yatsu, Takatoshi Kasai, Hiroki Matsumoto, Shoko Suda, Nanako Shiroshita, Mitsue Kato, Fusae Kawana, Jun Shitara, Azusa Murata, Megumi Shimizu, Takao Kato, Masaru Hiki, Hiroyuki Daida

睡眠呼吸障害スクリーニングとしての Cyclic Variation of Heart Rate (CVHR) の一般化

第 66 回日本心臓病学会・大阪・2018/9/7-9

10. 谷津翔一郎, 内藤亮, 葛西隆敏, 松本紘毅, 設楽準, 清水めぐみ, 村田梓, 加藤隆生 須田翔子, 比企優, 蔡栄龍, 宮内克己, 代田浩之

パルスオキシメーターで評価した睡眠呼吸障害と冠動脈疾患患者の長期予後との関連

第 66 回日本心臓病学会・大阪・2018/9/7-9

11. 谷津翔一郎, 葛西隆敏, 松本紘毅, 設楽準, 清水めぐみ, 村田梓, 加藤隆生 須田翔子, 比企優, 高木篤俊, 代田浩之

急性非代償性心不全で入院した患者における低アルブミン血症と予後との関連

第 66 回日本心臓病学会・大阪・2018/9/7-9

12. 和田 英樹, 土肥 智貴, 葛西 隆敏, 谷津 翔一郎, 内藤 亮, 華藤 芳輝, 荻田 学, 岡井 巖, 岩田 洋, 磯田 菊生, 岡崎 真也, 諏訪 哲, 宮内 克己, 代田 浩之

睡眠呼吸障害を有する患者の冠動脈プラークの特徴

第 66 回日本心臓病学会学術集会・大阪・2018/9/9

13. 西尾 亮太, 土井 信一郎, 船水 岳大, 遠藤 裕久, 宮崎 彩記子, 岡崎 真也, 代田 浩之

心室中部閉塞性肥大型心筋症に PTSMa を施行した際、中隔枝の ablation に難渋した 1 例

ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション 2018・岡山・2018/9/28-29

14. 谷津翔一郎, 葛西隆敏, 松本紘毅, 設楽準, 清水めぐみ, 村田梓, 加藤隆生 須田翔子, 比企優, 代田浩之

心不全患者における 夜間の動脈スティフネスの変化

第 22 回日本心不全学会・東京・2018/10/11-13

15. 谷津 翔一郎, 小西 宏和, 和田 英樹, 安田 健太郎, 西尾 亮太, 竹内 充裕, 高橋 徳仁, 園田 健人, 磯 隆史, 塩澤 知之, 荻田 学, 諏訪 哲

冠動脈高度石灰化病変の治療中にステント脱落を来したがスネアで回収に成功した一例

日本心血管インターベンション治療学会 第 40 回東海北陸地方会・静岡県・2018/10/12

16. 安田 健太郎, 小西 宏和, 和田 英樹, 西尾 亮太, 竹内 充裕, 谷津 翔一郎, 園田 健人, 磯 隆史, 塩澤 知之, 荻田 学, 諏訪 哲

腹部大動脈閉塞による急性下肢阻血に対しカテーテル治療を行い救肢し得た一例

日本心血管インターベンション治療学会 第 40 回東海北陸地方会・静岡県・2018/10/12

17. 中村 優, 高橋 徳仁, 荻田 学, 西尾 亮太, 安田 健太郎, 竹内 充裕, 園田 健人, 磯 隆史, 谷津 翔一郎, 和田 英樹, 塩澤 知之, 丹原 圭一, 諏訪 哲

失神を契機に同定された多発性嚢胞腎に合併した巨大冠動脈瘤の 1 例

日本循環器学会 第 152 回東海・第 137 回北陸合同地方会・愛知県・2018/10/20

18. 和田 英樹, 土肥 智貴, 宮内 克己, 竹内 充裕, 高橋 徳仁, 遠藤 裕久, 荻田 学, 諏訪

哲、代田 浩之

冠動脈疾患を有する患者における血清アルブミン値と長期予後の関連についての検討

第 53 回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会・東京都・2019/1/12

19. Wada H, Dohi T, Miyauchi K, Kato Y, Ogita M, Okai I, Iwata H, Okazaki S, Isoda K, Shimada K, Suwa S, Daida H

Impact of serum 1,5-anhydro-d-glucitol level on prediction of severe coronary artery calcification: An intravascular ultrasound study

第 83 回日本循環器学会学術集会・神奈川県・2019/3/29

20. Takeuchi M, Ogita M, Tsuboi S, Takahashi N, Sonoda T, Wada H, Dohi T, Suwa S, Daida H

Impact of living alone on long-term mortality in patients with acute coronary syndrome treated with percutaneous coronary intervention.

第 83 回日本循環器学会学術集会・神奈川県・2019/3/29

21. Nishio R, Wada H, Dohi T, Takeuchi M, Takahashi N, Endo H, Ogita M, Iwata H, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Miyauchi K, Daida H

Neutrophil to lymphocyte ratio and long-term cardiovascular outcomes in coronary artery disease patients with low high-sensitivity C-reactive protein level

第 83 回日本循環器学会学術集会・神奈川県・2019/3/30

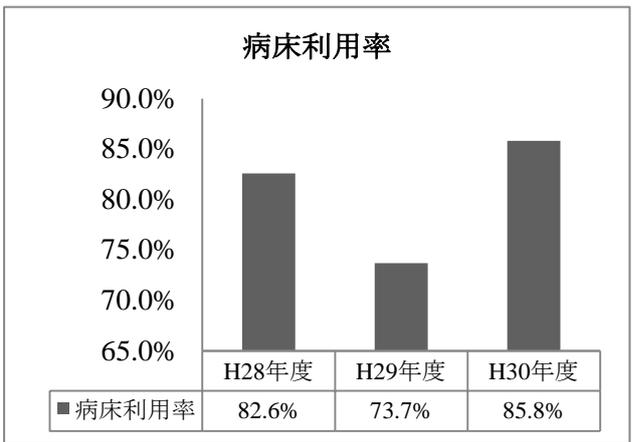
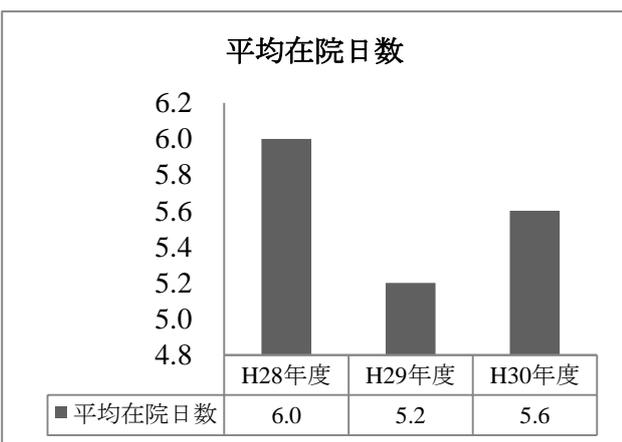
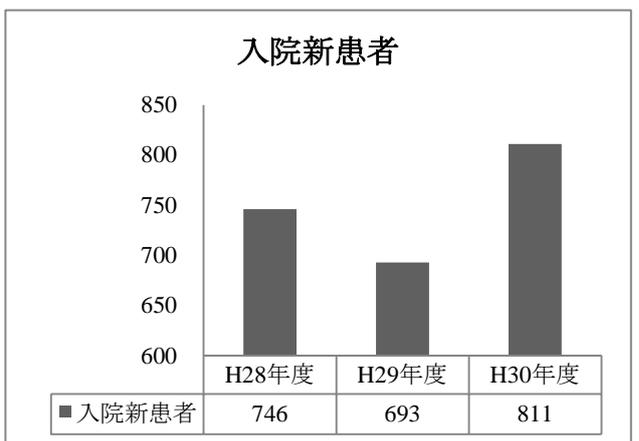
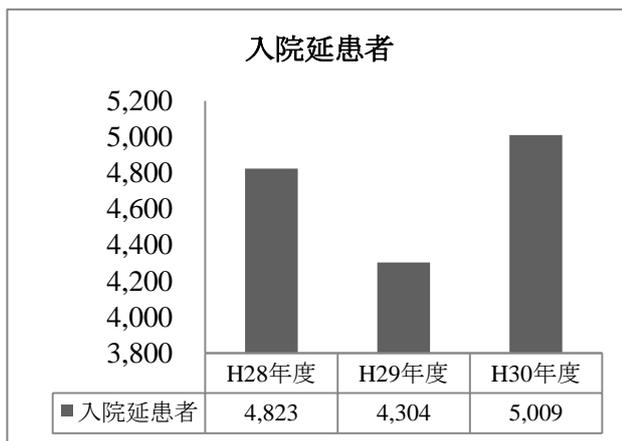
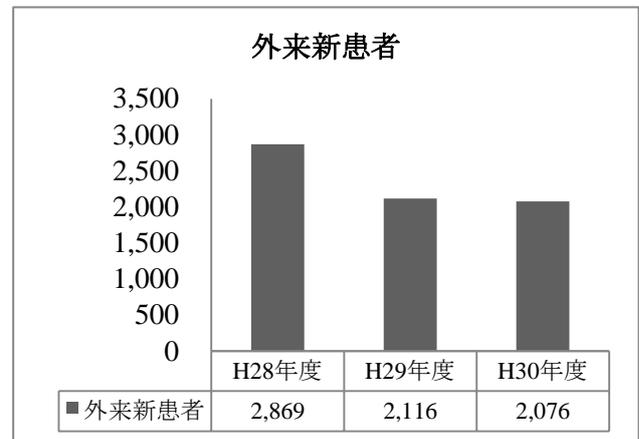
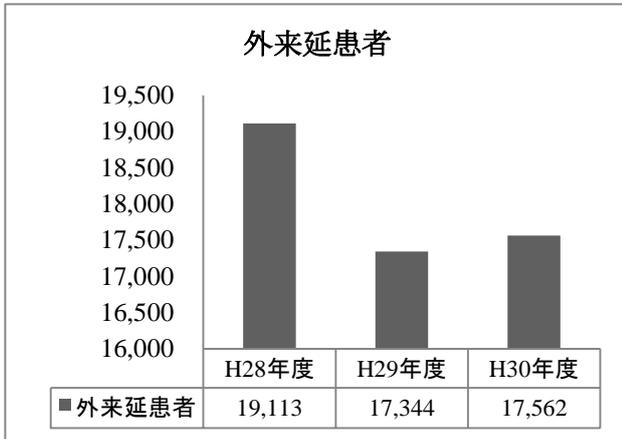
22. Wada H, Ogita M, Suwa S, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita Y, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M

Guideline adherence and long-term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction: Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) Substudy.

第 83 回日本循環器学会学術集会・神奈川県・2019/3/31

## 2-8 小児科

### 診療実績



### 研究・教育活動

#### 原著

1. Kantake M. Simple, Rapid and Effective Separation of Nuclear Red Blood Cells from Peripheral Blood od

Pregnant Women: A preliminary study. Biomed J Sci & Tech Res ; 3: 000907 2018

2. Kantake M. The Origin of CD45+CD71- Cells Enriched by MACS Technology.. Biomed J Sci & Tech Res ; 8: 001648 2018
3. Nishizaki N, Obinata K, Kantake M, Yoshida N, Ohtomo Y, Nijjima S, Yanagisawa N, Nishizaki Y, Shoji H, Shimizu T. Association between the frequency of bedwetting and late preterm birth in children aged  $\geq 5$  years. Acta Paediatr 10; 14481 2018
4. Baba Y, Yamada H, Yoneyama T, Yokokura T, Yamazaki S, Inage E, Mori M, Ohtsuka Y, Kantake M and Shimizu T. Biological effect of IL-33R/ST2 in atopic asthmatic children; serum IL-33 changes by administration of omalizumab. J Allergy Clin Immunol ; 141; AB227 2018
5. 馬場洋介、大塚宜一、寒竹正人、清水俊明 小児アレルギー疾患における IL-33/ST2 の測定の意義 アレルギーの臨床 38(2) 192-195 2018年2月
6. 岩崎卓郎、有井直人、馬場洋介、有井みのる、大川夏紀、寒竹正人、清水俊明 小児患者に対するドクターヘリの利用状況 日本小児科学会雑誌 122: 1700-1707 2018
7. 西山樹、馬場洋介、宮林和紀、山田啓迪、大塚宜一、寒竹正人、清水俊明 重症食物アレルギーにおける IL33/ST2 応答の検討 アレルギーの臨床 38 巻9号 Page905-909 2018
8. 田所愛弓、西崎直人 反復性尿路感染症と昼間尿失禁があったものの診断に至るまで時間を要した異所性尿管の女児例 夜尿症研究 23:45-49. 2018

## 講演

1. Kantake M Prevention and treatment of induced hypothalamus-pituitary-adrenal dysfunction in preterm infants. 28th World Congress on Neonatology & Diagnosis. Amsterdam Netherland 2018. 12. 6.
2. 寒竹正人 分子生物学（ジェネティクスとエピジェネティクス）を用いてこどもの発達を理解しよう—新生児科医のよろこび— 第11回新生児科指導医教育セミナー in 仙台 2018. 8. 18.
3. 有井直人 子供の成長とその障害について 眠りのはなし ファイザー株式会社MR勉強会 伊豆の国 2018.7.2
4. 有井直人 ビタミンD 2018年青木クリニック講演会 伊東 2018.10.23
5. 有井直人 子どもの成長とその障害 病院受診のタイミング 熱海市子どもの成長啓発セミナー 熱海 2018.7.21.5
6. 有井直人 子どもの成長とその障害 成長曲線からみる医療施設受診のタイミング 第18回静岡県東部こども健康セミナー 三島 2018.11.10
7. 有井直人 小児のけいれん 済生会川口総合病院 小児の健康教室 川口 2018.11.14
8. 有井直人 当院における小児てんかんの診療 第一三共社内研修 三島 2018.12.10
9. 馬場洋介 こどもの食物アレルギーのはなし 順天堂大学医学部附属静岡病院第67回市民公開講座 2018.5.17

## 学会発表

1. Kantake M. Postnatal relative adrenal insufficiency results in methylation of the glucocorticoid receptor gene in preterm infants. 28th World Congress on Neonatology & Diagnosis. Amsterdam. Netherland 2018. 12. 6.
2. Yosuke Baba, Hiromichi Yamada, Toshiyuki Yoneyama, Tomoaki Yokokura, Susumu Yamazaki, Eisuke

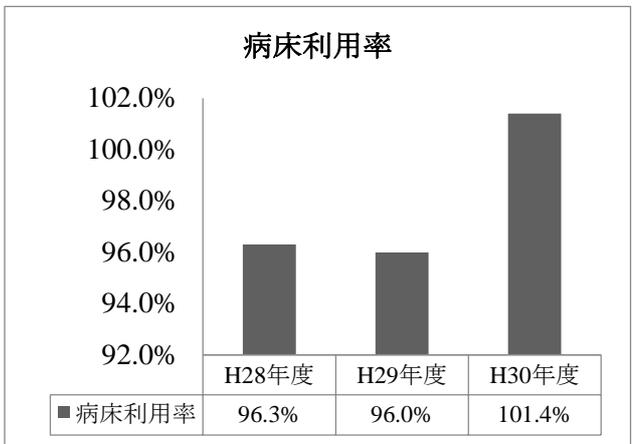
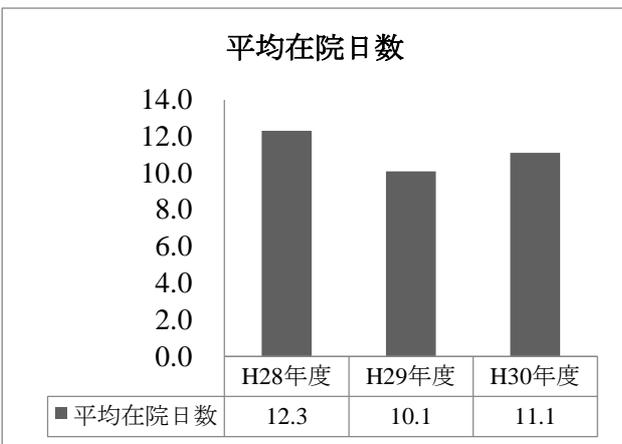
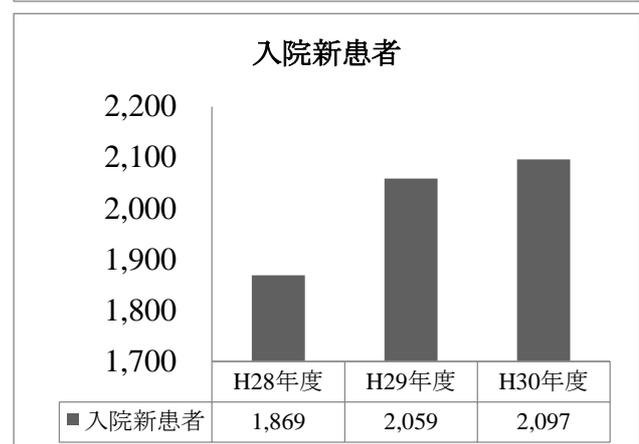
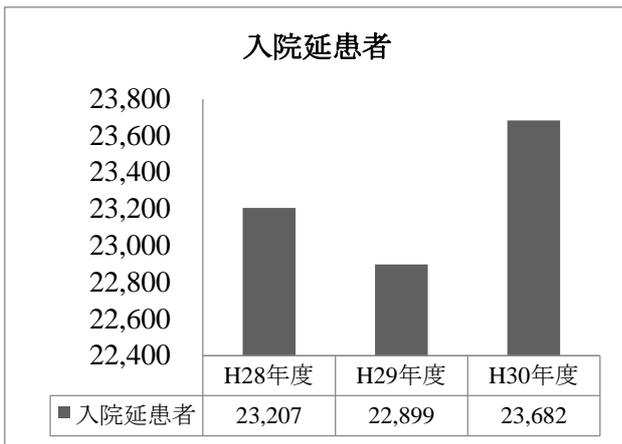
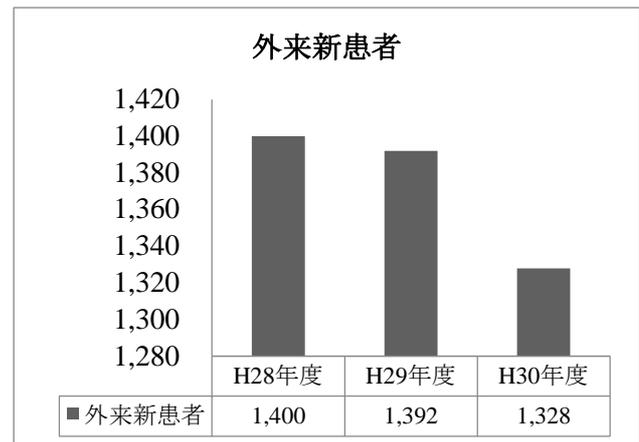
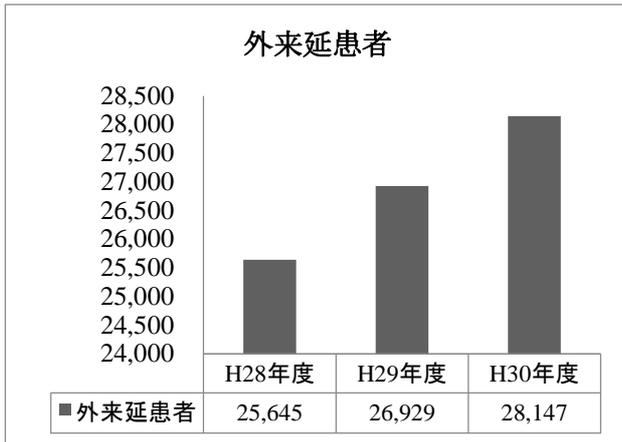
Inage, Mari Mori, Yoshikazu Ohtsuka, Masato Kantake, Toshiaki Shimizu Biological effect of IL-33R/ST2 in atopic asthmatic children; serum IL-33 changes by administration of omalizumab The 74th Annual Meeting of American Academy of Allergy Asthma and Immunology, Orland, FL, United States 2018.3.4

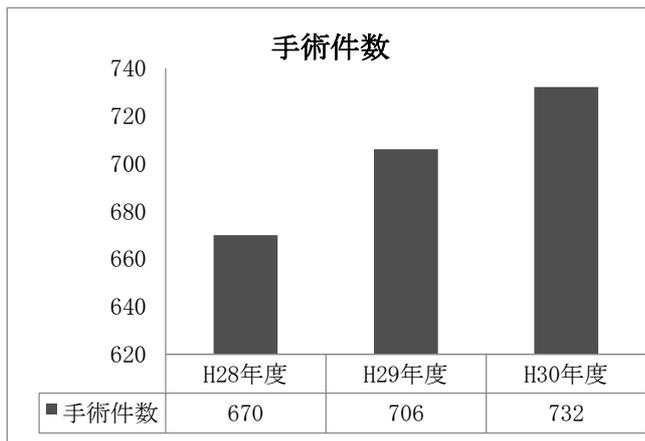
3. 馬場洋介、宮林和紀、山田啓迪、山崎晋、有井直人、寒竹正人、清水俊明 小児気管切開患者におけるアトピー素因の検討 第 51 回日本小児呼吸器学会、札幌 2018.9.29
4. Yosuke Baba, Mayuki Kojima, Hiromichi Yamada, Toshiyuki Yoneyama, Tomoaki Yokokura, Susumu Yamazaki, Asuka Honjo, Eisuke Inage, Mari Mori, Yoshikazu Ohtsuka, Masato Kantake, Toshiaki Shimizu Role of IL33 and IL1RL1/ST2 in infantile asthma 第 55 回日本小児アレルギー学会学術大会 2018.10.21
5. 田所愛弓、西崎直人、原太一 夜尿症患者・保護者による想定外の DDAVP の服用法が判明した 3 例 第 29 回日本夜尿症学会学術集会 2018.7.14
6. 松田明奈、馬場洋介、山田啓迪、山崎晋、有井直人、寒竹正人、清水俊明 乳幼児喘息における IL-1RL1/ST2 の役割 第 121 回日本小児科学会学術集会 福岡 2018.4.22
7. 中道伸彰、八田京子、細澤麻里子、中村明雄、三友聡美、岩崎友弘、吉川尚美、田中恭子、清水俊明 小児身体症状症の児の心理社会的因子の検討：正常コントロールとの比較 第 36 回日本小児心身医学会学術集会 大宮 2018.9.8
8. 西山樹、馬場洋介、松田明奈、田所愛弓、嶋泰樹、有井直人、寒竹正人 牛乳による食物アレルギー重症例の検討 第 145 回日本小児科学会静岡地方会、静岡 2018.3.25
9. 西山樹、馬場洋介、宮林和紀、山田啓迪、米山俊之、横倉友諒、山崎晋、稲毛英介、森真理、大塚宜一、寒竹正人、清水俊明 重症食物アレルギーにおける IL33/ST2 応答の検討 第 67 回日本アレルギー学会学術大会 千葉 2018.6.24
10. 徳島香央里、赤川梨子、森下俊真、笠井悠里葉、原太一、庄野哲夫、織田久之、新妻隆広、鈴木恭子、大日方薫 成長障害を契機に診断に至った大動脈炎症候群の 1 例 第 210 回日本小児科学会千葉地方会 千葉大学 2018.6.10
11. 森下俊真、松島奈穂、原太一、村田健介、石原唯史、庄野哲夫、織田久之、鈴木恭子、新妻隆広、大日方薫 急性巣状細菌性腎炎に合併した可逆性脳梁膨大部病変を伴う脳症の一例 第 32 回日本小児救急医学会 つくば国際会議場 2018.06.03
12. 阿部華子、田所愛弓、森下俊真、栗田健太郎、馬場洋介、有井直人、寒竹正人 ACTH 療法により速やかに発作の消失を認めた West 症候群の一例 第 147 回日本小児科学会静岡地方会 2018.11.18

## その他

1. 馬場洋介 子供のアレルギーについて ラジオ (HAPPY KINGDOM いずのくに、FM いずのくに) 2018.9.16

診療実績





## 研究・教育活動

### 英文原著

1. Shinya Munataka, Yuta Murai, Akihiro Koizumi, Hisaki Kato, Riku Yamamoto, Shuhei Ueda, Satoshi Tokuda, Shunsuke Sakuraba, Satoshi Tokuda, Tomoyuki Kushida, Mutsumi Sakurada, Hiroshi Maekawa, Koichi Sato : Long- tern outcomes of colorectal cancer patients with and without malignant large-bowel obstruction :ISSN1758-194X
2. Hajime Orita, Shoji Koshiba, Tomoyuki Kushida, Mutsumi Sakurada, Hiroshi Maekawa, Ryo Wada, Koichi Sato: Maintenance Therapy for Elderly Colorectal Cancer Patients with Bevacizumab: Single Center Experience. Journal of Cancer Research, 2018; 1(1); 1-6
3. Akihiro Koizumi, Hajime Orita, Tomoyuki Kushida, Mutsumi Sakurada, Hiroshi Maekawa, Ryo Wada, Koichi Sato : Mucinous cystadenoma of the Appendix resected by laparoscopic operation with non-touch isolation: International of Case of Reports and Images, Vol.9,2018 ISSN0976-3198
4. Shinya Munakata, Yuta Murai, Akihiro Koizumi, Hisaki Kato, Riku Yamamoto, Shuhei Ueda, Satoshi Tokuda, Shunsuke Sakuraba, Hiroshi Maekawa, Koichi Sato : Abdominoperineal resection for unexpected distal intramural spreading of rectal cancer: Case of Reports in gastroenterology : DOI:10.1159/000490043 , Vol.12, 2018 / 09
5. Hisaki Kato, Shinya Munakata, Kazuhiro Sakamoto, Kiichi Sugimoto, Riku Yamamoto, Shuhei Ueda, Satoshi Tokuda, Shunsuke Sakuraba, Tomoyuki Kushida, Hajime Orita, Mutsumi Sakurada, Hiroshi Maekawa, Koichi Sato: Impact of Left Colonic Artery Preservation Anastomotic Leakage in Laparoscopic Sigmoid Resection and Anterior Resection for Sigmoid and Rectosigmoid Colon Cancer, Doi.org/10.1007/s12029-018-0126-z, 2018/07
6. Shinya Munakata, Yuta Murai, Akihiro Koizumi, Hisaki Kato, Riku Yamamoto, Shuhei Ueda, Satoshi Tokuda, Shunsuke Sakuraba, Tomoyuki Kushida, Hajime Orita, Mutsumi Sakurada, Hiroshi Maekawa,

- Koichi Sato: Mixed Neuroendocrine Carcinoma and Squamous Cell Carcinoma of the Colon: Case Report and Literature Review, Case reports in gastroenterology , DOI 10.1159/000488194, Vol.12, 2018/09
7. Shunsuke Sakuraba , Hajime Orita , Hiroshi Maekawa, Michael Gibson: Laparoscopic Endoscopic Cooperative Surgery: Current Status and Perspective, Gastric Cancer an update, doi:10.5772/intechopen.76983, 2018/11
  8. Kiichi Sugimoto, Tomoaki Ito, Juhyung Woo, Ellen Tully, Koichi Sato, Hajime Orita, Malcolm V. Brock, Edward Gabrielson : Prognostic Impact of Phosphorylated Discoindin Domain Receptor-1 in Esophageal Cancer : ELSEVIER, doi.org/10.1016/j.jss.2018.10.032 , 2019/3
  9. Li DC, Hulbert A, Waldbaum B, Ober C, Hooker CM, Ito T, Huang P, Yang SC, Perry -Parrish C, Brock MV : Endoscopic thoracic sympathectomy for primary focal hyperhidrosis: impact in psycho-social symptomatology and psychotropic medication use.: doi:10.1093/ejcts/ezy211. 2018/11
  10. Komatsu Y, Hoppo T, Zaidi AH, Matsui D, Martin SA, Lloyd EJ, Kosovec JE, Civitarese AA, Boyd NH, Shetty A, Omstead AN, Smith E, Jobe BA: Sep70/pepsin expression in hypopharynx combined with hypopharyngeal Multichannel intraluminal impedance increases diagnostic sensitivity of laryngopharyngeal reflux: doi:10.1007/s00464-017-5943-9, 2018/05
  11. Tokuda S, Sakuraba S, Orita H, Sakurada M, Kushida T, Maekawa H, Sato K: Aneurysms of Pancreaticoduodenal Artery due to Median Arcuate Ligament Syndrome, Treated by Open Surgery and Laparoscopic Surgery: doi:10.1155/2019/1795653. 2019/01
  12. Hiroshi Maekawa, Koichi Sato: Efficacy of Adjuvant Chemotherapy for Fatty Acid Synthase-Positive and Negative Distal Bile Duct Cancer and Ampullary Cancer: A Retrospective Analysis, Journal of Cancer Science & Therapy, ISSN:1948-5956, 2019/02
  13. Tomoaki Ito, Kiichi Sugimoto, Alicia Hulbert, Chen Chen, Hajime Orita, Masahiro Maeda, Hiroshi Moro, Takeo Fukagawa, Toshikazu Ushijima, Hitoshi Katai, Ryo Wada, Koichi Sato, Kazuhiro Sakamoto, Wayne Yu, Michael Considine, Leslie Cope, Malcolm V. Brock: DNA methylation genome-wide analysis in remnant and primary gastric cancers. Gastric Cancer: 12 March 2019 <https://doi.org/10.1007/s10120-019-00949-5>

## 国内学会

1. 田中顕一郎、清水秀穂、前川博、佐藤浩一、和田了、齊藤光江：骨髄抑制を来し治療に難渋した、炎症性乳癌、椎骨転移の1例.第26回日本乳癌学会学術総会（京都、国立京都国際会館）2018.5.16
2. 清水 秀穂、田中 顕一郎、前川 博、佐藤 浩一、和田 了、齊藤 光江：当院における FEC100 療法でのペグフィルグラスチム(1 次的予防)の使用経験.（京都、国立京都国際会館）第 26 回日本乳癌学会総会、2018.5.16

3. 氷室貴規：浸潤性小葉癌の予後因子についての検討. (京都、国立京都国際会館) 第 26 回日本乳癌学会学術総会 2018.5.17
4. 村井勇太、田中顕一郎、清水秀穂、前川博、佐藤浩一、和田了、齊藤光江：モーズ軟膏と放射線治療法の併用で腫瘍の著明な縮小を認めた高齢の皮膚浸潤乳癌の 1 例. (京都、国立京都国際会館) 第 26 回日本乳癌学会学術総会 2018.5.18
5. 村井勇太、前川博、小泉明博、加藤氷記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、宗像慎也、折田創、櫛田知志、櫻田睦、田中顕一郎、佐藤浩一：妊娠 合併急性腭炎に対して緊急帝王切開術後に保存的治療にて救命し得た 1 例 (東京、虎ノ門ヒルズフォーラム) 第 43 回日本外科系連合学会学術集会,2018.6.22
6. 徳田智史、村井勇太、小泉明博、加藤永記、山本陸、上田脩平、徳田智史、櫻庭駿介、氷室貴規、折田創、櫛田知志、櫻田睦、前川博、和田了、佐藤浩一：多臓器浸潤を伴う巨大後腹膜腫瘍に対し手術を施行し得た 1 例 (東京、虎ノ門ヒルズフォーラム) 第 43 回日本外科系連合学会学術集会,2018.6.22
7. 宗像慎也、村井勇太、小泉明博、加藤永記、山本陸、上田脩平、徳田智史、櫻庭駿介、折田創、櫛田知志、櫻田睦、前川博、佐藤浩一：閉塞性大腸癌の長期成績. (虎ノ門ヒルズフォーラム) 第 43 回日本外科系連合学会学術集会、2018.6.22
8. 山本陸、加藤永記、上田脩平、徳田智史、櫻庭駿介、氷室貴規、宗像慎也、折田創、櫛田知志、櫻田睦、前川博、和田了、佐藤浩一：S 状結腸癌と前立腺癌の重複癌を術後病理検査で診断し得た一 (東京、虎ノ門ヒルズフォーラム) 第 43 回日本外科系連合学会,2018.6.23
9. 櫻庭駿介：胃癌細胞における極長鎖脂肪酸の検討 (鹿児島、かごしま県民交流センター) 第 73 回日本消化器外科学会総会,2018.7.11
10. 前川博：遠位胆管癌、乳頭部癌の病理組織学的因子と術後補助化学療法の効果についての検討 (鹿児島、かごしま県民交流センター) 第 73 回日本消化器外科学会総会,2018.7.13
11. 朝倉孝延：順天堂大学医学部附属静岡病院におけるオプジーボ治療の経験 (静岡、静岡県東部がん免疫療法セミナー) 2018.7.6
12. 山本陸、村井勇太、小泉明博、加藤氷記、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、朝倉孝延、折田創、櫛田知志、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、和田了、佐藤浩一：Pagetoid を呈した若年性乳癌の一例 (愛知、三重大学病院) 日本乳癌学会中部地方学会 2018.9.8
13. 小泉明博、前川博、徳田智史、佐藤浩一：肝細胞癌縦隔再発の 1 例 (静岡、アクトシティ浜松) 第 296 回東海外科学会 2018.10.14
14. 徳田智史、前川博、小泉明博、佐藤浩一：肝血管腫を合併した、胃がんの症例に対し同時切除を施行した 1 例 (静岡、アクトシティ浜松) 第 296 回東海外科学会 2018.10.14
15. 折田創：薬物代謝酵素カルボシキルエステラーゼの消化器癌における発現調節機構の解明 (神奈川パシフィコ横浜) 第 56 回日本癌治療学会学術集会、2018.10.19

16. 徳田智史、折田創、小泉明博、村井勇太、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、氷室貴規、宗像慎也、櫛田知志、櫻田睦、前川博、佐藤浩一：消化器癌症例を用いたうつ病マーカーの検討（神戸、神戸国際展示場 1 号館）JDDW2018.11.3
17. 小泉明博、村井勇太、山本陸、加藤永記、上田脩平、徳田智史、櫻庭駿介、朝倉孝延、櫛田知志、折田創、櫻田睦、前川博、佐藤浩一：当院におけるがん地域連携クリティカルパス（富山、ホテル日航金沢）第 48 回胃外科・術後障害研究会、2018.11.10
18. 小泉明博、村井勇太、山本陸、加藤永記、上田脩平、徳田智史、櫻庭駿介、朝倉孝延、櫛田知志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：大腸癌術後化学治療中の腸管嚢胞状気腫症に対し保存的治療で軽快した 1 例（東京、グランドプリンスホテル新高輪）第 80 回日本臨床外科学会総会,2018.11.22
19. 田中顕一郎、氷室貴規、小泉明博、村井勇太、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、朝倉孝延、櫛田知志、折田創、櫻田睦、前川博、佐藤浩一：治療法に悩んだ潜在性乳がんの 2 例（東京、グランドプリンスホテル新高輪）第 80 回日本臨床外科学会総会,2018.11.23
20. 村井勇太、中村佳代子、山田真紀、田中顕一郎、氷室貴規、小泉明博、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、徳田智史、朝倉孝延、櫛田知志、折田創、櫻田睦、前川博、佐藤浩一：Mohs 軟膏の改良法（Mohs ガーゼ法）が有効であった皮膚浸潤乳癌の 3 例（東京、グランドプリンスホテル新高輪）第 80 回日本臨床外科学会総会,2018,11.23
21. 折田創：胃・十二指腸悪性 偶発症・合併症 3（福岡、福岡国際会議場）第 31 回日本内視鏡外科学会総会、2018.12.6
22. 上田脩平、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、徳田智史、櫻庭駿介、氷室貴規、朝倉孝延、櫛田知志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：大腸穿孔に対して緊急手術を施行した症例の qSOFA, SIRS, Criteria と予後の検討、（東京、新宿 NK ビル）第 23 回エンドトキシン血症救急救命研究会,2019.1.25
23. 櫻庭駿介、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、徳田智史、氷室貴規、朝倉孝延、櫛田知志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：PMX-DHP 施行前後における血清乳酸値と SOFA スコアの検討（東京、新宿 NK ビル）第 23 回エンドトキシン血症救急救命研究会,2019.1.25
24. 朝倉孝延：術前科学療法（DCF 療法）が奏功した進行食道癌の 2 例.（静岡、プラザバルザ）静岡外科医会、第 240 回集談会,2019.3.2
25. 櫻庭駿介、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、徳田智史、氷室貴規、朝倉孝延、櫛田知志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：当院における大腸 孔の治療成績と血清乳酸値の検討（宮城、仙台国際センター）第 55 回日本腹部救急医学学会総会,2019.3.7.
26. 小泉明博、村井勇太、山本陸、加藤永記、上田脩平、徳田智史、櫻庭駿介、朝倉孝延、氷室貴規、櫛田知志、折田創、櫻田睦、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：術後大動脈リンパ節転移を認め、リンパ節切除を行った食道癌の 1 例（静岡、静岡市産学交流センター）第 74 回静岡県癌治療研究会,2019,3.30

## 国際学会

1. 山本陸：「Long-Term outcomes of colorectal cancer patients with and without malignant large-bowel obstruction」 The Walter E. Washington Convention Center, Washington D.C. June 2, 2018, USA

## 講演等

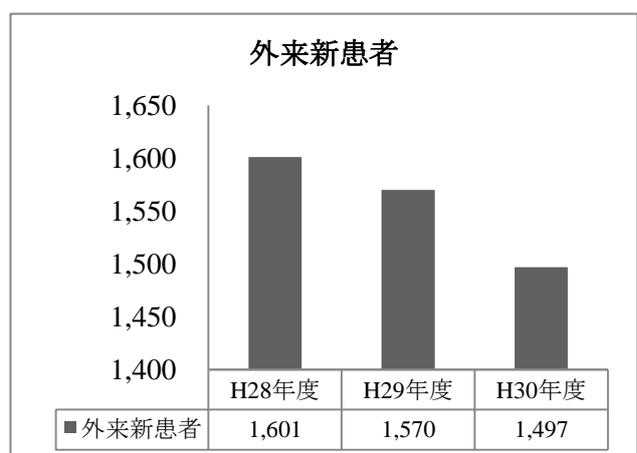
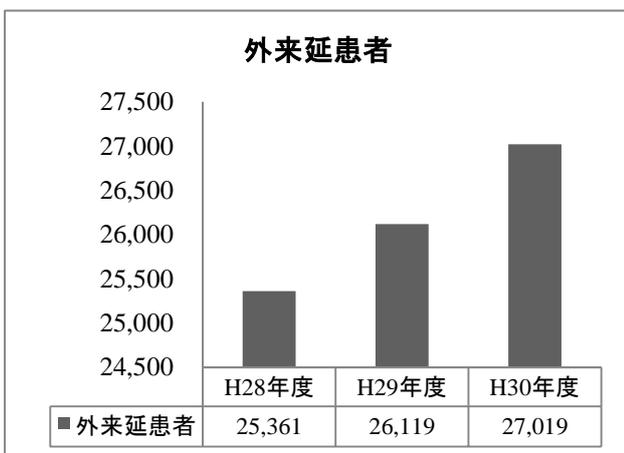
1. 佐藤浩一：閉会の辞、静岡東部 Colorectal Cancer Symposium,静岡（沼津リバーサイドホテル4階 秀麗）、2018.3.1
2. 佐藤浩一：司会、静岡東部 Colorectal Cancer Symposium,静岡（沼津リバーサイドホテル4階 秀麗）、2018.3.1
3. 櫻田睦：ディズカサント、静岡東部 Colorectal Cancer Symposium,静岡（沼津リバーサイドホテル4階 秀麗）、2018.3.1
4. 前川博：座長、第238回静岡県外科医会集談会、静岡（サーラシティ浜松）2018.3.3
5. 佐藤浩一：コメンテーター、第54回腹部救急医学会総会、東京（京王プラザホテル43階ムーンライト第7会場）、2018.3.8
6. 前川博：司会、第54回腹部救急医学会総会、東京（京王プラザホテル4階かつら第11会場・43階ムーンライト第7会場）、2018.3.8
7. 佐藤浩一：司会、第118回日本外科学会定期学術集会、東京（東京国際フォーラム 救急）2018.4.6
8. 櫻田睦：講師、“大腸がんの周術期管理についての知識習得のため”、静岡（株式会社大塚製薬工場三島出張所 会議室）、2018.5.29
9. 田中顕一郎：講師、“順天堂大学静岡病院における早期乳癌の治療方針”、静岡（中外製薬株式会社三島オフィス アーサーファーストビル6F）2018.6.6
10. 櫻田睦：講師、“大腸がんについて”静岡（科研製薬株式会社 三島商工会議所4F会議室D）、2018.6.14
11. 前川博：座長、第43回日本外科系連合学会学術集会、東京（虎ノ門ヒルズフォーラム）2018.6.22
12. 佐藤浩一：閉会の辞、静岡県東部がん免疫療法セミナー、静岡（プラザ ヴェルデ4F）2018.7.6
13. 折田創：座長、静岡県東部がん免疫療法セミナー、静岡（プラザ ヴェルデ4F）2018.7.6
14. 田中顕一郎：講演、第4回 静岡県東部乳癌懇話会、静岡（沼津リバーサイド）2018.7.27
15. 氷室貴規：講演、「MR 実践研修」、エーザイ株式会社、静岡（三島商工会議所）2018.8.1
16. 田中顕一郎：講演、「あなたのおっばいの話」、市民公開講座、静岡（順天堂大学医学部附属静岡病院）2018.8.30
17. 前川博：座長、第3回静岡県東部膀胱癌治療研究会、静岡（三島プラザホテル7階）2018.8.31

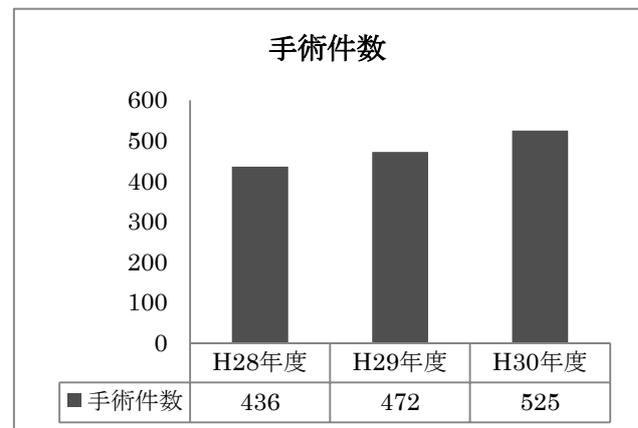
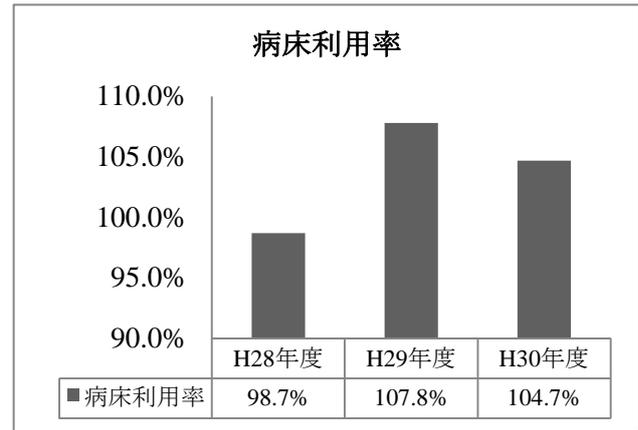
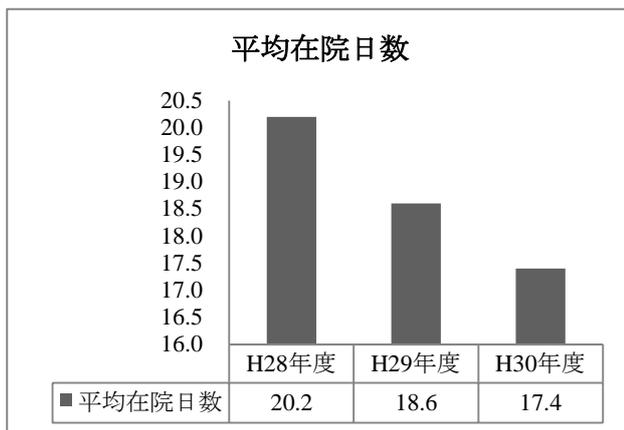
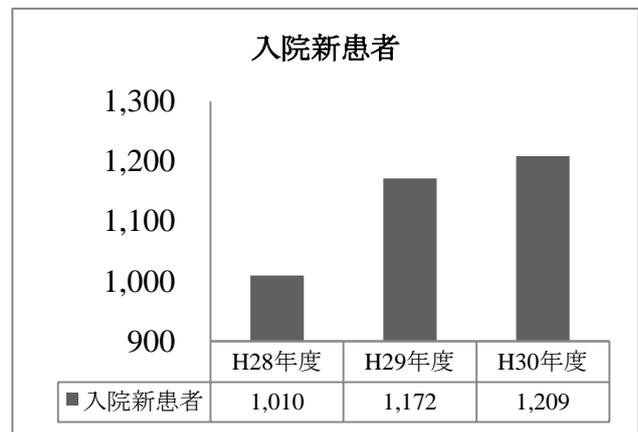
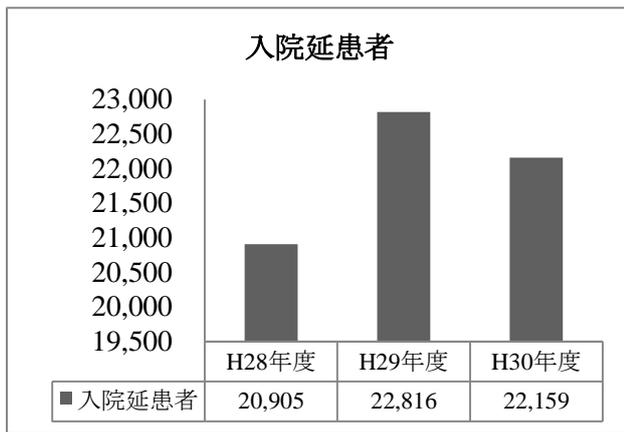
18. 佐藤浩一：座長、大腸がん Expert Meeting、  
静岡（沼津リバーサイドホテル 3F「駿河」） 2018.9.6
19. 櫻田睦：講演、「パニツムマブにおける Infusion Reaction」  
静岡（沼津リバーサイドホテル 3F「駿河」） 2018.9.6
20. 田中顕一郎：講演、乳腺医療「最前線」；伊豆半島の取り組み、  
静岡（ホテルオーレ 5F「藤」） 2018.9.12
21. 朝倉孝延：講演「食道がんの VATS-E」、平成 30 年度第 2 回田方消化器研究会、静岡（田方医師会館） 2018.9.13
22. 櫻田睦：講演、CRC Expert Seminar in Shizuoka 2018.9.29
23. 佐藤浩一：開会の辞、Cancer VTE conference、  
静岡（ホテルサンバレー富士見） 2018.9.19
24. 田中顕一郎：講演「ハラヴェン製品情報概要の紹介に対するスキルや内容に関する指導」静岡（エーザイ静岡オフィス 6 階会議室） 2018.10.17
25. 櫻田睦：座長、第 296 回東海外科学会、静岡（アクトシティ浜松・コンgresセンター4F） 2018.10.14
26. 田中顕一郎：座長、第 296 回東海外科学会、静岡（アクトシティ浜松・コンgresセンター4F）  
2018.10.14
27. 佐藤浩一：座長、静岡県東部地区 DIC フォーラム、  
静岡（三島プラザホテル 7F マリアソーレ） 2018.10.31
28. 櫻田睦：「外科手術における癒着防止対策について」  
静岡（三島市民生涯学習センター第 4 研修室） 2018.11.15
29. 田中顕一郎：「静岡エリアにおける乳癌の診断と治療の向上」  
静岡（ホテルアソシア静岡） 2018.11.16
30. 佐藤浩一：オープニング・座長、Colorectal Cancer Conference in  
静岡東部 2018、静岡（三島プラザホテル 4F） 2018.11.28
31. 櫻田睦：「静岡県東部エリアにおける医療連携及び大腸がん治療方針」  
静岡（アーサーファーストビル 6F） 2018.12.12
32. 折田創：「胃がんについて」静岡（三島商工会議所） 2018.12.25
33. 佐藤浩一：座長「大腸癌治療セミナー」、  
静岡（三島プラザホテル 4F ローズマリー）,2019,1,10
34. 田中顕一郎：講師「乳癌の化学療法を中心とした治療戦略についての講演」、静岡（大鵬薬品沼津出張所会議室）、2019.2.1336.
35. 村井勇太：講師「がん医科歯科連携研修会」、  
静岡（沼津市立図書館 4F 視聴覚ホール） 2019.2.24
36. 前川博：座長「第 55 回日本腹部救急医学会総会」、  
宮城(仙台国際センター)2019.3.7
37. 佐藤浩一：座長「第 74 回静岡県癌治療研究会」、静岡市産学交流センター2019.3.30

## 2-10 脳神経外科

### 診療実績

病床数	58 床
外来新患者数	1230 人
年間入院数	870 人
手術総数	546 件
腫瘍(脳、脊髄、眼窩)	47
動脈瘤	67
AVM	5
その他の血管障害	87
外傷	137
感染症	6
脊髄・脊椎疾患	5
機能外科	7
その他	117
血管内手術	68
緊急手術数	330 (60.4%)
集光照射	23





#### ④研究実績

英文原著

1. Miyahara R, Tsutsumi S, Adachi S, Ishii H, Kondo A, Yasumoto Y : Communicating hydrocephalus and coexisting nonenhancing tumor:An ominous sign for patients with neurofibromatosis type 1? Radio Case Rep 13(3) : 693-696, 2018

和文原著

1. 山本拓史 : 内視鏡下血腫除去術における surgical anatomy と基本手技 脳神経外科 46 (2) : 95-106, 2018

## 症例報告

1. 渡邊瑞也、阿部瑛二、石元玲央、藤田修英、長谷川浩、上野英明、中尾保秋、山本拓史、和田 了：経時的な変化で瘤形成を来した中大脳動脈遠位部の解離性脳動脈瘤の1例。脳神経外科 46 (5) : 415-422, 2018
2. 井口 整、藤田修英、長谷川浩、上野英明、渡邊瑞也、中尾保秋、山本拓史：大型刈り込み鉄による穿通性頭部外傷の1例。脳神経外科 46 (11) : 999-1005, 2018

## 著書

1. 山本拓史：脳内血腫. 神経内視鏡治療 スタート&スタンダード, (編) 伊達 勲, メジカルビュー社 90-101, 2018
2. 山本拓史：神経内視鏡による脳室内血腫除去術. 新 NS Now Neurosurgery 脳室を征服する アプローチとテクニックの王道, メジカルビュー社, Vol. 13, 46-59, 2018

## 学会発表 (国外)

1. Yamamoto T : Current status of the endoscopic hematoma evacuation and surgical innovations for the intracerebral hemorrhage. EANS2018, Brussels, Belgium, Oct. 22, 2018

## 学会発表 (国内)

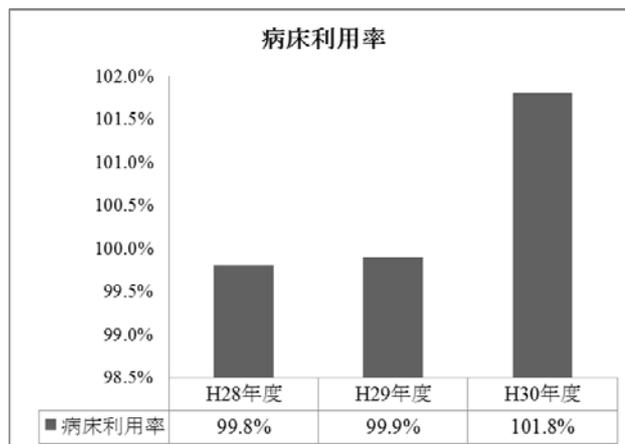
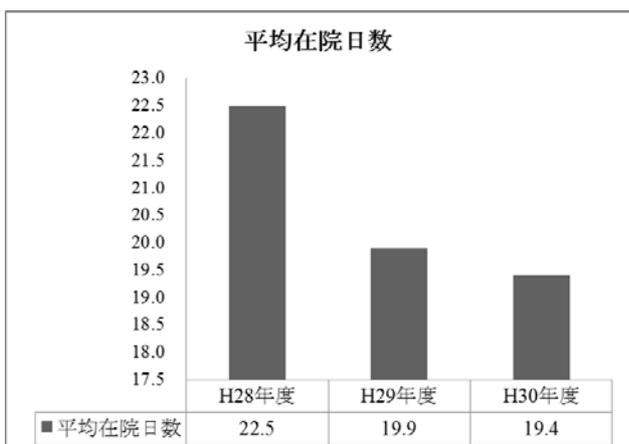
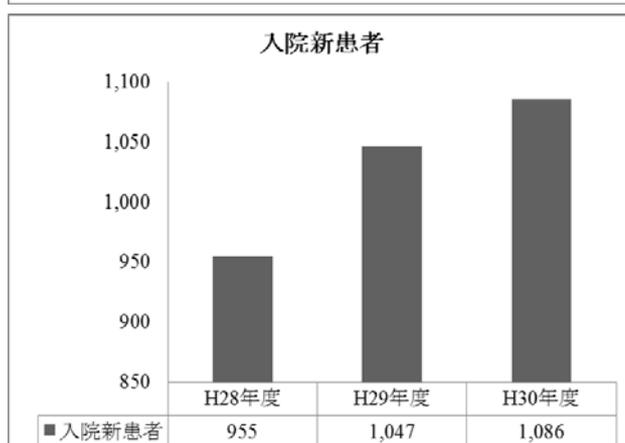
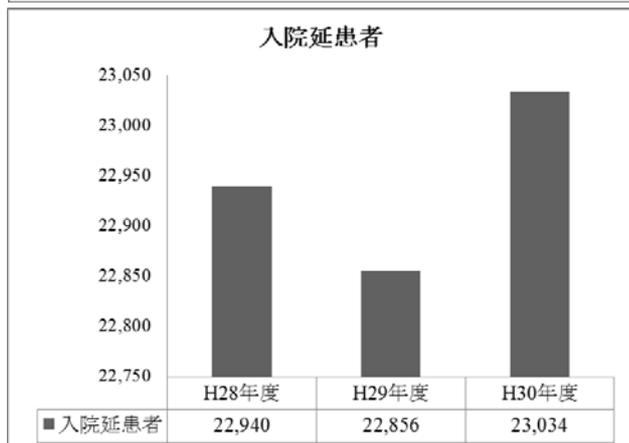
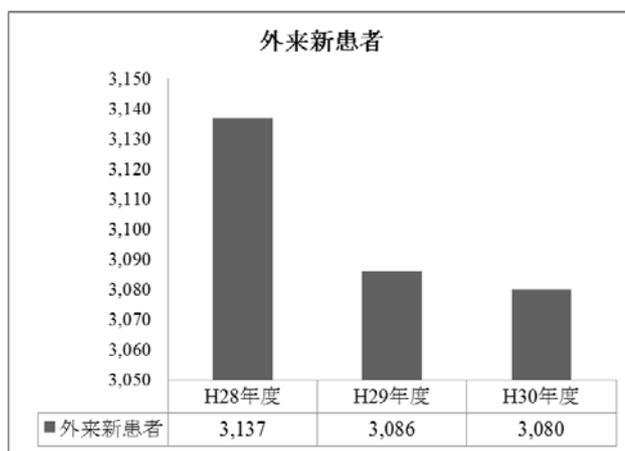
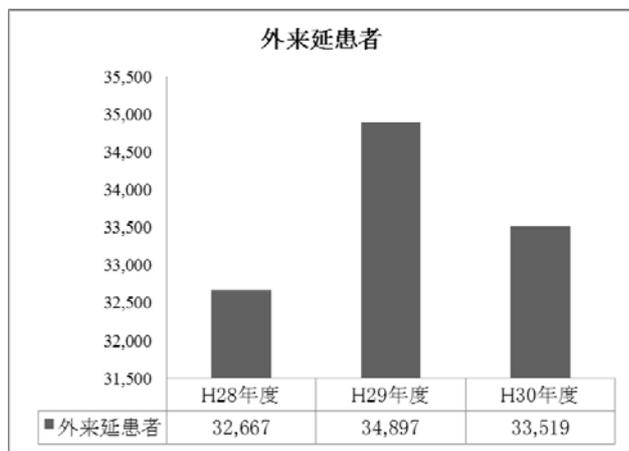
1. Yamamoto T : The Endoscopic hematoma evacuation for the intra-ventricular hemorrhage. China-Japan Neurosurgical conference 2018, Tokyo, Apr. 1, 2018
2. 西岡和輝：症候性転移性下垂体腫瘍（淡明細胞型細胞癌）の一例. 第94回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 福井, Apr. 21, 2018
3. 川村海渡：Supra-orbital keyhole combined with lateral orbitotomyにて摘出した orbital dermoid cyst の一例. 第10回東海脳腫瘍手術手技研究会, 愛知, Jun. 2, 2018
4. 山本拓史：血栓化脳動脈瘤の手術. 第25回静岡脳神経外科ビデオシンポジウム, 静岡, Jun. 23, 2018
5. 山本拓史：非弁膜症性心房細動による心原性脳塞栓症の最新の知見と出血性合併症への対応. 第37回 The Mt.Fuji Workshop on CVD ランチョンセミナー, 愛知, Aug. 25, 2018
6. 宮原 怜：経脳室的摘出を施行した脳動静脈奇形合併レンズ核線条体動脈瘤破裂の一例. 第95回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 愛知, Sep. 8, 2018
7. 山本拓史：脳血栓化動脈瘤における術前造影所見と術中診断. 第314回静岡県東部NS会, 静岡, Sep. 18, 2018
8. 植木泰仁：側脳室三角部髄膜腫と内頸動脈高度狭窄症を合併した一例. 第314回東部NS会, 順天堂大学医学部附属静岡病院, Sep. 18, 2018
9. 牧野健作：Drip, Ship, and Retrieveにて血栓回収療法を行った脳底動脈・後大脳動脈閉塞症の一例. 第314回東部NS会, 順天堂大学医学部附属静岡病院, Sep. 18, 2018
10. 山本拓史：実践！ICUからの簡単経腸栄養プロトコール～脳神経外科医に伝えたい経腸栄養の重要性～. 日本脳神経外科学会第77回学術総会 ランチョンセミナー, 宮城, Oct. 11, 2018

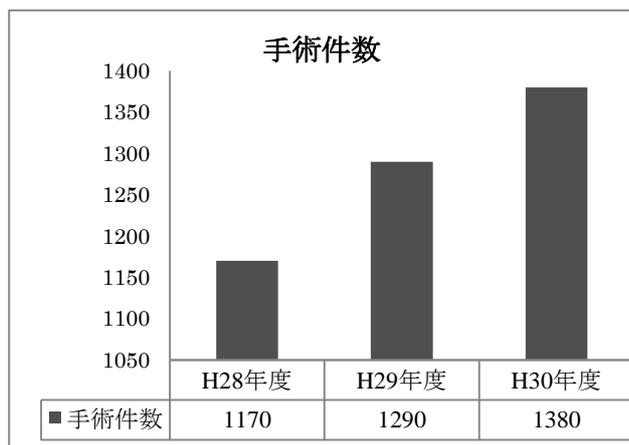
11. 山本拓史：内視鏡下血腫除去術における基本手技と応用．日本脳神経外科学会第 77 回学術総会 術者養成セミナー，宮城，Oct. 12, 2018
12. 山本拓史：脳内出血治療における内視鏡下血腫除去術を考慮した新たな治療基準．日本脳神経外科学会第 77 回学術総会，宮城，Oct. 12, 2018
13. 牧野健作：痙攣発症にて診断に至った巨大血栓化中大脳動脈瘤の 1 例．日本脳神経外科学会第 77 回学術総会，宮城，Oct. 10, 2018
14. 渡邊瑞也：慢性硬膜下血腫患者におけるサルコペニアとの関連性．日本脳神経外科学会第 77 回学術総会，宮城，Oct. 11, 2018
15. 宮原 怜：経脳室的摘出を施行した脳動静脈奇形合併傍脳室破裂脳動脈瘤の一例．日本脳神経外科学会第 77 回学術総会，宮城，Oct. 11, 2018
16. 上野英明：単一施設における血栓回収療法の変遷・成績についての検討．日本脳神経外科学会第 77 回学術総会，宮城，Oct. 12, 2018
17. 鈴木一幹：当院の血栓回収療法における TICI3 と TICI2B の比較．日本脳神経外科学会第 77 回学術総会，宮城，Oct. 12, 2018
18. 上野英明：頭蓋頸椎移行部 perimedullary AVF による頭蓋内くも膜下出血の 1 例．第 39 回東海クモ膜下出血研究会，愛知，Oct. 19, 2018
19. 山本拓史：内視鏡下血腫除去術における適応と将来の展望．第 25 回日本神経内視鏡学会 シンポジウム，新潟，Oct. 26, 2018
20. 山本拓史：イリゲーション機能付き透明シースの開発と実用性．第 25 回日本神経内視鏡学会，新潟，Oct. 26, 2018
21. 杉山夏来：未破裂脳動脈瘤に対する Stent-assisted coiling における Sidewall type と Terminal type の塞栓状況の長期比較．第 34 回日本脳神経血管内治療学会学術総会，宮城，Nov. 22, 2018
22. 鈴木一幹：当院における急性期血栓回収療法 t-PA 投与有無による治療成績の比較．第 34 回日本脳神経血管内治療学会学術総会，宮城，Nov. 22, 2018
23. 山本拓史：脳神経外科領域における AMPA 受容体拮抗薬の可能性とてんかん診療．第 315 回静岡県東部 NS 会，静岡，Dec. 11, 2018
24. 鈴木一幹：特発性脊髄硬膜外出血の 3 例．第 24 回日本脳神経外科救急学会，大阪，Feb. 1, 2019
25. 山本拓史：救急診療における急性期脳内出血に対する神経内視鏡手術の役割に対する役割．第 24 回日本脳神経外科救急学会，大阪，Feb. 2, 2019
26. 杉山夏来：遠隔地発症の急性期脳梗塞に対する救急車とヘリ搬送の比較．第 24 回日本脳神経外科救急学会，大阪，Feb. 2, 2019
27. 杉山夏来：遠隔地発症の急性期脳梗塞に対する救急車とヘリ搬送の比較．STROKE2019，神奈川，Mar. 21, 2019
28. 鈴木一幹：特発性脊髄硬膜外出血の 3 例．STROKE2019，神奈川，Mar. 21, 2019
29. 上野英明：DOAC 時代の非外傷性脳出血の登録研究．STROKE2019，神奈川，Mar. 22, 2019
30. 中尾保秋：80 歳以上高齢者高血圧性脳出血症例 連続 171 例の検討．STROKE2019，神奈川，Mar. 22, 2019
31. 植木泰仁：頭蓋頸椎移行部 Perimedullary AVF による頭蓋内くも膜下出血の 1 例．STROKE2019，神奈川，Mar. 23, 2019
32. 渡邊瑞也：抗血栓療法中の脳出血発症例の検討．STROKE2019，神奈川，Mar. 23, 2019

33. 宮原 怜 : 対側閉塞を伴った内頸動脈 near occlusion に対し Carotid Artery Stenting を施行した 1 例. STROKE2019, 神奈川, Mar. 23, 2019
34. 牧野健作 : 破裂右 IC-PC 動脈瘤クリッピング後に segmental arterial mediolysis により腹腔内出血をきたした一例. STROKE2019, 神奈川, Mar. 23, 2019
35. Yamamoto T : Surgical techniques for aneurysm. 6<sup>th</sup> Tokyo Shanghai Friendship Neurosurgical Forum, 東京, Mar. 29, 2019
36. Ishimoto R : A case of epidural hemangiopericytoma presented with progressive visual loss. 6<sup>th</sup> Tokyo Shanghai Friendship Neurosurgical Forum, 東京, Mar. 29, 2019
37. Miyahara R : A surgical case of distal lenticulostriate artery aneurysm related with arteriovenous malformation. 6<sup>th</sup> Tokyo Shanghai Friendship Neurosurgical Forum, 東京, Mar. 30, 2019

## 2-11 整形外科

### 診療実績





## 研究・教育活動

### A 原著(英文)

1. Maeda H, Iwase H, Kanda A, Morohashi I, Kaneko K, Maeda M, Kakinuma Y, Takei Y, Amemiya S, Mitsui K:  
A Study of the Blood Flow Restriction Pressure of a Tourniquet System to Facilitate Development of a System that Can Prevent Musculoskeletal Complications.  
American Journal of Disaster Medicine 12, 139-145, 2018.
2. Komatsu J, Mogami A, Iwase H, Obayashi O, Kaneko K:  
A Complete Posterior Tibial Stress Fracture that Occurred During a Middle-Distance Running Race: a Case Report.  
Archives of Orthopaedic and Trauma Surgery, First Online: 07 September 2018.
3. Hara A, Kudo T, Ichihara S, Iwase H, Nagao M, Maruyama Y, Kaneko K:  
Biomechanical evaluation of a transcondylar screw from the dorsolateral plate support on the stabilization of orthogonal plate configuration in distal humeral fracture.  
Injury. 2018 Dec 16. pii: S0020-1383(18)30751-4. doi: 10.1016/j.injury.2018.12.017.
4. Komatsu J, Nagura N, Iwase H, Igarashi, Obayashi O, Nagaoka I, Kaneko K:  
Effect of intermittent administration of teriparatide on the mechanical and histological changes in bone grafted with  $\beta$ -tricalcium phosphate using a rabbit bone defect model.  
Experimental and Therapeutic Medicine 15:19-30, 2018.
5. Obayashi O, Obata H, Naito K, Kanda A, Itoi A, Morohashi I, Mogami A, Kaneko K.  
Recurrence of acute myelogenous leukemia with granulocytic sarcoma-associated tarsal tunnel syndrome in an elderly patient.

### B 原著(邦文)

1. 志村有永、湯浅崇仁、五味基央、丸山祐一朗、金子和夫:  
高度可動域制限を有する変形性股関節症に対して Direct anterior approach THA を行った 1 例  
日本人工股関節学会誌 48, 307-308, 2018.
2. 諸橋達 亀田壮 松尾智次 大林治  
関節ウマチに伴う前足部変形および外反母趾の矯正骨切り後皮膚障害と固定デバイスの関連  
日本足の外科学会誌 39(1):121-124, 2018

### C. 総説

1. 守屋秀一:  
髄内釘法の適応と実際.  
整形外科 Surgical Technique 8, 292-300, 2018.

- 2.大林 治、岩瀬秀明、岩崎英二、佐藤太一:  
災害時被災者のロコモティブシンドロームおよび運動器不安定症患者の運動機能評価  
平成 29 年度静岡災害医学研究センター紀要, 60-62, 2018.
- 3.最上敦彦、岩瀬秀明、二村謙太郎、大林 治:  
災害時の駆幹骨々折の治療器機の力学的評価(骨盤骨折における至適な固定法の検討)  
平成 29 年度静岡災害医学研究センター紀要, 63-65, 2018.
- 4.神田章男、岩瀬秀明、諸橋 達、前田浩行、大林 治、三井和幸:  
災害・救急医療で使用可能な画期的な駆血装置の開発 ―駆血システムとしての至適加圧条件― 平成 29 年度静岡災害  
医学研究センター紀要, 117-119, 2018.
- 5.諸橋 達、岩瀬秀明、神田章男、最上敦彦、大林 治、佐藤太一:  
人工股関節全置換術におけるステム挿入時に発生する打ち込み音の解析(確実なステム設置のための簡便な術中評  
価を目指して)  
平成 29 年度静岡災害医学研究センター紀要, 120-122, 2018.

#### D. 著書

#### E 学会発表

- 1.糸井陽:  
“牽引性”脊髄損傷を信じてもらえますか?  
第 19 回圧迫性脊髄症研究会, Jan., 20, 2018.(東京)
- 2.志村 有永 市原 理司 原 章 工藤 俊哉 鈴木 雅生 石井 紗矢佳 金子 和夫 丸山 祐一郎  
当院手外科センタにおける terrible triad 損傷に対する治療成績  
第 30 回日本肘関節学会, Feb., 16-17, 2018. (東京)
- 3.諸橋 達:  
ショートステム Optimys と Taper-Wedge 型インプラントの術中骨折と早期沈下の比較検討.  
第 48 回日本人工股関節学会, Feb., 23-24, 2018. (東京)
- 4.神田章男:  
新たな Palm size navigation “HipAlign”と術中透視  
第 48 回日本人工股関節学会, Feb., 23-24, 2018. (東京)
6. 志村有永、湯浅崇仁、五味基央、丸山祐一郎、金子和夫:  
高度可動域制限を有する変形性股関節症に対して Direct anterior approach THA を行った 1 例  
第 48 回日本人工股関節学会, Feb., 23-24, 2018. (東京)
- 7.高橋良介:  
強直性脊椎障害の骨折に対して SUK devise を用いた術中整復法  
第 13 回お茶の水脊椎セミナー, Feb., 24, 2018. (東京)
- 8.神田章男、金子和夫:  
股関節 direct lateral approach の有用性.  
第 58 回関東整形災害外科学会, シンポジウム, Mar., 16-17, 2018. (東京)  
抄録集: 71
- 9.志村 有永  
大腿骨非定型骨折に予防的骨接合術を行った 1 例  
第 58 回関東整形災害外科学会, Mar., 16-17. (東京)
- 10.糸井 陽、大林 治、高橋良介、金子和夫:

- 環椎後弓スクリューの有用性とピットホール.  
第 58 回関東整形災害外科学会, Mar., 16-17. (東京)  
抄録集: 132
11. 後藤賢司、長濱 靖、杉山陽一、山本康弘、渡 泰士、木下真由子、岩瀬嘉志、内藤聖人、金子和夫:  
A1 プーリーにおける腱鞘内圧の測定—手指可動による圧変化についての考察.  
第 58 回関東整形災害外科学会, Mar., 16-17. (東京)  
抄録集: 137
12. 長尾 雅史、石島 旨章、木下真由子、金子 和夫:  
骨粗鬆症治療における treat-totarget(T to T) ~骨吸収抑制剤(BP 製剤)の視点から ~  
第 58 回関東整形災害外科学会, シンポジウム, Mar., 16-17. (東京)  
抄録集: 84
13. 杉山 陽一、宮本 英明、後藤 賢司、木下真由子、名倉 奈々、渡 泰士、岩瀬 嘉志、内藤 聖人、金子 和夫:  
音波エラストグラフィを用いた掌側ロッキングプレート固定後の正中神経弾性の調査.  
第 58 回関東整形災害外科学会, Mar., 16-17. (東京)  
抄録集: 192
14. 最上敦彦:  
骨粗鬆症を基盤とした大腿骨近位部骨折—骨接合術における新たな治療戦略—  
第 58 回関東整形災害外科学会, ランチョンセミナー, Mar., 16-17. (東京)  
抄録集: 111
15. Akira Itoi:  
The Usefulness and Pitfalls of the Posterior Arch Screw.  
9th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section, Mar., 23-24, (New Delhi, India)
16. 最上敦彦:  
上腕骨近位部骨折.  
第 91 回日本整形外科学会学術総会, May, 24-27, 2018. (神戸)
17. 上原弘久:  
野球動作に伴う第一肋骨疲労骨折により胸郭出口症候群と椎骨動脈解離を呈した一例.  
第 10 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科医会, Jun., 14-16. 2018. (福岡)
18. 志村 有永:  
Navigation を用いた遠位大腿骨骨切り術の 3 例  
第 10 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科医会, Jun., 14-16. 2018. (福岡)
19. 雨宮将太、武井裕輔、前田浩行、諸橋達、神田章男、岩瀬秀明、金子和夫、前田睦浩、寺阪澄孝、下大川丈晴、三井和幸:  
患者の状態に応じた圧迫圧の調整が可能なターニケットの開発  
第 57 回日本生体医工学学会, June, 19-21, 2018. (札幌)
20. 最上敦彦:  
大腿骨近位部骨折における骨接合術—フックピンデバイスを用いた新たな治療戦略—  
第 44 回日本骨折治療学会, スーンタイムレクチャー, Jul., 6-7. (岡山)  
骨折, 40 suppl, S83, 2018.
21. 西嶋智子、中村泰大、定月亮、佐久間陸友、岩瀬弘明、千野孔三、金子和夫:  
脊椎インストゥルメンテーションを用いた骨盤輪骨折後方固定術の治療成績.  
第 44 回日本骨折治療学会, Jul., 6-7. (岡山)  
骨折, 40 suppl, S101, 2018.
22. 二村謙太郎、土田芳彦、最上敦彦、大林治、岩瀬秀明、馬場智規、金子和夫:

WITHIN RING CONCEPT にもとづく不安定型骨盤輪損傷の治療戦略.

第 44 回日本骨折治療学会, Jul., 6-7. (岡山)

骨折, 40 suppl, S101, 2018.

23. 玉川翔太、杉山陽一、後藤憲司、金子彩夏、名倉奈々、岩瀬嘉志、最上敦彦、馬場智規、内藤聖人、金子和夫:

第5CM 関節脱臼骨折(reverse Bennet 骨折)に対して鋼線連結型創外固定器 JuNction を用いて治療した1例.

第 44 回日本骨折治療学会, Jul., 6-7. (岡山)

骨折, 40 suppl, S279, 2018.

24. 佐々恵太、奥田貴俊、馬場智規、最上敦彦、池上隆司、内藤聖人、金子和夫:

骨折により判明し、遷延治癒した舟状骨骨内ガングリオンの一例.

第 44 回日本骨折治療学会, Jul., 6-7. (岡山)

骨折, 40 suppl, S290, 2018.

25. 馬場智規、越智宏徳、尾崎友、渡泰士、幡野佐己依、本間康弘、田邊浩規、内藤聖人、最上敦彦、金子和夫:

大腿骨頸部骨折に対して特殊牽引台と透視を用いた direct anterior approach の dual mobility THA.

第 44 回日本骨折治療学会, Jul., 6-7. (岡山)

骨折, 40 suppl, S440, 2018.

26. 幡野佐己依、馬場智規、田邊浩規、越智宏徳、尾崎友、渡泰士、本間康弘、渡泰士、内藤聖人、最上敦彦、金子和夫:

大腿骨頸部骨折に対する前方進入法による Dual Mobility cup 人工股関節全置換術の脱臼予防効果.

第 44 回日本骨折治療学会, Jul., 6-7. (岡山)

骨折, 40 suppl, S474, 2018.

27. 守屋秀一、最上敦彦、神田章男、諸橋達、大林治、金子和夫:

大腿骨転子部骨折に対するフックピンネイルの治療成績.

第 44 回日本骨折治療学会, Jul., 6-7. (岡山)

骨折, 40 suppl, S480, 2018.

28. 櫻井夏子、馬場智規、尾崎友、幡野佐己依、渡泰士、内藤聖人、最上敦彦、金子和夫:

治療に難渋した非定型大腿骨骨折の形態を呈する interprosthetic femoral fracture .

第 44 回日本骨折治療学会, Jul., 6-7. (岡山)

骨折, 40 suppl, S498, 2018.

29. 金子彩夏、杉山陽一、後藤賢司、玉川翔太、名倉奈々、岩瀬嘉志、最上敦彦、馬場智規、内藤聖人、金子和夫:

中手骨頸部骨折に対して鋼線連結型創外固定器 JuNction を用いて治療した1例 .

第 44 回日本骨折治療学会, Jul., 6-7. (岡山)

骨折, 40 suppl, S521, 2018.

30. 杉山陽一、金子彩夏、玉川翔太、後藤賢司、名倉奈々、岩瀬嘉志、最上敦彦、馬場智規、内藤聖人、金子和夫:

中手骨頸部骨折に対して鋼線連結型創外固定器 JuNction を用いて治療した1例 .

第 44 回日本骨折治療学会, Jul., 6-7, 2018. (岡山)

骨折, 40 suppl, S522, 2018.

31. 牛牧誉博、糸井陽、高橋良介、大林治:

proximal junctional kyphosis に対する Rod Link Reducer の有用性.

第 189 回静岡整形外科医会集談会, Jul., 21, 2018. (浜松)

32. 玉川翔太:

バスケットボールのジャンプ時に受傷した両側同時膝蓋腱断裂の1例.

第 44 回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会, Sep., 7-9, 2018. (徳島)

33. 五味基史、前澤克彦、湯浅崇仁、志村有永、金子和夫:

携帯型歩行器分析装置を用いた人工股関節全置換術後の歩行解析.

第 45 回日本股関節学会学術集会, Oct., 26-27, 2018. (名古屋)

- 抄録集: 282.
- 34.湯浅崇仁、五味基史、志村有永、前澤克彦、金子和夫:  
アプローチの違いによる人工股関節全置換術インプラント生存率の検討.  
第45回日本股関節学会学術集会, Oct., 26-27, 2018. (名古屋)  
抄録集: 369.
- 35.諸橋 達、神田章男、最上敦彦、大林 治、岩瀬秀明、金子和夫:  
股関節関節感染症例の鑑別における a-ディフェンシン検出キット:シノヴァシユアの有用性.  
第45回日本股関節学会学術集会, Oct., 26-27, 2018. (名古屋)  
抄録集: 390.
- 36.神田章男、諸橋 達、大林 治、最上敦彦、金子和夫:  
外反股に対するショートステム Optimys®の使用経験 -解剖学的再建と骨温存を目指して-  
第45回日本股関節学会学術集会, Oct., 26-27, 2018. (名古屋)  
抄録集: 458.
- 37.志村有永、前澤克彦、五味基史、湯浅崇仁、金子和夫:  
人工股関節再々置換術後に脱転した K-T plate により大腿神経損傷が生じた1例.  
第45回日本股関節学会学術集会, Oct., 26-27, 2018. (名古屋)  
抄録集: 484.
- 38.神田章男、諸橋 達、大林 治、最上敦彦、金子和夫:  
ポータブルナビゲーション'Hip Align®' の leming curve.  
第45回日本股関節学会学術集会, Oct., 26-27, 2018. (名古屋)  
抄録集: 541.
- 39.大谷 慧、神田章男、大林 治、最上敦彦、諸橋 達、金子和夫:  
骨盤・大腿骨折術後変形を伴った外傷性股関節症に対する人工股関節全置換術.  
第45回日本股関節学会学術集会, Oct., 26-27, 2018. (名古屋)  
抄録集: 583.
- 40.小池教文、小林敦郎、最上敦彦、神田章男、諸橋 達:  
自覚的脚長差が人工股関節全置換術の歩行能力に与える影響について.  
第45回日本股関節学会学術集会, Oct., 26-27, 2018. (名古屋)  
抄録集: 615.
- 41.諸橋 達:  
リウマチ足の Lesser toes に対して行う中足骨短縮骨切り術の骨切り部位による骨癒合率の比較検討.  
第43回日本足の外科学会学術総会, Nov., 1-2, 2018. (千葉)
- 42.前田浩行、岩瀬秀明、諸橋 達、神田章男、金子和夫、前田睦浩、三井和幸:  
～術後合併症を起さず、リハビリテーションをするために～新しいターニケットの開発と運動器合併症の評価.  
第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, Nov., 2-4, 2018. (仙台)
- 43.佐野 圭、岩瀬秀明、前田浩行、神田章男、諸橋 達、大林 治、金子和夫、三井和幸:  
ターニケット駆血条件の違いによる合併症の検討.  
第45回日本臨床バイオメカニクス学会, Nov., 16-17, 2018. (秋田)  
プログラム・抄録集:98
- 44.守屋秀一、上原弘久、最上敦彦、大林 治:  
鏡視下骨孔法による腱板修復の小経験.  
第190回静岡整形外科医会集談会, Nov., 17, 2018. (静岡)
- 45.志村有永、神田章男、大林 治、最上敦彦、諸橋 達、大谷 慧、金子和夫:  
骨盤・大腿骨骨折術後変形を伴った外傷性股関節症に対する人工股関節全置換術.

第 190 回静岡整形外科医会集談会, Nov., 17, 2018. (静岡)

46.前田浩行、岩瀬秀明、諸橋 達、神田章男、金子和夫、前田睦浩、三井和幸:

EHD 現象を用いた新しい駆血装置の開発.

第 46 回日本救急医学会総会・学術集会, Nov., 19-21, 2018. (横浜)

## F 講演・その他

1.最上敦彦:

Zimmer Biomet Trauma a Tokai Area Biocoll Course, 講師, Feb., 23-24, 2018. (Bangkok)

2.神田章男:

第 48 回日本人人工股関節学会, 講師, Feb., 23-24, 2018. (東京)

3.糸井 陽:

第 41 回静岡県整形外科脊椎研究会, 世話人, Feb., 17, 2018. (静岡)

4.最上敦彦:

若手外傷整形外科医から診た重度四肢開放骨折の今と未来

第 58 回関東整形災害外科学会, 講演, Mar., 16-17. (東京)

5.最上敦彦:

その抜釘大丈夫?抜かなきゃよかった、、、 Common fractures の tips&tricks”展開の妙”

第 44 回日本骨折治療学会, 報告, Jul., 6-7. (岡山)

6.最上敦彦:

第 44 回日本骨折治療学会, 座長, Jul., 6-7. (岡山)

7.神田章男:

第 44 回日本骨折治療学会, 座長, Jul., 6-7. (岡山)

8.諸橋 達:

第 44 回日本骨折治療学会, 座長, Jul., 6-7. (岡山)

9.大林 治:

Bone Health Care Seminar, 座長, Apl., 12, 2018. (静岡)

10.最上敦彦:

第 6 回伊豆整形外傷スプリングセミナー, 座長, Apl., 14, 2018. (静岡)

11.神田章男:

Juntendo University private Cadaner Workshop, 講師, May, 10-11, 2018. (Bangkok)

12.諸橋 達:

Juntendo University private Cadaner Workshop, 講師, May, 10-11, 2018. (Bangkok)

13.神田 章男

新しい健康評価の概念をご存知ですか?～ロコモティブシンドローム・サルコペニア・フレイル  
股関節・膝・腰の痛みを克服、健康寿命を延ばそう!～

伊東市医師会市民公開講座 講師 May. 19.2018 (静岡)

14.西嶋 智子

山梨県若手整形外科医の会 座長 Jun 2.2018 (山梨)

15.神田 章男

疼痛におけるチーム医療の重要性～薬剤の適正量を腎機能で再考する～

静岡県病院薬剤師会 講師 Jul 11 2018 (静岡)

16.牛牧誉博:

proximal junctional kyphosis に対する Rod Link Reducer の有用性。

第 346 回静岡県東部整形外科医会, 特別講演, Jul., 20, 2018. (清水町)

17.諸橋 達:

術後のエドキサバンによる血栓予防および股関節感染症例の鑑別.

第 126 回御茶ノ水 HIP JOINT カンファレンス、レクチャーJul., 21, 2018. (東京)

18.神田章男:

第 126 回御茶ノ水 HIP JOINT カンファレンス、座長、Jul., 21, 2018. (東京)

19.最上敦彦:

肘関節重度外傷への肘用ヒンジ付き創外固定の応用.

第 31 回日本創外固定・骨延長学会, 教育研修講演. Aug., 3-4, 2018. (青森)

20.大林 治:

静岡関節症研究会、座長、Aug., 9, 2018. (静岡)

21.大林 治:

第6回静岡東部骨粗鬆症学術講演会、座長、Aug., 30, 2018. (沼津)

22.最上敦彦:

Depuy Synthes Cadaveric Course in Bangkok, 講師, Sep., 7-8, 2018. (Bangkok)

23.諸橋 達:

股関節疾患及び足部疾患の鑑別と治療(保存加療から手術加療まで).

第 6 回伊豆・ペインフォーラム, 講演, Sep., 8, 2018. (静岡)

24.最上敦彦:

Bangkok Cadaver Training Advance Course(Basic Course), 講師, Sep., 14-15, 2018. (Bangkok)

25.東村 潤:

当科における人工膝関節周囲骨折の治療成績.

第 7 回順天堂大学 TKA セミナー, 講演, Sep., 15, 2018. (東京)

26.最上敦彦:

第 67 回東日本整形外傷災害外科, 座長(外傷 I ), Sep., 21-22, 2018. (秋田)

27.西嶋智子:(講師)

重度四肢外傷に対する初期評価、初期治療そして最終固定までの計画の立て方.

基礎から学ぶ重度四肢外傷セミナー, 講演, Oct. 20, 2018. (東京)

28.最上敦彦:

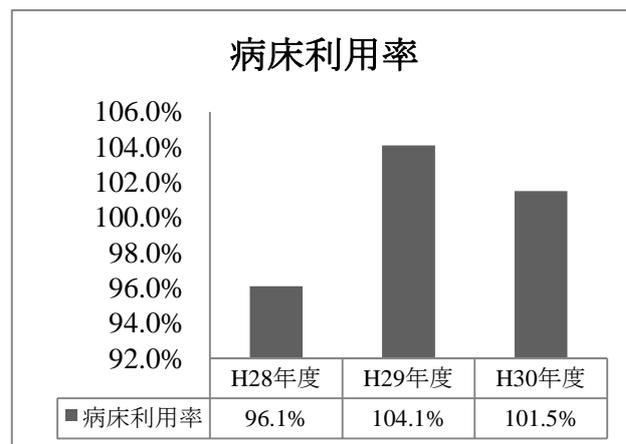
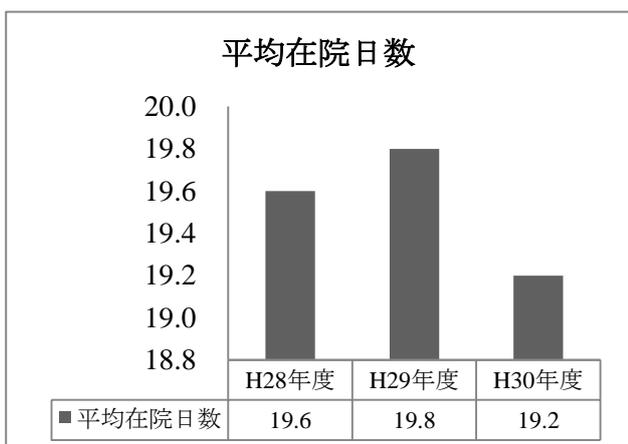
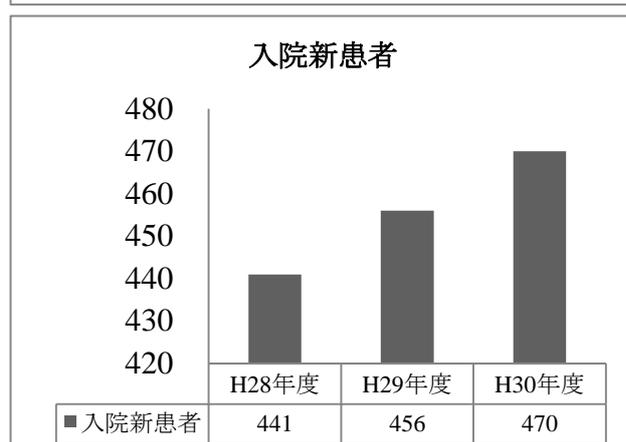
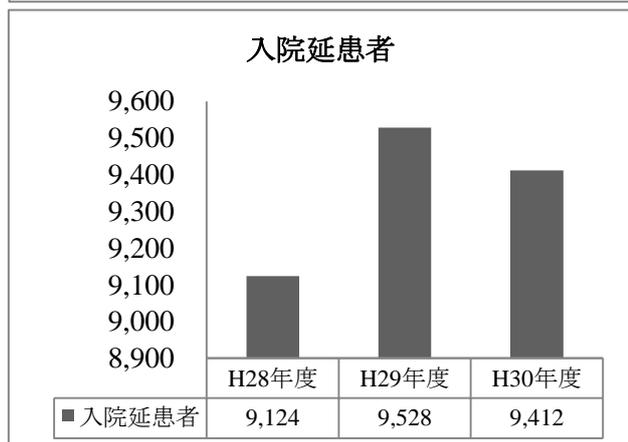
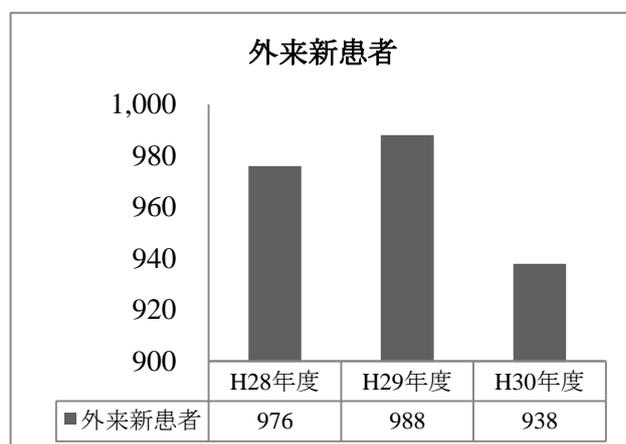
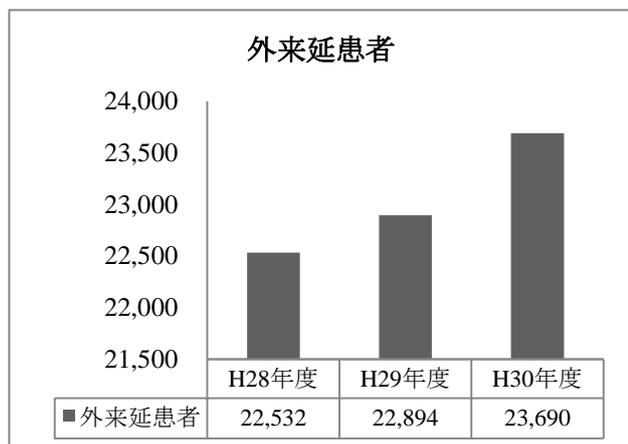
IM Nailing セミナー, Nov., 3, 2018. (沖縄)

29.最上敦彦:

骨折治療医と肩関節外科医のコラボレーション, Nov., 10, 2018. (東京)

## 2-12 脳神経内科

### 診療実績



## 研究・教育活動

### 【研究】

#### 1. パーキンソン病等 Movement disorders の病態および治療に関する研究：

大熊は関東パーキンソン病勉強会の主要メンバーとして、数々の共同研究に参加してきました。パーキンソン病の姿勢異常の研究では自治医大ステーションクリニック藤本先生が論文投稿目前まで来ています。また新しい共同研究として、東京女子医大飯嶋先生を中心に嗅覚障害とレム睡眠行動異常(RBD)を中心に調べており、昨年症例登録が終了しました。解析結果が楽しみです。

重度嗅覚障害をとまなうパーキンソン病患者において、ドネペジルが認知症発症を予防できるかどうかを前向きに調べる DASH-PD 試験も無事終了しました(厚生労働科学研究費補助金[現 AMED 臨床研究・治験推進研究事業]；平成 24 年～28 年度[分担研究者])。イベント発生率が少ない関係で1年間延長になりましたが、当院では全国で4番目に多い12例をエントリーしてフォローしています(大熊、野田)。さらにドネペジルの歩行に対する効果を客観的にみるために、患者さんの携帯歩行計記録を行っています(大熊)。

大熊はオランダの Prof. Bas Bloem と共同で、日内変動とすくみ足を有するパーキンソン病における転倒の前方視的調査を行いました。また携帯歩行計を用いてパーキンソン病や関連疾患の歩行解析を行っています。パーキンソン病患者さんの家庭での転倒とすくみ足を客観的に評価する試みを継続しています。

野田は不随意運動を呈する例をこれまでに多数英文で症例報告しました。今後も診療と並行して、症例報告を継続しようと考えております。

#### 2. 脳血管障害に関する研究：

脳血管障害グループの先生からの依頼で、心房細動の実態把握と予後調査のための患者登録研究(RAFFINE)に参画し、17例登録を行い無事終了となる見通しです。

#### 3. 神経免疫学的研究：

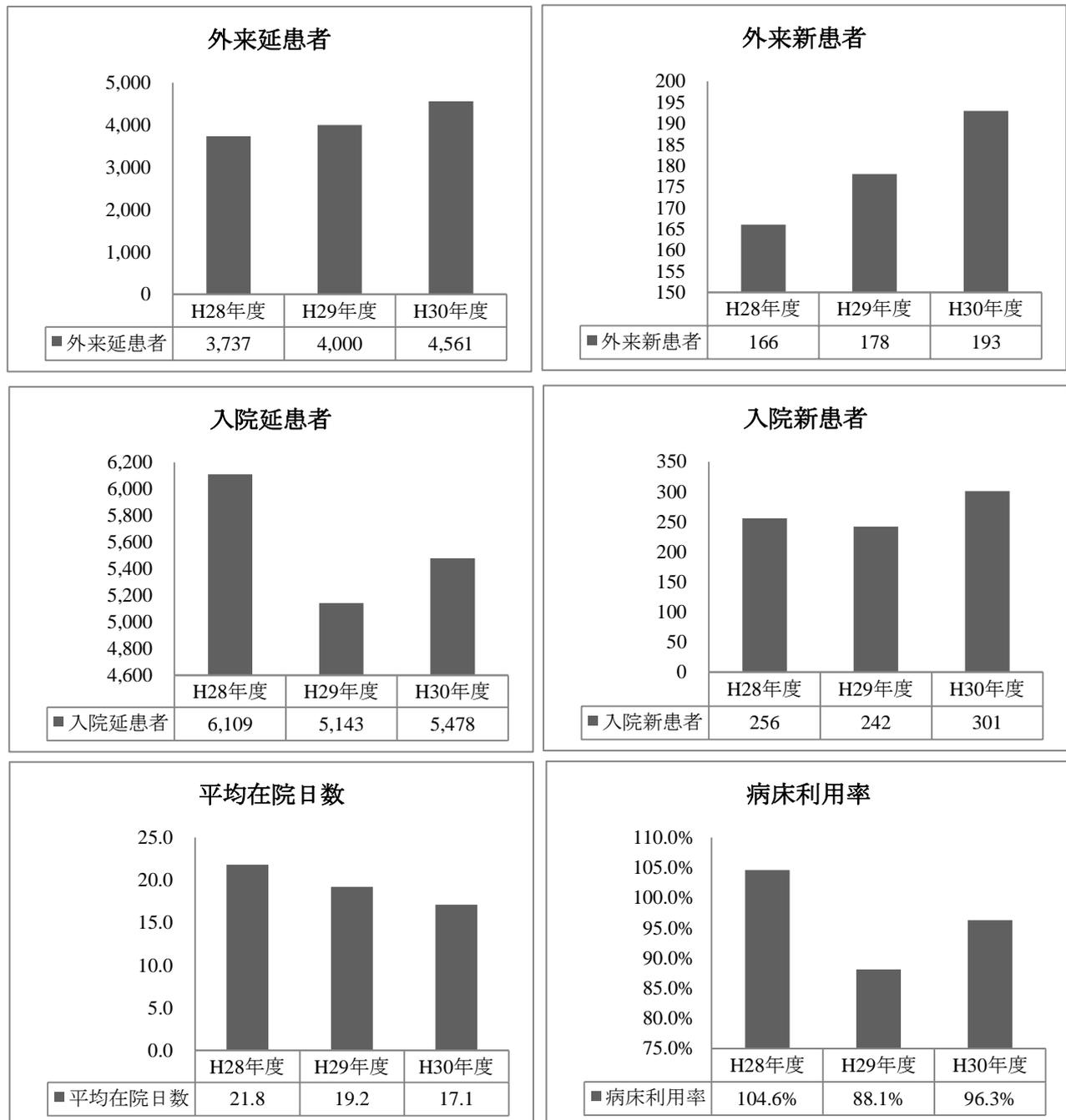
多発性硬化症に対して使用できるようになった種々の Disease modifying therapy(DMT)を試みて症例を蓄積しています。本郷から毎週伊豆長岡に来ている横山先生にコンサルテーションする例も増えています。

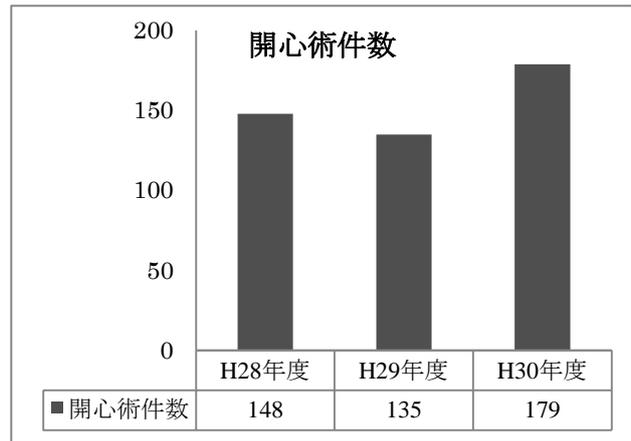
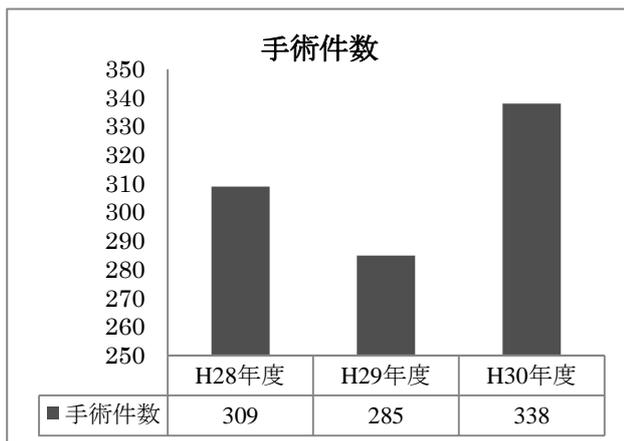
### 【研究業績，活動等】

日本神経学会関東地方会へ年4回欠かさず報告しております。

## 2-13. 心臓血管外科

### 診療実績





## 研究・教育活動

### ① 原著（英文）

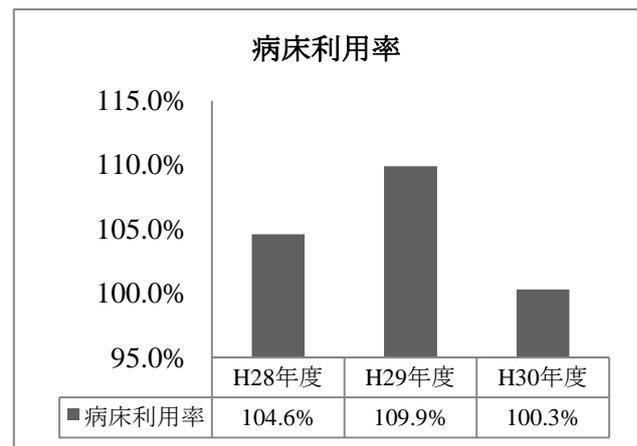
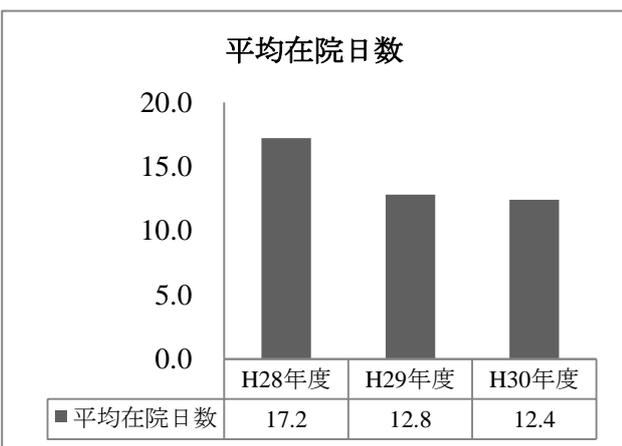
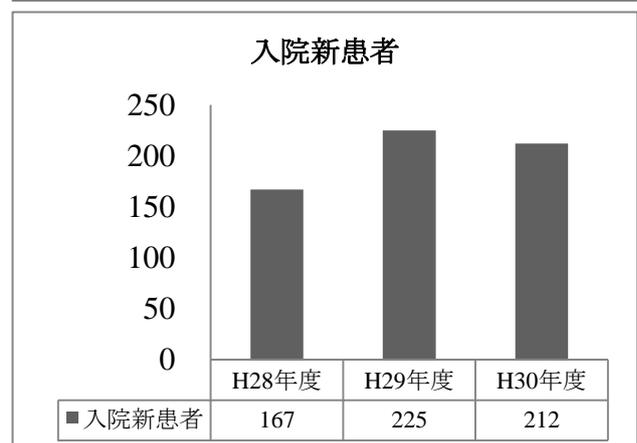
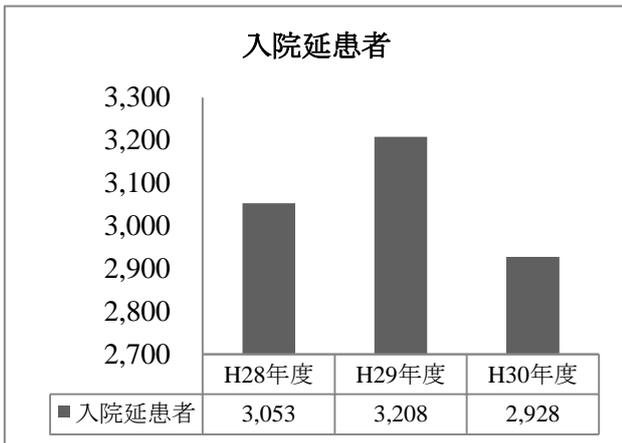
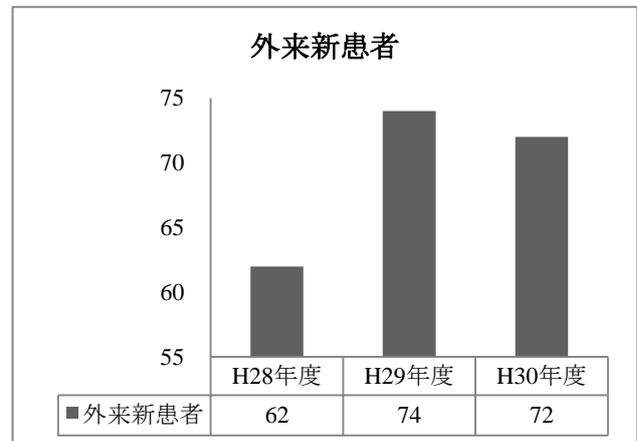
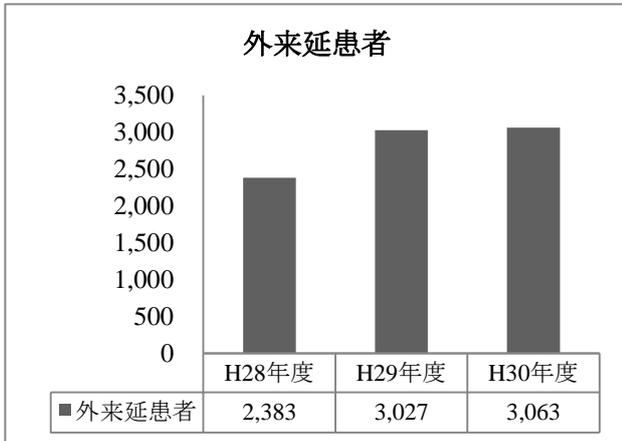
- Independent effect of low flow on outcomes in patients undergoing aortic valve replacement for severe aortic stenosis. Miyazaki S, Kuwaki K, Kajimoto K, Matsushita S, Dohi S, Yamamoto T, Hata H, Amano A. Circulation Journal. 2018; 82: 2199-2205.

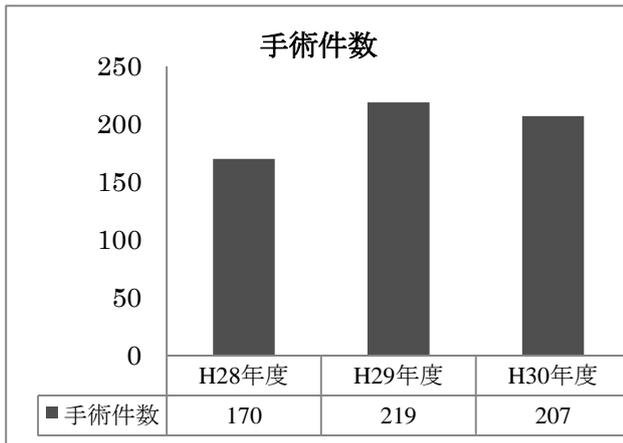
### ② 学会発表（国内）

- 感染性大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術 6 例の経験. 町田洋一郎、土肥静之、山本平、森田照正、桑木賢次、松下訓、梶本完、嶋田晶江、遠藤大介、李智榮、畑博明、天野篤. 第 46 回日本血管外科学会学術総会. 2018 年 5 月 9 日.
- 成人三心房心に対して右肋間小開胸で異常隔壁切除術を施行した一例. 宮崎 豪, 丹原圭一, 齋藤洋輔, 町田洋一郎. 第 177 回日本胸部外科学会地方会. 2018 年 6 月 23 日.
- MICS-AVR 当院自験例の検討. 町田洋一郎、丹原圭一、齋藤洋輔、宮崎豪. 第 12 回静岡県東部心臓外科循環器科連携の会. 2019 年 2 月 1 日.
- 周術期の  $\beta$  ブロッカー. 丹原圭一、齋藤洋輔. トーアエイヨー社内勉強会. 2019 年 3 月 25 日.
- ビソノテープの使用経験. 齋藤洋輔、丹原圭一. トーアエイヨー社内勉強会. 2019 年 4 月 23 日.

## 2-14 呼吸器外科

### 診療実績





## 研究・教育活動

### ① 論文業績

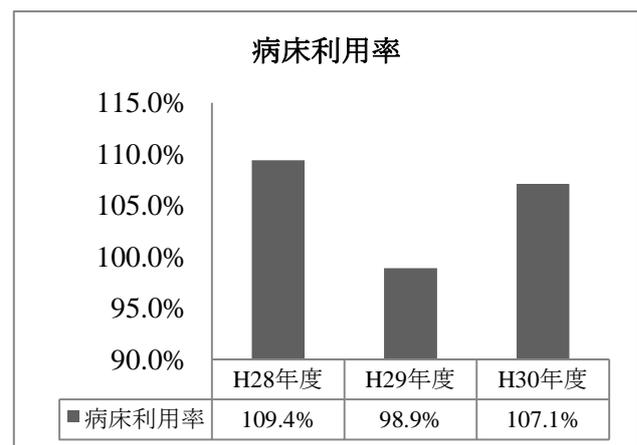
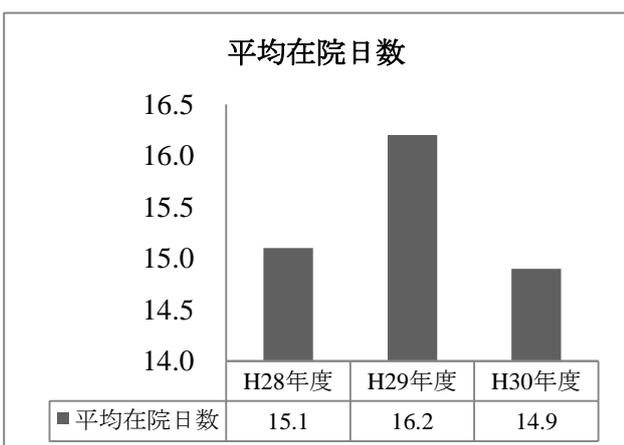
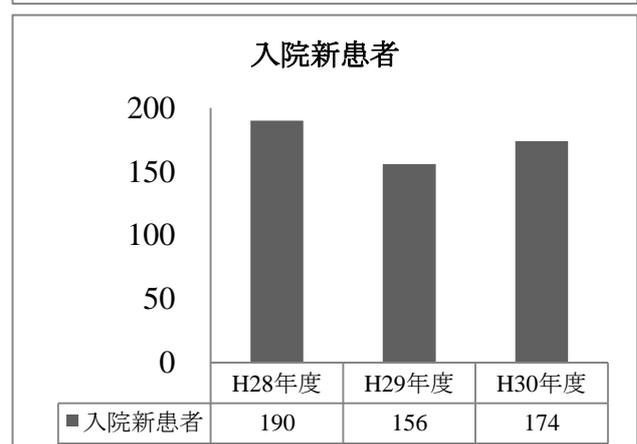
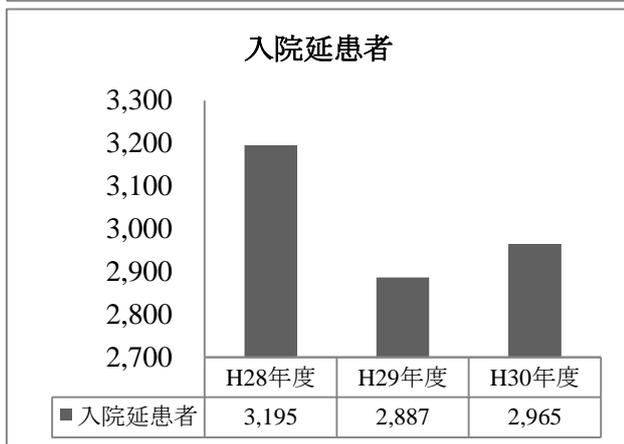
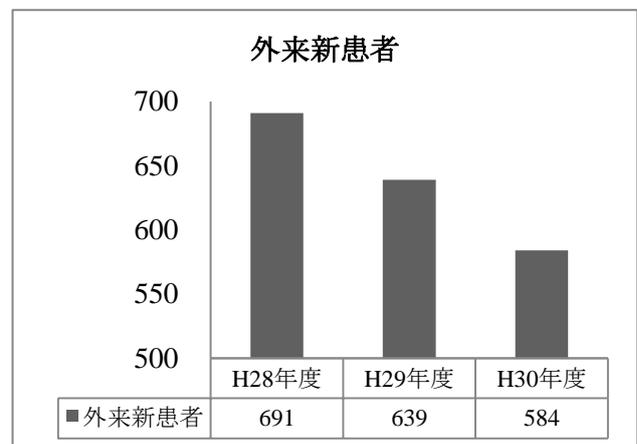
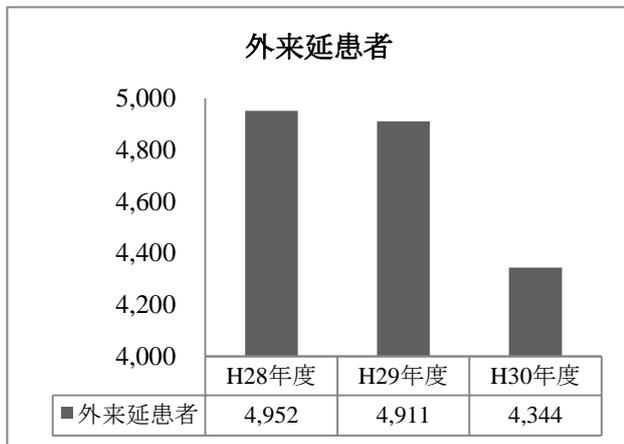
なし

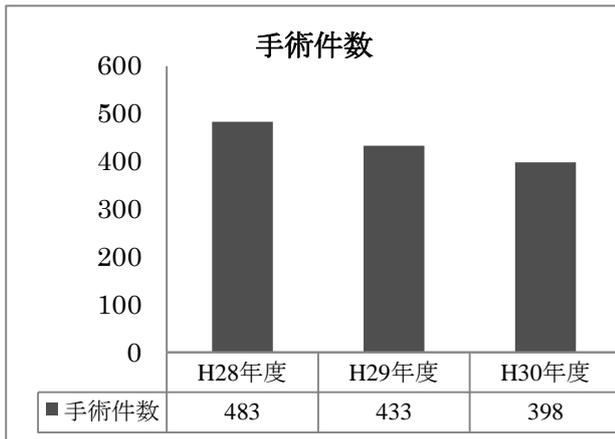
### ② 学会発表

- 1.市之川英臣:多発肋骨骨折に対して固定方法を考える BuCulu Network -Homecoming、東京、2018.2.24
2. 市之川英臣:体幹感部定位放射線治療(SBRT)後に局所再発を認め salvage surgery を施行した1例 第31回日本内視鏡外科学会総会、福岡、2018.12.6
- 3.鈴木創太、小池悠太郎、小森和幸、市之川英臣:左残肺全摘後の対側肺内病変への治療アプローチ 静岡呼吸器外科医会(平成30年度夏期例会)、浜松、2018.6.9

## 2-15 形成外科

### 診療実績





## 研究・教育活動

原著（英文）

1. Senda D, Orgun D, Shimizu A, Shimoji K, Miyajima M, Arai H, Mizuno H and Komuro Y  
Quantitative analysis of change in intracranial volume after posterior cranial vault distraction and frontal orbital advancement/remodeling  
J Craniofas Surg 2019 Jan;30(1):23-27.

学会発表（国際）

1. Senda D, Shimizu A, Orgun D, Kimura T, Shimoji K, Miyajima M, Arai H, Mizuno H and Komuro Y  
Quantitative analysis of change in intracranial volume after posterior cranial vault distraction and frontal orbital advancement/remodeling  
26<sup>th</sup> Congress of the European Society of Pediatric Neurosurgery  
(Bonn, Germany, 2018)
2. Komuro Y, Senda D and Shimoji K  
Posterior cranial vault distraction osteogenesis with barrel stave osteotomy in the treatment of craniosynostosis: operative technique and outcome  
The 14<sup>th</sup> Korea-Japan Congress of Plastic and Reconstructive Surgery  
(Pyeongchang, South Korea, 2018)

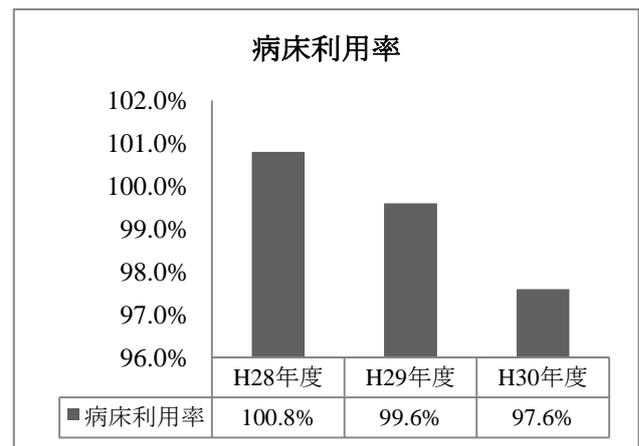
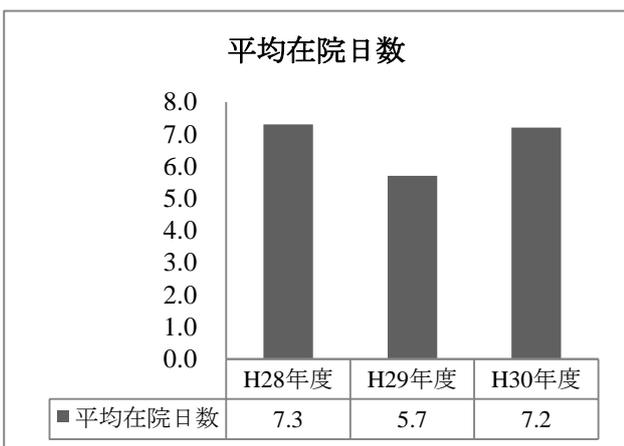
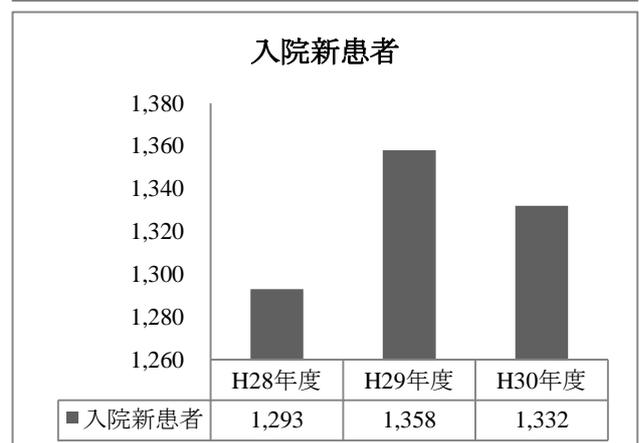
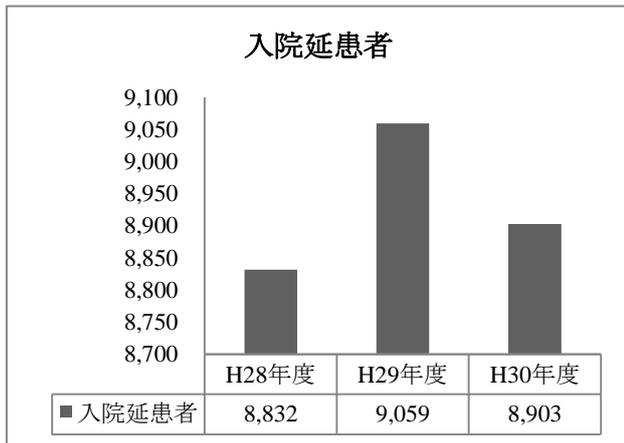
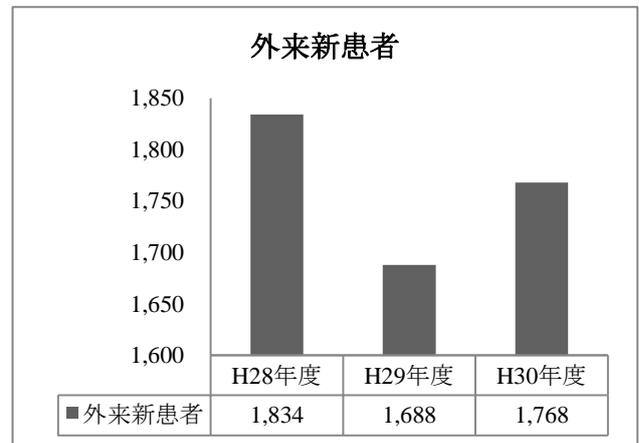
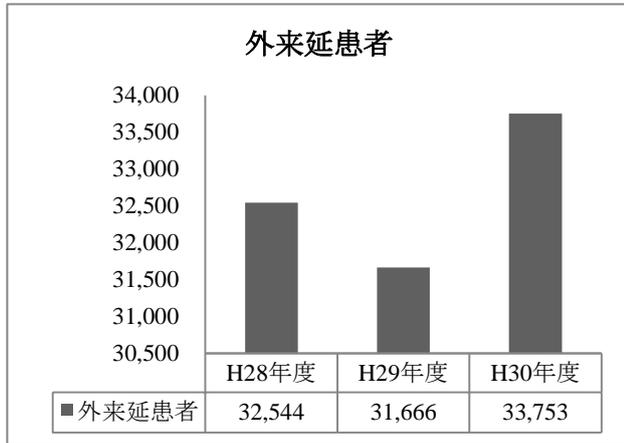
学会発表（国内）

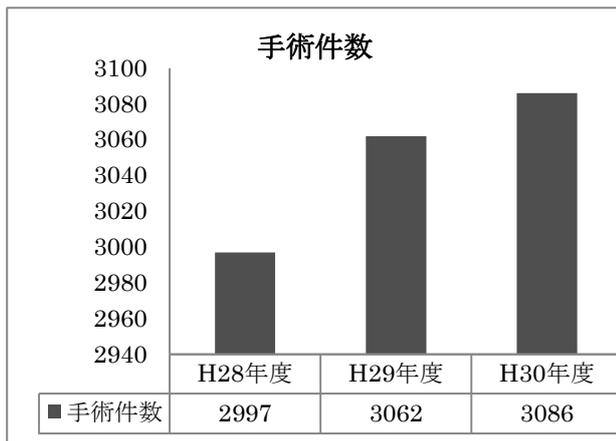
1. 小室裕造、千田大貴、下地一彰  
美を意識した頭蓋骨早期癒合症の治療  
第36回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会（2018年 札幌）
2. 千田大貴、清水 梓、下地一彰、宮島雅一、新井 一、水野博司、小室裕造  
頭蓋骨縫合早期癒合症において後頭蓋骨延長術に前頭蓋形成術を併用した症例の検討  
第61回日本形成外科学会総会・学術集会（2018年 福岡）

3. 野尻 岳、松本 茂、佐藤瑠美子、水野博司  
当院におけるドクターヘリ運航と形成外科診療の関係性  
第 61 回日本形成外科学会総会・学術集会（2018 年 福岡）
4. 千田大貴、下地一彰、宮嶋雅一、新井 一、水野博司、小室裕造  
頭蓋縫合早期癒合症において後頭蓋骨延長術に前頭蓋形成術を併用した症例の検討  
第 46 回日本小児脳神経外科学会（2018 年 東京）
5. 千田大貴、下地一彰、宮嶋雅一、新井 一、水野博司、小室裕造  
頭蓋縫合早期癒合症において後頭蓋骨延長術に前頭蓋形成術を併用した症例の検討  
第 43 回日本外科系連合学会学術集会（2018 年 東京）
6. 千田大貴、下地一彰、宮嶋雅一、新井 一、水野博司、小室裕造  
頭蓋縫合早期癒合症において後頭蓋骨延長術に前頭蓋形成術を併用した症例の検討  
第 14 回 Craniosynostosis 研究会（2018 年 長野）
7. 千田大貴、清水 梓、下地一彰、宮嶋雅一、水野博司、小室裕造  
頭蓋骨縫合早期癒合症において後頭蓋骨延長術に前頭蓋形成術を併用した症例の検討  
第 36 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会（2018 年 札幌）
8. 松本 茂、佐藤瑠美子、野尻 岳、水野博司  
中顔面骨骨折に対し IMF スクリューを用いて連結したハロー型骨延長器の使用経験  
第 61 回日本形成外科学会総会・学術集会（2018 年 福岡）
9. 佐藤瑠美子、松本 茂、野尻 岳、水野博司  
左鼻翼部に生じた基底細胞癌切除後の再建に modified AFN flap と advancement flap を用いた 1 例  
第 61 回日本形成外科学会総会・学術集会（2018 年 福岡）

## 2-16 眼科

### 診療実績





## 研究・教育活動

### 原著（和文）

1. 土至田宏, 太田俊彦, 須藤史子, 村上 晶: 副交感神経除神経家兔ドライアイモデルにおけるレチノールパルミチン酸エステル点眼液の治療効果. 眼薬理 32: 28-32, 2018.08.
2. 土至田宏: CL 装用と感染症(第 45 回) コンタクトレンズ眼障害例における視力予後について. 日本コンタクトレンズ学会誌 60(3): 156-157, 2018.09.

### 総説

1. 松崎有修, 太田俊彦: 【これでわかる眼内レンズ度数決定のコツ】 前房深度からみた IOL 度数計算のコツ. MB OCULISTA No.63 66-71, 全日本病院出版会, 2018.06.
2. 土至田宏: コンタクトレンズ用語集(第 23 回) 医療機器のクラス分類. 日本コンタクトレンズ学会誌 60(2): 119-120, 2018.06.
3. 土至田宏, 山岡裕子, 田淵照人: 【抗酸化ビタミンと疾患の関係】 ビタミン A とドライアイ. 食と医療 Vol.6: 69-77, 講談社 MOOK, 2018.07.
4. 松崎有修: 白内障・屈折手術の論点 縫着対強膜内固定(強膜内固定の視点). IOL & RS 32(3): 485-491, 2018.09.
5. 太田俊彦: こだわりの診療器具 新しい多目的核分割ディバイダー(J チョッパー)(解説). IOL & RS 32(3): 535-538, 2018.09.
6. 永田万由美, 山根真, 太田俊彦, 飯田嘉彦, 森山涼: コンサルテーションコーナー エキスパートに聞く. IOL & RS 32(3): 539-545, 2018.09.
7. 土至田宏: 【もっと知りたいオルソケラトロジー】オルソケラトロジーの屈折矯正原理と角膜への影響(解説/特集). OCULISTA 66 号: 13-19, 2018.09.
8. 松島博之, 根岸一乃, 太田俊彦, 西村栄一, 森山涼: 手術相談室 多焦点眼内レンズの脱臼症例. 眼科手術 31(4): 585-589, 2018.10.
9. 土至田宏: 特集 (2) 遠近両用 CL の基礎と応用 - 老視対策から近視抑制まで -. 眼科グラフィック 7(5): 541-541, 2018.10.
10. 土至田宏: 遠近両用 CL 概論. 眼科グラフィック 7(5): 542-548, 2018.10.

11. 太田俊彦: 【加齢性疾患への対応 Q&A】斜視、白内障、神経眼科 白内障 眼内レンズ縫着、強膜内固定の適応とポイントについて教えてください. あたらしい眼科 35 (臨増): 193-200, 2018.11.
12. 太田俊彦: 【眼内レンズ偏位・脱臼に対する手術-最新版】 IOL 偏位・脱臼に対する強膜内固定 T-fixation technique と L-ポケット切開法を併用した整復術. 臨床眼科 73(2): 171-180, 2019.02.
13. 太田俊彦: 【眼内レンズ偏位・落下の対処法】 眼内レンズ偏位・落下の現状と対処法. 日本の眼科 90(2): 116-124, 2019.02.
14. 松崎有修, 太田俊彦: 【眼内レンズ偏位・落下の対処法】 わかりやすい臨床講座 眼内レンズ偏位・落下の対処法 眼内レンズ強膜内固定術. 日本の眼科 90(2): 132-139, 2019.02.
15. 太田俊彦: 【後囊破損】後囊破損の新しい対処法 Mt.Fuji technique. IOL & RS 33(1): 15-22, 2019.03.

## 報告

1. 土至田宏: 全層角膜移植術後に角膜内皮移植術を施行した 1 例. 静岡県眼科医会誌 Vol.35, p1, 2018.

## 著書

1. 土至田宏: 乳幼児・小児へのコンタクトレンズ処方図説. コンタクトレンズ完全攻略. 小玉裕司編集. メディカル葵出版 2018.04.
2. 太田俊彦: IOL 強膜内固定術の基本. 眼科グラフィック 2018 年別冊 眼科スゴ技 白内障手術—WEB 動画付き 75 本 第一線で活躍するサージャンの手技、最新デバイスが分かる!. 大鹿哲郎・須藤史子監修. 105-112, メディカ出版, 2018.10.
3. 太田俊彦: IOL 強膜内固定術(T-fixation technique). 眼科グラフィック 2018 年別冊 眼科スゴ技 白内障手術—WEB 動画付き 75 本 第一線で活躍するサージャンの手技、最新デバイスが分かる!. 大鹿哲郎・須藤史子監修. 134-142, メディカ出版, 2018.10.

## 学会発表 (国際)

1. Ohta T: Management of Posterior Capsule Rupture: Mt. Fuji Technique. 米国白内障・屈折矯正手術学会 (ASCRS), ワシントン D.C.(米国), 2018 年 4 月 13 日~17 日. (Video Symposium)
2. Matsuzaki Y, Ichikawa K, Ohta T, Rana J R.: New Multipurpose Chopper for Cataract Surgery. 米国白内障・屈折矯正手術学会 (ASCRS), ワシントン D.C.(米国), 2018 年 4 月 13 日~17 日. (Film Festival)
3. Ichikawa K, Matsuzaki Y, Ohta T, Agarwal A, Agarwal A, Beiko G, Brierley L: Medium-Term Postoperative Results of L-Shaped Scleral Pocket Incision for Dislocated IOL Explantation. 米国白内障・屈折矯正手術学会 (ASCRS), ワシントン D.C.(米国), 2018 年 4 月 13 日~17 日. (一般講演)
4. Ohta T: Skills Transfer Labs; Secondary IOL Implantation. 米国白内障・屈折矯正手術学会 (ASCRS), ワシントン D.C.(米国), 2018 年 4 月 13 日~17 日 (Co-instructor).

5. Matsuzaki Y, Ohta T, Rana J, Murakami A: New Multipurpose Chopper for Cataract Surgery. アジア太平洋白内障屈折矯正手術学会(APACRS), チェンマイ(タイ), 2018年7月19日～21日.(ビデオ)
6. Ichikawa K: Medium-Term Postoperative Results of L-Shaped Scleral Pocket Incision for Dislocated IOL Explantation. アジア太平洋白内障屈折矯正手術学会(APACRS), チェンマイ(タイ), 2018年7月19日～21日.(一般演題)
7. Ohta T, Matsuzaki Y, Murakami A, Rana J: New multipurpose chopper for cataract surgery. 欧州白内障屈折矯正手術学会 (ESCRS), ウィーン, 2018年9月22日～26日.(Video Competition)
8. Ichikawa K, Ohta T, Matsuzaki Y, Murakami A, Agarwal A, Agarwal A, Beiko G, Brierley L: Medium-Term Postoperative Results of L-Shaped Scleral Pocket Incision for Dislocated IOL Explantation. 米国眼科学会議 (AAO), シカゴ(米国), 2018年10月27日～30日.(ポスター)  
(Selected as Best Poster)
9. Ohta T: Skills Transfer Labs (LAB103); No Capsule, No Problem: Intrasceral Haptic Fixation of IOLs. 米国眼科学会議 (AAO), シカゴ (米国), 2018年10月27日～30日(instructor).
10. Ohta T: Skills Transfer Labs (LAB106); No Capsule, No Problem: Intrasceral Haptic Fixation of IOLs. 米国眼科学会議 (AAO), シカゴ (米国), 2018年10月27日～30日(instructor).
11. Ohta T: Skills Transfer Labs (LAB136A); Pupilloplasty Techniques and Innovations in Iris Repair. 米国眼科学会議 (AAO), シカゴ (米国), 2018年10月27日～30日(instructor).

#### 学会発表 (国内)

1. 土至田宏, 太田俊彦, 須藤史子, 村上晶: 家兎ドライアイモデルにおけるレチノールパルチミン酸とヒアルロン酸の治療効果. 第122回日本眼科学会総会, 大阪府, 2018年4月19日～22日.  
(一般講演)
2. 太田俊彦: 眼内レンズ強膜内固定術の実際. 眼内レンズ二次挿入術の最近の進歩. 第122回日本眼科学会総会, 大阪府, 2018年4月19日～22日.(教育セミナー7)
3. 土至田宏: 原理と角膜への影響. オルソケラトロジー講習会 第122回日本眼科学会総会, 大阪府, 2018年4月19日～22日.
4. 松崎有修: 白内障手術における新しい多目的チョッパー. 第20回『JON研究会』講演会, 東京都, 2018年6月23日.
5. 太田俊彦, 西村栄一, 山根真, 松島博之: 明日からできる 眼内レンズ強膜内固定術のすべて. 第33回 JSCRS 学術総会, 東京都, 2018年6月29日～7月1日.(インストラクションコース)
6. 太田俊彦, 鈴木久晴, 稲村幹夫, 市川一夫, 柴琢也: CCCを極める! 第33回 JSCRS 学術総会, 東京都, 2018年6月29日～7月1日.(インストラクションコース)
7. 松崎有修, 小森翼, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 桑名亮輔, 土至田宏, 太田俊彦: 新しい後囊破損への対処法 Mt. Fuji techniqueの術後成績. 第33回 JSCRS 学術総会, 東京都, 2018年6月29日～7月1日.(一般講演)
8. 朝岡聖子, 小森翼, 大谷洋揮, 市川浩平, 林雄介, 桑名亮輔, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: 逆同行ブロックにより IOL 支持部脱出を認めた IOL 強膜内固定後の1例. 第33回 JSCRS 学術総会, 東京都, 2018年6月29日～7月1日.(一般講演)

9. 土至田宏, 松崎有修: 火山灰がコンタクトレンズ装着眼に及ぼす影響. 第 61 回日本コンタクトレンズ学会総会(フォーサム 2018), 東京都, 2018 年 7 月 14 日~16 日. (一般講演)
10. 土至田宏: ハードコンタクトレンズの合併症, コンタクトレンズ講習会. 第 61 回日本コンタクトレンズ学会総会(フォーサム 2018), 東京都, 2018 年 7 月 14 日~16 日.
11. 土至田宏: 原理と角膜への影響. オルソケラトロジー講習会. 第 61 回日本コンタクトレンズ学会総会(フォーサム 2018), 東京都, 2018 年 7 月 14 日~16 日.
12. 市川浩平, 反田蓉子, 朝岡聖子, 大谷洋揮, 林雄介, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦, 蕪城俊克: 猫引っ掻き病によるぶどう膜炎が疑われた 1 例. 第 71 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2018 年 8 月 18 日.
13. 林雄介, 反田蓉子, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 市川浩平, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: 肥厚性硬膜炎による視神経炎の 1 例. 第 71 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2018 年 8 月 18 日.
14. 太田俊彦: 白内障手術のトラブルシューティング. 第 4 回聖マリアンナ眼科シンポジウム, 東京都, 2018 年 9 月 1 日.(特別講演)
15. 市川浩平, 反田蓉子, 朝岡聖子, 大谷洋揮, 林雄介, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: 多発消失性白点症候群の経過が追えた 1 例. 平成 30 年度静岡県東部眼科医会放談会, 沼津市, 2018 年 9 月 6 日.
16. 朝岡聖子, 反田蓉子, 大谷洋揮, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: 眼内レンズ強膜内固定後に逆瞳孔ブロックを認めた 1 例. 平成 30 年度静岡県東部眼科医会放談会, 沼津市, 2018 年 9 月 6 日.
17. 太田俊彦: 白内障手術合併症の対処法, 第 49 回東海北陸ブロック講習会, 静岡市, 2018 年 9 月 9 日.
18. 土至田宏: 進化し続けるコンタクトレンズ再検証. 第 17 回北海道角膜セミナー. 札幌市, 2018 年 9 月 22 日.
19. 土至田宏, 太田俊彦, 須藤史子, 村上晶: 副交感神経徐神経家兎ドライアイモデルにおける各種ドライアイ治療用点眼薬の効果. 第 38 回日本眼薬理学会, 長崎市, 2018 年 9 月 29 日~30 日.(一般講演)
20. 太田俊彦, 江口秀一郎, 小早川信一郎, 松島博之, 西村栄一: IOL 縫着術と強膜内固定術 A to Z. 第 72 回 日本臨床眼科学会, 東京都, 2018 年 10 月 11 日~14 日. (インストラクションコース)
21. 市川浩平, 太田俊彦, 土至田宏, 松崎有修, 林雄介, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 反田蓉子, 村上晶: 当院における過去 10 年間の開放性眼外傷の検討. 第 72 回 日本臨床眼科学会, 東京都, 2018 年 10 月 11 日~14 日. (ポスター)
22. 反田蓉子, 市川浩平, 朝岡聖子, 土至田宏, 太田俊彦, 蕪城俊克, 村上晶: 猫引っ掻き病によるぶどう膜炎が疑われた一例. 第 72 回 日本臨床眼科学会, 東京都, 2018 年 10 月 11 日~14 日. (ポスター)
23. 土至田宏: 原理と角膜への影響. オルソケラトロジー講習会. 第 72 回 日本臨床眼科学会, 東京都, 2018 年 10 月 14 日.
24. 松崎有修: 白内障手術プレミアリーグ~OPL in Japan~ (白内障手術を詠む!). 第 7 回 JSCRS ウィンターセミナー, 東京都, 2018 年 12 月 1 日~2 日.
25. 土至田宏: ドライアイモデルによる薬効評価. ドライアイの治療薬開発と新しい標的での創薬、モデル活用(ドライアイ 創薬 セミナー). 東京都, 2018 年 12 月 5 日.

26. 大谷洋揮, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: 一時的人工角膜併用硝子体手術の術後成績に関する検討. 第 57 回 日本網膜硝子体学会総会, 東京都, 2018 年 12 月 7 日~9 日. (学術展示)
27. 土至田宏: 研究用輸入角膜を用いた内皮移植用ドナー角膜作成の試み. 第 72 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2019 年 1 月 19 日.
28. 小野純治, 土至田宏, 太田俊彦: マイクロモノビジョン法と両眼正視狙いを用いた焦点深度拡張型多焦点眼内レンズの術後成績. 第 72 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2019 年 1 月 19 日.
29. 反田蓉子, 土至田宏, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 太田俊彦: 重症ドライアイに対する涙小管焼灼と涙点縫合による観血的涙点閉鎖術. 第 72 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2019 年 1 月 19 日.
30. 朝岡聖子, 松田彰, 大谷洋揮, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: アーメド緑内障インプラント挿入術の短期成績. 第 42 回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019 年 2 月 1 日~3 日. (一般講演)
31. 土至田宏: 輸入角膜を用いた DMEK 用ドナー角膜作成の試み. 第 42 回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019 年 2 月 1 日~3 日. (一般講演)
32. 松崎有修, 反田蓉子, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 土至田宏, 太田俊彦: 眼内レンズ強膜内固定後に逆瞳孔ブロックを認めた 1 例. 第 42 回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019 年 2 月 1 日~3 日. (学術展示)
33. 大谷洋揮, 反田蓉子, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: 眼内レンズ強膜内固定術施行眼の長期術後成績. 第 42 回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019 年 2 月 1 日~3 日. (学術展示)
34. 反田蓉子, 土至田宏, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 市川浩平, 林雄介, 松崎有修, 太田俊彦: 重症ドライアイに対する涙小管焼灼と涙点縫合の併用による観血的涙点閉鎖術. 第 42 回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019 年 2 月 1 日~3 日. (学術展示)
35. 太田俊彦, 稲村幹夫, 鈴木久晴, 市川一夫, 柴琢也: CCC を極める!. 第 42 回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019 年 2 月 1 日~3 日. (インストラクションコース)
36. 太田俊彦: 新しい多目的分割ディバイダーの試作. 第 42 回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019 年 2 月 1 日~3 日. (一般講演)
37. 市川浩平, 反田蓉子, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 林雄介, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦: IOL 摘出時の L-ポケット切開法の中期術後成績. 第 42 回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019 年 2 月 1 日~3 日. (一般講演)
38. 林雄介, 土至田宏, 反田蓉子, 大谷洋揮, 朝岡聖子, 市川浩平, 松崎有修, 太田俊彦: 線維柱帯切除術の濾過胞嚢孔に対し結膜被覆術が有効であった 1 例. 第 42 回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019 年 2 月 1 日~3 日. (学術展示)
39. 土至田宏: 結膜断端部反転縫合法の応用と評価. 翼状片手術を極める (総会長企画). 第 42 回 日本眼科手術学会学術総会, 横浜市, 2019 年 2 月 1 日~3 日.
40. 土至田宏: 翼状片切除術+Host 結膜反転縫合法併用有形弁移植の術後成績. 角膜カンファレンス 2019, 京都市, 2 月 7 日~9 日 (一般講演).
41. 太田俊彦: 白内障手術のトラブルシューティング. KOWA Ophthalmic Seminar in Gifu 2019. 岐阜市, 2019 年 3 月 3 日.

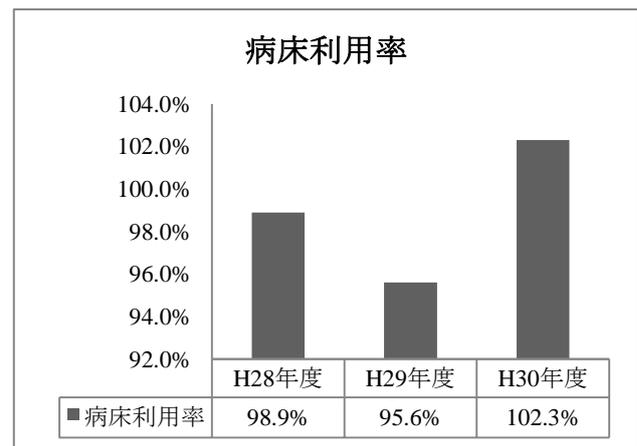
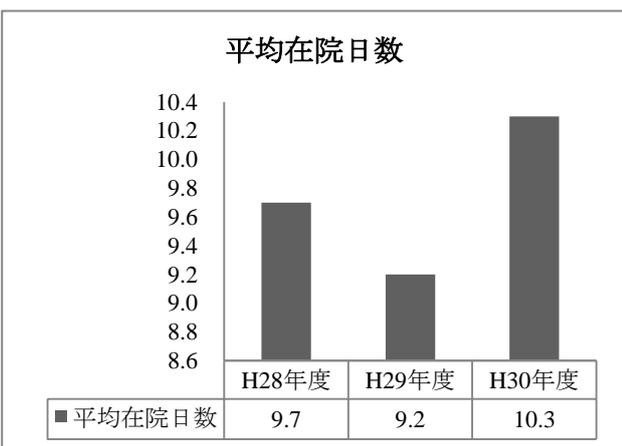
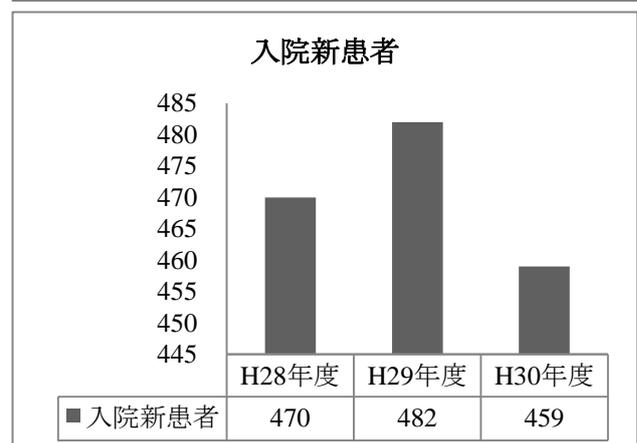
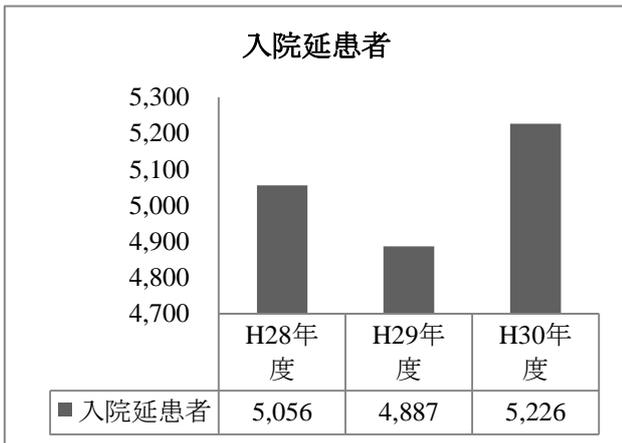
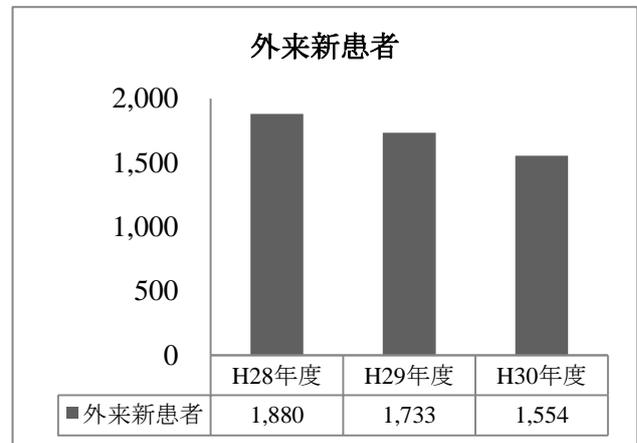
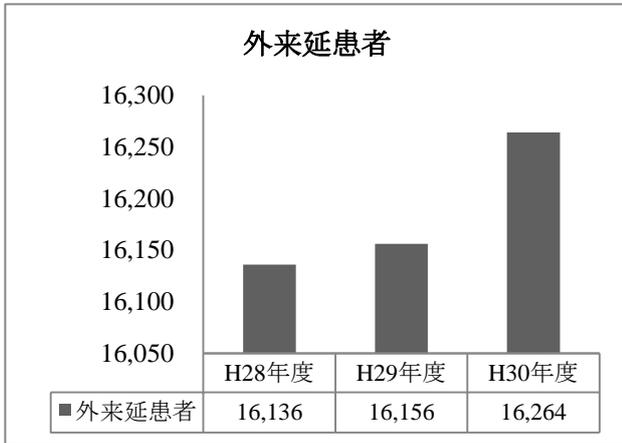
42. 太田俊彦: 白内障手術のトラブルシューティング. 眼科学術講演会～ROCK in NAGOYA～. 名古屋市, 2019年3月14日.
43. 太田俊彦: 白内障手術のトラブルシューティング. 第211回茨城県眼科医会学術講演会. 水戸市, 2019年3月17日.

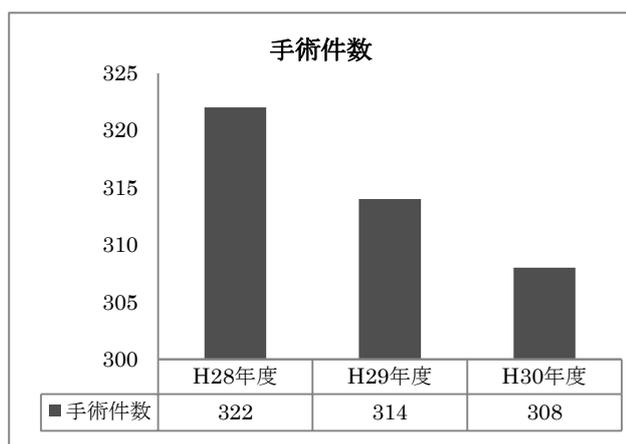
## その他

1. 太田俊彦: 高齢者の目の病気 こんな症状があったら要注意!! 第26回ゆ～ゆ～健康講座, 伊東市, 2018年5月13日.
2. 土至田宏: 日本コンタクトレンズ協会 平成30年度 コンタクトレンズ販売管理者継続的研修 コンタクトレンズの医療情報. 神戸市, 2018年7月10日.
3. 土至田宏: 日本コンタクトレンズ協会 平成30年度 コンタクトレンズ販売管理者継続的研修 コンタクトレンズの医療情報. 大阪市, 2018年7月11日.
4. 土至田宏: 日本コンタクトレンズ協会 平成30年度 コンタクトレンズ販売管理者継続的研修 コンタクトレンズの医療情報. 名古屋市, 2018年7月18日.
5. 太田俊彦: 眼科領域術前術後感染症対策について. ファイザー株式会社 社内勉強会, 横浜市, 2018年7月19日.
6. 土至田宏: 日本コンタクトレンズ協会 平成30年度 コンタクトレンズ販売管理者継続的研修 コンタクトレンズの医療情報. 東京都, 2018年7月25日.
7. 太田俊彦: 明日からできる眼内レンズ強膜内固定術のポイント, アバンシィ Webカンファレンス(興和創薬株式会社), 2018年9月4日.
8. 太田俊彦: 眼科手術の最近の進歩. 田方医師会報 Vol.88, 2025-2026, 2018年10月.
9. 土至田宏: 角膜移植の未来. 沼津ライオンズクラブ検眼活動推進チーム勉強会. 沼津市, 2018年11月8日.
10. 土至田宏: 解剖・生理「眼科系」. 消防職員専科教育救急科に係る講師, 静岡市, 静岡県消防学校, 2019年1月10日.
11. 土至田宏: コンタクトレンズに関する医療情報. 平成30年度 医療機器・販売業の管理者に対する継続的研修. 水戸市, 2018年1月25日.
12. 土至田宏: 「コンタクトレンズに関する医療情報」(発展講習). 平成30年度 医療機器・販売業の管理者に対する継続的研修. 静岡市, 2018年1月26日.
13. 松崎有修: 視器の構造. 第41回 眼科コメディカル静岡県講習会, 静岡市, 2019年2月10日.

## 2-17 耳鼻咽喉科

### 診療実績





## 研究・教育活動

### 英文原著

1. Nakagawa H, Toyoda Y, Albrecht T, Tsukamoto M, Praetorius M, Ishikawa T, Kamiya K, Kusunoki T, Ikeda K, Serkan Sertel. Are ATP-binding cassette transporter and earwax associated with the incidence of cholesteatoma? *Medical Hypotheses*. 2018;114:19-22.
2. Kusunoki T, Nakagawa H, Tsukamoto M, Toyoda Y, Kamiya K, Okada H, Hara S, Furukawa M, Ikeda K. Possible association between middle ear cholesteatoma and a single nucleotide polymorphism 538G>A in *ABCC11*, a human earwax type determinant. *Journal of Molecular and Genetic Medicine*. 2018 ; 12:3
3. Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yanai A, Hara S, Oba A, Wada R, Ikeda K. A large vocal fold polyp causing dyspnea. *J Otol Rhinol* 2018, 7;5
4. Ikeda K, Ito S, Hibiya R, Homma H, Ono N, Okada H, Kidokoro Y, Shiozawa A, Kusunoki T. Postoperative management of eosinophilic chronic rhinosinusitis with polyps: Impact of high-dose corticosteroid nasal spray. *Int Arch Otorhinolaryngol* 2018. DOI <https://doi.org/10.1055/s-0038-1668515>.
5. Kusunoki T. A simple voice training method for vocal fold polyps that emphasizes abdominal respiration. *J Otol Rhinol* 2018, 7;6
6. Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yanai A, Sonoda K, Saikawa Y, Wada R, Ikeda K. Tracheal stenosis due to an abscess from thyroid tumor. *J Oto Rhinol* 2019,8 ; 2
7. Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yanai A, Hara S, Saito K, Wada R, Ikeda K. Neuroendocrine carcinoma arising in a wound after endoscopic sinus surgery for maxillary sinusitis. *J Oto Rhinol* 2019,8 ; 2

### 和文原著

1. 矢内 彩、和田 了、楠 威志：顎下腺に発生した唾液腺導管癌. *耳鼻臨床* 111 : 158-159、2018.
2. 城所淑信、楠 威志：咽喉頭を初発症状とした Steven-Johnson 症候群. *耳鼻臨床* 111 : 302-303、2018.
3. 城所淑信、本間博友、矢内彩、原聡、小林優子、楠 威志：頸部への裁縫による反復自傷の1例. *額帯鏡* 58:12-17、2018.
4. 楠 威志、本間博友、城所淑信、矢内彩、原聡、小林優子：災害時医療機関機能停止時における、気道系疾患に対する「自宅のできる腹式呼吸を重点に置いた音声訓練法」の有用性. 平成 27/28 年度 静岡災害医学研究センター紀要 55-56、2018.
5. 楠 威志、本間博友、城所淑信、矢内彩、原聡、小林優子：災害時医療機関機能停止時における、気

道系疾患に対する「自宅でできる腹式呼吸を重点に置いた音声訓練法」の有用性. 平成 29 年度 静岡災害医学研究センター紀要 58-59,2018.

6. 楠 威志:近年の結核の動向と頸部リンパ節結核の診療ポイント 耳鼻臨床 111 : 786-787、2018.

7. 楠 威志:耳垢型の決定遺伝子 *ABCC11* と中耳真珠腫の発症リスク 耳鼻臨床 112 : 478-479、2019.

8.城所淑信、楠 威志 : 咽頭症状で初発した EB ウィルス関連血球貪食症候群の一例 額帯鏡 59 : 15-18、2019

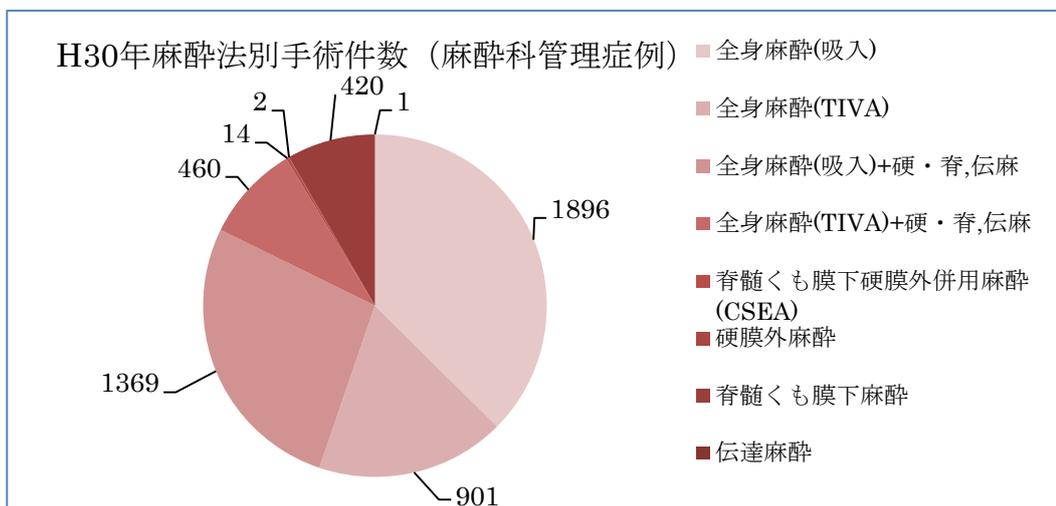
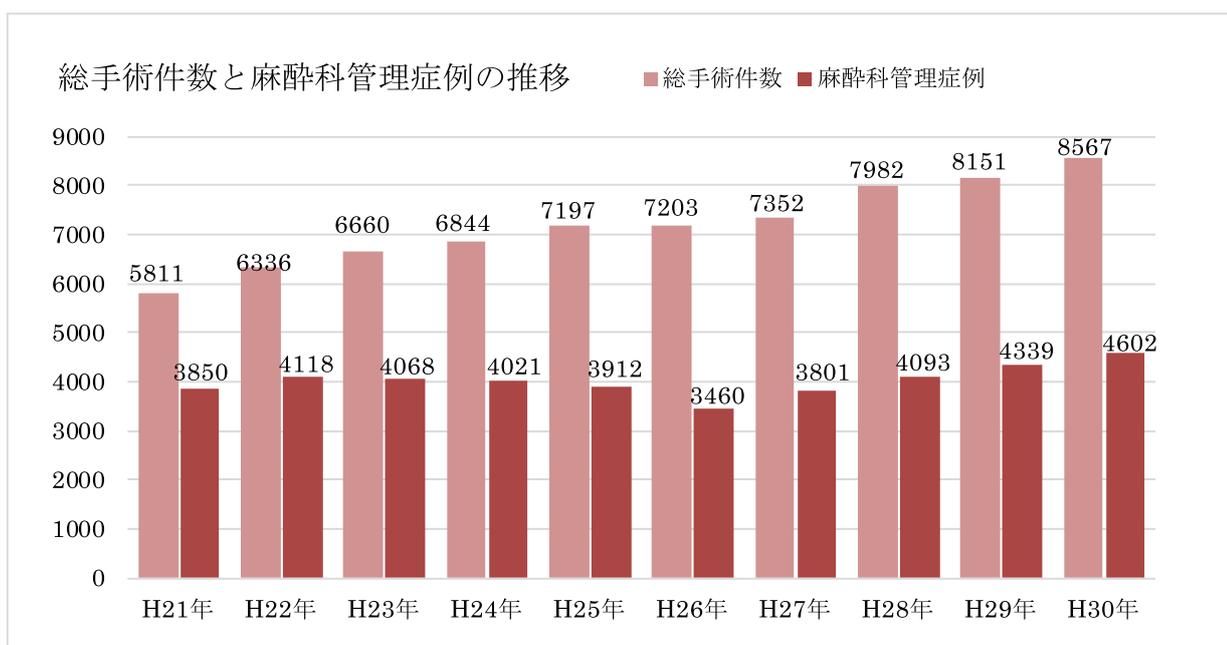
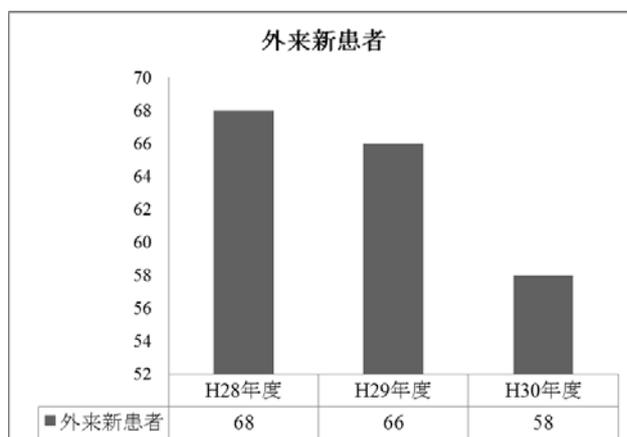
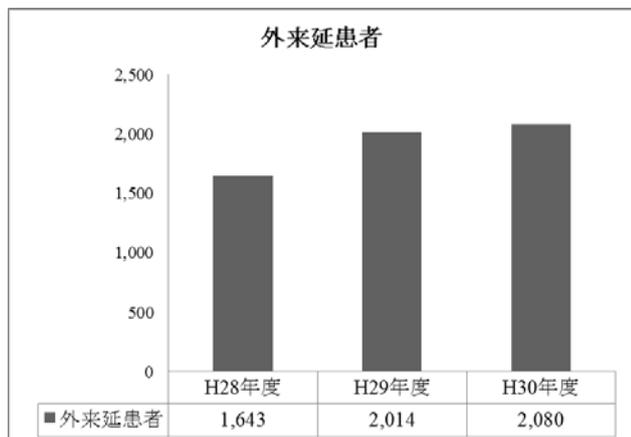
9. 楠 威志 : 災害時医療機関機能停止時における、気道系疾患に対する「自宅でできる腹式呼吸を重点に置いた音声訓練法」の有用性. 平成 30 年度 静岡災害医学研究センター紀要 48-49, 2019 .

## 科研費

1. 楠 威志 2018 年度科学研究費補助金 基盤研究 C 新規採択
2. 城所淑信 2018 年度科学研究費補助金 若手研究 新規採択
3. 本間博友 2019 年度科学研究費補助金 基盤研究 C 新規採択

## 2-18 麻酔科

### 診療実績



## 教育研究活動

### 原著 (英文)

1. Takeshi Omae, Eiichi Inada. New-onset atrial fibrillation:an update.Springer., 2018 Jun;32(3):414-424,DOL:10.1007/s00540-018-2478-8
2. Sonoko Sakuraba, Takeshi Omae, Izumi Kawagoe, Keito Koh and Eiichi Inada., Respiratory failure caused by impending tension pneumothorax after extrapleural pneumonectomy:a case report., JA Clinical Reports (2018)4:45 DOI.org/10.1186/s40981-018-0184z
3. Masateru Kumemura,Takeshi Omae Anesthetic management without perioperative platelet transfusion for cervical laminectomy and laminoplasty in a case of May-Hegglin anomaly., Springer 2018 Aug;32(4):641-644,DOI:10.1007/s00540-018-2522-8

### 著書

1. 尾前毅、VII.特定の心疾患に対する麻酔管理 Q27 僧帽弁手術の麻酔管理、FAQ で分かりやすい心臓麻酔臨床実践ガイド 総合医学社、2018年4月；第2版：271-279
2. 尾前毅、6.抗血小板と心臓手術、ワンランク上の心臓麻酔に必要なエビデンス 克誠堂出版、2018年5月；第1版：89-92
3. 久米村正輝、鈴木昭広、3-1 喘息発作中の患者 新戦略に基づく麻酔・周術期医学 麻酔科医のためのリスクを有する患者の周術期管理 中山書店、2018年5月；初版:250-257

### 学会発表 (国際)

1. Keito Koh,Masateru Kumemura,Sonoko Sakuraba,Takeshi Omae, Sex differences in pain and pain-related disability in Japanese Chronic spinal disease patients., Anesthesiology 2018 Annual Meeting,San Francisco.Oct.13.2018

### 学会発表 (国内)

1. 山崎翔、尾前毅、新見奈央子、櫻庭園子、洪景都、太田正孝 僧帽弁形成術後の SAM に対するランジオロールとシベンゾリン投与の比較 (ポスター発表) 日本麻酔科学会第65回学術集会、横浜、2018.5.18
2. 尾前毅、僧帽弁形成術後の SAM に対してシベンゾリンが有用であった2症例 第39回日本循環制御医学会総会、宮崎県、2018.6.2
3. 岡崎敦、洪景都、真弓雅子、ペインクリニック外来を受診する患者の痛みとしびれに対する考え方の調査 (ポスター発表)、日本ペインクリニック学会第52回大会、東京、2018.7.21
4. 洪景都、尾堂公彦、榎本達也、高田朋彦、勝田陽介、権藤栄蔵、井関雅子、成田年、麻酔薬の選択と周術期管理で CPOP を予防できるか? (シンポジウム)、日本ペインクリニック学会第52回大会、東京、2018.7.20
5. 川口幹裕、久米村正輝、櫻庭園子、洪景都、尾前毅、統合失調症患者の両側乳房切除に対して両側 Erector Spinae Plane Block(ESPB)が有効であった1症例 (ポスター発表)、日本麻酔科学会 東海・北陸支部第16回学術集会、石川県、2018.9.8
6. 上園瑛子、櫻庭園子、洪景都、久米村正輝、尾前毅、低左心機能患者の脊椎手術において、大動脈バルーンポンピングと経静脈的ペーシングを併用し循環管理を行った一例 (ポスター発表) 日本麻酔科学会 東海・北陸支部第16回学術集会、石川県、2018.9.8

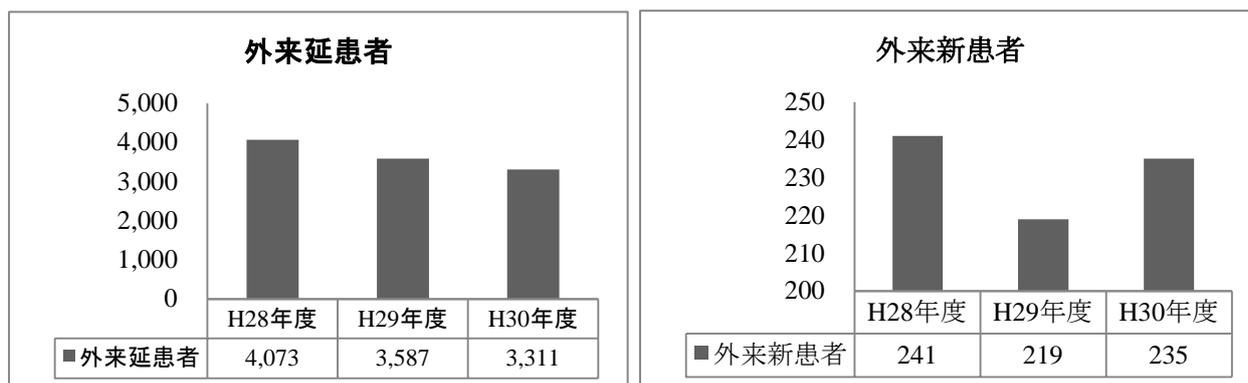
7. 後藤良太、洪景都、櫻庭園子、久米村正輝、尾前毅、予定帝王切開術後に生じた原因不明の神経障害に対する原因検索及びその対応について（ポスター発表）  
日本麻酔科学会 東海・北陸支部第16回学術集会、石川県、2018.9.8
8. 尾前毅、周術期心房細動（日本心臓血管麻酔学会 専門医コースレクチャー）、  
日本心臓血管麻酔学会第23回学術大会、東京、2018.9.16
9. 久米村正輝、尾前毅、洪景都、櫻庭園子、僧帽弁形成術後SAMを発症した症例の僧帽弁逆流症の遠隔予後（ポスター発表）、日本心臓血管麻酔学会第23回学術大会、東京、2018.9.14
10. 肥後雅秀、尾前毅、低体温循環停止法における下肢循環停止時間とAKI発生率の関連性（ポスター発表）  
日本心臓血管麻酔学会第23回学術大会、東京、2018.9.14
11. 久米村正輝、小児のABCD sonography【petit】心臓（ハンズオンセミナー インストラクター）  
日本小児麻酔学会第24回大会、神戸市、2018.10.21
12. 尾前毅、新しい抗凝固薬に対する周術期の対処（教育講演）、  
日本臨床麻酔学会第38回大会、北九州、2018.11.1
13. 後藤良太、洪景都、櫻庭園子、久米村正輝、尾前毅、Von-Hippel-Lindau病に伴う褐色細胞腫による原因不明の術中高血圧（ポスター発表）、日本臨床麻酔科学会第38回大会、北九州、2018.11.1
14. 川口幹裕、久米村正輝、櫻庭園子、山崎翔、洪景都、尾前毅、腹腔鏡下大腸癌切除術に対して両側 Erector Spinae Plane Block(ESPB)が有用であった1症例（ポスター発表）  
日本臨床麻酔科学会第38回大会、北九州、2018.11.1

## その他

1. 岡崎敦 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会（ファシリテーター）  
第14回順天堂大学医学部附属静岡病院緩和ケア研修会、伊豆の国市、2018.6.9-10
2. 長谷川陽子 呼吸困難（講義）  
第14回順天堂大学医学部附属静岡病院緩和ケア研修会、伊豆の国市、2018.6.10
3. 岡崎敦 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会（ファシリテーター）  
静岡医療センター緩和ケア研修会、清水町、2018.10.7
4. 岡崎敦 BLS講習会 BLSヘルスケア プロバイダーコース（開催企画者）  
日本ACLS協会静岡東部トレーニングサイト、伊豆の国市、2019.3.16

## 2-19 放射線科

### 業務実績



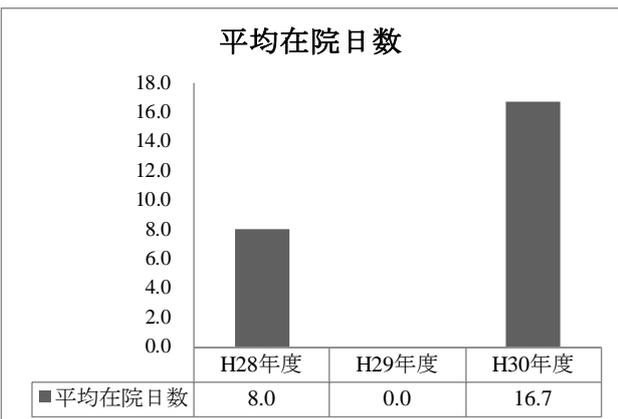
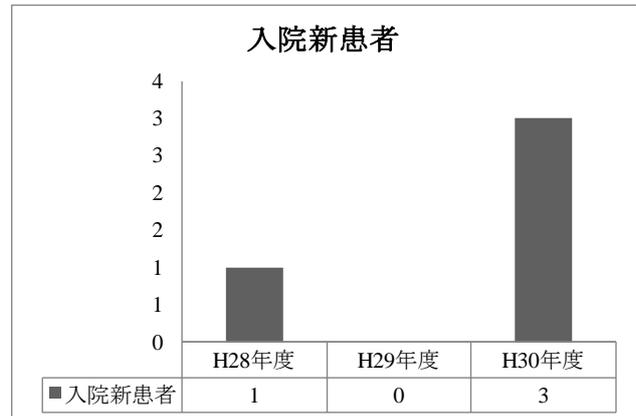
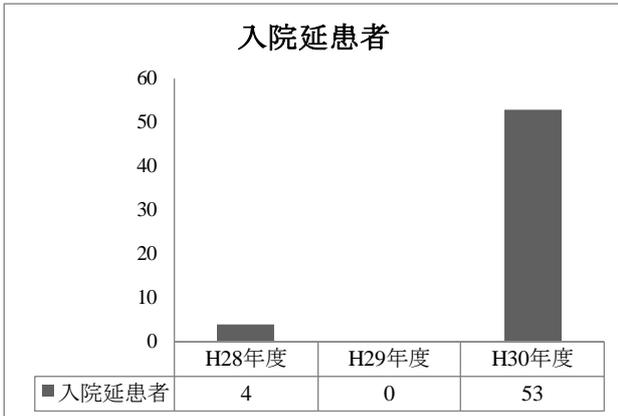
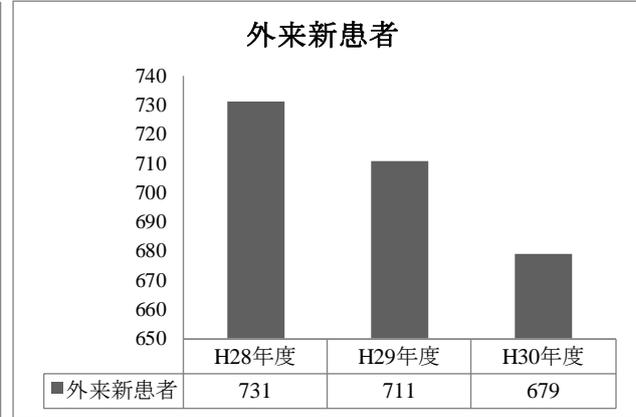
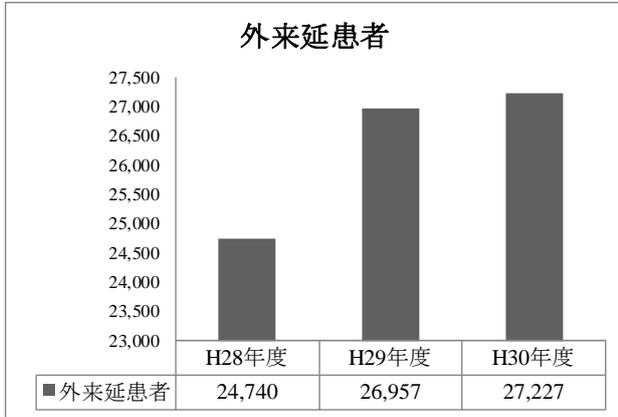
### 研究活動

2015年 日本医学放射線学会秋季臨床大会 silver medal 受賞 : 松波 環

2017年 JJR (日本医学放射線学会雑誌) 論文掲載 : 松波 環

## 2-20 メンタルクリニック

### 診療実績



### 診療活動

患者数は県内トップクラスの外来患者数を維持しています。新患者でも県内1を維持しています。病棟からのコンサルテーション数も多く、せん妄や抑うつなどを身体科と連携して治療しています。自殺企図患者などを救急科による身体的治療と並行して、必要に応じて地域の精神科病院に転院させるネットワークも構築され、順調に機能しています。他院で受け入れ困難な精神疾患患者の身体疾患も、各科と連携して受け入れています。

児童思春期の患者も引き続き多数来院しており、他院では対応できないケースを受け入れることも多くなっています。児童に限らず、近年は非薬物療法のニーズが高いことに応え、臨床心理士と連携して、ペアレントトレーニング・ソーシャルスキルトレーニング・認知行動療法・遊戯療法などの非薬物療法を充実させてきました。成人の発達障害患者も増加傾向にあります。

研究では、桐野は functional MRI と脳波の同時測定による functional connectivity の研究を継続しています。児童思春期のメンタルヘルスなどのテーマで講演依頼も多く、地域医療に貢献しています。

## 研究活動

### 英文原著

1. **Kirino E**, Tanaka S, Fukuta M, Inami R, Inoue R, Aoki S: Functional connectivity of the caudate in schizophrenia evaluated with simultaneous resting-state fMRI and Electroencephalography Recordings. *Neuropsychobiology*. 77 (4): 165-175, 2019
2. Inami R, **Kirino E** (corresponding author): Nicotine Effect on Mismatch Negativity in Smoking and Non-smoking Patients with Schizophrenia. *Schizophrenia Research* 208:496-497, 2019
3. Tanaka S, **Kirino E**: Increased functional connectivity of the angular gyrus during imagined music performance. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2019 Mar 18;13:92.
4. **Kirino E**, Hayakawa Y, Inami R, Inoue R, Aoki S: Simultaneous fMRI-EEG-DTI Recording of MMN in patients with schizophrenia. *PLoS ONE*: 14(5): e0215023. 2019
5. Hattori A, Kamagata K, **Kirino E**, Andica C, Tanaka S, Hagiwara A, Fujita S, Maekawa T, Irie R, Kumamaru KK, Suzuki, M, Wada A, Horii M, Aoki S: White Matter Alterations in Adult with Autism Spectrum Disorder Evaluated using Diffusion Kurtosis Imaging. *Neuroradiology* (2019). <https://doi.org/10.1007/s00234-019-02238-5>
6. **Kirino E**: Difficulty differentiating a case of posterior cortical atrophy from a psychogenic disturbance of vision. *Psychogeriatrics*. 2019 Apr 17. doi: 10.1111/psyg.12455.

### 和文原著

1. **桐野衛二**, 田中昌司, 福田麻由子, 稲見理絵, 新井平伊, 井上令一: 成人自閉症スペクトラム障害患者におけるfunctional connectivityのrs-fMRIを用いた検討. *日本薬物脳波学会雑誌* 18 (1): (印刷中)

### 和文総説

1. **桐野衛二**, 田中昌司, 福田麻由子, 稲見理絵, 新井平伊, 井上令一, 青木茂樹: 「精神医学のフロンティア」機能的MRIと脳波の安静時同時記録による統合失調症患者の脳内機能的連絡の検討. *精神神経学雑誌* 120(11): 990-996, 2018
2. **桐野衛二**: 統合失調症とDefault Mode Network.(特集 Default Mode Network—脳を操る陰の主役—Default Mode Networkと疾患・診断・治療) *Clinical Neuroscience* 37巻2号: 210-211, 2019

### 和文報告

1. **桐野衛二**: 統合失調症におけるデフォルトモードネットワーク異常. 平成30年度順天堂精神医学研究所紀要: 1-4, 2019
2. Inami R, **Kirino E**: Nicotine Effect on Mismatch Negativity in Smoking and Non-smoking Patients with Schizophrenia. *Schizophrenia Research*. 平成30年度順天堂精神医学研究所紀要: 5-9, 2019

### 和文学会発表 (招待講演)

1. **桐野衛二**：総合病院で一般精神科医が診る ADHD. 第 31 回日本総合病院精神医学会総会 ランチ  
オンセミナー9 2018 年 12 月 1 日 TFT ビル (東京都江東区有明)

#### 和文学会発表

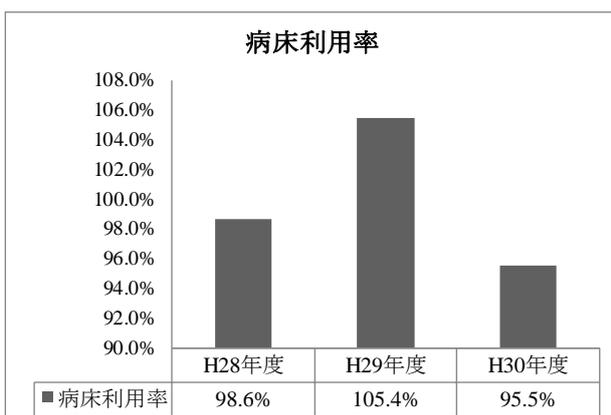
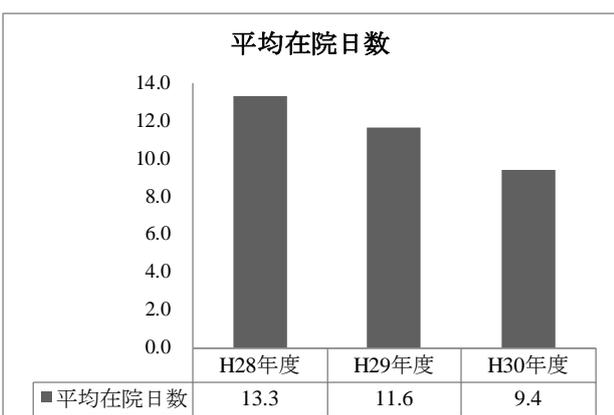
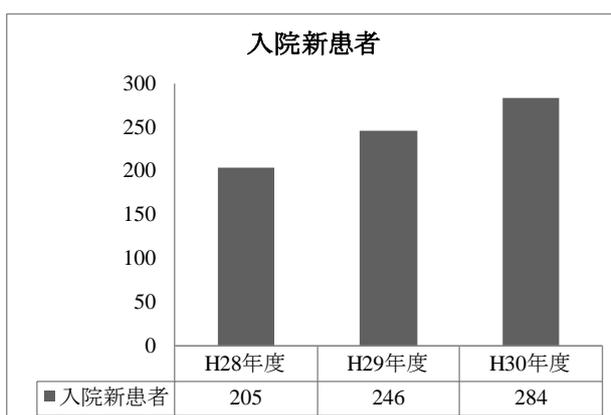
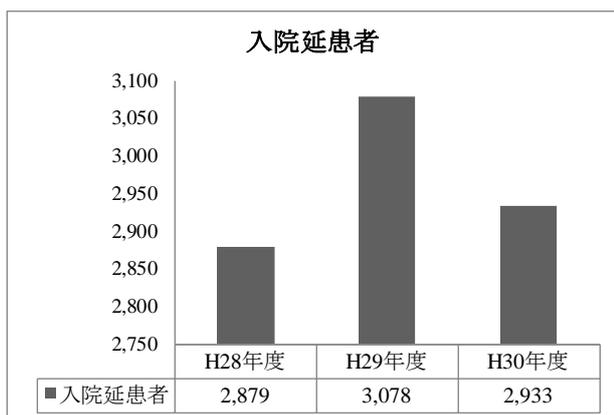
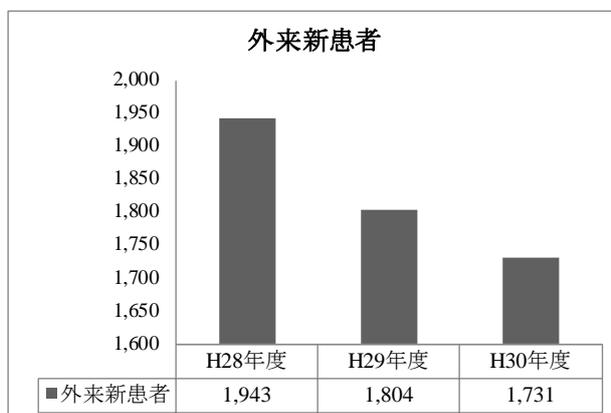
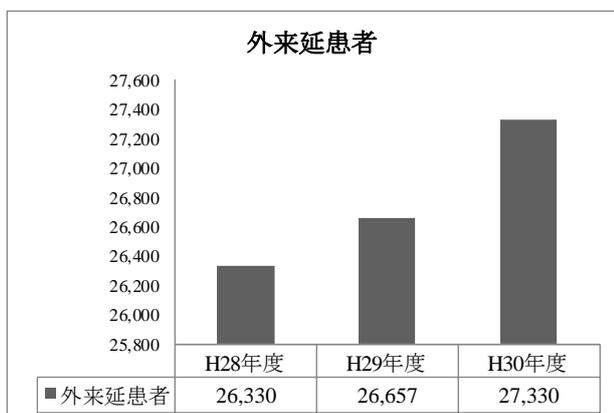
1. 服部亜紀, 鎌形康司, **桐野衛二**, 武中祐樹, 倉持麻奈, クリスティーナ・アンディカ, 堀正明, 青木茂樹: 自閉症スペクトラム障害の Diffusional Kurtosis Imaging による予備的研究 第46回日本磁気共鳴医学会大会, 金沢, 2018年9月7日~9日
2. 田中昌司, **桐野衛二**: Functional network for the planning of music performance. 第41回日本神経科学大会 神戸市 (2018年7月26日~7月29日)
3. **桐野衛二**, 田中昌司, 福田麻由子, 稲見理絵, 新井平伊, 井上令一: 統合失調症の皮質線条体ネットワークのrs-fMRI・脳波同時計測を用いた検討. 第21回日本薬物脳波学会学術集会, 南房総市 2018年9月14~15日(発表14日)
4. 寒竹正人, 有井直人, 大川夏妃, 馬場洋介, 宮林和紀, **桐野衛二**: 小児精神疾患のエピゲネティックな観点からみた考察. 第149回日本小児科学会静岡地方会 静岡市 2019年6月2日
5. 大沼徹, 馬場元, **桐野衛二**, 八田耕太郎, 鈴木利人, 新井平伊: 順天堂大学における精神疾患の包括的研究組織 第115回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019年6月20-22日
6. **桐野衛二**, 田中昌司, 福田麻由子, 稲見理絵, 新井平伊, 井上令一: 統合失調症の皮質線条体ネットワークのrs-fMRI・脳波同時計測を用いた検討 第二報. 第22回日本薬物脳波学会学術集会, 東京 2019年7月19-20日(発表19日)
7. 臼井千恵, 稲見理絵, 田中昌司, **桐野衛二**, 井上令一: 安静時fMRIを用いた線維筋痛症患者に対する音楽効果の検討 第22回日本薬物脳波学会学術集会, 東京 2019年7月19-20日(発表19日)

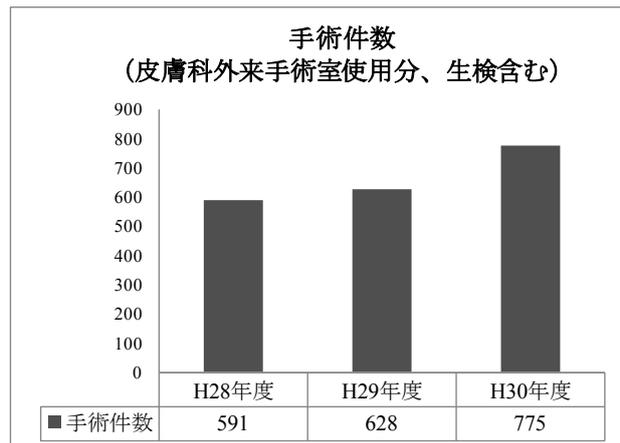
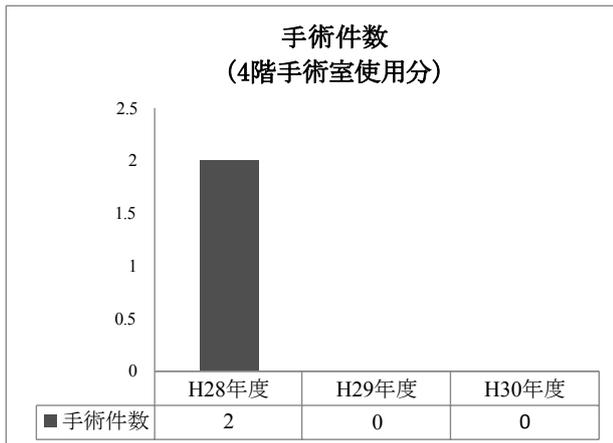
#### 主な競争的資金の獲得状況

1. 平成 26-30 年度 基盤研究(C) (研究代表者**桐野衛二**) 課題番号 21591532 「機能的MR I と脳波の同時計測による default mode network の検討」 ¥5,070,000 (直接経費 ¥3,900,000)
2. 平成 31-令和 5 年度 基盤研究(C) (研究代表者 **桐野衛二**) 課題番号 19K08026 fMRI 脳波 拡散 MRI 同時計測による統合失調症 connectivity の検討 Simultaneous fMRI-EEG-DTI Recording of Functional Connectivity in Patients with Schizophrenia. ¥4,290,000 (直接経費¥3,300,000)
3. 2019 年度笹川スポーツ研究助成 (研究代表者 須藤 路子 分担研究者 **桐野衛二** 他)¥751,000

## 2-21 皮膚・アレルギー科

### 診療実績





## 研究活動

### 原著(英文)

1. Maeda Y, Hasegawa T, Komiyama E, Hirasawa Y, Tsuchihashi H, Ogawa T, Kim J, Ando S, Nagasaka A, Miura N, Ikeda S: Analysis of vein variety in patients with various diseases using finger vein authentication technology. J Biophotonics e201800354, 2018
2. Tani E, Ohnuma T, Hirose H, Nakayama K, Mao Wanyi, Nakadaira M, Orimo N, Yamashita H, Takebayashi Y, Miki Y, Katsuta N, Nishimon S, Hasegawa T, Komiyama E, Suga Y, Ikeda S, Arai H: Skin advanced glycation end products as biomarkers of photosensitivity in schizophrenia. Int J Methods Psychiatr Res e1769, 2019

### 原著(和文)

1. 岩永 温子, 加賀 麻弥, 平澤 祐輔, 長谷川 敏男, 池田 志孝: 顔面の Wells 症候群が強く疑われた 1 例. 皮膚科の臨床 60:724-725, 2018
2. 塚本 清香, 加賀 麻弥, 平澤 祐輔, 長谷川 敏男, 池田 志孝, 阿部 澄乃: 肺結核を伴った臀部皮膚結核の 1 例. 臨床皮膚科 72:635-639, 2018
3. 藤澤 麻衣, 加賀 麻弥, 平澤 祐輔, 長谷川 敏男, 池田 志孝: 当施設で過去 10 年間に経験した隆起性皮膚線維肉腫 1 例の症例報告と 7 例の臨床的検討. 皮膚科の臨床 61:284-285, 2019

### 著書

1. 長谷川敏男: 疥癬, ケジラミ症. 今日の治療指針 2019 年版-私はこう治療している 福井次矢, 高木 誠, 小室一成編, 医学書院, 東京, 2019, 1282-1283 項

### 学会発表(国際)

1. Kim J, Hasegawa T, Maeda Y, Hirasawa Y, Tsuchihashi H, Ogawa T, Komiyama E, Nagasaka A, Miura N, Ikeda S: Analysis of finger vein variety in patients with various diseases using vein authentication technology. The 5<sup>th</sup> Eastern Asia Dermatology Conference, 2018, Kunming, China
2. Kim J, Hasegawa T, Maeda Y, Wada A, Ikeda S: The potential of adipose-derived stem cells for the treatment of recessive dystrophic epidermolysis bullosa. International Investigative Dermatology 2018, 2018, Orlando, FL

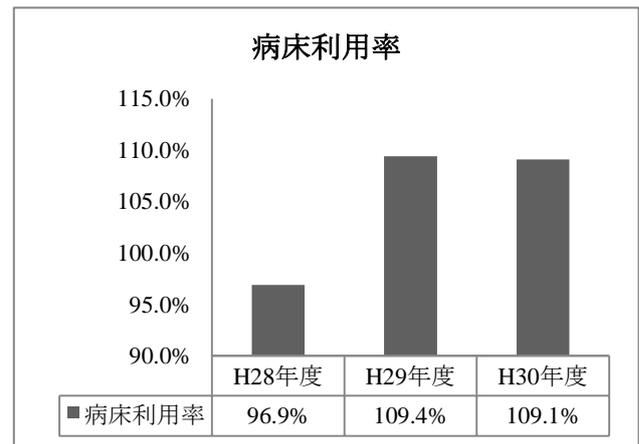
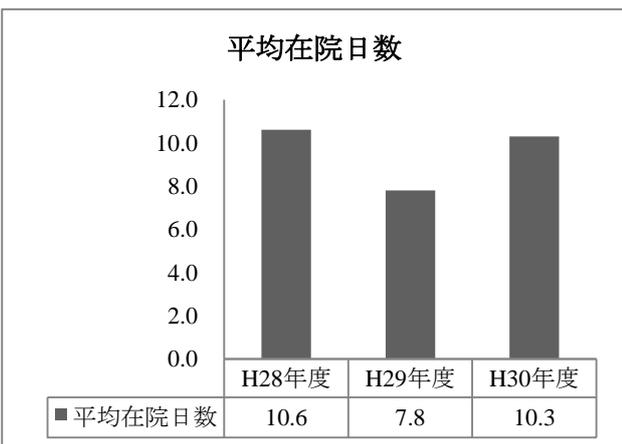
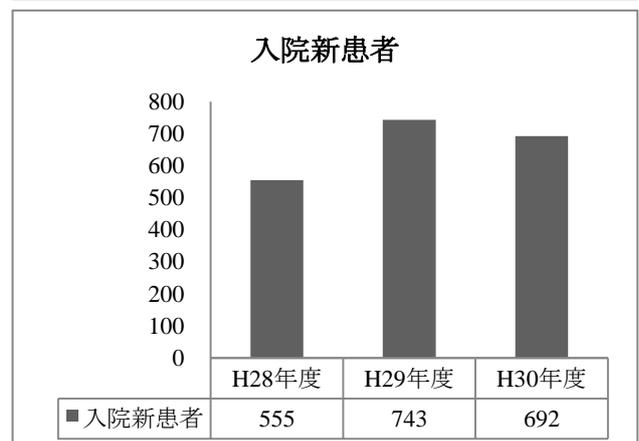
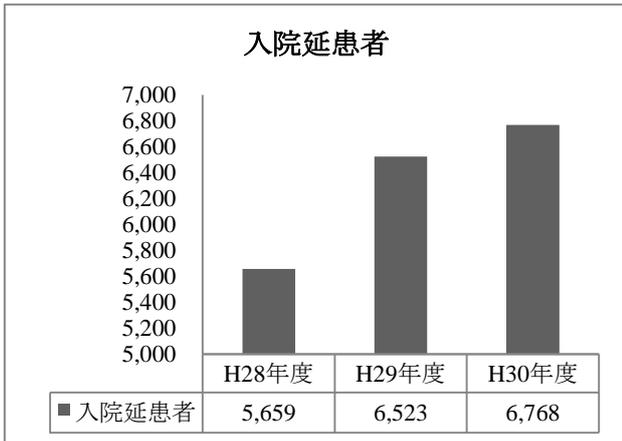
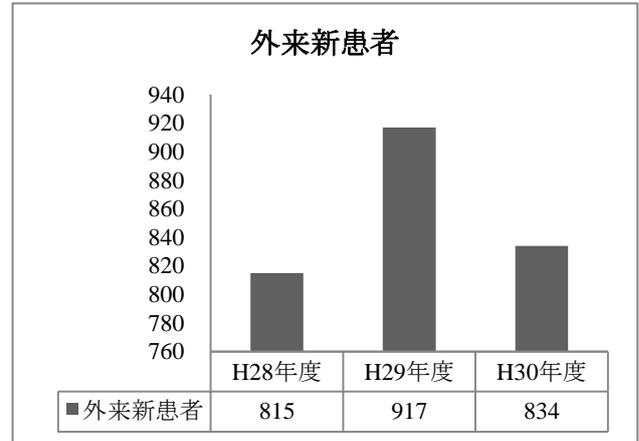
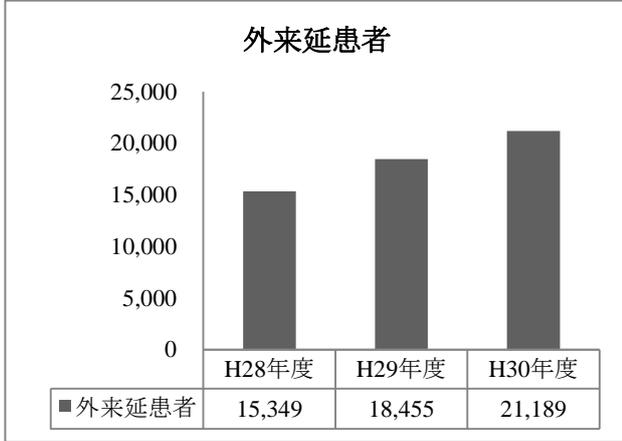
## 学会発表(国内)

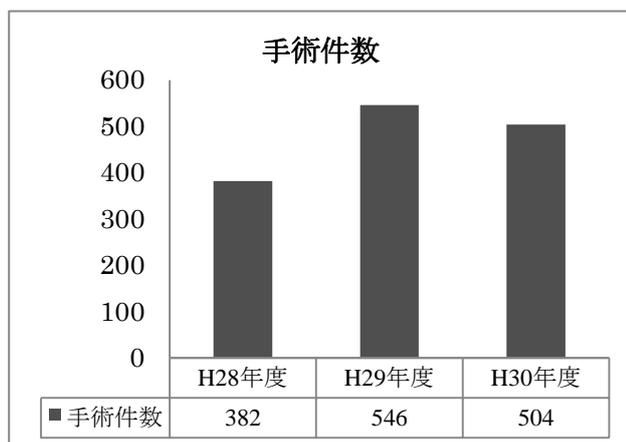
1. 前田 佑一郎, 長谷川 敏男, 平澤 祐輔, 土橋 人士, 小川 尊資, 込山 悦子, 池田 志孝, 長坂 晃朗, 三浦 直人: 各種疾患による静脈変化への指静脈認証技術の応用可能性の検討. 第 117 回日本皮膚科学会総会, 2018, 広島
2. 野口 篤, 清水 智子, 吉池 高志, 長谷川 敏男, 和田 了, 池田 志孝: ダーモスコピーで皮丘平行パターンを示した左測定複合母斑の 1 例. 第 117 回日本皮膚科学会総会, 2018, 広島
3. 生玉 梨紗, 池田 友里, 住吉 泰子, 野口 篤, 長谷川 敏男: S 状結腸癌を合併した皮膚筋炎の 1 例. 第 122 回日本皮膚科学会静岡地方会, 2018, 三島
4. 池田 有里, 生玉 梨紗, 作田 梨奈, 野口 篤, 長谷川 敏男: リケッチア感染症の加療で発症した薬剤過敏症候群の 1 例. 第 122 回日本皮膚科学会静岡地方会, 2018, 三島
5. 鎌田 麻美, 平澤 祐輔, 岩永 温子, 本間 由希子, 長谷川 敏男, 池田 志孝: in situ と結節型が同時に見られた悪性黒色腫の 1 例. 第 34 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 2018, 浜松
6. 舛谷 友里恵, 吉原 渚, 小山 智史, 平澤 祐輔, 長谷川 敏男, 池田 志孝: 神経線維腫症 1 型患者に発生した悪性抹消神経鞘種の 1 例. 日本皮膚科学会第 881 回東京地方会, 2018, 東京
7. 鎌田 麻美, 長谷川 敏男, 込山 悦子, 平澤 祐輔, 池田 志孝: 結節性硬化症の顔面血管線維腫に対して高周波ラジオ波メスによる治療を行った 1 例. 第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 2018, 松江
8. 舛谷 友里恵, 平澤 祐輔, 中島 未音, 吉原 渚, 長谷川 敏男, 池田 志孝, 中野 創: 若年で有棘細胞癌を生じた優性栄養障害型先天性表皮水疱症の 1 例. 第 69 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2018, 大阪
9. 鎌田 麻美, 平澤 祐輔, 越智 啓乃, 込山 悦子, 長谷川 敏男, 池田 志孝: 萎縮型隆起性皮膚線維肉腫の 1 例. 第 82 回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 2018, 東京
10. 影嶋優香子, 木蜜徹, 住吉泰子, 野口篤, 長谷川敏男: 卵巣癌を合併した抗 TIF1- $\gamma$  抗体陽性皮膚筋炎の 1 例. 第 123 回日本皮膚科学会静岡地方会, 2019, 浜松
11. 住吉泰子, 野口篤, 長谷川敏男: 炎症性線状疣贅状表皮母斑の 1 例. 第 123 回日本皮膚科学会静岡地方会, 2019, 浜松
12. 高橋美帆, 平澤祐輔, 長谷川敏男, 池田志孝, 末原義之: 両上肢に異時多発した脂肪肉腫の 1 例. 日本皮膚科学会第 882 回東京地方会, 2019, 東京

## その他

1. 長谷川敏男: 研究への抱負. 臨床皮膚科 72: 50, 2018

診療実績





## 研究・教育活動

### 原著

1. 藤田和彦  
精索静脈瘤  
今日の治療指針 2018  
1192-1193 医学書院、東京
2. Effectiveness of platinum-based adjuvant chemotherapy for muscle-invasive bladder cancer: A weighted propensity score analysis.  
Shimizu F, Muto S, Taguri M, Ieda T, Tsujimura A, Sakamoto Y, Fujita K, Okegawa T, Yamaguchi R, Horie S.  
Int J Urol. 2017 May;24(5):367-372. doi: 10.1111/iju.13324. Epub 2017 Mar 9.
3. 尿路感染症に伴う閉塞性腎盂腎炎における重症度予測スコア  
今泉健太郎、藤田和彦、石川圭祐、野口尊弘、中島晶子、斎藤恵介、清水史孝、堀江重郎、日本泌尿器科学会雑誌。110. (2) 100-105、2019
4. 根治的切除が行われた精索平滑筋肉腫、吳彰眞、藤田和彦、白井雅人、橋爪茜、堀江重郎、臨泌 72 (11) 927-931、2018

### 学会発表

1. 当院での75歳以上の高齢者におけるタダラフィルの効果  
中島晶子、鶴崇光、脇田春彦、増田奈々子、藤田和彦、野口尊弘、斎藤恵介、藤田和彦。第106回日本泌尿器科学会総会。2018年4月21日
2. 伊豆半島におけるPSA検診の有無と発見時患者背景の差異。  
中島晶子、鶴崇光、脇田春彦、増田奈々子、野口尊弘、斎藤恵介、藤田和彦。第68回日本泌尿器科学会中部総会。2018年10月5日
3. The prediction of severity of acute pyelonephritis with urinary obstruction due to ureteral calculi  
Nanako Masuda, Kentaro Imaizumi, Kazuhiko Fujita, Takamitsu Tsuru, Haruhiko Wakita, Takahiro Noguchi,)

Akiko Nakajima, Keisuke Saito, Fumitaka Shimizu, Shigeo Horie, The 35th Japan-Korea urological congress, 2018. Okinawa

4. 腎癌多発肺転移に対してパゾパニブ治療開始後副作用コントロールに難渋した1例。脇田春彦、靄崇光、増田奈々子、野口尊弘、中島晶子、斎藤恵介、藤田和彦、静岡県東部泌尿器科研究会 2018年2月17日
5. エベロリムスを導入した結節性硬化症(TSC)に伴う腎血管脂肪腫(AML)の2症例。今泉健太郎、石川圭祐、半田亜希、野口尊弘、中島晶子、斎藤恵介、藤田和彦、堀江重郎。第133回静岡泌尿器科医会、2018.1.20. 三島
6. 肉眼的血尿が初発症状であった感染性心内膜炎の1例  
半田亜希、石川圭祐、野口尊弘、中島晶子、今泉健太郎、斎藤恵介、藤田和彦、第133回静岡泌尿器科医会、2018.1.20. 三島
7. 尿管皮膚瘻増設後に尿管総腸骨動脈瘻を起こした1例。野口尊弘、靄崇光、脇田春彦、増田奈々子、中島晶子、斎藤恵介、藤田和彦 第134回静岡泌尿器科医会 2018.6.15
8. 斎藤恵介、前立腺肥大症とテストステロン、アンチエイジング。静岡県東部地区前立腺癌講演会 2019.5.22

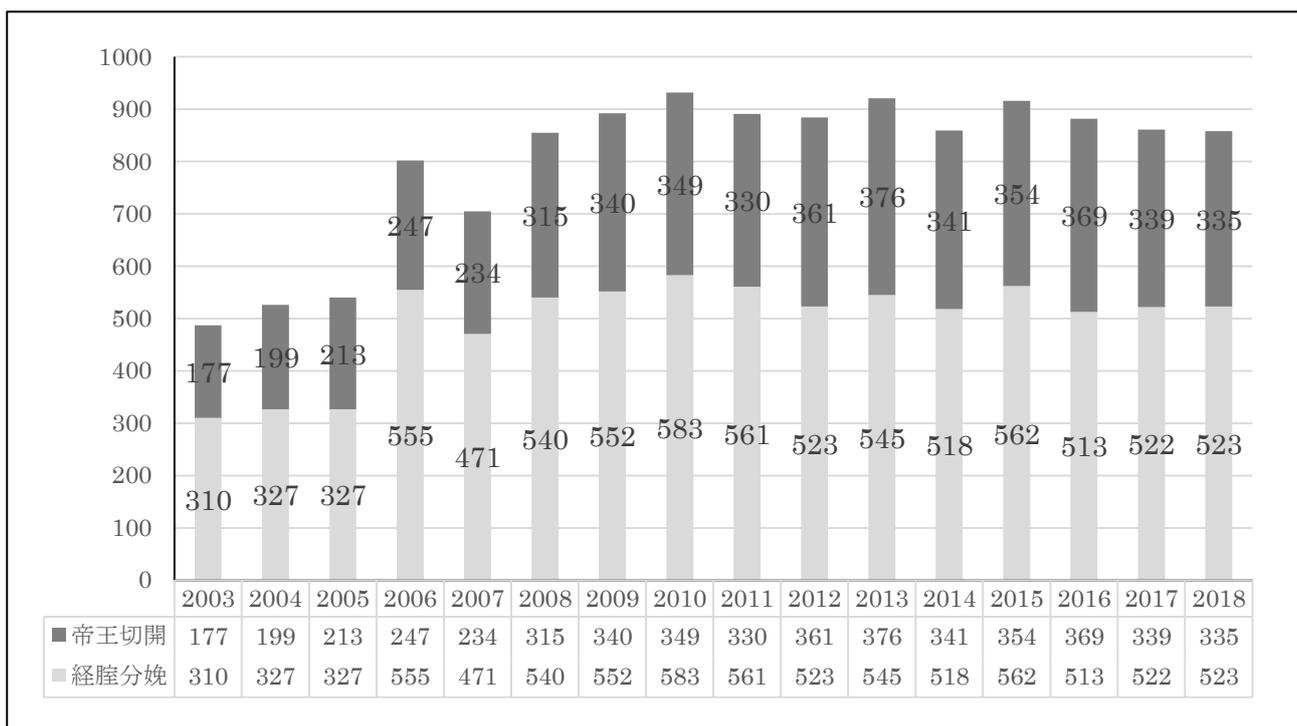
## 2-23 産婦人科・総合周産期母子医療センター

### 診療実績

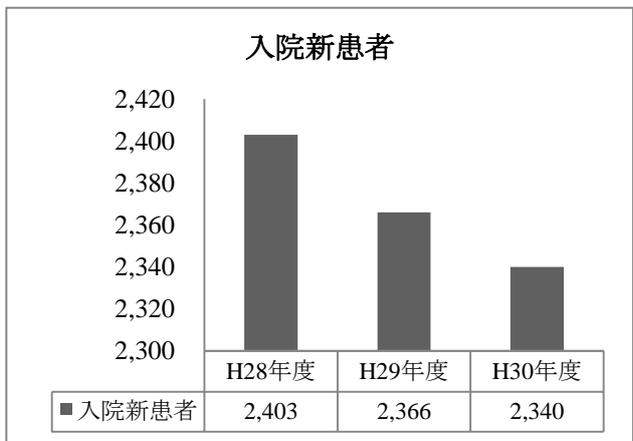
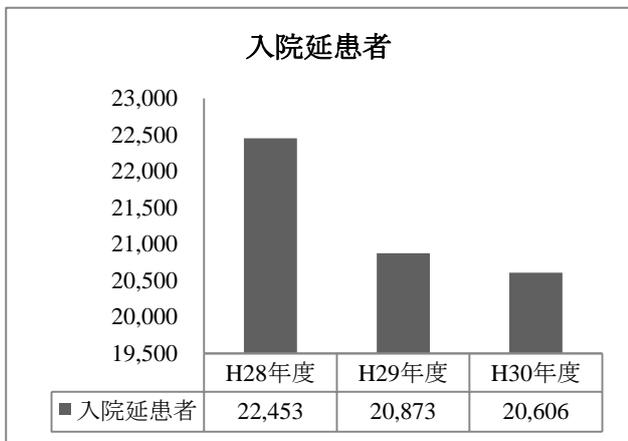
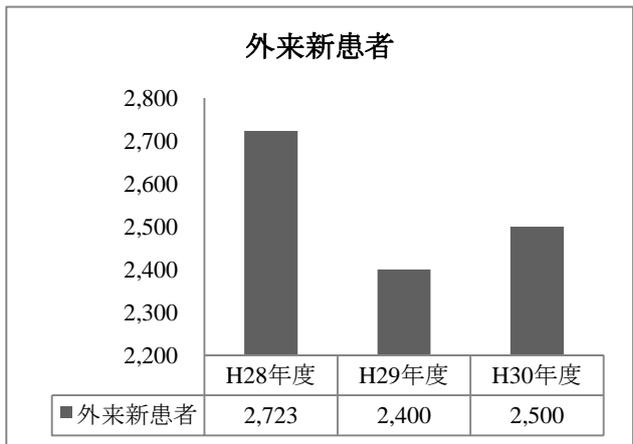
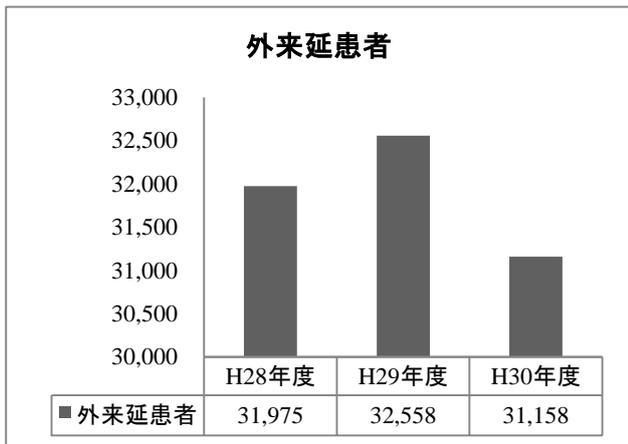
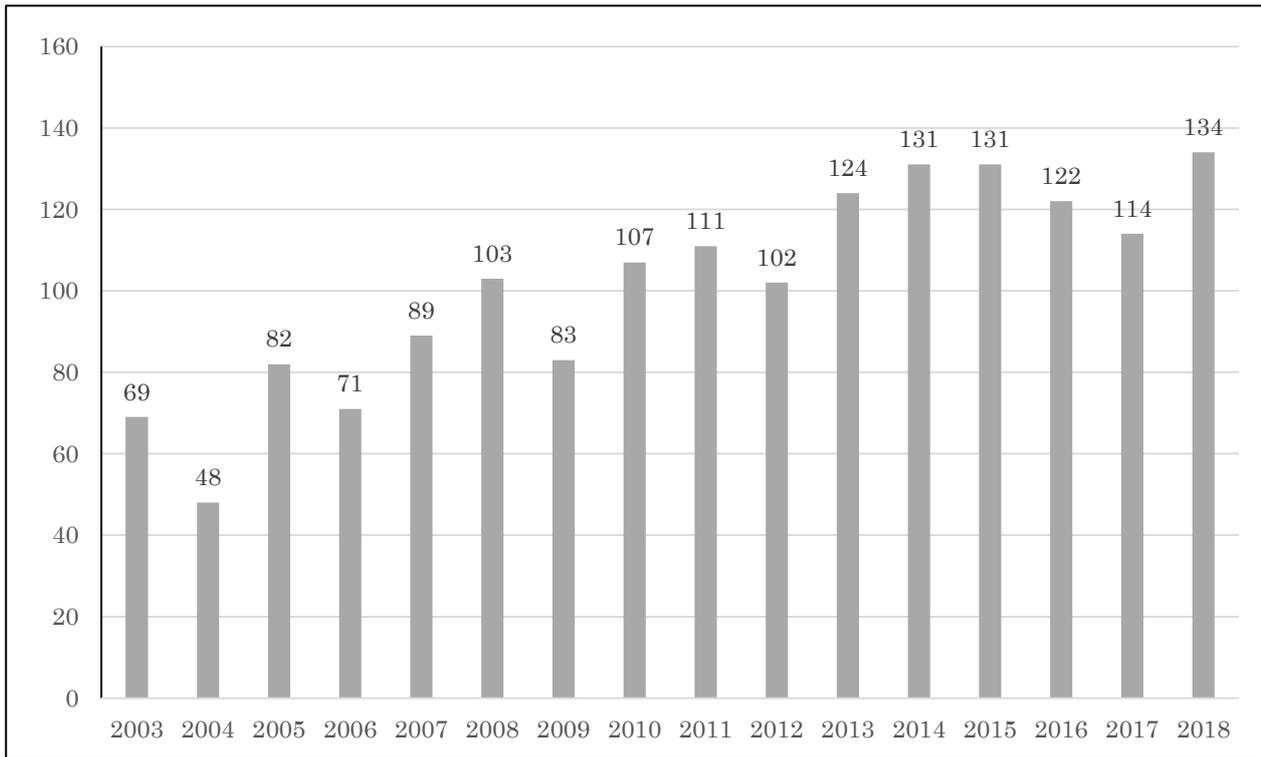
【手術件数】

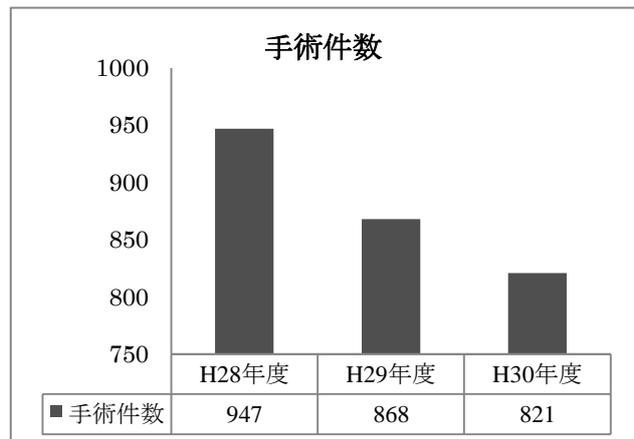
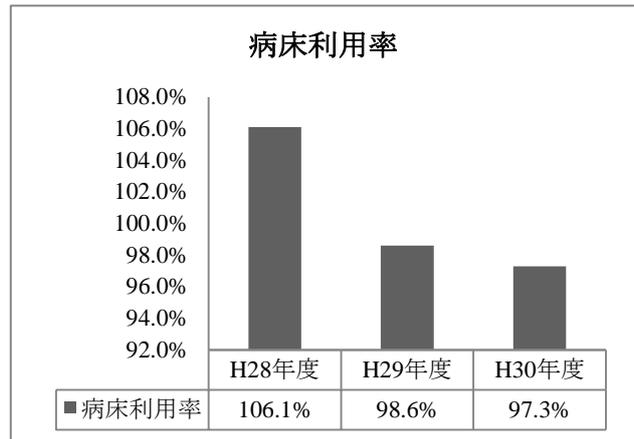
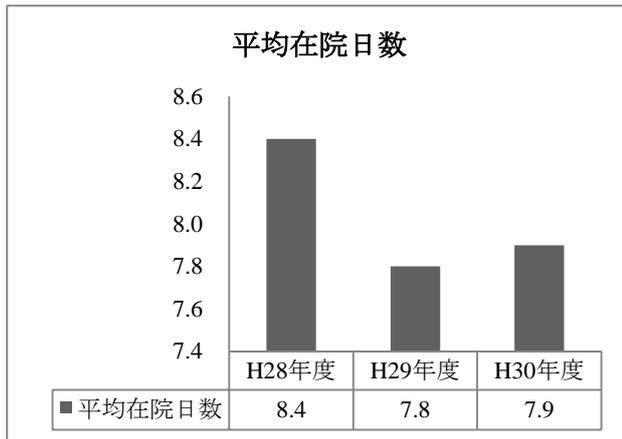
		2015	2016	2017	2018
腹腔鏡	卵巣	59	65	83	<b>79</b>
	子宮	1	0	1	<b>1</b>
	子宮外妊娠	12	21	15	<b>26</b>
	その他	1	0	0	<b>0</b>
開腹手術	帝王切開術	354	369	334	<b>330</b>
	良性	199	309	341	<b>265</b>
	悪性	88	78	72	<b>70</b>
悪性手術内訳	子宮頸癌	20	15	5	<b>12</b>
	子宮体癌	39	36	39	<b>32</b>
	卵巣癌	20	25	23	<b>25</b>
	その他	9	2	5	<b>1</b>
膣式手術	円錐切除	16	36	34	<b>30</b>
	頸管縫縮術	13	14	16	<b>21</b>
	子宮脱根治術	5	13	9	<b>9</b>
	膣閉鎖術	14	24	10	<b>9</b>
	その他	9	8	13	<b>8</b>
合計		859	937	928	<b>848</b>

【分娩件数推移】



【母体搬送数推移】





## 研究活動

原著（英文）

1. Ultrasound evaluation of fetal critical aortic stenosis using the left atrium area/cardiac area ratio and the Doppler patterns in the pulmonary veins.  
Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital  
Sukegawa S, Yamamoto Y, Sato K, Tanaka S, Tanaka T, Mitsuhashi N.  
J Med Ultrasonics (2001). 2019 Apr;46(2):267-272. Epub 2018 Oct 4.

原著（和文）

1. リトドリン塩酸塩の経静脈的長期投与における母体副作用と有効性の検討  
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科  
加藤雅也, 山本祐華, 村田佳菜子, 高橋奈々子, 北村絵里, 篠原三津子, 本田理子, 菅直子, 矢田昌太郎, 金田容秀, 田中利隆, 三橋直樹  
日本周産期・新生児医学会雑誌, 2018; 54: 86-90
2. 妊娠 34 週以降の胎児発育不全症例に対する分娩管理の検討  
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

石田ゆり, 山本祐華, 北村絵里, 篠原三津子, 高橋奈々子, 菅直子, 矢田昌太郎, 宮国泰香, 金田容秀, 田中利隆, 三橋直樹

日本周産期・新生児医学会雑誌, 2018; 54: 1043-1047

3. 災害時における妊婦の適切なトリアージに関する研究

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

伊藤早紀、正岡駿、助川幸、西澤しほり、植木典和、村瀬佳子、矢田昌太郎、田中里実、金田容秀、田中利隆、三橋直樹

産婦人科の実際 2019.03; 68: 295-300

総説 (和文)

1. 血流の正常・異常

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

田中里美

ペリネイタルケア 2019.01; 38: 49-53

学会発表 (国内)

1. A case of unscarred terine rupture: a rare and difficult diagnosis

Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital

Shihori Nishizawa, Tanaka Satomi, Masaoka Shun, Kumagai Asako, Sukegawa Sachi, Murase Yoshiko, Yata Shotaro, Yamamoto Yuka, Kaneda Horoshi, Tanaka Toshitaka, Mitsunashi Naoki

第70回日本産科婦人科学会学術講演会 仙台 2018.5.11

2. Two cases of uterine cervical adenocarcinoma with successful systemic chemotherapy

Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital

Kaneda Horoshi, Masaoaka Shun, Ito Saki, Nishizawa Shihori, Ueki Norikazu, Murase Yoshiko, Tanaka Satomi, Yata Shotaro, Yamamoto Yuka, , Tanaka Toshutaka, Mitsunashi Naoki

第70回日本産科婦人科学会学術講演会 仙台 2018.5.11

3. 卵巣膿瘍術後に膿胸を併発した1例

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

正岡駿、伊藤早紀、助川幸、鶴野しほり、村瀬佳子、田中里実、矢田昌太郎、金田容秀、田中利隆、三橋直樹

平成30年度静岡産科婦人科学会春季学術集会 静岡 2018.5.27

4. 子宮筋腫核出術後創部妊娠の流産症例

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

田中里実、正岡駿、伊藤早紀、助川幸、鶴野しほり、村瀬佳子、矢田昌太郎、金田容秀、田中利隆、三橋直樹

日本超音波医学会第91回学術集会 神戸 2018.6.9

5. 診断に苦慮した血小板減少合併妊娠の一症例

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

助川幸、矢田昌太郎、正岡駿、伊藤早紀、西澤しほり、村瀬佳子、植木典和、植木典和、田中里実、金田容秀、田中利隆、三橋直樹

第 135 回関東連合産科婦人科学会学術集会 東京 2018.6.17

6. 妊卵巣膿瘍術後に膿胸を併発した 1 例

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

正岡駿、伊藤早紀、助川幸、鶴野しほり、村瀬佳子、田中里美、矢田昌太郎、金田容秀、田中利隆、三橋直樹

第 43 回日本外科連合学会 東京 2018.6.22

7. 当院における妊娠 34 週未満に出生した胎児発育不全の新生児予後

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

田中里美、正岡駿、伊藤早紀、助川幸、鶴野しほり、植木典和、村瀬佳子、矢田昌太郎、金田容秀、田中利隆、三橋直樹

第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会 東京 2018.7.10

8. 災害時における妊婦の適切なトリアージに関する研究

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

伊藤早紀、田中利隆、正岡駿、助川幸、鶴野しほり、村瀬佳子、植木典和、矢田昌太郎、田中里美、金田容秀、三橋直樹

第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会 東京 2018.7.10

9. 出生前の遺伝カウンセリング (NIPT を中心に)

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

田中利隆

第 38 回静岡県東部周産期研究会 静岡 2018.7.26

10. 災害時の母体搬送について

松澤奈々、田中利隆、伊藤早紀、柳原保穂、正岡駿、小林徹、鶴野しほり、村瀬佳子、矢田昌太郎、田中里美、金田容秀、三橋直樹

第 39 回静岡県周産期新生児研究会 静岡 2018.9.29

11. 羊膜穿破した一絨毛膜二羊膜性双胎

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

田中里美、小熊響子、柳原康穂、伊藤早紀、小林徹、松澤奈々、鶴野しほり、村瀬佳子、矢田昌太郎、金田容秀、田中利隆、三橋直樹 名古屋 2018.10.8

12. 胎児心臓超音波 (スクリーニングを中心に)

順天堂大学医学部附属静岡病院

田中里美

第 39 回静岡県東部周産期研究会 静岡 2018.11.15

13. 当院で経験した特別養子縁組の症例域における胎児診断への取り組み

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

矢田昌太郎、小熊響子、柳原康穂、伊藤早紀、小林徹、松澤奈々、鶴野しほり、村瀬佳子、田中里美、金田容秀、田中利隆、三橋直樹

平成 30 年度静岡県産婦人科学会秋季学術集会 静岡 2018.11.18

14. 卵巣温存し術後補助化学療法を施行しなかった子宮腺肉腫の症例の検討

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

柳原康穂、金田容秀、小熊響子、伊藤早紀、小林徹、松澤奈々、鶴野しほり、村瀬佳子、田中里美、

矢田昌太郎、田中利隆、三橋直樹

平成 30 年度静岡県産婦人科学会秋季学術集会 静岡 2018.11.18

15. 子宮頸部明細胞癌 II B 期に同時化学放射線療法が奏功した 1 例

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

小林徹、柳原康穂、金田容秀、小熊響子、伊藤早紀、松澤奈々、鵜野しほり、村瀬佳子、田中里美、  
矢田昌太郎、田中利隆、三橋直樹

第 136 回関東連合産科婦人科学会学術集会 東京 2018.11.24

16. 母体搬送の現状と問題点：順天堂静岡病院産婦人科開院から現在まで

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

田中利隆

第 40 回静岡県東部周産期研究会 静岡 2019.3.7

17. 母体搬送症例から学ぶ産科危機的出血を防ぐためにできること

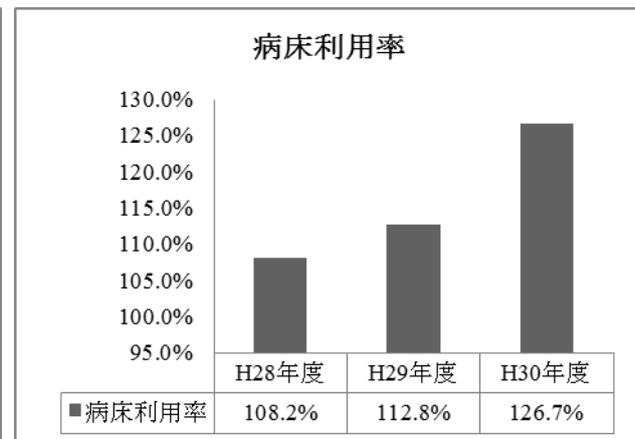
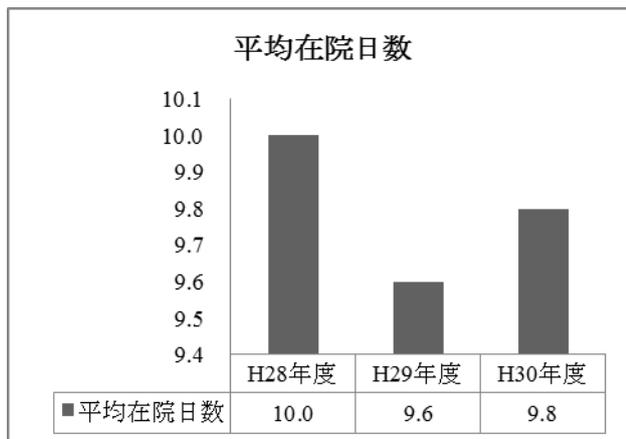
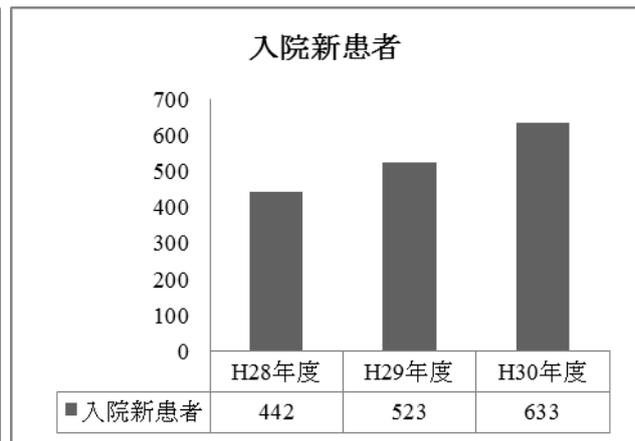
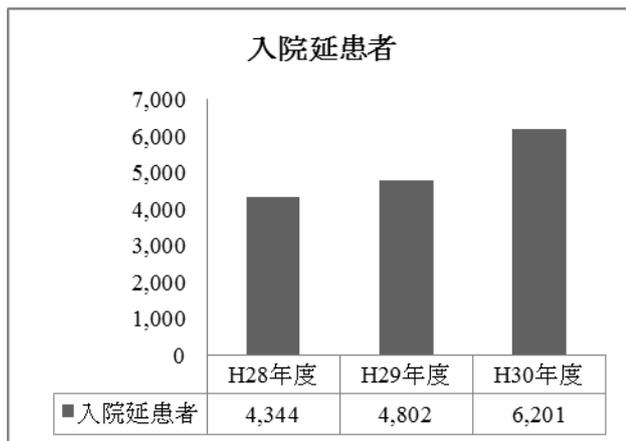
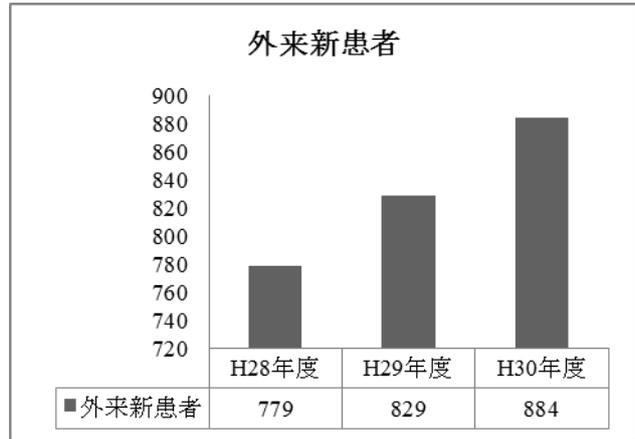
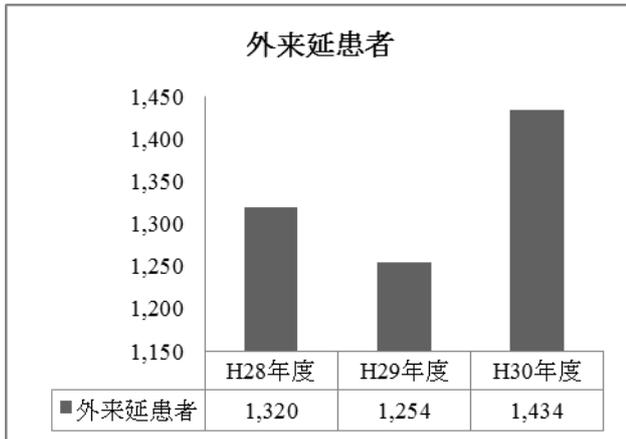
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

小林徹、田中利隆、伊藤早紀、柳原保穂、小林徹、松澤奈々、村瀬佳子、矢田昌太郎、  
田中里美、金田容秀、三橋直樹

第 40 回静岡県周産期新生児研究会 静岡 2019.3.16

## 2-24 救急診療科

### 診療実績



## 研究・教育活動

### 英文論文

1. Yanagawa Y, Omori K, Takeuchi I, Jitsuiki K, Ohsaka H, Ishikawa K. The on-site differential diagnosis of decompression sickness from endogenous cerebral ischaemia in an elderly Ama diver using ultrasound. *Diving Hyperb Med.* 2018 Dec 24;48(4):262-263.
2. Fujiwara K, Ohsaka H, Madokoro S, Yanagawa Y. Fatal Acute Myocardial Infarction after Multiple Blunt Injuries Involving the Chest. *J Emerg Trauma Shock.* 2018 Jul-Sep;11(3):230-232.
3. Takeuchi I, Nagasawa H, Jitsuiki K, Kondo A, Ohsaka H, Yanagawa Y. Impact of Automated External Defibrillator as a Recent Innovation for the Resuscitation of Cardiac Arrest Patients in an Urban City of Japan. *J Emerg Trauma Shock.* 2018 Jul-Sep;11(3):217-220.
4. Jitsuiki K, Omori K, Takeuchi I, Kondo A, Ohsaka H, Ishikawa K, Nakagawa Y, Inokuchi S, Yanagawa Y. Multiple Patients With Heatstroke Air Evacuated by Agreement Concerning Collaboration. *Air Med J.* 2018 Nov - Dec;37(6):388-391.
5. Ohsaka H, Yanagawa Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Madokoro S, Kondo A, Ishikawa K, Omori K. A Report Concerning Collaboration Between a Physician-staffed Helicopter (Doctor Helicopter) and Firefighting/Rescue Helicopter. *Air Med J.* 2018 Sep;37(5):325-328.
6. Omori K, Ishikawa K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Kondo A, Ohsaka H, Yanagawa Y. Prognostic Factors of Cardiopulmonary Arrest Patients by a Physician-Staffed Helicopter. *Air Med J.* 2018 Sep;37(5):312-316.
7. Nagasawa H, Omori K, Takeuchi I, Fujiwara K, Uehara H, Jitsuiki K, Kondo A, Ohsaka H, Ishikawa K, Yanagawa Y. A Case of Near-Fatal Drowning Caused by an Attack from a Wild Boar. *Wilderness Environ Med.* 2018 Sep 9.
8. Fujiwara K, Ohsaka H, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Kondo A, Omori K, Ishikawa K, Yanagawa Y. Massive intraperitoneal free air induced by pneumothorax and pneumomediastinum. *Int J Surg Case Rep.* 2018;49:78-80.
9. Iso T, Yanagawa Y, Takeuchi I, Suwa S. Concomitance Acute Cerebral Infarction and Remote Intra-Cerebral Hemorrhaging on Arrival. *J Emerg Trauma Shock.* 2018 Apr-Jun;11(2):149-150.
10. Kondo A, Ishikawa K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Ohsaka H, Omori K, Yanagawa Y. An Analysis of Patients with Anaphylaxis Treated by a Physician-Staffed Helicopter. *Air Med J.* 2018 Jul - Aug;37(4):259-263.
11. Yanagawa Y, Omori K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Kondo A, Ohsaka H, Ishikawa K. Using a Doctor Helicopter to Transport Medical Staff Only Without Air Evacuation for an Intoxicated Patient to Ensure Aviation Safety. *Air Med J.* 2018 Jul - Aug;37(4):218.
12. Yanagawa Y. Position Statement From the Japanese Society for Aeromedical Services Concerning Chemical, Biological, Radiologic, Nuclear, and Explosive Incidents. *Air Med J.* 2018 Jul - Aug;37(4):217.
13. Ishikawa K, Yanagawa Y, Kato Y, Nozawa Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Kondo A, Ohsaka H, Omori K. Management of Multiple Burned Patients with Inhalation Injuries. *Air Med J.* 2018 May - Jun;37(3):174-177.
14. Kondo A, Nagasawa H, Takeuchi I, Yanagawa Y. Portal Venous Gas Due to Decompression Sickness. *Intern Med.* 2018 Jul 15;57(14):2091.

15. Yanagawa Y, Ishikawa K, Takeuchi I, Nagasawa H, Jitsuiki K, Ohsaka H, Omori K. Should Helicopters Transport Patients Who Become Sick After a Chemical, Biological, Radiological, Nuclear, and Explosive Attack? *Air Med J.* 2018 Mar - Apr;37(2):124-125.
16. Takeuchi I, Omori K, Nagasawa H, Jitsuiki K, Iso T, Kondo A, Ishikawa K, Ohsaka H, Yanagawa Y. An Analysis of Intoxicated Patients Transported by a Doctor Helicopter. *Air Med J.* 2018 Jan - Feb;37(1):37-40.
17. Yoshizawa T, Ishikawa K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Omori K, Ohsaka H, Yanagawa Y. A Fatal Case of Super-super Obesity (BMI >80) in a Patient with a Necrotic Soft Tissue Infection. *Intern Med.* 2018 May 15;57(10):1479-1481.
18. Sekii H, Yanagawa Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Madokoro S, Jitsuiki K, Kondo A, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K, Sugita M. The Significance of the Level of Methemoglobin among Patients with Carboxyhemoglobin. *Sch. J. App. Med. Sci.* 2018; 6(9): 3522-3525.
19. Yanagawa Y, Nagawasa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Madokoro S, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K, Yanagawa R, Ogawa T. Field Study in Kure City, Hiroshima Prefecture, After Torrential Rains Triggered Massive Flooding and Landslides in Western Japan In 2018. *Sch. J. App. Med. Sci.* 2018; 6(9): 3437-3442.
20. Yanagawa Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Madokoro S, Jitsuiki K, Yamamoto Y. Introduction of the Helicopter Carrier Destroyer Izumo and Its Potential Utility as a Hospital Ship. *Sch. J. App. Med. Sci.* 2018; 6(9): 3361-3363.
21. Yanagawa Y, Nagasawa H, Dotare T, Takeuchi I, Jitsuiki K, Madokoro S, Takahashi N, Ohsaka S, Ishikawa K, Omori K. Investigation of the Region of Interest by Computed Tomography for Subclinical Hypothyroidism. *Sch. J. App. Med. Sci.* 2018; 6(8): 3147-3149.
22. Dotare T, Hayashi K, Nagasawa H, Takuchi I, Jitsuiki K, Madokoro S, Takahashi N, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K, Yanagawa Y. Skin and Subcutaneous Injuries with Peroneus Nerve Paralysis Induced By Suction from a Drain in a Hot Spring. *Sch. J. Med. Case Rep.* 2018; 6(8): 592-594.
23. Yanagawa Y. A Case of a Penetrating Wound in the Abdominal Wall Induced By a Javelin Due To an Unusual Mechanism. *Sch. J. Med. Case Rep.* 2018; 6(8): 590-591.
24. Yanagawa Y, Nakajima A, Nagasawa H, Takuchi I, Jitsuiki K, Madokoro S, Ohsaka H. Acute Renal Failure Induced By Bladder Tumor at the Trigone. *Sch. J. Med. Case Rep.* 2018; 6(8): 548-551.
25. Nozawa Y, Katsumata T, Tada S, Matsuo M, Yanagawa Y. The Assessment of a Rapid Response System in Shizuoka Hospital, Juntendo University. *Sch. J. App. Med. Sci.* 2018; 6(6): 2418-2422.
26. Sonoda K, Muramatsu K, Nagasawa H, Shindo A, Takuchi I, Jitsuiki K, Madokoro S, Yanagawa Y. Lethal Urosepsis Due to Occlusion of an Indwelling Bladder Catheter. *Sch. J. Med. Case Rep.* 2018; 6(8): 532-534.
27. Fujiwara K, Yanagawa Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Kondo A, Ishikawa K, Omori K, Ohsaka H. The Migration of Air into the Aorta from an Aorto-Pulmonary Parenchymal Fistula. *Sch. J. Med. Case Rep.* 2018; 6(7): 446-448.
28. Takeuchi I, Omori K, Nagasawa H, Jitsuiki K, Kondo A, Ohsaka H, Ishikawa K, Yanagawa Y. The Clinical Significance of Measuring the Level and Trend of Butyrylcholinesterase for Patients with Gloydius blomhoffii Bite. *Sch. J. App. Med. Sci.* 2018; 6(7): 2882-2888.
29. Yanagawa Y, Muramatsu K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Madokoro S, Kondo A, Ohsaka H, Omori K, Ishikawa K. The Distribution of Gas in a Patient with Cardiac Arrest due to Decompression Sickness Who

- Received Chest Compression. Sch. J. Med. Case Rep. 2018; 6(7): 468-471.
30. Ohsaka H, Nagasawa H, Takeuchi I, Kondo A, Jitsuiki K, Madokoro S, Ishikawa K, Omori K, Yanagawa Y. A Case of Anorexia Nervosa with Cardiac Arrest Managed With a Multidisciplinary Approach That Included Anabolic Steroid Treatment. Sch. J. Med. Case Rep. 2018; 6(6): 412-413.
  31. Yanagawa Y, Kanda A, Nagasawa H, Iwasaki E, Miyake T, Ishikawa K, Miyashita, T, Mogami A. A Medical Experiential Learning Seminar for Elementary and Junior High School Students in Shizuoka Hospital, Juntendo University. Sch. J. App. Med. Sci., Apr 2018; 6(4): 1871-1876.
  32. Ishikawa K, Fujiwara K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Kondo A, Ohsaka H, Omori K, Yanagawa Y. A Patient with Cardiac Arrest Induced By Accidental Deep Hypothermia Who Required Percutaneous Cardiopulmonary Support. Sch. J. Med. Case Rep. 2018; 6(4): 230-232.
  33. Jitsuiki K, Ishikawa K, Nagasawa H, Takeuchi I, Kondo A, Ohsaka H, Omori K, Yanagawa Y. The Characteristics of Patients Who Fell Into Open Drains in Rural Japan. Sch. J. App. Med. Sci. 2018; 6(4): 1462-1466.
  34. Yanagawa Y, Onizuka M, Nozawa Y, Ohsaka H, Omori K, Ishikawa K. Introduction of A Unique Medical Co-Operative System for Decompression Sickness in Izu Peninsula. Sch. J. App. Med. Sci. 2018; 6(4): 1428-1433.
  35. Kondo A, Ishikawa K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Iso T, Omori K, Ohsaka H, Yanagawa Y. A Case of Takotsubo-Like Cardiomyopathy Induced By Methomyl (Organophosphate) Poisoning. Sch. J. Med. Case Rep. 2018; 6(3): 214-217.
  36. Yanagawa Y, Hasegawa N, Takahashi R, Takeuchi I, Itoi A. The Traumatic Vacuum Phenomenon at the Anterior Portion of the Spine: A Clue to Extensive Spinal Fracture. Sch. J. Med. Case Rep. 2018; 6(2): 115-117.
  37. Yanagawa Y, Takeuchi I, Jitsuiki K, Kondo A, Ishikawa K, Omori K, Osaka H. Training Simulation in Shizuoka Prefecture Based on the Civil Protection Law. Sch. J. App. Med. Sci. 2018; 6(2): 739-741.
  38. Takeuchi I, Omori K, Nagasawa H, Jitsuiki K, Kondo A, Ohsaka H, Ishikawa K, Yanagawa Y. Retroperitoneal Hematoma Induced by Von Recklinghausen Disease. Sch. J. Med. Case Rep. 2018; 6(2): 111-114.
  39. Nagasawa H, Omori K, Takeuchi I, Jitsuiki K, Kondo A, Ohsaka H, Ishikawa K, Yanagawa Y. A Comparison of the Outcomes of Swerving To Avoid Deer and Colliding With Deer in the Izu Peninsula. Sch. J. App. Med. Sci. 2018; 6(2): 626-628.
  40. Jitsuiki K, Ishikawa K, Nagasawa H, Takeuchi I, Ohsaka H, Omori K, Yanagawa Y. A Favorable Outcome in a Patient with Descending Mediastinitis Who Was Treated By Intensive Care Including Tracheostomy. Sch. J. Med. Case Rep. 2018; 6(1): 49-51.
  41. Yanagawa Y, Ishikawa K, Nagasawa H, Takeuchi I, Kato S, Jitsuiki K, Iso T, Yoshizawa T, Ohsaka H, Omori K. Risk Factors for the Occurrence of Traumatic Vacuum Phenomenon After Chest Compression for Patients with Cardiac Arrest. International Conference on Applied Physics, System Science and Computers. APSAC 2017: Applied Physics, System Science and Computers II pp 85-91.
  42. Dotare T, Nagasawa H, Takuchi I, Madokoro S, Jitsuiki K, Takahashi N, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K, Yanagawa Y. Alveolar Hemorrhaging After Free Diving. Sch. J. Med. Case Rep., Oct, 2018; 6(10): 838-839.

43. Mori T, Omori K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Fujiwara K, Kondo A, Ohsaka H, Ishikawa K, Yanagawa Y. A Fatal Case of Kounis Syndrome Due to the Administration of Ceftriaxone. *Sch. J. Med. Case Rep.*, Oct, 2018; 6(10): 840-842.
44. Matsuda H, Takeuchi I, Nagasawa H, Dotare T, Madokoro S, Jitsuiki K, Takahashi N, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K, Yanagawa Y. A Case of Severe Acute Kidney Injury Induced by Near-Drowning. *Sch. J. Med. Case Rep.*, Sept, 2018; 6(9): 717-720.
45. Ikeda K, Ohsaka H, Omori K, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Fujiwara K, Kondo A, Ishikawa K, Yanagawa Y. A Case of Pulmonary Edema Induced by Hanging. *Sch. J. Med. Case Rep.*, Sept, 2018; 6(9): 703-705.
46. Madokoro S, Nagasawa H, Dotare T, Takeuchi I, Jitsuiki K, Takahashi T, Ishikawa K, Ohsaka H, Omori K, Yanagawa Y. A Case of Pulmonary Edema Induced By Seizures. *Sch. J. Med. Case Rep.*, Sept, 2018; 6(9): 713-714.
47. Yanagawa Y, Nagasawa H, Dotare T, Madokoro S, Jitsuiki K, Takahashi N, Ishikawa K, Omori K, Ohsaka H. Spinal Cord Injury Induced When Playing Beach Flags. *Sch. J. Med. Case Rep.*, Sept, 2018; 6(9): 710-712.
48. Madokoro S, Nagasawa H, Dotare T, Takeuchi I, Jitsuiki K, Takahashi N, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K, Yanagawa Y. A Case of Sternoclavicular Pyoarthrititis with Septic Shock. *Sch. J. Med. Case Rep.*, Sept, 2018; 6(9): 715-716.

#### 和文論文

1. 柳川 洋一. スポーツと突然死. *救急医学* 2018;42(3): 287-292.
2. 石川 浩平, 竹内 郁人, 日域 佳, 近藤 彰彦, 大森 一彦, 大坂 裕通, 柳川 洋一. 過疎地域における多数傷病者発生時の分散搬送の重要性 空間的分散と時間的分散. *Japanese Journal of Disaster Medicine* 2017;22(2)232-237.
3. 横田 裕行, 木村 昭夫, 五十嵐 豊, 霧生 信明, 黒住 健人, 齋藤 大蔵, 角山 泰一朗, 廣江 成政, 柳川 洋一, 山元 良, 一般社団法人日本外傷学会東京オリンピック・パラリンピック特別委員会, 一般社団法人日本脳神経外傷学会. 銃創・爆傷患者診療指針[Ver.1]. *日本外傷学会雑誌* 2018;32(3):1-63.

#### 国内発表

1. 柳川洋一. Vacuum phenomenon 減圧症との関連性. *日本高気圧環境・潜水医学会雑誌* 2018;53(3):126.
2. 大森 一彦, 石川 浩平, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 間所 俊介, 日域 佳, 近藤 彰彦, 大坂 裕通, 柳川 洋一. 「診療!・教育!・研究!」 *日本航空医療学会雑誌* 2018; 19(2):214.
3. 大森 一彦, 山田 法顕, 高橋 治郎, 森 浩一 運航と診療の質を保っていくための教育、研修システムの構築. *日本航空医療学会雑誌* 2018;19(2):71.
4. 石川 浩平, 大森 一彦, 大坂 裕通, 柳川 洋一. 安全かつ円滑な航空医療に向けた多職種ヘリ連携の現状課題と展望. *日本航空医療学会雑誌* 2018;19(2):181.
5. 日域 佳, 大森 一彦, 多田 真也, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 間所 俊介, 近藤 彰彦, 石川 浩平, 大坂

- 裕通, 柳川 洋一. 隣県ドクターヘリと連携対応を行った熱中症多数傷病の一例. 日本航空医療学会雑誌 2018;19(2):180.
6. 大坂 裕通, 大森 一彦, 石川 浩平, 柳川 洋一. ランデブーポイントから患者接触と病院到着に時間を要した事案. 日本航空医療学会雑誌 2018;19(2):99.
  7. 近藤 彰彦, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 間所 俊介, 大森 一彦, 石川 浩平, 大坂 裕通, 杉田 学, 柳川 洋一. ドクターヘリの安全運航と教育-今後の進むべき道を模索する- 安全な現場はあるのか? 爆発事件事案を通じ安全管理を考える. 日本航空医療学会雑誌 2018;19(2):69.
  8. 長澤 宏樹, 大森 一彦, 竹内 郁人, 日域 佳, 近藤 彰彦, 石川 浩平, 大坂 裕通, 伊藤 浩嗣, 北村 惣一郎, 杉田 学, 柳川 洋一. Whole body CT時代の病院前における骨盤骨折の判断に関する検討. 日本外傷学会雑誌 2018;32(2):321.
  9. 石川 浩平, 竹内 郁人, 日域 佳, 近藤 彰彦, 大森 一彦, 大坂 裕通, 柳川 洋一. 歯科治療後に頸胸部気腫を合併した妊婦の一例. 日本外傷学会雑誌 2018;32(2):303.
  10. 大森 一彦, 最上 敦彦, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 日域 佳, 近藤 彰彦, 石川 浩平, 大坂 裕通, 柳川 洋一. 大量出血を伴う骨盤骨折症例の治療戦略 重症骨盤骨折を伴う外傷に対するチーム連携の必要性と課題. 日本外傷学会雑誌 2018;32(2):251.
  11. 柳川 洋一, 大森 一彦, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 日域 佳, 近藤 彰彦, 大坂 裕通, 石川 浩平. ドクターヘリ搬送を行った中毒患者の検. 中毒研究 2018;31(2):239.
  12. 竹内 郁人, 長澤 宏樹, 日域 佳, 近藤 彰彦, 石川 浩平, 大森 一彦, 大坂 裕通, 柳川 洋一. マムシ咬傷における C-reactive protein の臨床的意義. 中毒研究 2018;31(2):232.
  13. 近藤 彰彦, 大森 一彦, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 高橋 良介, 日域 佳, 磯 隆史, 石川 浩平, 大坂 裕通, 柳川 洋一. タコツボ心筋症を合併したカーバメート中毒症例の一例. 中毒研究 2018;31(2):215.
  14. 柳川 洋一, 大坂 裕通, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 日域 佳, 石川 浩平, 大森 一彦, 諏訪 哲. ドクターヘリにより現場から搬送した急性冠症候群の転帰の検討. 日本臨床救急医学会雑誌 2018;21(2):365.
  15. 近藤 彰彦, 日域 佳, 竹内 郁人, 長澤 宏樹, 石川 浩平, 大坂 裕通, 柳川 洋一. マスギャザリング・テロ対応 荒川化学工場爆発事故の経験を活かしテロ対応を考える. 日本臨床救急医学会雑誌 2018;21(2):226.
  16. 柳川 洋一, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 日域 佳, 近藤 彰彦, 大坂 裕通, 石川 浩平, 大森 一彦. 輸血を必要とした外傷症例の来院時 FDP 値の臨床的意義. 日本集中治療医学会雑誌 2018;25:O79-8.
  17. 柳川 洋一, 大森 一彦, 岩崎 浩司, 北村 惣一郎. 自家用車で来院した外傷性頭蓋内出血例の検討. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 41回 2018;68.
  18. 竹内 郁人, 柳川 洋一, 高橋 良介, 大森 一彦, 長谷川 延彦, 日域 佳, 近藤 彰彦, 大坂 裕通, 石川 浩平, 糸井 陽. 脊椎前方の traumatic vacuum phenomenon 脊椎伸展外傷診断の手掛かり. Neurosurgical Emergency 2018;22(3):318.
  19. 長澤 宏樹, 柳川 洋一, 竹内 郁人, 日域 佳, 近藤 彰彦, 石川 浩平, 大坂 裕通, 大森 一彦, 福長 徹. 馬蹴りによる肝損傷の検討. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018; 39(1):131.
  20. 竹内 郁人, 長澤 宏樹, 日域 佳, 近藤 彰彦, 大坂 裕通, 石川 浩平, 大森 一彦, 柳川 洋一. ヘリウムガス吸引により死亡した一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018;39(1):120.
  21. 柳川 洋一. 災害医療の問題点と近未来対応. 第 38 回脳神経外科コンgresプログラム集 p31
  22. 柳川 洋一, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 間所 俊介, 日域 佳, 近藤 彰彦, 大坂 裕通, 石川 浩平, 大森

一彦. 医療過疎地方だからこそ都心では学ぶことのできない幅広く濃厚な臨床研修機会を提供する 第46回日本救急医学会総会・学術集会 p54

23. 石川 浩平, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 間所 俊介, 大森 一彦, 大坂 裕通, 柳川 洋一. ドクターヘリ補完事業としての当院ドクターカー運用の現状と展望 第46回日本救急医学会総会・学術集会 p452
24. 大森 一彦, 石川 浩平, 長澤 宏樹, 竹内 郁人, 間所 俊介, 近藤 彰彦, 大坂 裕通, 柳川 洋一. ドクターヘリは地域の救急医療にとって有益のみ与えるか 第46回日本救急医学会総会・学術集会 p600
25. 竹内 郁人, 長澤 宏樹, 日域 佳, 近藤 彰彦, 大坂 裕通, 石川 浩平, 大森 一彦, 柳川 洋一. マムシ咬傷の来院時血液検査による重症度予測に関する検討 第46回日本救急医学会総会・学術集会 p475
26. 長澤 宏樹, 柳川 洋一, 竹内 郁人, 日域 佳, 間所 俊介, 園田健人, 大森 一彦, 石川 浩平, 大坂 裕通. 外傷により認められた胃壁内気腫症の2例 第46回日本救急医学会総会・学術集会 p544
27. 波多江 文俊, 大森 一彦, 竹内 郁人, 日域 佳, 近藤 彰彦, 石川 浩平, 大坂 裕通, 柳川 洋一. 餡練機に衣類が巻き込まれ外傷性窒息と神経障害をきたした1例 第46回日本救急医学会総会・学術集会 p419
28. 具志堅 翔, 鎌田 敏希, 田崎 健太郎, 大森 一彦, 柳川 洋一. 特徴的な画像所見にて診断された, 気腫性胆嚢炎の一例 第46回日本救急医学会総会・学術集会 p430

#### 国際発表等

1. Yanagawa Y, Ishikawa K, Jitsuiki K, Kondo A, Omori K, Ohsaka H. Clinical significance of fibrinogen degradation product levels on arrival for trauma patients requiring a transfusion even without head injury. International Conference on Emergency Medicine 2018 – ICEM in Mexico
2. Yanagawa Y, Jitsuiki K, Nagasawa H, Takeuchi I, Iso T, Kondo A, Ohsaka H, Ishikawa K, Omori K. Clinical profile of patients with cardiac arrest induced by aortic disease. The 34th World Congress of Internal Medicine – WCIM 2018 in South Africa

#### 講演

- |        |                            |                             |
|--------|----------------------------|-----------------------------|
| 1月30日  | 中川隆先生(愛知医科大学)              | これからの災害医療の姿を求めて             |
| 3月23日  | 田方医師会                      | 内科診療にも役立つ標準的な外傷診療手順の紹介 柳川洋一 |
| 9月2日   | 桑名市                        | 日本における災害医療の現状 柳川洋一          |
| 5月27日  | 第23回静岡県放射線技師学術大会           | ドクターヘリを知っていますか 大森一彦         |
| 7月6日   | 順天堂4基幹型病院合同「臨床研修医のための学術集会」 | 出血性ショックの対応は出来ますか 大森一彦       |
| 12月15日 | 沼津市立病院災害医療訓練               | トリアージPAT法 大森一彦              |

#### オスキー関係

- |          |               |               |
|----------|---------------|---------------|
| 1月6,7日   | 浜松医科大学 JATEC  | インストラクター 柳川洋一 |
| 1月19,20日 | 日本DMAT 隊員養成研修 | インストラクター 柳川洋一 |
| 1月31日    | ICLS 御殿場      | ディレクター 柳川洋一   |

- 3月17日 順天堂大学静岡病院 JMECC  
ディレクター 柳川洋一、アシスタント 大坂裕通
- 4月4日 順天堂静岡 ICLS ディレクター 石川浩平、当科スタッフ
- 6月16日 第1回伊東・熱海 MCLS 標準コース 管理世話人 柳川洋一
- 6月30日 静岡 MCLS 標準コース 管理世話人 柳川洋一
- 7月4日 静岡東部スキルアカデミー ICLS ディレクター 柳川洋一
- 7月8日 大量殺傷型テロ対応病院コース インストラクター 柳川洋一
- 7月29日-31日 順天堂保健看護 ICLS インストラクター 柳川洋一、石川浩平
- 8月4日 内閣府防災訓練 DMAT コントローラー 徳島県庁 柳川洋一
- 9月8,9日 JATEC 順天堂 コースコーディネーター 柳川洋一
- 10月14日 JPTEC 第16回静岡外傷セミナー  
大森一彦 CMD, 柳川洋一 instructor
- 11月8日 第2回静岡県消防学校 MCLS マネージメントコース 管理世話人 柳川洋一
- 11月10日 第6回駿東田方 MCLS 標準コース 管理世話人 柳川洋一
- 11月16日 沼津市立病院 JMECC ディレクター 柳川洋一
- 11月20日 静岡県国民保護訓練 (伊豆市役所) 柳川洋一
- 11月24,25日 静岡県 DMAT 隊員養成研修 インストラクター 柳川洋一
- 12月16日 大量殺傷型テロ対応病院コース (泉州) インストラクター 柳川洋一

メディカルコントロール (MC) 協議会参加

田方 MC, 熱海・伊東 MC, 賀茂 MC, 駿東田方 MC, 静岡県 MC

2月13日 東部地区救命救急医学研修会 (当院)

ドクターヘリ事後検証会 4回/年 (当院)

2月19日、5月16日、8月15日、12月14日

ドクターヘリ 各消防署勉強会

3月 駿東伊豆消防本部 (伊東・東伊豆) 石川浩平

5月28、29、30日 駿東伊豆消防通信指令課 大森一彦

8月 静岡市消防本部 石川浩平

8月 下田地区消防本部 石川浩平

9月3日 駿東伊豆消防多数傷病者事案机上訓練 大森一彦 竹内郁人

10月19日 御殿場小山消防 御殿場市消防本部 大坂裕通

11月7日 富士宮消防 「低体温症」大森一彦

11月13日 駿東伊豆消防多数傷病者訓練 大森一彦 竹内郁人 長澤宏樹

12月 静岡市消防本部 石川浩平

12月3日 富士山南東消防本部 平成30年度3署合同救急訓練 長泉森永工場 大坂裕通

12月12,13日 富士山南東消防 三島消防本部 大坂裕通

## 訓練

5,9月 静岡県防災航空隊との協働訓練（静岡市 富士川滑空場）

石川浩平 大森一彦 大坂裕通

12月15日 沼津市立病院災害医療訓練 トリアージPAT法 大森一彦

8月3日 清水マリナーミナル 護衛艦医務室視察 大坂裕通

## 災害支援

西日本豪雨災害（広島県呉市）

北海道胆振東部地震

## 海外留学生受け入れ

シンガポール1名、アイルランド1名、イギリス6名、インドネシア1名、マレーシア1名、香港1名、台湾1名、中国1名

## 2-25 病理診断科

### 診療実績

平成 30 年度

(平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)

組織診断：6815 例

細胞診断：7840 例

病理解剖診断：7 例

### 研究・教育活動

#### 【英文原著】

1. Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yanai A, Hara S, Oba A, Wada R, Ikeda K :  
A large vocal fold polyp causing dyspnea. J Otol Rhinol, 7:5, 2018
2. Munakata S, Murai Y, Koizumi A, Kato H, Yamamoto R, Ueda S, Tokuda S, Sakuraba S,  
Kushida T, Orita H, Sakurada M, Maekawa H, Sato K, Wada R : Abdominoperineal  
Resection for Unexpected Distal Intramural Spreading of Rectal Cancer.  
Case Rep Gastroenterol. 18;12(2):297-302, 2018
3. Tomishima K, Sato S, Amano N, Murata A, Tsuzura H, Sato S, Kanemitsu Y, Shimada Y,  
Iijima K, Genda T, Wada R, Nagahara A : A case of ischemic gastroduodenal disease in  
a patient who was receiving hemodialysis treatment that was managed by conservative  
treatment. Clin J Gastroenterol. 11(5):386-390, 2018

#### 【和文原著】

1. 矢内 彩、楠 威志、和田 了 : 顎下腺に発生した唾液腺導管癌例. 耳鼻臨床  
111:158-159, 2018
2. 渡邊瑞也、阿部瑛二、石元玲央、藤田修英、長谷川 浩、上野英明、中尾保秋、山本拓史、  
和田 了 : 経時的な変化で瘤形成を来した中大脳動脈遠位部の解離性脳動脈瘤の 1 例.  
脳神経外科 46:415-422, 2018
3. 金 宗訓、吉池高志、土橋人士、和田 了、徳留康子、池田志孝 : 陰茎基部に生じた  
線状基底細胞癌. 皮膚病診療 40:1047-1050, 2018

#### 【和文著書】

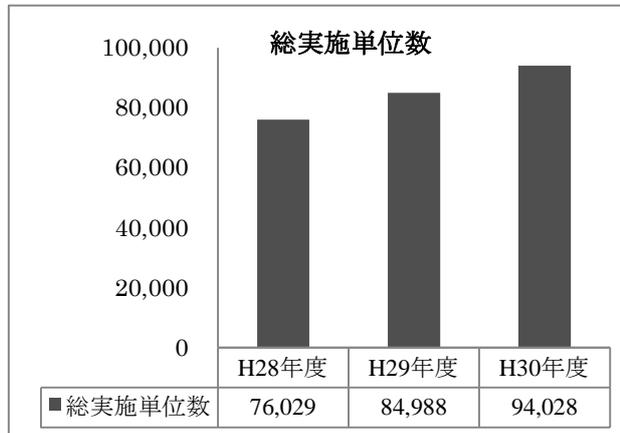
1. 和田 了 : 臍臓. カラーアトラス 病理組織の見方と鑑別診断 第 6 版. 医歯薬出版、  
東京、p289-297, 2018

#### 【講演・発表 (主なもの)】

1. 和田 了 : 病理標本作成過程 (概説) ～胃微小癌の病理組織学的発見. 平成 30 年度 第 4 回  
静岡県病院薬剤師会東部支部研修会 (特別講演), 2018.11.20 (三島)
2. 和田 了 : 分化度からみた胃腺癌の病理組織像. 第 128 回消化管 X 線診断研究会  
(ショートレクチャー), 2018.12.20 (東京)

## 2-26 リハビリテーション科

### 業務実績



### 研究・教育活動

#### 原著（英文）

1. Watanabe D, Matsunobe I, Okuma Y, Nagaoka M : Releasing forced grasp reflex by use of concomitant imitation behaviour during rehabilitation of a patient who had a stroke al. BMJ Case Rep 2019;0:e228304. doi:10.1136/bcr-2018-228304

#### 発表、報告

1. 鈴木建宏  
FDS 腱滑走距離の測定～デジタル超音波画像診断装置を使用して～  
第 30 回日本ハンドセラピー学会 東京 2018.4.28-29
2. 石井啓太、阿妻伸幸、下島健斗、渡邊大輔、大垣光太郎、大熊泰之、野田和幸  
レボドパ/カルビドパ配合経腸用液療法と理学療法を施行したパーキンソン病の 1 例  
第 59 回日本神経学会学術大会 北海道 2018/05/23-26
3. 石井啓太、渡邊大輔、鳥屋優太、市之川英臣、安藤真矢  
筋無力症性クリーゼの既往がある重症筋無力症合併胸腺腫症例に対する周術期理学療法の経験  
～拡大胸腺全摘出術後の経過と運動処方～  
第 22 回静岡県理学療法士学会 静岡 2018/6/24
4. 宮下 春紀、小林敦郎、吉川雄太郎、小池教文  
人工膝関節全置換術後に術側足部荷重時痛が生じた症例  
第 22 回静岡県理学療法士学会 静岡 2018/6/24
5. 河原一剛、渡邊大輔、鳥屋優太、清水芳男、若林啓一

小児期より運動制限を継続してきた微小変化型ネフローゼ症候群患者に対し運動指導の経験  
第 29 回日本サイコネフロロジー研究会 東京 2018/7/7-8

6. 小池教文、小林敦郎、神田章男、諸橋達、最上敦彦  
人工股関節全置換術後に自覚的脚長差を呈する患者の歩行能力について  
第 45 回日本股関節学会学術集会 名古屋 2018/10/26-27
7. 石井啓太、渡邊大輔  
MI-E を使用した呼吸理学療法により早期抜管が可能であった重症ギランバレー症候群の 1 例  
第 28 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 千葉 2018/11/9-10
8. 佐久間善子、渡邊大輔  
肺炎を契機に COPD 急性増悪を呈した患者への介入 DDR を使用した負荷量設定  
第 28 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 千葉 2018/11/9-10
9. 海東健太  
感染椎体の搔把術とセメントスペーサー留置後重度嚥下障害を呈した頸椎化膿性脊椎炎の 1 例  
平成 30 年度静岡県言語聴覚士会全体研修会 静岡 2019/2/24
10. 渡邊大輔、阿妻伸幸、鳥屋優太、河原一剛、宮下春紀、森島克明、渡邊朋徳、長澤宏樹、大森一彦  
外傷患者における早期リハビリテーションの徹底は離床までの日数を短縮させる  
第 46 回日本集中治療医学会学術集会 京都 2019/03/1~3
11. 阿妻伸幸、渡邊大輔、鳥屋優太、河原一剛、宮下春紀、森島克明、渡邊朋徳、長澤宏樹、大森一彦  
当院 ICU における早期気管切開術施行患者に対する早期リハビリテーションの効果  
第 46 回日本集中治療医学会学術集会 京都 2019/03/1~3

## 2-27 臨床検査科

(特任教授 田内一民)

### 診療実績

1. 日本医師会精度管理調査での点数 97.3 点、
2. 静岡県医師会精度管理調査は全て A ランクで問題点なし。
3. 日臨技精度管理調査では (A) (B) 評価 98.6 %  
(A・B 評価以外の項目は各部署にて検討、報告書提出、是正を確認)
4. 臨床検査技師を対象に勉強会「知得会」を開催 (第 51～58 回)。
5. 院内の検査データの意義、検査結果の考え方について作成した検査説明パンフレットを改訂 (基準範囲について 6 病院統一値、測定単位の変更) し、採血室・受付等に配布 (H30.4、増刷 30. 9 )。
6. パニック値の検討

### 研究・教育活動

1. 第 35 回 静岡県臨床検査精度管理調査報告書、H30. 10
2. 日本総合健診医学会第 46 年次 臨床検査精度管理報告書、H31.3
3. 日本総合健診医学会施設調査票集計結果報告 (平成 29 年度)、日本総合健診医学会誌 45 (6) 2018 71～124
4. 健診の質向上に向かって～再検率・精検率、日本総合健診医学会誌 45 (5) 2018 42～47
5. 新しい管理血球を使用しての精度管理調査の試み、日本総合健診医学会誌 45 (5) 619～625
6. 総合健診における臨床検査の役割と将来展望、日本総合健診医学会誌 46 (2) 2019 219～225
7. 検査と検査値のはなし：健診分野での判断値①②144～147、日本衛生検査所協会

### 3. 部門報告



## 3-1 薬剤科

薬剤師：31名うちGCPセンター（調剤業務兼務）に3名、薬剤管理指導業務担当7名、手術室業務1名、注射薬払い出しおよび無菌製剤業務1名、外来調剤業務16名、外来・入院化学療法2名、医薬品情報室1名にて業務をおこなっている。

### 1. 業務内容

- |            |   |
|------------|---|
| ① 調剤       | 外来・入院調剤                                       |
| ② 製剤       | 約束処方・院内特殊製剤                                   |
| ③ 注射薬の取り揃え | 入院一般注射薬・化学療法用注射薬（外来・入院とも）                     |
| ④ 注射薬の無菌製剤 | 中心静脈栄養・化学療法（外来・入院とも）                          |
| ⑤ 薬品管理     | 薬品発注・在庫管理・麻薬管理                                |
| ⑥ 医薬品情報提供  | 院内医薬品集の発行・新規採用薬中止薬の案内・副作用情報等の提供               |
| ⑦ 薬剤管理指導業務 | 科ごとに薬剤師を担当させているが、ICU・CCUは持参薬管理のみ<br>ブレイクボイド報告 |
| ⑧ 手術室業務    | 麻酔薬の準備・使用後の確認など麻酔科医業務支援および麻薬管理                |
| ⑨ その他      | 学会発表など  |

### 1. 調剤業務

処方内容については、調剤監査システムにて相互作用、重複投与等のチェックを行った後処方せんを発行し調剤を実施している。外来および退院処方については「薬剤情報提供書（あなたのおくすり）」を添付して患者への医薬品情報提供を行っている。合わせて、お薬手帳用薬剤一覧も毎回発行・配布している。外来処方せんは院内にて調剤を行い、院外処方せんについては希望者のみとしている。

#### ● 2018年度調剤業務（処方せん枚数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	25,867	26,682	26,298	27,080	27,666	25,236	28,290	27,111	26,832	26,793	25,696	27,309
入院	11,970	12,240	12,727	12,583	12,849	12,005	12,857	12,909	12,607	12,171	11,468	12,579
合計	37,837	38,992	39,025	39,663	40,515	37,241	41,147	40,020	39,439	38,964	37,164	39,888
院外	342	393	350	382	386	328	389	386	391	423	437	479

### 2. 製剤

院内製剤は点眼薬、点鼻薬、点耳薬、軟膏、処置薬などを調製している無菌的な操作の必要な

ものはクリーンベンチ内で調製している。

### 3. 注射薬の取り揃え

入院一般注射薬：前日までにオーダーされている注射薬を個人別にセットし、専用カートにて各病棟に払い出す。金曜日は土曜日・日曜日分を、土曜日は月曜日分のセットをしている。

#### ●2018 年度注射薬処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	3,046	3,158	3,438	3,545	3,621	3,089	3,353	3,102	3,033	3,112	2,857	3,078
入院	19,000	18,750	18,800	20,644	20,130	17,558	17,818	17,956	18,121	17,919	16,083	19,024

### 4. 注射薬の無菌製剤

外来・入院化学療法：前日までにオーダーされている外来化学療法の注射薬を個人別にセットし、担当者がレジメン内容の監査を行なう。

実施日当日は治療続行の指示に従って、がん治療センターの安全キャビネット内で直前に混注業務を行っている。

中心静脈栄養（IVH）：当日 13:00 まで（土曜及び休日は 8:00）にオーダーされたものを、クリーンベンチ内で調製し病棟に払い出している。

#### ●2018 年度無菌製剤件数

### 5. 薬品管理

採用薬は平成 31 年 3 月 31 日時点で内服薬：941 品目・注射薬：512 品目、

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来化学療法	524	560	535	569	614	542	589	614	548	570	541	600
入院化学療法	167	190	190	173	161	128	149	168	105	166	152	158
IVH	200	54	122	139	138	104	82	119	226	141	109	169

合計 1453 品目である。

### 6. 医薬品情報提供業務

医薬品の安全かつ、適正使用のための情報収集および情報提供を実施。

院内医薬品集の作成（毎月更新）・新規採用薬、採用中止薬、包装・剤形変更の情報は薬剤科からのお知らせにて院内配布。

### 7. 薬剤管理指導業務

内科、外科、脳外科、産婦人科、眼科、耳鼻科、整形外科、泌尿器科、神経内科、呼吸器外科、形成外科に、科ごとに配置している。持参薬の検索、服薬指導、薬歴から相互作用、併用禁忌などの薬学的管理を行なっている。

医療安全対策のひとつとしてプレアボイド報告（薬学的ケアの実施によって、副作用・相互作用・治療効果不十分などを回避あるいは軽減した事例の報告）を行っており 2018 年度は 995 件の報告を行った。

●2018 年度薬剤管理指導算定件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
算定件数	1022	996	1080	1003	1057	876	1073	1036	929	945	958	1096

8. その他

学会発表

細菌検査および ATP 分析による調剤機器の汚染状況調査～その調剤機器は本当にきれいですか～

日本医療薬学会年会 2018

○植松 卓也、松浦 亨

順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科

ナルメデジン投与中における下剤の変化に対する調査とその因子の解析

日本医療薬学会年会 2018

○中島 隆良 1、植松 卓也 1、菅尾 高裕 1、玄田 拓哉 1,2

1 順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科、2 順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科

本態性血小板血症に対するアナグレリド服薬継続への薬剤師介入を含めた取り組み

日本医療薬学会年会 2018

○磯 知輝 1、小柴 聖史 2、小池 道明 3

1 順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科、2 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部、3 順天堂大学医学部附属静岡病院血液内科

当院における空腸投与用レボドパ・カルビドパ水和物配合剤療法介入の一例

日本医療薬学会年会 2018

○垣沼 智之 1、木下 史一 1、野田 貴義 1、菅尾 高裕 1、玄田 拓哉 1,2

1 順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科、2 順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科

オピオイドにおける薬剤師から医師への重点をおくべき情報提供の検討

○星野剛史 1)、木下史一 1)、小柴聖史 1,3)、菅尾高裕 1)、岡崎敦 2)

日本緩和医療薬学会年会 2018

順天堂大学医学部附属静岡病院薬剤科 1), 順天堂大学医学部附属静岡病院麻酔科 2) 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部 3)

## 平成 30 年度の目標

- ① 研究活動の充実と臨床スキル（薬学的管理）の向上  
6 病院合同研究会の開催 人事交流によるキャリアパスの取得など。
- ② 改正薬剤師法に準拠した医薬品適正使用および医療安全への貢献  
医薬品安全管理マニュアルの見直し
- ③ 調剤のロボット化、IT 化をすすめる。

## 3-2 栄養科

### 業務内容

#### (1) 栄養管理業務

- ① 医師の指示のもとに、外来患者および入院患者へ栄養食事指導を実施した。  
糖尿病の教育入院(2週間)が毎週定期的にあり、入院中には患者に寄り添った栄養食事指導を行い、退院後も定期的にフォローアップを行った。糖尿病療養指導士の取得者は3名である。  
栄養指導実施件数の推移は28年度2,722件、29年度3,352、30年度3,484件であった。
- ② 栄養サポートチーム (NST) を中心に、患者の栄養状態改善を図るため、毎週木曜日に NST 回診を実施した。管理栄養士が活動をまとめる中で、NST リンクナースを中心に活動はより充実し、また回診方法等の定期的な見直しを行った。NST 専門療法士取得者は、管理栄養士2名、看護師2名、薬剤師1名となり、それぞれの立場から専門性を発揮し、連携を深めた。  
NST 介入延べ患者数の推移は28年度627人、29年度844人、30年度873人であった。

#### (2) 給食管理業務

- ① 適時適温給食の実施、安心して安全な食事の提供を行なった。
- ② 医師の指示に従い、また患者の状態に寄り添った個々人の対応を行なった。
- ③ 年4回の嗜好調査により患者の希望を捉え、献立作成に生かした。
- ④ 選択メニューを実施し、患者満足度を向上させた。

①給食実施状況 (単位:食)

区分	食種名	食数
一般食	常食	178,229
	授乳食	8,757
	お祝い膳	822
	学童食	1,871
	小児食	3,724
	離乳食	1,089
	軟食	66,873
	流動食	6,650
	小計	268,015
	特別食	エネルギー塩分食
蛋白コントロール食		22,928
糖質調整食		24,382
胃腸病食		21,591
脂質制限食		6,966
低残渣食		2,436
無菌食		2,007
注腸食		32
濃厚流動食		41,615
ミルク		30,789
小計	221,511	
患者合計	489,526	
職員合計	78,528	
付添い合計	1,221	
おやつ合計	3,503	
5回食合計	1,911	

②栄養食事指導実施状況 (単位:件)

区分	指導名	入院	外来	合計	
個人指導	糖尿病食	416	942	1358	
	腎臓病食	148	80	228	
	減塩食	665	31	696	
	肝臓病食	36	6	42	
	胃腸病食	302	9	311	
	肥満食	1	22	23	
	脂質異常食	31	25	56	
	痛風食	1	1	2	
	貧血食	0	2	2	
	高血圧食	57	10	67	
	その他	273	29	302	
	小計	1930	1157	3087	
	集団指導	指導名	回数	人数	
		糖尿病教室	26	210	
心臓病教室		22	102		
糖尿病会食		10	36		
母親教室		11	49		

③NST介入延べ人数(各科別)

診療科	延べ人数
膠原病内科	19
消化器内科	58
呼吸器内科	82
血液内科	96
腎臓内科	28
糖尿・内分泌内科	5
外科	92
脳神経外科	48
循環器科	98
心臓血管外科	83
呼吸器外科	6
脳神経内科	14
整形外科	41
形成外科	14
救急診療科	119
小児科	0
眼科	0
耳鼻咽喉科	5
産婦人科	41
皮膚科	8
泌尿器科	16
メンタルクリニック	0
合計	873

### 3-3 放射線室

#### 放射線室実績

平成 30 年

(単位：件)

区分 月	画 像 診 断										治療
	一 般 撮 影	ポ ー タ ブ ル 撮 影	造 影	CT 腹 部	CT 頭 部	MRI	CINE DSA	核医 学検 査	PET CT	骨密度	
1	15,313	3,652	401	2,043	1,403	1,121	209	87	74	116	378
2	14,434	3,377	400	1,939	1,337	1,246	177	80	75	129	358
3	17,025	3,680	386	2,158	1,476	1,327	120	96	87	144	442
4	17,696	3,362	398	2,168	1,354	1,167	214	80	80	101	394
5	17,442	3,532	386	2,119	1,446	1,207	126	84	84	116	608
6	17,871	3,290	433	2,242	1,355	1,328	209	82	88	136	541
7	15,539	3,684	406	2,168	1,317	1,315	222	73	81	120	394
8	15,997	3,740	418	2,275	1,369	1,298	208	92	85	114	475
9	15,719	3,295	323	2,107	1,186	1,133	196	77	67	121	468
10	17,056	3,518	371	2,333	1,400	1,342	205	96	81	139	628
11	16,110	3,451	418	2,280	1,313	1,291	227	97	81	139	498
12	15,923	3,810	368	2,264	1,314	1,208	197	81	77	121	390
1ヶ月平均	15,628	3532.58	392.3	2174.7	1355.8	1248.6	192.5	85.42	80	124.667	464.5
設置台数(台)	4	5	3	2	1	3	2	1	1	1	1

合 計	196,125	42,391	4,708	26,096	16,270	14,983	2,310	1,025	960	1,496	5,574
-----	---------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-----	-------	-------

マンモグラフィ 約 2,000 件/年

CT3D処理 約 30,000 件/年

#### 研究活動

1. 小野 直人、大宮 真：前立腺 IMRT および、VMAT 治療計画における 3D 患者線量検証の基礎的検討  
第 74 回日本放射線技術学会学術大会 2018.04.13 神奈川県 横浜市
2. 杉山 麻那実、平入 哲也、阿瀬川 敏、篠田 雅弘、杉山 巧也、佐藤 朗、沼端 健人、長谷川 公彦  
造影剤粘稠度と留置針のサイズが造影剤注入圧に及ぼす影響  
第 23 回静岡県放射線技師会学術大会 2018.05.27 静岡県 沼津市
3. 山下 悠太、原 保和、山本 真弓子：コニカ放射線補正処理 Intelligent grid を用いた胸部腹部の被曝線量の検討

第 23 回静岡県放射線技師会学術大会 2018.05.27 静岡県 沼津市

4. 山本 真弓子、山下 悠太、原 保和：コニカ新画像処理エンジン「REALISM」の使用経験第 23 回静岡県放射線技師会学術大会 2018.05.27 静岡県 沼津市
5. 平入 哲也、阿瀬川 敏：頭部仮想非造影画像におけるヨード造影剤除去精度の評価 第 6 回日本 C T 技術学会 愛知県 名古屋市 2018.06.30
6. 杉山 麻那実、平入 哲也、阿瀬川 敏、篠田 雅弘、杉山 巧也、佐藤 朗、沼端 健人、長谷川 公彦  
造影剤粘稠度と留置針のサイズが造影剤注入圧に及ぼす影響  
第 34 回日本診療放射線技師学術大会 2018.09.30 山口県 下関市
7. 武川 彰宏、田爪 健二、杉山 巧也、坂元 慎介、落合 史朗、永徳 一真、原 保和  
血管撮影装置における R D S R 表示線量と実測線量の比較  
第 34 回日本診療放射線技師学術大会 2018.09.30 山口県 下関市
8. 上半 隼也、原 保和、七尾 光広：長尺用 F P D 装置の撮影条件の検討  
第 34 回日本診療放射線技師学術大会 2018.09.30 山口県 下関市
9. 平入 哲也：外傷 C T 画像診断における特徴的所見について  
画像診断セミナー in 静岡 静岡県 静岡市 2018.11.30
10. 中村 登紀子：Radiation Dose Estimation in Digital Breast Tomosynthesis Using Two Semiconductor Dosimeters  
第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会 2018.04.12,13, 神奈川県 横浜市
11. 中村 登紀子：全乳房照射時における水晶体の被ばく線量評価～防護眼鏡の有用性～  
第 46 回日本放射線技術学会秋季大会 2018.10.4 宮城県 仙台市
12. 中村 登紀子：乳がん検診の精度維持に関する放射線技師の確保に向けた検討  
第 28 回日本乳癌検診学会学術総会 2018.11.23 大阪府 大阪市
13. 中村 登紀子：Radiation Dose Estimation in Digital Breast Tomosynthesis Using The Semiconductor Dosimeters and The Parallel-Plate Ionization Chamber  
ECR2019 欧州放射線会議 The European Congress of Radiology 2019.02.26 オーストリア ウィーン
14. 中村 登紀子：Radiation dose assessment in a mobile mammography vehicle for breast cancer screenig using the Jungle-gym method to improve the health literacy of patints and the medical staff  
ECR2019 欧州放射線会議 The European Congress of Radiology 2019.02.26 オーストリア ウィーン
15. 星 健斗：肩関節正面撮影における蛍光ガラス線量計を用いた散乱線被ばくの検討  
第 51 回日本放射線物理学会 2018.06.30 北海道 札幌市
16. 三井 弘樹：複数エネルギーピークを持つ放射性核種を用いた SPECT 定量の精度に関する検討  
第 58 回日本核医学会総会 2018.11.15 沖縄県 那覇市

#### 論文

1. 中村 登紀子：Infurcence of computed radiography imaging plate deterioration on simulated mammography image INTERNATIONAL SOCIETY OF RADIOGRAPHERS&RADIOLOGICAL TECHNOLOGIST  
news&views APRIL ISSRT 2018
2. 中村 登紀子：フィリピンにおけるマンモグラフィ乳癌検診に対する意識調査  
日本放射線技師会誌 vol.65 no.786 2018
3. 中村 登紀子：Simultaneous measurement of patient dose and distribution of indoor scattered durring

digital breast tomosynthesis Radoalography 25(1):72-76 2018

4. 中村 登紀子 : A survey of attitudes toward breast cancer screening mammography in the Philippines  
日本放射線技師会誌 vol.66 no.796 2019

### 3-4 検査室

#### 業務実績

平成 30 年度検査件数

	検体検査数	病理検査数 細胞診数	生理検査数 腹部エコー数	採血件数	委託検査数	総検査数
4 月	354,229	1,096	4,057	8,589	10,588	378,559
5 月	386,572	1,130	4,982	8,360	12,218	413,532
6 月	382,605	1,301	4,489	9,134	13,923	411,452
7 月	378,810	1,304	4,201	8,903	12,554	405,772
8 月	387,023	1,290	4,371	9,462	13,359	415,605
9 月	352,485	1,168	3,924	8,859	12,601	379,037
10 月	391,875	1,303	4,412	10,147	13,302	421,039
11 月	387,122	1,325	4,310	9,448	15,720	417,926
12 月	369,325	1,204	4,034	9,195	13,260	397,018
1 月	377,456	1,099	3,897	9,246	14,267	405,960
2 月	348,511	1,146	3,974	8,766	13,631	376,027
3 月	388,013	1,293	4,381	9,810	16,229	419,726
計	4,504,126	14,659	51,027	110,189	161,652	4,841,653
平均	375,344	1,222	4252	9,182	13,471	403,471

検体検査数の内訳

	生化学	血清	一般	輸血検査 血型	血液 凝固	細菌	計
4 月	259,195	33,580	8,766	3,474	44,068	5,146	354,229
5 月	282,249	35,289	10,225	3,644	49,440	5,725	386,572
6 月	271,852	34,904	9,330	3,439	46,460	5,798	382,605
7 月	275,811	35,881	9,733	3,575	47,561	6,268	378,810
8 月	282,120	36,267	10,053	3,575	48,786	6,322	387,023
9 月	257,413	34,041	8,508	3,470	43,505	5,548	352,485
10 月	286,105	38,370	9,315	3,532	48,397	6,156	391,875
11 月	283,869	35,468	9,758	3,575	48,642	5,810	387,122
12 月	269,313	34,817	9,668	3,559	46,495	5,473	369,325
1 月	275,007	36,071	10,026	3,519	46,871	5,962	377,456
2 月	255,236	33,392	8,590	3,241	42,869	5,183	348,511
3 月	281,353	37,510	11,105	3,838	48,661	5,546	388,013
計	3,279,523	425,490	115,105	42,441	561,755	68,937	4,504,126
平均	273,294	35,458	9,590	3,537	46,813	5,745	375,344

## 研究活動

### 1. 学会発表

- ・日本医学検査学会発表 5演題
- ・日本輸血細胞治療学会発表 1演題
- ・日本臨床検査自動化学会発表 1演題
- ・中部圏支部医学検査学会発表 1演題
- ・静岡県東部血液セミナー発表 2演題

### 2. 静岡県標準化事業 東部意見交換会開催

### 3. 順天堂6病院技師長会、各分科会において業務の標準化を進める

### 4. 毎月1回の検査室内勉強会(知得会)の開催 若手技師のプレゼンテーション

### 5. 日本臨床検査標準協議会より精度保証施設認定

## 資格取得状況

- 1. 二級臨床検査士資格(延べ数) 24 資格
- 2. 緊急検査士 4名
- 3. 細胞検査士 3名
- 4. 超音波認定技師 2名
- 5. 認定病理検査士 1名
- 6. 衛生工学衛生管理者 1名
- 7. 心電図認定技師 1名

## 3-5 手術室

### 業務実績

#### 1) 手術件数の推移

平成 30 年度の年間手術件数 8437 件、定時外も含む稼働率は、88.6%であり、昨年度より 111 件/年増加している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 26 年度	575	572	630	621	655	576	652	559	609	592	578	668	7,287
平成 27 年度	628	547	631	646	658	578	650	579	604	590	633	689	7,433
平成 28 年度	666	656	728	698	705	671	670	619	657	647	652	657	8026
平成 29 年度	587	626	703	691	743	715	735	691	704	678	717	736	8326
平成 30 年度	705	690	758	742	746	643	744	713	695	636	643	722	8437

#### 2) 手術室の有効利用

手術のインターバルの短縮をはかり、手術室の稼働率は良好であった。

今後も各部門と連携し有効利用に努める。また、手術枠の調整も視野に入れて手術室有効利用を検討していく必要がある。

#### 3) 手術室看護師の業務効率化

業務委託の拡大と共に、鋭利物混入の確認や廃棄の補助、機材の同時カウントにより時間短縮を図った。そのことが術前訪問件数の増加・術間短縮につながっている。今後も、業務効率化のために業務の評価、修正を適宜行っていく。また、業務の効率化を図るため、定期的にマニュアルの見直し修正を継続する。

#### 4) 手術室看護師の知識と技術向上

手術室では患者が安心・安全に手術を受けられるように術前訪問に取り組んでいる。術前より良好なコミュニケーションをとることで、不安の軽減や合併症予防に術中看護計画立案やまた、術後訪問を実施し、手術室環境や手術看護実践の評価をし、看護師の振り返りにつなげている。今後、術後の回復過程での問題について継続問題として周術期に携わる看護師との共有していかなければならない

#### 5) コスト削減の推進

各診療科、用度課と連携をとり、手術室内の診療材料、衛生材料などの在庫の見直しを行った。

## 3-6 血液浄化センター

### 業務内容

腎臓内科専門医師 4 名・看護師 7 名・医療工学技士 9 名、看護助手 1 名により運営された。移動困難な重症例は病室へ出張し、血液浄化療法を施行した。合併症の加療のため入院した維持透析患者の血液透析の管理を行い、他科からの依頼による単純血漿交換・二重濾過血漿分離交換・エンドトキシン吸着・血液吸着・顆粒球吸着などの血液浄化療法および腹水の濃縮還元療法を行った。近年、外科領域・神経内科・膠原病内科などにおけるエンドトキシン吸着・二重濾過膜血漿交換・血液吸着などの件数が増加し、血液浄化療法の適応が拡大している。

### 診療実績

	HD	ECUM	PMX	PE	DFPP	血漿吸着	血液吸着	CHDF	CART	合計
25 年度	5,752	71	94	29	64	65	21	608	64	6,768
26 年度	5,981	122	101	56	37	52	29	572	72	7,022
27 年度	5,136	120	137	56	7	52	90	838	84	6,520
28 年度	6,006	62	136	27	5	29	164	968	58	7,455
29 年度	5,650	80	168	56	31	144	161	1021	77	7,388
30 年度	5,714	99	131	19	111	61	141	1017	109	7402

### 研究・教育活動

#### 和文図書

1. 清水 芳男. シヤント狭窄の原因とその治療法. 血液透析患者さんのためのシヤント管理とフットケアの新しい治療法-FIRAPY の効果. 富野 康日己編. 広稜社. 東京, pp. 36-55, 2018
2. 原 一彰、濱田 千江子、若林 啓一、神田 怜生、金子 佳代、堀越 哲、鈴木 祐介. 腹膜中皮細胞における高血糖刺激による炎症・上皮間葉転換進展機序およびそのアスタキサンチンによる抑制作用の検討. 腎とフリーラジカル 第 13 集. 東京医学社. 東京, pp. 118-19, 2018
3. 若林 啓一. 腹膜線維化モデルラットにおけるアスタキサンチンの効果. 腎とフリーラジカル 第 13 集. 東京医学社. 東京, pp. 88-90, 2018
4. 清水 芳男. 抗血小板薬・抗凝固薬服用患者への歯科治療時の注意点は？歯科に押さえてほしい生活習慣病 Q&A 78. 富野 康日己編. デンタルダイヤモンド社. 東京, pp 134-138, 2018

#### 学会発表

1. 肥後 雅秀、中野 岳彦、高橋 和弘、尾藤 博康、久保田 京子、松山 容子、原 一彰、若林 啓一、清水 芳男. 低体温循環停止法と急性腎障害 (AKI) の関連. 第 63 回日本透析医学会学術総会. 2018 年 6 月 30 日. 神戸国際会議場

2. 原 一彰、若林 啓一、桑澤 雅子、明樂 麻衣子、清水 芳男、鈴木 祐介. 筋萎縮性側索硬化症に合併した MPO-ANCA 陽性顕微鏡的多発血管炎の 1 例. 第 48 回日本腎臓学会東部学術大会. 2018 年 10 月 20 日. 京王プラザホテル

3. 若林 啓一、林 陽子、原 一彰、桑澤 雅子、松山 容子、戸塚 絢子、青山 留未、清水 芳男、鈴木 祐介.

褐色細胞腫による二次性血栓性微小血管障害症(TMA)の一例. 第 48 回日本腎臓学会東部学術大会. 2018 年 10 月 20 日. 京王プラザホテル

## 3-7 臨床工学室

### 業務実績

#### 血液浄化業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
HD	501	474	485	508	459	405	505	447	453	534	460	483	5714
ECUM	8	4	6	4	3	3	21	26	8	3	7	6	99
PMX	7	15	10	17	7	27	18	0	13	7	5	5	131
PE	0	0	0	1	0	0	0	6	6	5	1	0	19
DFPP	10	9	8	20	19	10	2	2	9	7	5	10	111
PA	2	6	3	2	19	6	1	2	8	4	7	1	61
HA	14	17	13	26	29	11	5	6	2	9	1	8	141
CHDF	86	137	86	92	50	59	48	61	122	105	75	96	1017
CART	9	8	5	4	6	9	13	13	13	9	11	9	109
合計	637	670	616	674	592	530	613	563	634	683	572	618	7402

#### 心臓カテーテル室業務実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ポリグラフ	CAG	23	25	36	37	23	21	27	19	19	21	33	23	307
	PCI	39	46	57	54	62	47	58	66	56	60	57	69	671
	PPI	3	10	9	6	2	2	3	3	5	7	5	1	56
	PTA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右心カテ	4	2	3	1	3	2	1	0	2	7	2	1	28
	左心カテ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	両心カテ	0	0	1	5	1	1	4	2	1	2	1	3	21
	EPS	8	6	11	9	9	8	11	8	7	10	8	9	104
Abration	8	6	9	9	9	8	10	7	5	10	8	7	96	
IVUS	42	52	60	51	63	45	54	58	56	64	57	65	667	
FFR	22	23	29	22	18	20	31	20	12	16	39	20	272	
OCT	1	3	3	6	2	3	1	8	1	2	5	5	40	
Rota	0	3	3	1	0	0	1	5	4	5	3	5	30	
CROSSER	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
IABP	10	7	0	6	4	7	5	6	6	8	9	8	76	
PCPS	3	1	2	4	2	2	0	1	0	3	3	3	24	
Pacemaker	植え込み	6	4	3	9	8	6	5	4	10	3	4	7	69
	交換	2	8	0	4	1	2	5	2	2	3	1	5	35
ICD	植え込み	2	3	2	2	1	2	1	0	0	1	1	2	17
	交換	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	5
CRT	植え込み	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	4
	交換	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
ループレコーダー	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
SICD	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	1	1	7	
合計	174	202	229	228	212	177	217	211	187	223	239	235	2534	

#### 人工心肺装置操作業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
業務件数	15	16	9	13	13	14	15	20	15	13	10	11	164

#### 高気圧酸素療法業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
業務件数	47	9	18	10	29	16	14	26	29	3	10	27	238

## 3-8 輸血室

### 業務実績

年間輸血検査件数

- ・血液型検査 (ABO、Rh) 11096 件 (時間外 3518 件)
- ・不規則抗体検査 9747 件 (時間外 2848 件)
- ・交差適合試験 10446 件 (時間外 3631 件)
- ・クリオプレシピテート調製 172 件
- ・新生児用輸血小分け調製 7 件
- ・緊急 O 型赤血球輸血対応 54 件

年間輸血使用量

赤血球製剤 14373 単位、自己血 394 単位、新鮮凍結血漿 6436 単位、  
血小板製剤 17050 単位

診療科別輸血使用量

	赤血球製剤	自己血	新鮮凍結血漿	血小板製剤
血液内科	3244	0	358	11110
心臓血管外科	2426	0	2074	2305
循環器科	1186	0	322	250
外科	1211	0	222	230
救急診療科	1718	0	960	1260
整形外科	562	331	68	100
消化器内科	878	0	144	180
産婦人科	666	36	416	100
脳神経外科	682	0	72	170
泌尿器科	534	0	200	610
腎臓内科	222	0	126	30
呼吸器外科	80	0	28	60
呼吸器内科	214	0	30	160
新生児科	59	0	24	0
形成外科	63	0	4	0
麻酔科	610	0	1444	490
膠原病内科	52	0	32	50
皮膚科	20	0	0	0

耳鼻咽喉科	6	0	0	0
小児科	40	0	14	10
糖尿病・内分泌内科	40	0	10	10
脳神経内科	26	0	8	40
眼科	0	0	6	40
放射線科	0	0	0	0
メンタルクリニック	0	0	0	0
計	14539	367	6562	17205

廃棄（有効期限切れ、払い出し後の未使用・温度管理不備）

赤血球製剤        40 単位（廃棄率 0.5 %）  
 新鮮凍結血漿    36 単位（廃棄率 0.6 %）  
 血小板製剤        0 単位（廃棄率 0.0 %）

## 研究活動

学会発表（国内）

土屋明実、岩尾憲明、重光文子、白須智奈美、伊藤彩花、片山瑞希、小池道明  
 「MDS の経過中に D 抗原の発現が著しく減弱したと考えられる一症例」  
 第 66 回 日本輸血・細胞治療学会総会（平成 30 年 栃木）

研究会発表（国内）

土屋明実  
 「AutoVue と VISION 2 台運用での比較」  
 オーソユーザー会 in 静岡

## 3-9 (0) 看護部

### 【理念】

私たちは「仁」の心をもって、患者さんとご家族が満足できる最善の看護をめざします。

### 【基本方針】

1. 専門職としての倫理を遵守し、思いやりのある看護を実践します。
2. 根拠に基づく安全な看護を提供します。
3. 教育・実践・研究を通して看護の発展に貢献します。
4. 他の医療職者と協働し、健全な病院運営に参画します。

### 【ビジョン】

大学附属病院、基幹病院（救急・高度・特殊・専門・地域医療など）としての機能強化し、看護の質向上を目指す。

### 【H30年度 目標】

1. 各自に課せられた役割を自覚し行動する。
  - 1) 決められたルールを守り、患者さんに安心、安全な看護を提供する。
  - 2) 時間をマネジメントする。
2. 外来・病棟が連携し地域につなげる看護を提供する。
3. 働きがい・働きやすさを感じられる職場環境をつくる。

### 【H30年度 目標の評価】

目標1に関しては、誤薬発生率は、1.91%で目標1.83%以下を達成できなかった。事故の発生要因は確認不足が多く、6Rの不足やダブルチェックが依存型になっており、機能していないことが挙げられる。次年度に向けて、点滴作成時の手順の見直しを行い、手元確認を強化し事故低減に努める。転倒・転落発生率は1.44%から1.59%へとわずかに増えた。危険度Ⅱの患者アセスメント不足による対応遅れが要因と考える。しかし、3b以上の件数は変わらない、センサーマットの使用や今年度導入した赤外線センサー使用により早期発見し対応できた結果と考える。膀胱留置カテーテル感染率は、15部署中6部署しか改善できていない。手指衛生遵守率は66.3%で目標の70%を達成できなかった。次年度も手指衛生に関してスタッフの意識向上が課題である。褥瘡推定発生率は、1.84%で目標値1.16%を大きく上回った。医療機器関連圧迫創傷も目標値を超えており、予防ケアの看護計画率は17%と低く、次年度は予防ケアの強化が課題である。

目標2に関しては、介護支援連携指導書は170件から331件へと大きく増加した。毎年約40名の病棟看護師が地域包括ケアセンターと訪問看護ステーションでの1日実習を継続していること。地域のケアマネージャーや多職種とのコミュニケーションが向上したこと、入院時のスクリーニングが適切にで

きるようになったことが要因と考える。また、行政、地域の医療・介護施設とネットワークが構築され、事例検討会が年2回開催されたことも退院支援につながった。次年度は、さらに入院前支援を強化していくために、医療福祉相談室（入院時支援担当者）と外来との連携を強化し、外来より入院時支援ができるシステム構築に取り組む。

目標3に関しては、H26年度よりワークライフバランス INDEX 調査を実施し、明らかとなった課題の中から「勤務が終われば気兼ねなく帰れる」に焦点をあて取り組み「気兼ねなく帰れる」は57.5%から61.1%と帰宅しやすい環境へと改善が継続している。超過勤務時間は、外来部門では月1人平均14時間以内であった。病棟部門は一般、特定で差があり、目標値を達成できなかった。超過勤務時間とタイムカードの乖離是正に取り組み、乖離状況は改善した。特に、勤務前の乖離は殆どなくなった。離職率は10%台で大きな変化はない。早期離職率（新卒1年以内の離職）は9.0%から3.1%へと減少した。過去5年間の平均は3.6%であり、新入職員の育成は適切に実施できていると評価する。

次年度は患者さんの尊厳を守り、安全で質の高い看護、暮らしに視点を置き切れ目のない看護提供ができるよう取り組んでいく。また、スタッフが働きがい、働きやすさを感じられ、ハラスメントのない心身ともに健康な職場環境を整えていきたい。そして看護職員の定着と育成を鑑みて、ペア制を考慮した看護方式を検討する。

### 平成30年度 看護部 BSC

	戦略目標	重要成功要因	成果指標	目標値	結果
財務の視点	病院運営に 参画	看護が 関係する 収益の向上	平均在院日数	11日以下	11.5日
			一般病棟（ステージⅢ以下）	35%以下	36.8%
			救命センター	93%以上	96.4%
			算定率	60%以上	58.9%

顧客の視点	患者・職員満足度の向上	安心・安全な療養環境の提供	誤薬発生率 点滴・注射事故件数 転倒・転落率、3b 以下 中心静脈カテーテル関連血流感染率（昨年より改善） 尿道留置カテーテル関連尿路感染率(昨年より改善) 手指衛生遵守率 褥瘡推定発生率 医療関連機器圧迫創傷 ご来院皆様の声 苦情の割合 超過勤務時間 一般病棟 特定病棟 外来・手術 ワークライフバランス INDEX 調査	1.83‰ 267 件以下 1.44、0.04‰以下 4/4 部署 15/15 部署 70%以上 1.16%以下 100 件以下 21%以下 15：20 以下 気兼ねなく帰れる 57.5%以上	1.91‰ 263 件 1.59、0.04‰ 2/4 6/15 66.3% 1.84% 112 件 9.53% 一般 19：33 特定 13：55 外来・手術 14：04 気兼ねなく帰れる 61.1%
業務プロセスの視点	チーム医療の実践	多職種との連携の向上	介護支援連携指導書 退院時共同指導書 医科歯科連携 リンパ浮腫指導件数 糖尿病指導件数 母乳外来件数 フットケア実施数	170 件以上 150 件以上 69 件以上 156 件以上 260 件以上 155 件 170 件	331 件 106 件 110 件 120 件 370 件 233 件 198 件
学習と成長の視点	専門職としての知識・技術の向上	臨床実践能力の向上	ラダー看護実践力調査	ラダー別 A 評価 80%以上	ラダー-I 90.6% ラダー-II 87.3% ラダー-III 80.3% ラダー-IV 72.3%
		自己教育力の向上	個人目標達成度 看護研究発表者 院外研修参加数	80%以上 27 題以上 50%以上	76% 27 題 31.7%

	成 果	課 題
医療安全	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 点滴関連事故件数は目標値 203 件を下回り 189 件となっているが、注射関連事故件数は目標値 64 件を上回り 74 件に増えている。</li> <li>2. 転倒・転落率は、1.59‰であり目標値の 1.44‰には 16 部署中 9 部署が達成できなかった。事象レベル 3b 以上の転倒転落率は 0.038‰であり目標値の 0.04‰以下は達成できた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各部署で手順の遵守、実践の場で手元確認、また、ルールを守るという基本的な部分の意識向上に向け、継続した取り組みが必要である。</li> <li>2. 転倒転落アセスメントから予防対策が実施できているか評価し、転倒・転落率、事象レベル 3b 以上の転倒転落率の低減に努める。</li> </ol>
感染対策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中心静脈カテーテル関連血流感染率が前年度より下回った部署は、4 部署中 2 部署。膀胱留置カテーテル感染率が前年度より下回った部署は、15 部署中 6 部署であった。</li> <li>2. 手指衛生遵守率 66.3% 目標値の 70% 以上を達成できなかった。手指衛生の 5 つのタイミングにおいては、「患者周囲環境に触れた後」の遵守率が 53%と最も低かった。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中心静脈カテーテルの管理や膀胱留置カテーテルの管理において、正しく管理できるよう具体策の検討と周知についてリンクナースに合わせた支援が必要。各部署の課題を明確にし、対策を実践できるよう感染対策室と連携し支援を行う。</li> <li>2. リンクナースによる手指衛生のモニタリングを行い、部署毎具体的にどの場面で出来ていなかったのかを明確にすると共に、手指衛生遵守を阻害する要因をリンクナースとともに分析し、目標達成できるよう対策を立て実施する。</li> </ol>
褥瘡予防対策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 褥瘡発生率は、1.84%で目標値の 1.16% 以下は達成できなかった。褥瘡発生者の予防ケア立案率 17%であり、予防ケアができていない。</li> <li>2. 医療関連機器圧迫損傷件数は 112 件で目標値の 100 件以下は達成できなかった。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リンクナースの褥瘡予防に関する知識の向上を図り、予防ケア立案率を上げ、防ぎ得る褥瘡を予防し褥瘡推定発生率低減させる。</li> <li>2. 医療関連機器圧迫損傷が発生しやすい部署を中心に予防ケアの学習会を行い実践に生かせるよう支援する。</li> </ol>
記録・必要度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 記録は自部署監査を実施し、自部署の問題解決に向け実施した。</li> <li>2. 入院診療計画書の部門システムが導入された。</li> <li>3. 看護必要度は、一般病棟の評価は平均して 30%達成できた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 部署により、監査項目と記録が合っていないため監査表を見直す。</li> <li>2. 特定共同指導に向け、入院診療計画書と、看護計画の整合性を含めた実践が見える記録ができるよう教育活動を行う。</li> <li>3. 必要度Ⅱの算定となるため、汎用・記録の漏れがない様に教育・監査を実施する。</li> </ol>
クリ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パス使用率は、44.8%で、前年度 40.1%より増加した。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新規パスの作成を推進し、パス使用率 50%を目指す。</li> </ol>

ニ カ ル パ ス	<p>2. 患者用パスは 209 件、クリニカルパス数 289 件となり、増加目標を達成した。</p> <p>3. 多職種でパス検証会を 10 回／年実施し、パス使用率に貢献した。</p>	<p>2. バリエーション調査の結果から現状のパスを見直し、より精度の高いパスに改良する。</p> <p>3. パス大会を実施し、病院全体でパスの検証・学習を行いパス使用率に寄与する。</p>
災 害 対 策	<p>1. エマルゴ訓練は年 2 回開催し、全部署が参加できた。</p> <p>2. ハザードマップは、全部署完成し、防災週間期間中に各部署で使用方法の確認ができた。</p> <p>3. 安全ラウンドは、前期の遵守率が悪かった項目は、ほぼすべて改善できた。</p>	<p>1. BCP 策定は、コアメンバーで初期計画を立案したが、多職種との連携が必要であり、病院の災害対策委員会との情報共有が課題。</p>
基 準 手 順	<p>1. 病院機能評価に必要な基準・手順の情報収集は毎月実施できた。</p> <p>2. 病院機能評価関連研修へは、委員 1 人 1 回以上は参加できた。</p> <p>3. 基準・手順の見直しは、委員会にて毎月実施できた。</p>	<p>1. 病院機能評価受審にむけて、マニュアル 7 項目の見直しを行った。機能評価には間に合ったが、一部看護基準の修正については、次年度の課題とする。(14%未修正)</p>
マ ナー 向 上	<p>1. 「ご来院皆様の声」苦情は昨年度 21% から 9.5%へとさらに低減できた。</p> <p>2. 身だしなみ、品位ある対応について部署内の評価結果は、全部署で前年度より改善は図れたが、目標値 0%には至らなかった。(カラーリング・清潔な靴・前髪)</p>	<p>1. 「ご来院皆様の声」苦情を減らすと同時に、賛辞をいただけるように適切な接遇ができるよう取り組む。</p> <p>2. 身だしなみ、品位ある対応については、各部署が主体的に年間計画(改善計画)を策定できるよう支援する。</p>

平成 30 年度 看護部責任者・他部門看護師責任者の配置

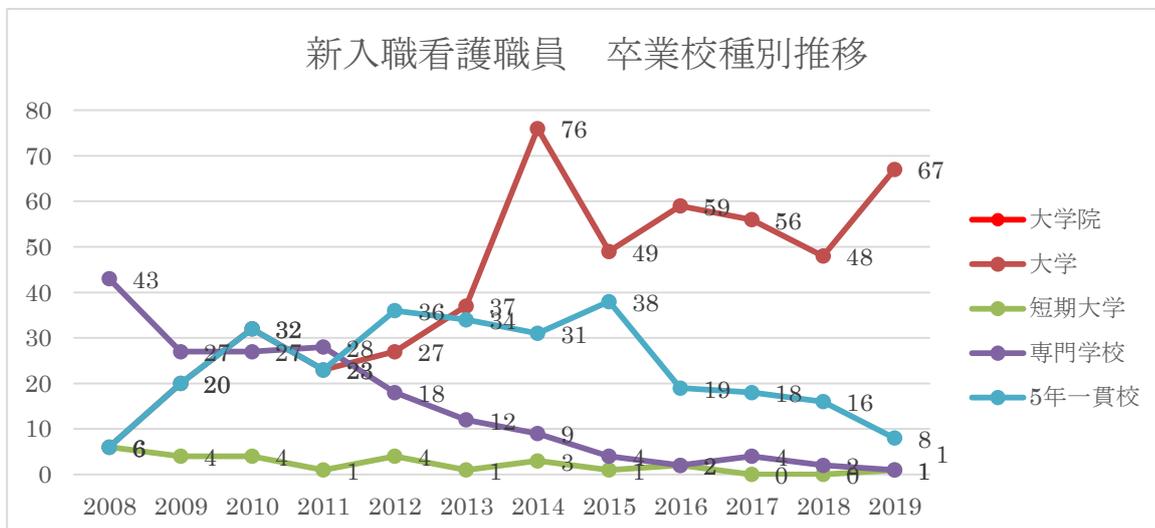
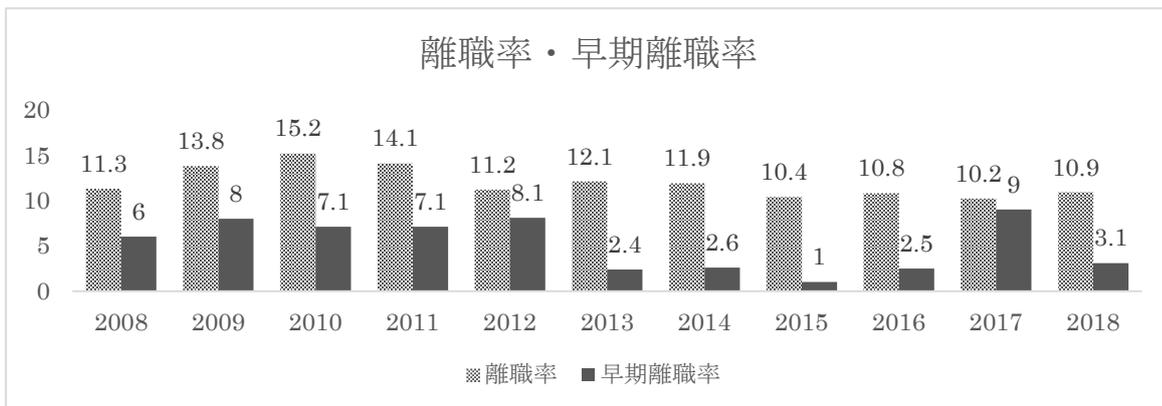
平成 30 年 4 月 1 日

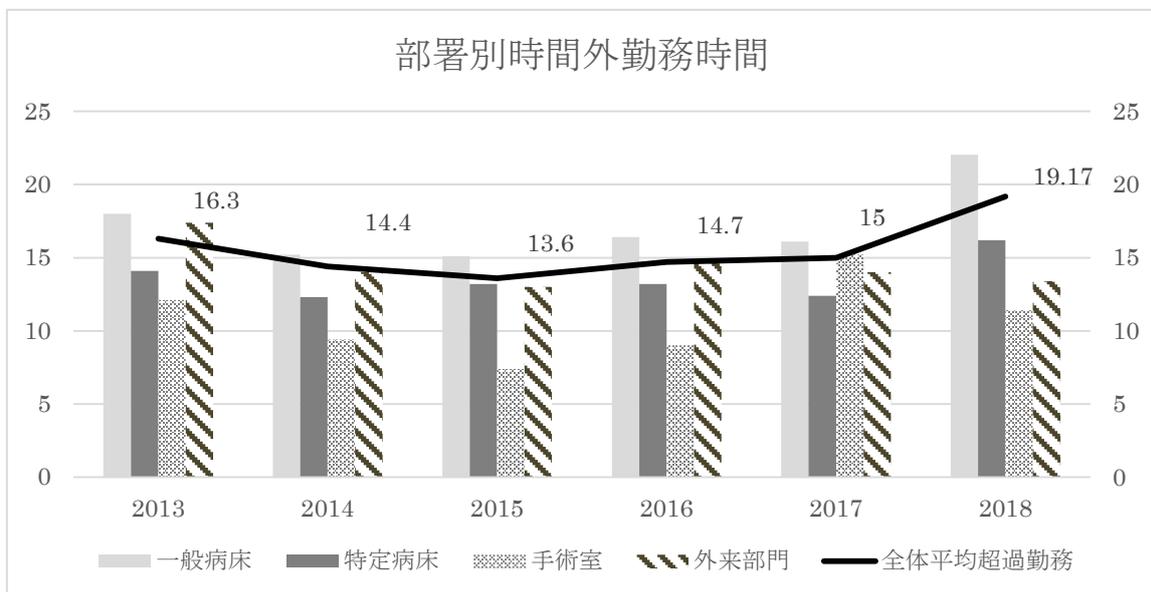
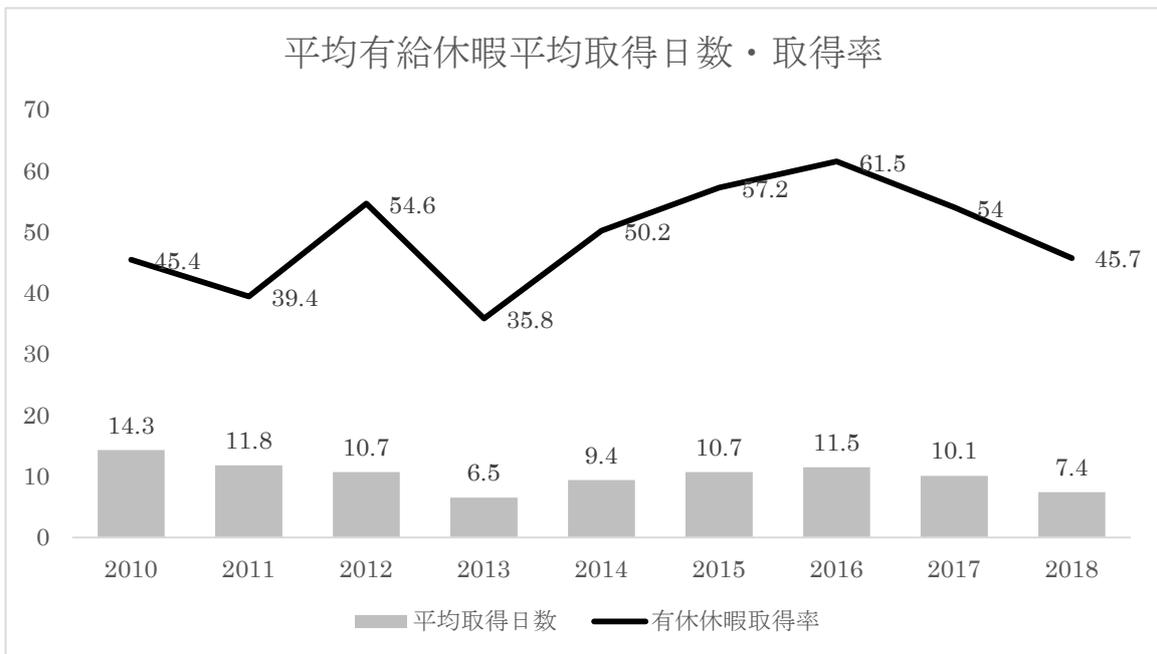
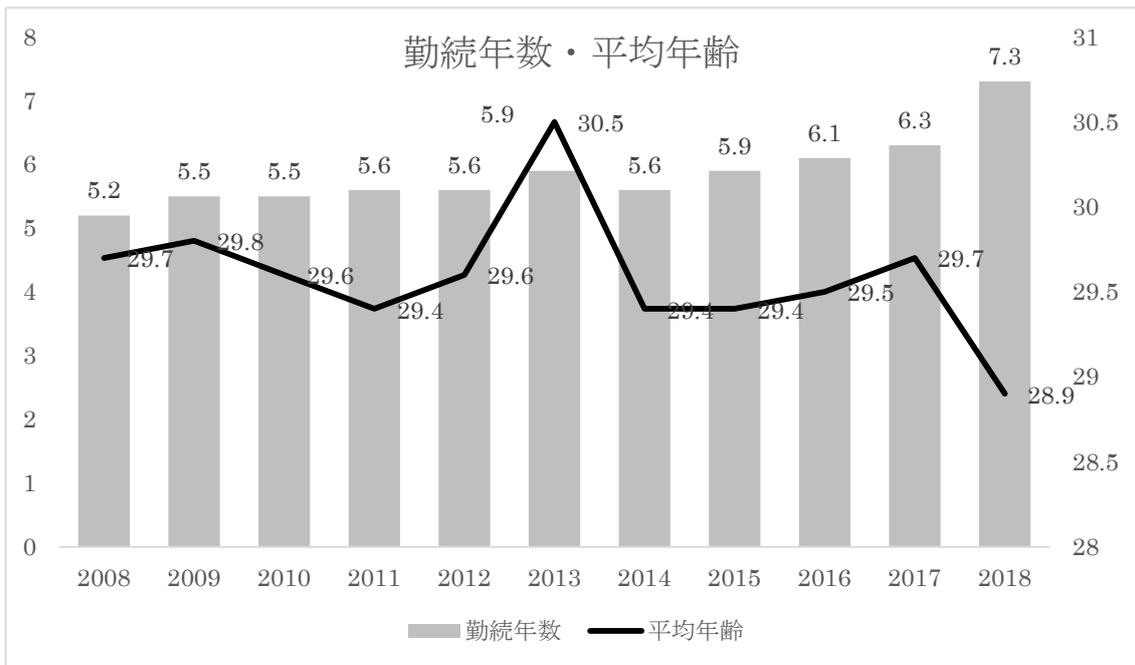
病棟	病床数	主な診療科	師長	主任
A棟 3階 3A	20	救命救急センター ICU・CCU	野澤 陽子	多田 真也・鈴木 英子
A棟 5階 5A	33	産婦人科	栗原 未黄	三角 百合子・石井 彰子
MFICU	6			勝又 理恵
A棟 6階 6A	56	脳外・形成・救急診療科	佐々木 史乃	飯田 沙耶香・山口 嘉美
A棟 7階 7A	56	外科・呼吸器外科	鈴木 美佐	飯田 敏秀・石田 桃子
A棟 8階 8A	52	循環器・心外・血内	山本 希	綾部 彰美・土佐谷 忍
A棟 9階 9A	36	混合 (全個室)	三枝 英美	古屋 曜子
B棟 3階 3B	38	耳鼻科・泌尿器・整形・救急	村田 文明	長谷川 亜弥
B棟 4階 4B	47	脳内・眼科	宮澤 初美	森 みどり・佐野 安由美
B棟 5階 5B	46	整形	藍澤 真澄	土屋 智洋
C棟 2階 2C	16	小児科	佐々木 智子	増田 友香
C棟 3階 3C	37	消化器内科・外科	加藤 清美	加藤 和歌子
C棟 4階 4C	33	呼内・腎内・皮膚科	土井 尚美	渡辺 ひとみ
C棟 5階 5C	44	婦人科・内科系	田村 美紀	小柴 安奈・松岡 なつみ
E棟 2階	12	NICU	長谷川 智美	大木 直美
新生児センター	18	GCU		田爪 千里
E棟 3階 3E	20	救命救急センター 全科	長友 節子	松尾 正人
E棟 3階 3EICU	7	全科 術後ICU	島田 奈津美	山崎 裕也
病棟合計	577	16病棟 18看護単位	16	25

外来部門	ブロック	診療科	師長	主任
A棟 2階・(1階)	A	循環器・外科・心外・呼外 脳外・整形・形成・(泌尿器科)	杉山 希	望月 佳澄
B棟 2階	B	脳神経内科 耳鼻科 小児科	(宮澤 初美) (村田 文明) (佐々木 智子)	三島 めぐみ
A棟 2階	C	消内・血内・腎内 呼内・膠内・糖内・麻酔科 メンタルクリニック	杉山 希	瀧田 千草
E棟 1階	B	眼科		
A棟 1階	B	皮膚科	(土井 尚美)	一杉 あけみ
A棟 1階	B	産婦人科	(栗原 未黄)	
E棟 1階	救急外来		(野澤 陽子)	勝間田 敏宏・石倉 美穂子
D棟 地下	検査部門	アンギオ・シネアンギオ	櫻井 操	
F棟 1階		回復室・CT室・内視鏡		
G棟 1階		がん治療・予防医学センター		
F棟 2階		血液浄化センター		
F棟 地下		放射線治療		
A棟 4階・3階	手術・滅菌室		山口 礼	藤本 ゆうこ・内田 佳月
合計			3	8

看護部	役職	氏名	他部門	部門	師長	主任
	部長	堀江 みどり		医療安全推進センター		
	看護総務課 課長	堀込 克代		感染対策室	長富 美恵子	
	入院業務課 課長補佐	荻島 真弓		医療安全管理室	高橋 真紀子	
	外来業務課 課長	田中 ひとみ		医療サービス支援センター		
	看護安全管理課 課長	矢田 みどり		医療福祉相談室	山下 小夜子	森 久美 渡邊 光香
	主任	杉山 美和		患者・看護相談室	白川 啓子	
	看護教育課 課長補佐	濱口 真知子		療養支援		渡邊 あつ子
	師長	間部 幸				
	役職者数 (合計)	67				
	部長・課長	1・5				
	師長	24 (看護部 20 他部門 4)				
	主任	37 (看護部 34 他部門 3)				

### 3-9 (1) 看護総務課





## 3-9(2) 看護外来業務課

### 1. 外来

1) 「外来看護の可視化」を目的に外来看護記録用紙を作成し、1700 件/月（病棟との一元化 5 診療科以外）の入力ができ、看護記録の定着が図れた。

看護計画立案件数は、160/件/月と減少してはいるが、病棟—在宅—外来とシームレスな連携を図る事を目的とし、「外来支援スクリーニングシート」を作成。100 件/月の患者の情報収集および共有を図った。2019 年度は「入院時支援スクリーニングシート」と名称を変え、更なる連携強化を図り、外来看護提供を強化していく。

2) 泌尿器科外来の透視室を使用する検査や治療を泌尿器科外来看護師業務から、検査室看護師業務に移行し、外来業務の効率化が図れた。

3) 専門分野による看護指導件数

	平成 29 年度	平成 30 年度
リンパ浮腫指導件数	156 件	108 件
骨粗鬆症指導件数	108 件	202 件
間歇導尿指導件数	17 件	51 件
禁煙看護指導件数	7 件	78 件
自己血輸血件数	-	211 件

4) 外来部門各資格者数（平成 30 年度 有資格取得者を含む）

- ・リンパ浮腫療法士（1 名）
- ・学会認定骨粗鬆症マネージャー（1 名）
- ・学会認定内視鏡検査技士（5 名）
- ・学会認定臨床輸血看護師（1 名）
- ・学会認定自己血輸血看護師（1 名）
- ・快適 CIC 指導士（間歇導尿指導）（2 名）
- ・静脈注射造影剤コース院内認定看護師（5 名）
- ・日本禁煙学会禁煙認定指導看護師（2 名）
- ・インターベンションエキスパートナース（2 名）
- ・日本リウマチ財団 リウマチケア看護師（1 名）
- ・肝疾患医療コーディネーター（1 名）
- ・特定化学物質作業主任者（2 名）

## 2. 手術室

- 1) 平成 30 年度の年間手術件数 8,437 件、定時外も含む稼働率は、88.6%であり、昨年度より 111 件/年増加している。  
手術室を効率よく運用するために、術間清掃内容や人員、部屋準備時の看護補助者業務の見直し等委託業者の協力を得、術間のインターバルを 34 分から 30 分に短縮した。
- 2) 手術室での褥瘡発生件数は平成 30 年度は 24 件、このうち術中発赤重症化件数は 0 件であった。  
今後も皮膚・排泄ケア認定看護師指導のもと、各科ポジショニングマニュアル、褥瘡ケア用品の活用をおこない褥瘡予防に努めていく。
- 3) 手術室では患者が安心・安全に手術を受けられるように術前後訪問に取り組んでいる。術前より良好なコミュニケーションをとることで、不安の軽減や合併症予防など術中看護計画立案に反映されている。また、術後訪問を実施し、手術室環境や手術看護実践の評価をし、看護師の振り返りにつなげている。今後も術後の回復過程で生じた問題を、周術期に携わる看護師と継続問題として共有していかなければならない。
- 4) 平成 30 年度手術ロボット（ダビンチ）が導入され、平成 31 年 2 月より泌尿器外科が 3 件実施。  
今後は呼吸器外科も導入するため、医師・看護師共に学習会や周辺環境の確認・準備を行っている。

## 3. 滅菌室

株式会社リジョイスカンパニーの業務が安定し、業者からは教育システムの強化、及び T-DOC システムによるバーコード管理の提案があり実施中。今後、質の向上が期待できる。

### 3-9(3) 看護教育課

#### 業務内容

#### 1. 平成 30 年度 現任教育必修研修一覧

月	日	研修時間 (受講人数によって時間変更あり 教務部事務所に確認してください)	ラダー	研修名	研修内容(教育要綱参照)	担当 委員会	担当者*担当責任者
4	26(木)	午前8:00~11:30 午後12:30~16:00(午 前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	医療安全研修	誤薬防止・転倒転落予防	安全	看護安全管理課・医療安全委員会
5	8(火)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制) ※10日は午前のみ	I	指導者研修STEP1	実地指導者(エルダー)になるための学習	濱口	教育課
	10(木)						
	8(火)	17:15~18:30	I	事例研究STEP1	研究方法論・文献検索方法	間部	田爪・山口
	10(木)						
	11(金)	17:30~18:00	II	事例研究STEP2①	研究計画書の書き方・事例研究の進め方	教育	教育課・他
	16(水)	8:30~12:00	III	リーダーシップ研修4①	SWOTを用いた現状分析	教育	教育課・他
	18(金)	8:30~12:00	II	臨床実習指導者研修(1回目)	実習指導者の役割について	間部	長谷川亜・三角・鈴木由
	29(火)	午前 9:00~12:00 午後13:00~16:00 (午前午後入れ替え制)	介護福祉士・看護補 助者	看護補助者技術研修	患者確認方法	望月	内田佳・加藤和
30(水)							
31(木)	13:00~16:30	IV	家族看護STEP2①		勝又	勝又	
6	6(水)	午前 9:00~12:20 午後13:20~16:40 (午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	フィジカルアセスメントSTEP1	フィジカルアセスメント	石倉	石田桃・瀬田・渡辺あ・藤本・ (予定) 田上・黒田・内田千・鈴木 め・鬼塚・中村沙・野中
	7(木)						
	8(金)	8:30~16:10	II	臨床実習指導者研修(2回目)	実習指導案について	間部	長谷川亜・三角・鈴木由
	11(月)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	II	リーダーシップ研修2	後輩の成長を支援する指導者となるために・成人教育とは	濱口	増田・渡邊光・教育課
	12(火)	17:00~18:30	I	認知症ケア看護ベーシック	教育要綱参照	濱口	古屋
	13(水)						
	14(木)						
	20(水)						
	21(木)	17:00~18:15	新人看護職員研修	退院支援・連携	退院支援の流れ・スクリーニングシートの書き方	濱口	森
	22(金)	8:30~16:10	新人看護師以外	学内認定看護師教育課程静脈注射コース(1回目)	教育要綱参照	勝又	勝又
25(月)							
28(木)							
3(火)	午前 9:00~12:20 午後13:20~16:40 (午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	看護記録STEP1	看護記録・看護過程1	宮澤	古屋・記録委員会	
4(水)							
12(木)	8:30~12:00	IV	看護倫理STEP4①	看護実践に必要な倫理	田村	宮澤・田村・古屋・勝又	
20(金)	8:30~16:40	III	リーダーシップ研修3①	問題解決技法	土屋	松尾・土屋智・大木	
8	2(木)	午前 9:00~12:00 午後13:00~16:00 (午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	多重課題・3か月の振り返り	多重課題・3か月の振り返り	濱口	渡辺ひ・佐野・山田菜
	3(金)						
	7(火)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	I	フィジカルアセスメントSTEP2	教育要綱参照	鈴木	土佐谷・松下・田代・(鈴木英)
	8(水)						
9	5(水)	午前 9:00~12:00 午後13:00~16:00 (午前午後入れ替え制) *9月7日はAMのみ	I	看護記録STEP2	看護記録・看護過程2	宮澤	小柴安・記録委員会
	7(金)						
	14(金)						
	7(金)	17:00~18:30	IV	指導者研修STEP3	指導3観について	濱口	教育課
	10(月)	8:30~16:10	新人看護師以外	学内認定看護師教育課程静脈注射コース(2回目)		間部	山崎裕・石井・松岡・石倉・教育課
13(木)	8:30~12:00	III	看護倫理STEP3①	教育要綱参照	田村	宮澤・田村・古屋・勝又	
10	2(火)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	救急看護	急変時の対応・机上シミュレーション	石倉	望月佳・飯田秀・一杉・三島
	25(木)						
	5(金)	13:00~16:30	IV	看護倫理STEP4②	教育要綱参照	田村	宮澤・田村・古屋・勝又
	3(水)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	II	看護記録STEP3	記録の監査方法・指導	宮澤	多田・記録委員会
19(金)	17:00~18:30	II	実習指導リフレクション研修	平成29年度以前の受講生と指導の経験を語る会	間部	長谷川亜・三角・鈴木由	
2(金)							
11	7(水)	17:00~18:30	介護福祉士 全員参加	ケーススタディー・研修報告会	ケーススタディー発表・研修報告	濱口	教育課
	19(月)	8:30~16:10	新人看護師以外	学内認定看護師教育課程静脈注射コース(3回目)		間部	山崎裕・石井・松岡・石倉・教育課
	12	13(木)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	エンゼルケア	逝去時の看護	間部
19(水)							
17(月)		9:30~16:40 (受講人数によって変更あり)	II	事例研究STEP2②	事例研究発表会	間部	田爪・山口
18(火)		13:00~16:10	III	リーダーシップ研修4②	SWOT成果発表	濱口	教育課
20(木)							
1	10(木)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	I	看護倫理STEP2	教育要綱参照	田村	宮澤・田村・古屋・勝又
	17(木)						
	24(木)	13:00~16:10	III	リーダーシップ研修3②	問題解決技法成果発表	土屋	松尾・土屋智・大木
	25(金)	13:00~16:10	III	看護倫理STEP3②	事例発表会	田村	宮澤・田村・古屋・勝又
	28(月)	午前 9:00~12:00 午後13:30~16:30 (午前午後入れ替え制)	I	リーダーシップ研修1	リーダーになるための心構え	望月	森み・飯田紗
	31(木)						
2	5(火)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	I	家族看護STEP1	教育要綱参照	勝又	勝又
	28(木)						
	8(金)	午前 8:30~12:00 午後13:00~16:30 (午前午後入れ替え制)	新人看護職員研修	メンバーシップ研修	メンバーシップ・1年間の振り返り	石倉	勝間田・綾部
	14(木)						
	18(月)	8:30~16:10	新人看護師以外	学内認定看護師教育課程静脈注射コース(4回目)		間部	山崎裕・石井・松岡・石倉・教育課
	21(木)	13:00~16:10	IV	家族看護STEP2③	教育要綱参照	勝又	勝又
22(金)	8:30~12:30	II	臨床実習指導者研修(3回目)	実習指導実施報告会	間部	長谷川亜・三角・鈴木由	

平成 30 年度 キャリアアップ研修計画

【看護教育研究会】

月	日	研修時間	ラダー	研修名	研修内容（教育要綱参照）	担当者
9	12(水)	17:00~18:30	Ⅲ・Ⅳ	看護教育研究会(1回目)	伝達講習・研究・取り組み発表	教育課
2	13(水)			看護教育研究会(2回目)	伝達講習・研究・取り組み発表	

【中間管理者コース I /ベーシック】 \*主任昇格予定者受講必修研修

月	日	研修時間	ラダー	研修名	研修内容	担当者
6	13(水)	17:00~18:45	ラダーⅣ・管理Ⅰ(主任)*本年度ファーストレベル受講予定者除く	中間管理者になるために	組織における看護部の役割・管理者の役割	看護部長
7	11(水)				ヘルスケアサービス・医療経済	田中・山本
9	12(水)				医療安全管理	矢田
10	10(水)				組織運営と目標管理	三枝・長友
11	14(水)				リーダーシップとチーム医療	櫻井・山下
12	26(水)				キャリア開発と看護実践計画書の書き方	教育課
1	16(水)				看護倫理	長富
2	13(水)				労務管理・ストレスマネジメント	堀込・宮澤
					実践計画発表	教育課
					実践報告	

1. 入退院支援、連携研修

月	日	研修時間	ラダー	研修内容	担当者
6	12(火)	17:00~18:30	各部署にてチームリーダーを担うスタッフ	要項参照	山下・森・渡邊
7	10(火)				
8月中		1日訪問看護実習			
9	11(火)	17:00~18:30			
10	9(火)				

2. 急変対応指導者育成コース

月	日	研修時間	ラダー	受講予定部署	研修内容	担当者
8	4(土)	8:00~12:00	ラダーⅠ以上(新人以外)	3B/5A/5B/OPE	要項参照	◎森島、野澤、杉山、多田、石田、鈴木、松尾、田上、増永、鬼塚、加藤、内田、長岡
9	7(金)			6A/7A/8A/9A		
10	26(金)			3C/4B/4C/5C		

3. 糖尿病看護

月	日	研修時間	ラダー	研修内容	担当者
6	14(木)	17:00~18:30	経験年数3年以上(すべての日程に参加できる人)	1.糖尿病について 2.食事療法、運動療法 3.インスリン、自己血糖測定(演習) 4.事例発表	渡邊あつ子
7	12(木)				
8	9(木)				
1	31(木)				

4. 認知症看護研修

月	日	研修時間	ラダー	研修内容	担当者
6	7(木)	17:00~18:30	ラダーⅠ以上	①認知症ケア加算の運用とアセスメントおよび記録 ②認知症の病態生理・薬理療法・看護倫理 ③認知症高齢者の看護 ④事例報告会	古屋
7	5(水)	17:00~18:30			
8	2(木)	17:00~18:30			
10	4(木)	17:00~18:30			

5. ケアに活かそう！サーバイランス

月	日	研修時間	ラダー	研修内容	担当者
5	17(木)	17:00~18:30	Ⅲ以上受講可(管理ラダー含む) ※Ⅳは必須	①講義 ②発表	杉山/長富
2	21(木)				

6. 院内認定呼吸ケアナース研修

月	日	研修時間	ラダー	研修内容	担当者
6・7・8月		8:40~16:40	人工呼吸器に携わる部署のリーダー看護師で 師長推薦のある者	講義、実技、事例検討、机上シミュレーション	鈴木英・多田 石田・土佐谷
10・11・12月					

7. がん看護研修

月	日にち	研修時間	ラダー	研修内容	担当者
10	18(木)	17:00~18:30	Ⅱ以上	①②化学療法 ③緩和ケア ④がん放射線療法	中村佳代子 渡邊美佐子 高島信世 小柴安奈 菊地麻里 山田真紀
11	15(木)				
12	20(木)				
1	24(木)				

8. 摂食・嚥下障害看護コース

月	日にち	研修時間	ラダー	研修内容	担当者
6	21(木)	17:00~18:30	Ⅰ以上	①摂食嚥下のしくみ ②摂食嚥下障害、誤嚥・窒息予防の必要な知識 ③嚥下スクリーニングテスト ④嚥下スクリーニングテスト演習	◎山口嘉美 池田定代 佐野由美 山本やす代 福田由貴
7	19(木)				
11	1(木)				

9. リンパ浮腫予防指導コース

月	日にち	研修時間	ラダー	研修内容	担当者
9	20(木)	17:00~18:30	経験年数3年以上	①リンパの解剖生理・リンパ浮腫について ②日常生活指導内容・セルフリンパドレナージ・圧迫療法・運動療法・スキンケアについて ③リンパ浮腫指導管理料のしくみ・方法・算定書類について	望月
12	6(木)				
1	17(木)				

2. 平成 30 年度 看護教育研究会 開催一覧

第 1 回 看護教育研究会 9 月 14 日(金)17:00～18:00	部署 氏名
<研究> 緊急カテーテル治療に不安を抱いている家族へのパンフレットを用いた看護介入～[the State-Trait-Anxiety Inventory=STAI]～を用いて	救急外来 福田貴裕
<研修報告> 自己血輸血学会看護師認定をうけて～今後の課題～	2A 外来 村岡裕美
<研修報告> 子ども達に優しい医療を提供するために HPS としてできること ～HPS(ホスピタルプレイスペシャリスト)の資格をとって～	2C 病棟 山田芙美子+

第 2 回 看護教育研究会 2 月 13 日(水)17:00～18:30	部署 氏名
<研修報告> 実習指導者等講習会研修報告 実習指導者等講習会を受講しての学びと今後の課題	新生児センター 田代まり絵
<研修報告> 実習指導者等講習会研修報告 指導者としてのホップ・ステップ・ジャンプ～私らしく指導していく～	6A 病棟 石田瑞紀
<研修報告> ストーリーナビリテーション講習会リーダーシップコースを受講して学んだこと	看護安全管理課 浦岡歩
<実践報告> せん妄に伴う睡眠障害への取り組み、生活リズムの改善に向けて	6A 病棟 瀬川郁美
<実践報告> ケアに活かそう！サーベイランス実践報告	外来検査室 山本優子

### 3. 平成 30 年度 院外教育活動

#### 1)学会・研究会発表

テーマ	発表場所	発表者(部署)
起床後の日光浴が肝性脳症による睡眠障害、意欲に及ぼす影響	グランシップ静岡	3C病棟 中村朱音
産婦健康診査における「こころの健康チェック表(EPDS)」導入に向けての取り組み	もくせい会館	5A病棟 大川比呂美 5A病棟 石井彰子
地域との連携を目指したストーマ講習会の開催報告	日本創傷オストミー失禁管理学会 第27回	看護安全管理課 浦岡歩
下部消化管穿孔術後、正中離開創とストーマ粘膜皮膚接合部離開創の皮下交通をNPWTi-dにて管理した例	日本ストーマ排泄リハビリテーション学会 第36回	看護安全管理課 浦岡歩
日本眼科手術学会学術総会ナースングプログラム手術室における他職種連携と看護師の役割	第42回日本眼科手術学会学術総会 パシフィコ横浜	手術室 内田佳月
臨床看護師としての成長に影響を及ぼす要因実習指導者焦点をあてて	日本看護研究学会(熊本)	6A病棟 佐々木史乃
救急外来で死亡退院した児の母親に対する電話対応による継続看護の一例	日本救急学会学術集会	3E病棟 杉山遥
危機的状態にある患者家族の精神的苦痛に寄り添った支援介入	第23回日本難病看護学会学術集会	4B病棟 石堂安香里
新しい治療法を受けるパーキンソン病患者の思いに対する看護師の役割	第23回日本難病看護学会学術集会	4B病棟 松井咲貴
骨粗鬆症看護外来におけるケアの実態と今後の課題	日本看護協会慢性期看護学術集会静岡グランシップ	外来業務課 沓間洋子
化学療法看護外来におけるケアの実態と今後の課題	日本看護協会慢性期看護学術集会静岡グランシップ	がん治療センター 菊地麻里
インスリン使用患者におけるペンニードルプラスの有用性	第61回日本糖尿病学会東京国際フォーラム	患者・看護相談室 渡邊あつ子
インスリンポンプを導入する患者への看護師の介入	第49回日本看護学会学術集会一慢性期看護一	5C病棟 中山莉那 5C病棟 田村美紀
化学療法の患者・家族指導とオリエンテーションの現状と課題	県支持療法部会 県庁	がん治療センター 山田真紀
骨粗しょう症看護外来におけるケアの実態と今後の課題	日本看護協会慢性期看護学術集会	外来業務課Aブロック 沓間洋子
化学療法看護外来におけるケアの実態と今後の課題	日本看護協会慢性期看護学術集会	外来業務課がん治療センター 菊地麻里
ARDSに対して人工呼吸器を装着している高度肥満患者の早期離床の1症例	第46回日本集中治療医学会学術集会	3A病棟 渡邊 朋徳
脳卒中患者の残存機能維持に向けた早期リハビリ介入	順天堂大学浦安病院	3A病棟 池村美樹
診療看護師の看護教育への関わり	第2回中部関西診療看護師(NP)研究会学術集会・総会	3A病棟 多田真也
災害時に必要なフライトナースの能力	第24回日本災害医学会総会・学術集会	3A病棟 多田真也

2)誌上発表

テーマ	書籍・雑誌名	著者(部署)
HPS取得後7か月間の小児科・新生児センターにおける取り組み	HPS国際シンポジウム事例集	2C病棟 山田芙美子
麻薬及び類似薬、筋弛緩薬の使用とフライトナースの管理実態調査	日本航空医療学会誌	3E病棟 松尾正人
減圧症等を含めたドクターヘリの緊急出動とその運用	日本高気圧環境潜水医学会誌	3E病棟 鬼塚味佳
看護師の倫理調整力 専門看護師の実践に学ぶ(感染症看護領域p102-p108)	日本看護協会出版会	感染対策室 長富美恵子
心疾患患者の注意すべき脳血管疾患-フライトナースの視点-	急変ABCD+呼吸・循環ケア	3A病棟 多田真也

3)院外での講師としての教育活動

活動内容	活動場所	担当者(部署)
成人看護学IV終末期の看護(全5回 2日間)	静岡済生会看護専門学校	7A病棟 渡邊美佐子
臨時講義「ターミナルケア」	順天堂大学保健看護学部	5A病棟 古谷華菜
ホリスター社内営業研修	沼津商工会議所	看護安全管理課 浦岡歩
臨床栄養学	順天堂大学保健看護学部	看護安全管理課 浦岡歩
静岡東部在宅ストーマ・リハビリテーションセミナー ストーマ造設後の合併症、事例検討	静岡県立静岡がんセンター	看護安全管理課 浦岡歩
フィジカルアセスメント 単元担当(30時間 14コマ)	順天堂大学保健看護学部	6A病棟 佐々木史乃
成人看護学	ふれあい学園下田看護学校	3E病棟 松尾正人
医療安全	ふれあい学園下田看護学校	3E病棟 松尾正人
ダイビング事故チェックリストの運用について(減圧法)	伊東市富戸コミュニティーセンター	3E病棟 鬼塚味佳
ダイビング事故チェックリストの運用について(減圧法)	西伊豆町セントラルスポーツ アウトドアビレッジ	3E病棟 鬼塚味佳
高齢者看護方法論	順天堂大学保健看護学部	4B病棟 宮澤初美
静岡県看護連盟伊豆支部・沼津A支部研修会 「看護連携を基盤とした地域包括ケア」発表	三島市文化会館 ゆうゆうホール	医療福祉相談室 山下小夜子

東部保健所主催「病院における入院患者の退院支援の取組状況について」報告	プラザヴェルデ 301・302会議室	医療福祉相談室 山下小夜子
足を学ぶ会 フットケア	三島商工会議所	患者・看護相談室 渡邊あつ子
肝炎医療相談・交流会	下田総合庁舎4階 第8会議室	感染対策室 長富美恵子
第3回 手指衛生セミナー in静岡	浜松アクタワー会議室	感染対策室 長富美恵子
感染看護学特論Ⅳ	順天堂大学大学院 医療看護学研究科	感染対策室 長富美恵子
医療におけるリスクマネジメント	順天堂大学保健看護学部	感染対策室 長富美恵子
感染看護	順天堂大学保健看護学部	感染対策室 長富美恵子
成人看護方法論Ⅱ-①	順天堂大学保健看護学部	5C病棟 田村美紀
母性看護学	順天堂大学保健看護学部	新生児センター 大木直美
こんなに変わった！最新のスキンケア	静岡県看護協会	教育課 間部 幸
ICLSインストラクター	三島キャンパス	3A病棟 中村・増永
診療看護師総論 診療看護師の実際(航空医療における診療看護師の活動)	愛知医科大学大学院看護学研究科	3A病棟 多田真也
成人看護方法論Ⅰ-② 呼吸音の聴取	順天堂大学保健看護学部	3A病棟 多田真也
救命救急看護論 ドクターヘリの概要・フライトナースの役割	順天堂大学保健看護学部	3A病棟 多田真也
学内認定 院内急変時対応コース「臨床推論」	順天堂大学医学部附属練馬病院	3A病棟 多田真也
順天堂大学医療看護学部高大接続プログラム「フライトナースの役割」	順天堂大学医療看護学部	3A病棟 野澤陽子
救命救急看護論「災害看護・DMATの実際」	順天堂大学保健看護学部	3A病棟 野澤陽子
学内認定 院内急変時対応コース「ABCDEアプローチ」	順天堂大学医学部附属練馬病院	救急外来 鈴木めぐみ
フライトナースの現場から看護を考える～生命を守るとは～	順天堂大学保健看護学部 グランシップ	救急外来 鈴木めぐみ

#### 4. 公開講座

テーマ	急変させないために看護師ができること		
開催日時	平成30年 6月 6日(水) 17時～18時		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第一会議室		
参加人数	47	院外からの参加者数	0
テーマ	もう一度確認しよう！スキンテアと医療関連機器圧迫創傷		
開催日時	平成30年 7月 4日17時～18時		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第一会議室		
参加人数	58名	院外からの参加者数	0名
テーマ	新生児看護の基本		
開催日時	平成30年 9月 5日17時～18時		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第一会議室		
参加人数	20名	院外からの参加者数	5名
テーマ	急性期病院における高齢者看護～入院時におさえておきたいポイント～		
開催日時	平成30年10月 3日17時～18時		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第一会議室		
参加人数	35	院外からの参加者数	5
テーマ	ACPの基礎知識		
開催日時	平成30年 11月 7日17時～18時		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第一会議室		
参加人数	23	院外からの参加者数	0
テーマ	今日からやってみよう！私たちでもできるリハビリ		
開催日時	平成30年12月12日17時～18時		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第一会議室		
参加人数	20名	院外からの参加者数	2名
テーマ	正しく知ろう！ せん妄の知識と看護		
開催日時	平成31年1月19日17時～18時		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第一会議室		
参加人数	19	院外からの参加者数	2名
テーマ	免疫療法について		
開催日時	平成31年 2月 6日17時～18時		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第一会議室		
参加人数	7	院外からの参加者数	0
テーマ	がん放射線療法の看護		
開催日時	平成30年3月6日17時～18時		
会場	順天堂大学医学部附属静岡病院 第5会議室		
参加人数	20人	院外からの参加者数	0人

5. 平成 29 年度 教育活動状況

	項目	内容	期間
1	順天堂大学 医療看護学部実習	助産NICU実習	9月4日～15日
	順天堂大学 保健看護学部実習	①保健医療福祉に携わる職種の活動見学	5月31日
		②基礎看護実習Ⅰ	平成30年1月9日～19日
		③基礎看護実習Ⅱ	8月21日～9月15日
		④成人看護実習	10月2日～平成30年6月30日
		⑤看護総合実習	7月10日～7月22日
2	インターンシップ	当院の医療・看護を実際に体験し、就職後のリアリティーショックを緩和する	3月1日～3月16日
3	高校生1日ナース体験事業	看護実務体験を通して思いやりや看護する事の理解と関心を深め、看護職への志望を啓発する	7月27・28日
4	中学生職場体験	勤労観・職業観を養うための学習の一環として近隣の各事業所、施設等で職務体験を実施	5月22～23日 6月1～2日 10月30～31日
6	中学生社会人講話	職業人から体験談や職業観等を話し、生徒の職業に対する意識を高め、働く事の意義を考えさせる	1月27日
8	順天堂学内認定 看護師教育課程	①糖尿病看護	9月4日～2月26日
		②院内急変看護	
		③摂食嚥下障害看護	
		④認知症看護	
		⑤褥瘡ケア	
		⑤静脈注射コース	①6月19日
			②9月11日
			③11月27日
		④3月5日	

## 3-10 救命救急センター

### 業務内容

静岡県東部地域の救急医療の「最後の砦」の三次救急医療機関として、院内全診療科と各部門の協力・連携のもと、「断らない救急医療」の実践を継続している。二次救急医療についても駿東田方地域の広域輪番制で対応不能な場合は当センターが対応しており、同様に一次救急医療を担当する休日夜間急患センターなどの対象外地域や診療時間の空白時は、当センターが対応することが多い。

病院前救急医療としては、静岡県東部地域のドクターヘリ運航基地病院として、医師及び看護師の現場派遣と迅速な搬送を行うことで、特に伊豆半島と静岡市山間部の救急医療に重要な役割を果たしている。

入院診療では ICU13 床、CCU7 床を含む救急専用病床 40 床を利用し、重症傷病者の診療を行っている。

### 業務実績

平成 30 年

救急外来受診患者総数	13,916
救急入院患者総数	5,241
救急車搬送件数	5,371
ドクターヘリ運航件数	1,339 件

### メディカルコントロール活動

消防機関とのメディカルコントロール（MC）体制を確保・発展するために、地域 MC 協議会より要請された救急救命士の病院内実習の指導を行い、当院に収容した院外心肺停止症例についての事後検証を行った。静岡県 MC 協議会及び推進作業部会に参加し、救急救命士の業務プロトコール策定と事後検証に参加した。

地域においては、駿東田方地域 MC 協議会が開催する事後検証会に参加した。

### 次年度目標

- 救急搬送収容業務の円滑化と迅速化のため、救急応答事務員による救急対応体制への移行を順次実施する。
- 周辺地域における救急医療連携を強化し、医療情報ネットワークを構築する。
- ドクターヘリ活動と研究により積極的に介入し、適正かつ有効なドクターヘリ業務を推進する。

## 3-11 ドクターヘリ運航対策室

### 業務内容

当院は静岡県東部地域のドクターヘリ運航基地病院である。当院のフライトドクター及びナースがヘリでいち早く救急現場の傷病者と接触し、トリアージと応急処置を行い、適切な医療施設を選定して、目的地まで安全に搬送できるよう注意深い観察と対応を行っている。平成16年の指定以降、出動件数は年々増加傾向であり、当院を中心とする半径70kmの医療圏から年間700件以上の重症救急患者の広域ヘリ搬送を実施し、その約6割の患者を当院の救命救急センターに収容している。

### 次年度目標

- ・ ドクヘリ活動周知、啓発活動の継続
- ・ 消防との更なる連携強化
- ・ 県防災ヘリとの連携強化
- ・ 大規模災害、AACN等の訓練への参加
- ・ 海上保安庁との連携強化
- ・ 自衛隊との連携強化

### 平成30年度ドクターヘリ出動件数・搬送人数

転 帰	人 数	
入 院	609	0
外 来	419	0
転 送	293	0
キャンセル	77	0
合 計	1,398	1

要請内容	件 数	
現場搬送	1,015	現場計
現場キャンセル	74	1,089
病院間搬送	247	病院間計
病院間キャンセル	3	250
合 計	1,339	

平成30年/31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	/1月	/2月	/3月	合計(人)
入 院	38	51	46	61	83	42	51	53	55	48	41	40	609
外 来	26	29	27	46	54	26	39	30	46	39	29	28	419
転 送	13	27	25	33	29	10	27	33	29	24	16	27	293
キャンセル	2	2	3	5	9	5	8	9	8	6	12	8	77
月別合計	79	109	101	145	175	83	125	125	138	117	98	103	1,398

平成30年/31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	/1月	/2月	/3月	合計(件)
救急現場	60	82	74	109	124	65	96	97	97	80	68	63	1,015
転院搬送	14	19	20	29	31	12	20	18	26	19	15	24	247
キャンセル	2	2	3	5	9	5	8	9	8	6	12	8	77
月別合計	76	103	97	143	164	82	124	124	131	105	95	95	1,339

# 出動実績

I-1 (件数)

I-2 (件数)

(消防本部別) II-1 (人数) (診療科別)

出動内容	件数	消防本部名	転院搬送		現場出動	計	診療科名	(人数)
			病院	診療所				
現場 1090 (キャンセル 75件含む)		下田消防	79	34	163	276	循環器科	234
		駿東伊豆消防	27	17	502	546	脳神経外科	164
		熱海市消防	17	1	20	38	整形外科	118
		富士山南東消防	0	2	181	183	外科	29
病院間 249 (キャンセル 2件含む)		御殿場市・小山町消防	5	4	85	94	呼吸器内科	8
		富士宮市消防	2	0	58	60	小児科	59
		富士市消防	1	0	55	56	膠原病内科	1
		静岡市消防	0	0	23	23	呼吸器外科	1
現場 1,015		その他消防	1	0	2	3	腎臓内科	1
病院間 247		小計	132	58	1,089	1,279	消化器内科	10
小計 1,262		消防との合流なし	60	0	0	60	心臓血管外科	10
キャンセル 77		合計	192	58	1,089	1,339	脳神経内科	8
合計 1,339							産婦人科	6
							眼科	1
							泌尿器科	2
							形成外科	
							耳鼻咽喉科	
							皮膚科	
							新生児科	2
							血液内科	
							糖尿病・内分泌内科	
							救急診療科	667
							合計	1,321

← 急性心筋梗塞80人、心不全35人  
← 脳内出血33人

II-2 (人数)

(収容先別)

出動別	当院 (人数)	他院 (人数)	合計 (人数)
現場	705	197	902
病院間	154	92	246
小計	859	289	1,148
現場のみ	25	148	173
合計	859	289	1,321

※1,339件の出動中

2名診療 27件      5名診療 1件  
3名診療 7件      9名診療 1件  
4名診療 2件

／1,321名 (キャンセル77件を除く)

疾患別搬送件数

内因性疾患	件数	内因性疾患	件数
急性冠症候群	119	過換気症候群	5
心不全	33	呼吸不全	6
急性大動脈解離	36	大腸炎	2
大動脈瘤破裂	1	切迫早産	1
完全房室ブロック	2	破水	1
心室細動	5	分娩	1
心室頻拍	11	早産児	1
心房細動	5	新生児仮死	1
心房粗動	2	脳炎脳症	1
不整脈	2	敗血症	9
肺血栓塞栓症	2	頸部硬膜外膿瘍	1
下肢動脈血栓塞栓症	1	胃食道逆流症	1
徐脈	1	食道静脈瘤破裂	3
頻脈	2	消化管穿孔	2
肺梗塞	1	鼠径ヘルニア	1
急性動脈閉塞症	2	脱力	1
急性循環不全	1	人工血管吻合部不全	1
心膜炎	1	上腸間膜動脈閉塞	2
心筋症	2	腹腔内膿瘍	1
心筋炎	1	小腸捻転	1
心タンポナーデ	4	低血糖	8
胸痛	8	脱水	4
脳内出血	12	迷走神経反射	3
くも膜下出血	19	老衰	1
脳梗塞	26	脳腫瘍	1
脳卒中	76	腎腫瘍	1
呂律障害	1	出血性ショック	6
一過性脳虚血発作	3	高血圧症	2
意識障害	23	失神	9
意識消失発作	12	蘇生後脳症	1
けいれん発作	36	るい瘦	1
頭痛	1	妊娠高血圧症	1
腸閉塞	6	低酸素血症	1
消化管出血	9	緊張病状態	1
腹腔内出血	1	心肺停止	64
食道破裂	1	不明	4
膵炎	1		
胆管炎	3		
腎不全	1		
急性腹症	3		
下血	1		
吐血	3		
ショック	1		
閉塞性黄疸	1		
胸膜炎	1		
肺炎	8	内因性疾患 小計	641

外因性疾患	件数	外因性疾患	件数
交通外傷	17	頸部刺創	1
転落外傷	13	背部刺創	1
頭蓋内出血	24	胸部刺創	1
腹腔内出血	2	上肢切創	2
頭蓋骨骨折	3	足部切創	1
脊椎骨折	17	上肢デグロービング損傷	1
鎖骨骨折	5	手指切創	1
胸骨骨折	8	手指挫滅創	15
肋骨骨折	31	下腿デグロービング損傷	1
骨盤骨折	31	足指挫滅	1
上肢骨折	18	擦過傷	11
手関節骨折	1	頭部外傷	61
手指骨折	8	胸部外傷	14
下腿骨骨折	32	外傷性気胸	3
股関節脱臼	1	血気胸	12
足部骨折	13	胸壁血腫	1
足関節捻挫	1	腹部外傷	6
足指骨折	1	多発外傷	22
頸椎捻挫	7	動脈損傷	4
頭部打撲	13	脊髄損傷	30
頸部打撲	1	頸椎症	1
胸部打撲	7	脾損傷	1
背部打撲	2	膵臓損傷	1
腹部打撲	2	外傷性消化管穿孔	1
腰部打撲	4	尿道損傷	1
臀部打撲	2	出血性ショック	4
上肢打撲	1	コンパートメント症候群	1
下腿打撲	6	薬物中毒	5
全身打撲	17	急性アルコール中毒	2
頭部挫創	18	溺水	27
頸部挫創	1	減圧症	11
腹部挫創	1	窒息	14
上肢挫創	7	熱中症	17
下肢挫創	7	脱水	1
手指挫創	10	一酸化炭素中毒	3
足指挫創	1	誤嚥性肺炎	1
四肢挫創	1	高山病	2
陰部挫創	2	アナフィラキシー	34
掌貫通創	1	動物咬傷	1
圧外傷	1	縊首	1
脳振盪	26	熱傷	10
肺挫傷	3	低体温	6
上肢切断	1	心肺停止	22
手指切断	29	不明	2
足指切断	1	外因性疾患 小計	757
頸部切創	1	内・外因性疾患 合計	1,398

## 3-12 新生児センター

### 業務実績

総入院数と院内/院外出生の割合

	入院数
総入院数	470
院内出生	273
院外出生	197

出生体重別の入院数

	入院数
超低出生体重児 (1000g 未満)	21
極低出生体重児 (1000g-1500g 未満)	25

在胎週数別の入院数

在胎週数	入院数
22-23	3
24-27	9
28-33	27
34-36	70

新生児救急車

	出動件数
総出動件数	265
入院数	163
三角搬送	42

### 研究・教育活動

#### 原著

1. Kantake M, Ohkawa N, Iwasaki T, Ikeda N, Awaji A, Saito N, Shoji, Shimizu T. Postnatal relative adrenal insufficiency results in methylation of the glucocorticoid receptor gene in preterm infants: a retrospective cohort study. Clin Epi 10: 66. 2018
2. Kantake M. Simple, Rapid and Effective Separation of Nuclear Red Blood Cells from Peripheral Blood of Pregnant Women: A preliminary study. Biomed J Sci & Tech Res ; 3: 000907 2018
3. Kantake M. The Origin of CD45+CD71- Cells Enriched by MACS Technology.. Biomed J Sci & Tech Res ; 8: 001648 2018

#### 著書

1. 大川夏紀、東海林宏道 低出生体重児「小児臨床栄養学」改訂第2版 日本小児栄養消化器学会編 診断と治療社 第6章疾患別の栄養療法 p324-331 2018年

## 講演

1. Kantake M Prevention and treatment of induced hypothalamus-pituitary-adrenal dysfunction in preterm infants. 28th World Congress on Neonatology & Diagnosis. Amsterdam Netherland 2018. 12. 6.
2. 寒竹正人 分子生物学（ジェネティクスとエピジェネティクス）を用いてこどもの発達を理解しよう—新生児科医のよろこび— 第11回新生児科指導医教育セミナー in 仙台 2018. 8. 18.
3. 大川夏紀 新生児室で見逃してはいけないサイン 岳南産婦人科医会(富士市ゼミナール) 2018.11.1

## 学会発表

1. Kantake M. Postnatal relative adrenal insufficiency results in methylation of the glucocorticoid receptor gene in preterm infants. 28th World Congress on Neonatology & Diagnosis. Amsterdam. Netherland 2018. 12. 6.
2. 大川夏紀 在宅人工呼吸器を導入した胸郭低形成の1例～核家族への在宅医療の導入～ 第15回静岡県小児HOT研究会 2018.6.23
3. 池田奈帆、寒竹正人 母体末梢血からの胎児赤芽球分離の試み 順天堂大学静岡病院小児科新生児科 第1回新生児科基礎トランスレーショナルリサーチ 滋賀県長浜市 2018.2.24
4. 宮林和紀、大川夏紀、栗田健太郎、江原尚弘、淡路敦子、齋藤暢知、池田奈帆、東海林宏道、寒竹正人、清水俊明 Netherton 症候群に新生児・乳児消化管アレルギーを併発した1例 第121回日本小児科学会学術集会 福岡 2018.4.21
5. 宮林和紀、大川夏紀、加護祐久、松田明奈、佐藤由梨亜、齋藤暢知、池田奈帆、寒竹正人 肥厚性幽門狭窄症を発症した早産児の一例 第146回日本小児科学会静岡地方会 2018.6.10
6. 栗田健太郎、池田奈帆、堀江祥子、松田明奈、江原尚弘、佐藤由梨亜、宮林和紀、齋藤暢知、大川夏紀、寒竹正人 早産児骨減少症による多発骨折を呈した超低出生体重児の1例 第38回静岡県周産期新生児学会 静岡 2018.03.03
7. 栗田健太郎、宮林和紀、堀江祥子、松田明奈、佐藤由梨亜、江原尚弘、齋藤暢知、池田奈帆、大川夏紀、寒竹正人 静岡県東部における新生児救急車搬送の検討 第145回日本小児科学会静岡地方会 2018.03.25
8. 栗田健太郎、齋藤暢知、江原尚弘、宮林和紀、淡路敦子、池田奈帆、大川夏紀、寒竹正人、清水俊明 母親の既往歴から判明した先天性QT延長症候群の2家系 第121回日本小児科学会学術集会 2018.04.21
9. 栗田健太郎、宮林和紀、淡路敦子、齋藤暢知、池田奈帆、大川夏紀、東海林宏道、寒竹正人、清水俊明 静岡県東部における新生児救急車搬送の変遷についての検討 第54回日本周産期新生児医学会学術集会 東京 2018.07.08
10. 栗田健太郎、池田奈帆、齋藤暢知、大川夏紀、寒竹正人、東海林宏道、清水俊明 早産児骨減少症により多発骨折を呈した超低出生体重児の1例 第45回日本小児栄養消化器肝臓学会 大宮 2018.10.07
11. 栗田健太郎、松田明奈、宮林和紀、淡路敦子、池田奈帆、大川夏紀、東海林宏道、清水俊明 多発骨折を呈した早産児骨減少症の超低出生体重児例 第63回日本新生児成育医学会・学術集会 東京 2018.11.23

12. 松田明奈、大川夏紀 NPIT でわかる染色体異常 第 23 回東部周産期研究会 静岡 2018.7.26
13. 松田明奈、栗田健太郎、宮林和紀、淡路敦子、池田奈帆、大川夏紀、東海林宏道、寒竹正人、清水俊明 新生児低体温療法を施行した児におけるプロバイオティクス使用についての検討 第 63 回日本新生児成育医学会学術集会 東京 2018.11.22

### 3-13 がん治療センター

#### 業務実績

【がん治療センター運営委員会】 6回/年

【がん診療委員会(カンサーボード・レジメン審査)】 12回/年

【周辺機関合同研修会・カンファレンス・連絡会等】

6月9-10日	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会
6月19日	がん治療研修会(化学療法・放射線療法)
6月28日	カンサーボードカンファレンス
7月30日	がん治療研修会(早期診断・緩和ケア)
10月25日	カンサーボードカンファレンス
10月27日	がん在宅緩和ケア研修会
2月5日	地域がん診療連絡会
2月28日	カンサーボードカンファレンス
3月12日	医科歯科連携打合せ

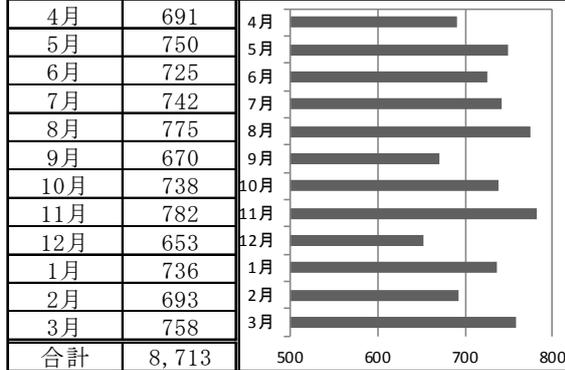
【市民公開講座】(がん関連テーマ)

4月19日	放射線治療 ～過去・現在・未来～
8月30日	あなたのおっばいの話 ～乳がん検診から最新の話まで～
1月23日	肺がん外科治療最前線 ～肺がんと診断された際の心構えから da Vinci Surgical System(ロボット手術)まで～

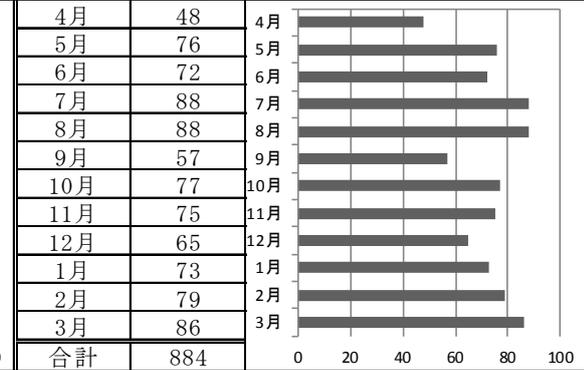
【がん登録件数】(H29.1.1～12.31)

総登録数	5大がん内訳	肺がん	163	大腸がん	281	乳がん	90
1,649		胃がん	130	肝がん	51		

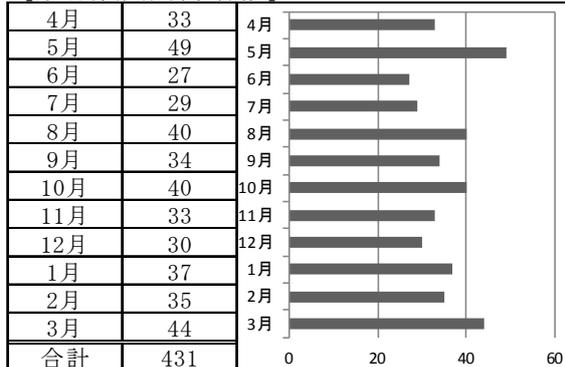
【化学療法実施件数】



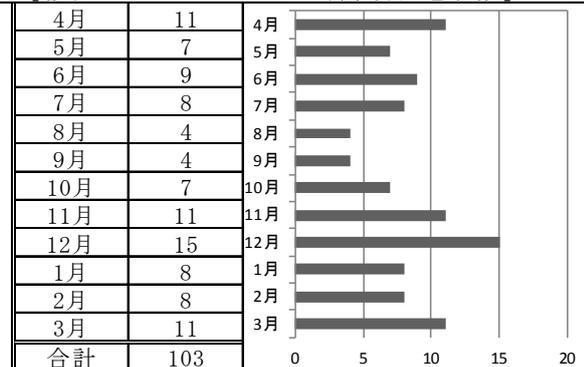
【がん手術件数】



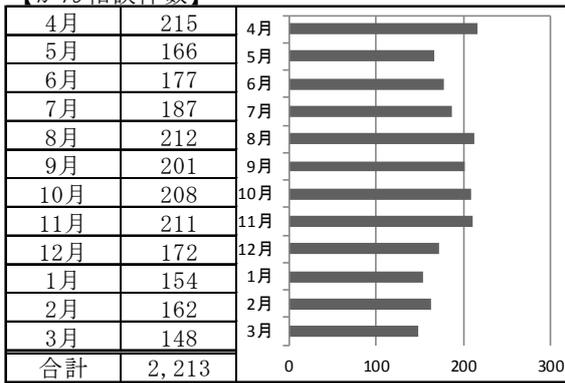
【放射線治療新規件数】



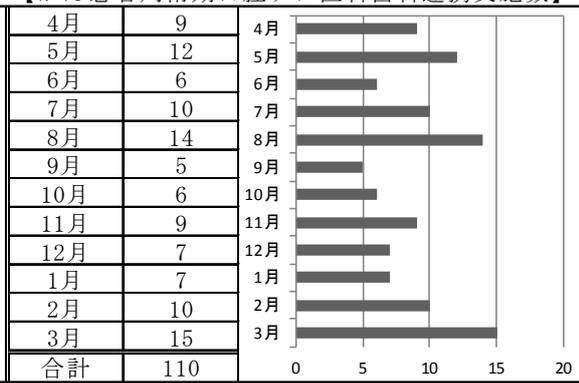
【緩和ケアサポートチーム新規介入患者数】



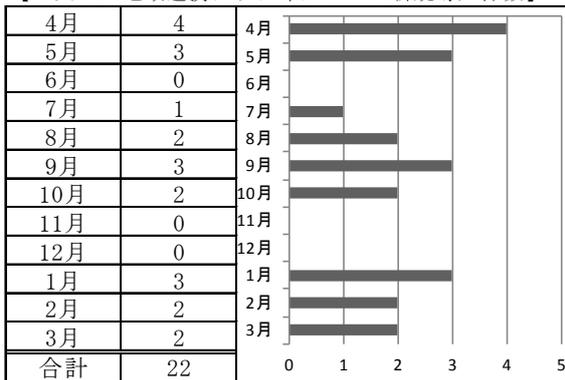
【がん相談件数】



【がん患者周術期口腔ケア医科歯科連携実施数】



【5大がん地域連携クリティカルパス新規導入件数】



連携届出施設数	
総施設数	123
肺がん	90
胃がん	105
大腸がん	101
肝がん	64
乳がん	33

### 3-14 予防医学センター

#### (1)人間ドック集計(平成 30 年度)

(1)-1人間ドック男女別、月集計表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率(%)
日 帰 リ コ ー ス	男	12	9	13	15	7	10	15	8	11	15	5	9	129	62.0%
	女	10	7	14	6	1	4	9	6	7	4	5	6	79	38.0%
	小計	22	16	27	21	8	14	24	14	18	19	10	15	208	
1 泊 2 日 コ ー ス	男	2	4	3	5	6	4	4	6	1	6	6	4	51	59.3%
	女	3	2	2	5	4	6	3	2	4	0	2	2	35	40.7%
	小計	5	6	5	10	10	10	7	8	5	6	8	6	86	
が ん コ ー ス	男	2	2	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	9	56.3%
	女	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	7	43.8%
	小計	2	4	0	0	0	0	0	2	0	1	2	5	16	
P E T   C T コ ー ス	男	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3	50.0%
	女	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	50.0%
	小計	0	0	0	0	0	1	2	1	1	1	0	0	6	
脳 ド ク ク コ ー ス	男	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4	80.0%
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	20.0%
	小計	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	5	

(1)-2 人間ドック年齢別、男女別集計表

区分		年齢							合計	比率(%)
		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上		
総合日帰りコース	男	1	5	16	29	33	38	7	129	40.19%
	女	0	3	13	20	19	22	2	79	24.61%
	小計	1	8	29	49	52	60	9	208	64.80%
	比率(%)	0.31%	2.49%	9.03%	15.26%	16.20%	18.69%	2.80%	64.80%	
総合1泊2日コース	男	0	2	9	15	11	11	3	51	15.89%
	女	0	2	5	10	7	10	1	35	10.90%
	小計	0	4	14	25	18	21	4	86	26.79%
	比率(%)	0.00%	1.25%	4.36%	7.79%	5.61%	6.54%	1.25%	26.79%	
がんコース	男	0	0	1	4	2	1	1	9	2.80%
	女	0	2	2	2	1	0	0	7	2.18%
	小計	0	2	3	6	3	1	1	16	4.98%
	比率(%)	0.00%	0.62%	0.93%	1.87%	0.93%	0.31%	0.31%	4.98%	
PET-CTコース	男	0	0	1	1	0	1	0	3	0.93%
	女	0	0	1	1	0	1	0	3	0.93%
	小計	0	0	2	2	0	2	0	6	1.87%
	比率(%)	0.00%	0.00%	0.62%	0.62%	0.00%	0.62%	0.00%	1.87%	
脳ドックコース	男	0	0	0	3	0	1	0	4	1.25%
	女	0	0	0	0	0	0	1	1	0.31%
	小計	0	0	0	3	0	1	1	5	1.56%
	比率(%)	0.00%	0.00%	0.00%	0.93%	0.00%	0.31%	0.31%	1.56%	
合計	男	1	7	27	52	46	52	11	196	61%
	女	0	7	21	33	27	33	4	125	39%
	小計	1	14	48	85	73	85	15	321	100.0%
	比率(%)	0.31%	4.36%	14.95%	26.48%	22.74%	26.48%	4.67%	100.0%	

## (1)-3 年齢別総合判定区分集計

区分	～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～65	66～	合計
A: 異常はありません	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B: わずかな変化を認めますが 日常生活上心配りません	0	1	0	2	0	0	0	0	3
C: 経過観察を必要とします	1	4	5	5	3	4	1	4	27
D: 二次検査・精密検査を必要とします	4	6	12	11	13	13	7	9	75
E: 治療を必要とします	0	0	2	1	8	5	4	13	33
F: 治療・経過観察を継続してください	0	3	2	8	21	18	24	107	183
合 計	5	14	21	27	45	40	36	133	321

## 3-15 GCP センター

### 業務内容

当院では、治験や臨床研究が倫理的にまた安全に実施することができるか審査するために、治験審査委員会および倫理審査委員会が設けられています。GCP センターではその事務局を兼ねていて、治験の依頼者である製薬企業、臨床研究の実施者である医師等の相談にも対応しています。

また治験が安全にかつ円滑に実施されるために、治験コーディネーターが配置され実務をサポートしています。

### 業務実績

#### 治験

#### 新規

治験を行う場合には、治験に参加される方々の安全と人権を守るために、国が定めた「医薬品の臨床試験の実施の基準（GCP といいます。）」を遵守しなければなりません。この GCP に従って、科学のおよび倫理的な観点から、治験の実施や継続について調査・審議するため、順天堂大学医学部附属静岡病院治験審査委員会を設置しています。本治験審査委員会により内容が審議され、病院長より許可された治験のみが実施されます。

	件数	予定症例数
治験	2 件	7 症例
製造販売後臨床試験	1 件	5 症例
合計	3 件	12 症例

治験審査委員会 毎月 1 回(8 月休会)、治験の倫理性・安全性・科学的妥当性について審査します。

	安全性 報告	内容変更	継続審査	重篤な 有害事象	逸脱 (除 緊急の 危険回避)	軽微な 内容変更	報告事項
治験	49 件	18 件	6 件	4 件	1 件	17 件	37 件
製造販売後 臨床試験	0 件	1 件	0 件	2 件	2 件	2 件	1 件
合計	49 件	19 件	6 件	6 件	3 件	19 件	38 件

#### 監査・モニタリング受け入れ回数

製薬メーカー及びCROのモニターが治験実施施設へ来訪し、治験の進行状況を調査し情報収集する。治験が治験実施計画書・標準業務手順書(SOP)・GCP 及び適用される規制要件に従って、実施・記録及び報告されている事を保証する活動。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
治験	4 回	5 回	6 回	2 回	4 回	1 回	3 回	3 回	4 回	2 回	4 回	3 回	41 回
製造販売後 臨床試験	1 回	0 回	1 回	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回	1 回	0 回	0 回	3 回

合計	5回	5回	7回	2回	4回	1回	3回	3回	4回	3回	4回	3回	44回
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

終了

治験審査委員会に、治験が GCP に従って実施され、終了したことが報告されます。

	件数	実施症例数	同意取得数
治験	3件	5症例	11症例
製造販売後臨床試験	1件	4症例	4症例
合計	4件	9症例	15症例

#### 製造販売後調査

医薬品が治験後に承認されて販売された後、引き続き医薬品の有効性・安全性について調査します。

新規契約 31件	使用成績調査・特定使用成績調査	20件
	副作用詳細調査	11件

#### 倫理審査委員会

病気の原因、病態の理解及び患者さんの生活の質の向上を目的として実施される医学系研究であって、人を対象とするもの。

8月を除く毎月1回開催されて、倫理性・安全性・科学的妥当性について審査します。

	新規	内容変更	実施状況	重篤な有害事象報告	終了報告	症例報告	COI	迅速審査	特定臨床研究報告	その他
倫理審査	52件	69件	83件	17件	58件	13件	10件	5件	12件	3件

## 3-16 臨床研修センター

### 業務実績

#### ■研修内容

##### <レクチャー>

臨床研修医を対象とした、基本的な勉強会である「モーニングレクチャー」を21回（内3回をコメディカルが担当）、各科長クラスによるレポート提出症例に沿った内容を講義いただく「研修医レクチャー」を20回（内1回は縫合トレーニング）実施し、救急診療科を研修した研修医から、研修症例をまとめ発表していただく「救急診療科レクチャー」12回（毎月1回）実施した。

又、インタラクティブなレクチャーとして、レジデントアワーを実施しており、内容については学会発表を行った研修医数名が、発表した症例を他の研修医に向けレクチャーし、研修医同士でディスカッションを行う。更に学会発表の指導を行った各科医師にご協力いただき、補足等の意見を述べていただくというもので、活発な意見交換がなされた。

#### 【モーニングレクチャー】

	日	担当科	担当者		講義名
4月	12	呼吸器内科	原 宗央	助教	呼吸管理に活かす呼吸生理
5月	10	感染対策室	鈴木 美沙子	主任	血液培養と抗酸菌検査
6月	7	消化器内科	甘楽 裕徳	助教	肝疾患—最近の話題—
	14	医療安全管理室	高橋 真紀子	師長	医療紛争に関すること
7月	5	放射線科	井上 達朗	助手	中止
	12	脳神経内科	城 崇之	助教	けいれん
8月	2	膠原病内科	片桐 彰	准教授	ステロイド剤について
	9	形成外科	内山 美津希	助手	創縫合の実際
9月	6	メンタルクリニック	桐野 衛二	教授	せん妄のコントロール
	13	血液内科	落合 友則	助教	よく見る貧血の鑑別
10月	4	糖尿病・内分泌内科	池田 富貴	准教授(実習)	血糖管理について
	11	臨床検査科	田内 一民	特任教授	検査値の読み方
11月	1	新生児科	齋藤 暢知	助手	発達障害の見つけ方
	8	薬剤科	小林 淳司	主任	薬説のプレゼンの注目点・注意点
12月	6	循環器内科	和田 英樹	助教	AMIの解離などの救急外来で見逃してはいけない疾患
	13	麻酔科	洪 景都	准教授	麻酔科でよく使う薬
1月	10	皮膚科	野口 篤	助教	創傷被覆材の使い分けの要点
2月	7	小児科	宮林 和紀	助手	梅毒
	14	腎臓内科	原 一彰	助教	薬剤性腎障害
3月	7	呼吸器外科	市之川 英臣	助教	胸腔ドレーン挿入術
	14	産婦人科	田中 里美	助教	妊娠と薬について

【研修医レクチャー】

	日	担当科	医師		講義名
4月	16	臨床研修センター長	中尾 保秋	先任教	センター長からのお話
	23	輸血・栄養管理勉強会(大塚製薬)			
5月	21	腎臓内科	清水 芳男	先任教	腎不全
	28	総合トレーニング(エチコン) ※脳神経外科, 外科, 整形外科, 心臓血管外科, 泌尿器科, 産婦人科			
6月	1	浦安医院	伊藤 昌徳	脳外 特任教授	脳科学的学習法と指導法 ～カカケ英語からの脱却～
	18	整形外科	糸井 陽	助教	腰椎穿刺
	25	呼吸器外科	市之川 英臣	助教	呼吸困難
7月	23	脳神経外科	中尾 保秋	先任教	血管障害
8月	20	麻酔科	岡崎 敦	教授	気管挿管
	27	循環器科	諏訪 哲	先任教	高血圧・動悸
10月	15	皮膚科	長谷川 敏男	先任教	発疹
	22	呼吸器内科	原 宗央	准教授(教育)	呼吸器感染症
11月	19	心臓血管外科	齋藤 洋輔	助教	胸痛(心臓)
	26	外科	前川 博	先任教	便通異常
12月	17	消化器内科	松本 紘平	助教	食堂・胃・十二指腸疾患
1月	21	脳神経内科	安藤 真矢	助教	四肢のしびれ
	28	糖尿病・内分泌内科	三浦 正樹	助教	インスリン治療について
2月	18	泌尿器科	中島 晶子	助教	多発性嚢胞腎
	25	眼科	土至田 宏	先任教	結膜の充血
3月	18	メンタルクリニック	桐野 衛二	教授	認知症・総合失調症

【救急診療科セミナー】

	日	医師	所属	講義名
4月	25	里見 昌俊	本郷R2	右股関節脱臼骨折の一例
		米本 周平	R1	止血に難渋した大腿血腫の一例
5月	30	柳川 洋一	救急診療科	様々な臨床状を呈する大動脈解離
		北 祐次	R1	びまん性軸索損傷の一例
6月	27	瀬川 将史	R1	卵巣癌術後にARDSを発生し、両側緊張性気胸を発生した1例
		武政 尚暉	R1	交通外傷後に肺血栓栓症をきたした一例
		渡邊 碧音	R1	頸椎損傷から神経原性ショックに至った一例
7月	25	内田 涼太	本郷R2	腹部鈍的外傷による肝内胆汁腫を来した1例
		長崎 勇典	R1	レジオネラ肺炎にAKIを合併した一例
		野波 隆寛	R1	マムシ咬傷による腕部腫脹を引き起こした1例
8月	29	小西 泰人	本郷R2	敗血症による心筋障害
		水島 和彦	R1	病院前赤血球輸血を施行した1例
9月	26	佐々木 響子	R1	重症外傷に対するDCS
		坂倉 萌	R1	圧外傷により肺出血をきたした1例
		舟本 学	R1	高山病に高地脳浮腫を合併した1例
10月	31	松田 紘佳	R1	溺水後急性腎不全を合併した1例
		阿部 圭希	R1	早期胃癌治療後、痙攣重積発作で入院となった一例
		渡邊 武大	R1	統合失調症患者が低Na血症によって意識障害をきたした一例
11月	28	植木 響政	R2	窒息 気道確保の重要性
		小室 優子	練馬R2	壊死性筋膜炎の一例
		仁平 高朔	R1	交通外傷による椎体間離開骨折を認めた一例
12月	26	村松 賢一	R1	一酸化炭素中毒に対するマネジメント法と今後の課題
		鈴木 崇丸	R1	急性腹痛で来院し、アルコール性ケトアシドーシスが疑われた症例
		待山 祐一郎	R1	深部静脈血栓症
1月	30	上野 俊太郎	本郷R2	有機リン中毒
		森川 嵩大	練馬R2	アナフィラキシーショック
		武政 尚暉	R1	挿管管理を要した気道熱傷の症例
2月	27	古屋 怜慈	練馬R2	左臀部の疼痛から心肺停止に至った症例の検討
		阿部 圭希	R1	偶発性低体温症の一例
3月	27	永野 友理絵	R1	アルコール離脱
		三戸 統	R1	外傷性脊髄硬膜外血腫を来した一例
		森谷 哲士	R1	対称性末梢四肢麻痺を来した一例

【レジデントアワー】

	日	学会発表者	指導医	診療科	
6月	16	中止	-	-	-
9月	15	鈴木 創太	小泉 明博	外科	劇症型A群溶連菌感染症による原発性腹膜炎の1例
		松田 紘佳	城 崇之	脳神経内科	Choreoathetosisを呈した皮質下嚢胞をもつ大脳型白質脳症の54歳男性例
12月	15	瀬川 将史・村松 賢一	-	-	日本災害医療実地研修を経験して学んだこと
		宇藤 優	鈴木 一幹	脳神経外科	甲状腺機能亢進症による両側性内頸動脈狭窄症(類もやもや症)に対して外科的の血行再建術を施行した一例
3月	16	村松 賢一	富嶋 享	消化器内科	放射線治療により止血効果を認めた膵頭部癌によるhemorrhagic pancreatitisの一例
		米本 周平	大森 一彦	救急診療科	止血に難渋した大腿血腫の一例
		森谷 哲士	小森 和幸	呼吸器外科	SBRT後局所再発に対してSalvage手術施行の一例
		松田 紘佳	竹内 郁人	救急診療科	水後に急性腎障害を発生した一例

<CPC・CRCデスカンファレンス（臨床病理・臨床放射線合同カンファレンス）>

年3回開催した。

実施日	症 例 内 容
6月29日	びまん性肺胞障害+急性壊死性膵炎
11月26日	膀胱癌（尿路上皮癌～扁平上皮癌）+多発性嚢胞腎（両側）+肺出血
3月11日	急性前骨髄性白血病、（治療後・遺残性腫瘍なし）、+びまん性肺胞障害（両側）+多臓器出血

<日本救急医学会認定 ICLS コース>

4月5日 臨床研修医1年目が全員参加し、実際に即したシミュレーション実習を、1日かけて行った。

<臨床研修医のための学術集会>

7月6日 順天堂大学4基幹病院全研修医による学術集会があり、静岡病院としてR1米本 周平 先生による「止血に難渋した大腿血腫の一例」の発表と救急診療科 大森 一彦先生による「出血性ショックの対応は出来ますか？」のミニレクチャーを行った。

<研修医・指導医のための研修会>

平成30年9月22日(土)、9月23日(日) クロスウェーブ府中にて順天堂大学4基幹病院合同の研修があり、研修医1年目21名、「プロフェッショナルリズムとキャリア形成を意識した臨床研修の充実に受けての提案」をテーマに研修を行った。

<臨床研修修了証書授与式>

平成31年3月8日 順天堂大学本郷キャンパスにて順天堂大学4基幹病院合同の修了証書授与式が行われ、静岡病院では研修医13名が授与された。

■研修管理委員会

研修管理委員会が開かれ、平成30年度の当院、各施設より研修報告が行われた。

■臨床研修病院合同説明会への参加

平成30年度は県外4回、県内2回の合同説明会に参加した。説明会では、医学生が当院研修医と、気軽に臨床研修について質問、相談できる雰囲気を作り、多くの医学生に立ち寄っていただいた。

開催日	説明会	場所	参加人数
7月1日	レジナビフェア 2018in 大阪	インデックス大阪	30名
7月15日	レジナビフェア 2018in 東京	東京ビッグサイト	10名
7月22日	静岡県臨床研修病院合同説明会 in 浜松	サーラシティ浜松	6名
2月17日	レジナビフェア 2019in 金沢	石川県産業展示館	30名
3月3日	レジナビフェア 2019in 福岡	マリンメッセ福岡	23名
3月10日	レジナビフェア 2019in 東京	東京ビッグサイト	70名
3月21日	静岡県臨床研修病院合同説明会 in 静岡	グランシップ	9名

## ■平成 30 年度 初期臨床研修医採用について

静岡県東部地域で地域医療の最前線で日々奮闘している順天堂大静岡病院で多くの研修医が研修することには大きな意義がある。しかし、現在の傾向として都会の順天堂の関連病院や母校以外のより優秀な研修医が集まる有名病院で研修する人達が増加してきている。

そうした現状の中で、静岡病院での研修を積極的に希望する研修医がしだいに増加しつつある。

静岡病院の特徴は、静岡県東部地区の基幹病院として、救急車やドクターヘリにより連日多くの患者が運ばれ、救急外来、病棟で多くの患者さんの治療を経験することができ、またその際に実践的に実技を習得することができる。科間の垣根が低く、迅速に全身の治療ができることにある。さらに指導医は専任のチューターを中心に、教育に力をいれており、レクチャー、症例発表会なども定期的に行った。その上、静岡病院では、研修医のための宿舎が整備され、部屋は広く、備品も整い、病院に近く、希望者全員が生活しているため、研修医同志の絆が形成し易く、相互に研鑽して有意義な研修生活を送っている。

### <採用結果>

平成 30 年度医師臨床研修医は、基本プログラム 23 名を採用した。(平成 31 年度採用)

定員	本学	他学	男子	女子	合計	マッチング率
27名	16	9	22	3	25	92.6%

※マッチング決定 25 名、採用は 23 名であった。

### 3-17 (1) 地域医療連携室

#### 業務実績

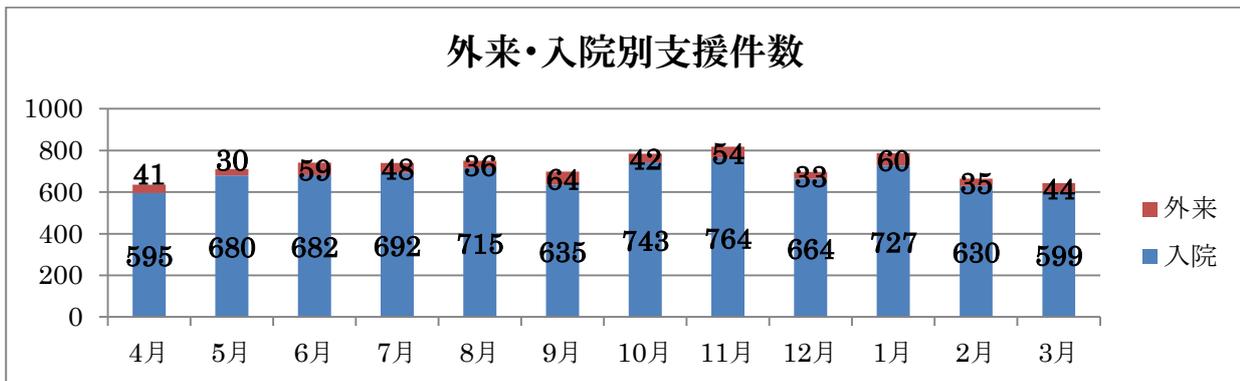
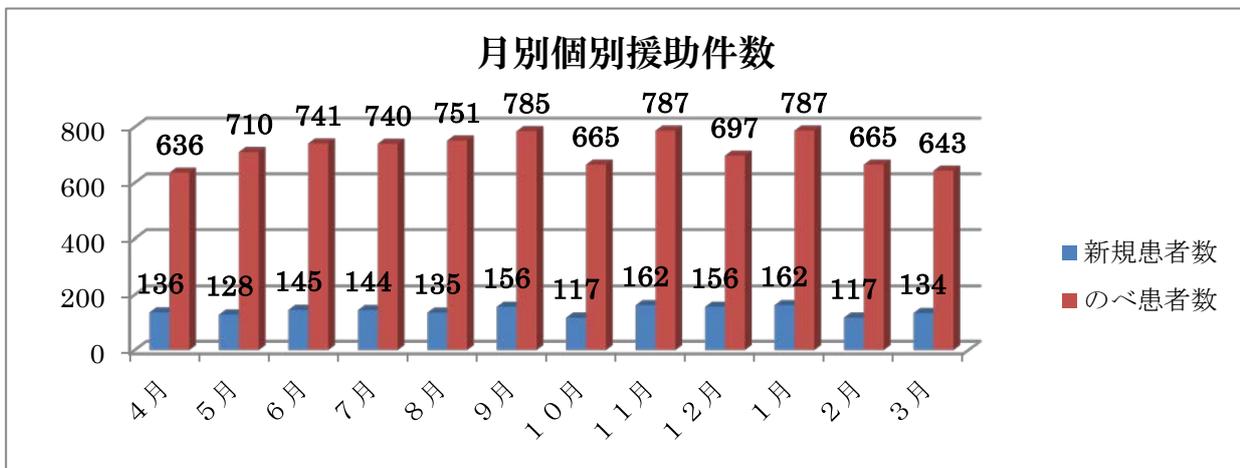
##### 地域別紹介患者数

2次保健医療圏		市町村	2016年度	2017年度	2018年度
静岡県	賀茂	下田市	664	638	618
		賀茂郡東伊豆町	169	178	181
		賀茂郡河津町	445	445	504
		賀茂郡南伊豆町	29	34	28
		賀茂郡松崎町	44	40	39
		賀茂郡西伊豆町	368	415	516
		小計	1,719	1,750	1,886
	熱海伊東	熱海市	423	469	499
		伊東市	1,797	1,924	2,053
		小計	2,220	2,393	2,552
	駿東田方	沼津市	2,250	2,378	2,403
		三島市	2,076	2,301	2,557
		御殿場市	746	850	880
		裾野市	624	582	757
		伊豆市	1,642	1,888	2,102
		伊豆の国市	2,317	2,619	3,111
		田方郡函南町	1,353	1,701	1,756
		駿東郡清水町	656	714	706
		駿東郡長泉町	597	690	723
		駿東郡小山町	37	39	46
		小計	12,298	13,762	15,041
		富士	富士宮市	90	85
	富士市		253	309	316
	小計		343	394	449
	その他		255	311	376
	県内合計		16,835	18,610	20,304
	県外		939	939	902
	総計		17,774	19,549	21,206

### 3-17 (2) 医療福祉相談室 (社会福祉士)

社会福祉士（ソーシャルワーカー）4名にて、入院・外来患者家族・地域に対し相談や調整業務を行っている。入院においては退院支援看護師と社会福祉士で病棟担当にて対応している。主な業務としては、転院・退院支援（地域連携バス含む）・外来相談、各種福祉制度・社会保障制度の紹介、経済的問題の支援である。心理的・社会的背景や傷病によって生じる生活上の課題を把握し、社会資源を活用しながら個別的に支援を行っている。

#### 業務実績

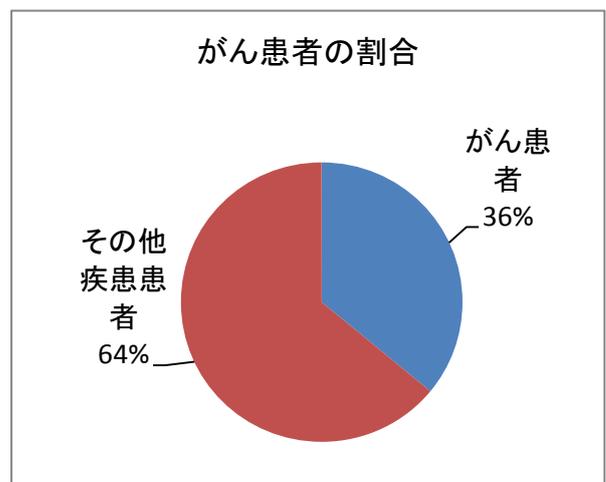
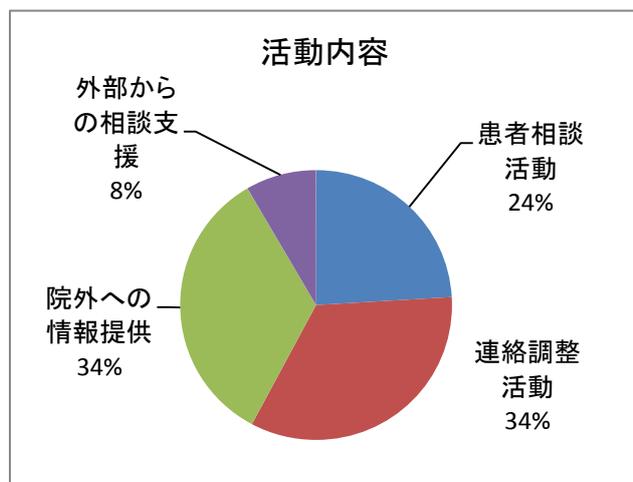
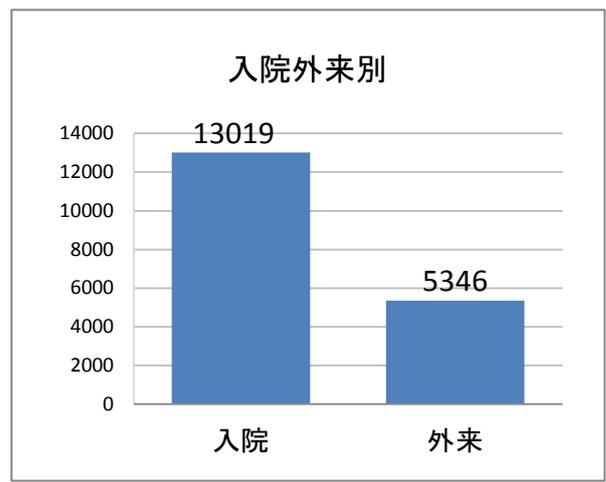
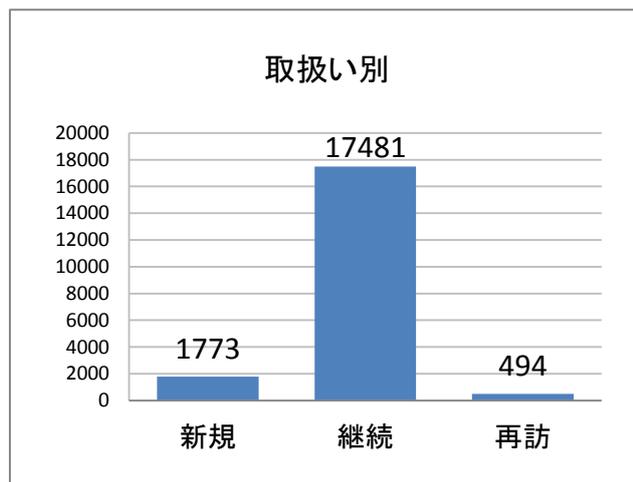


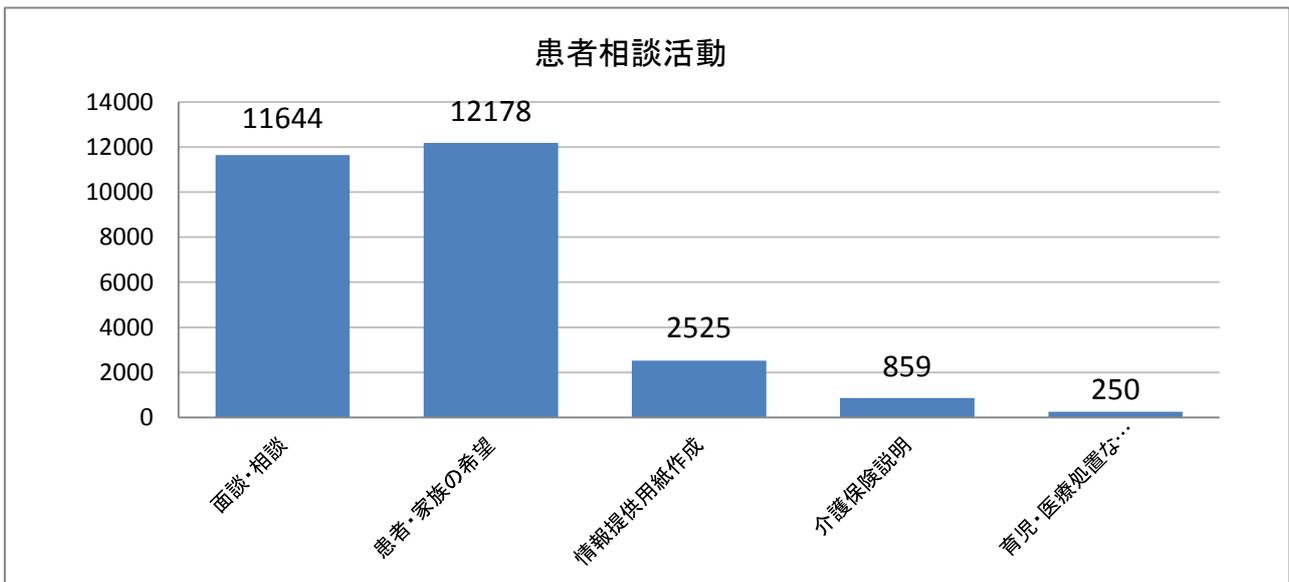
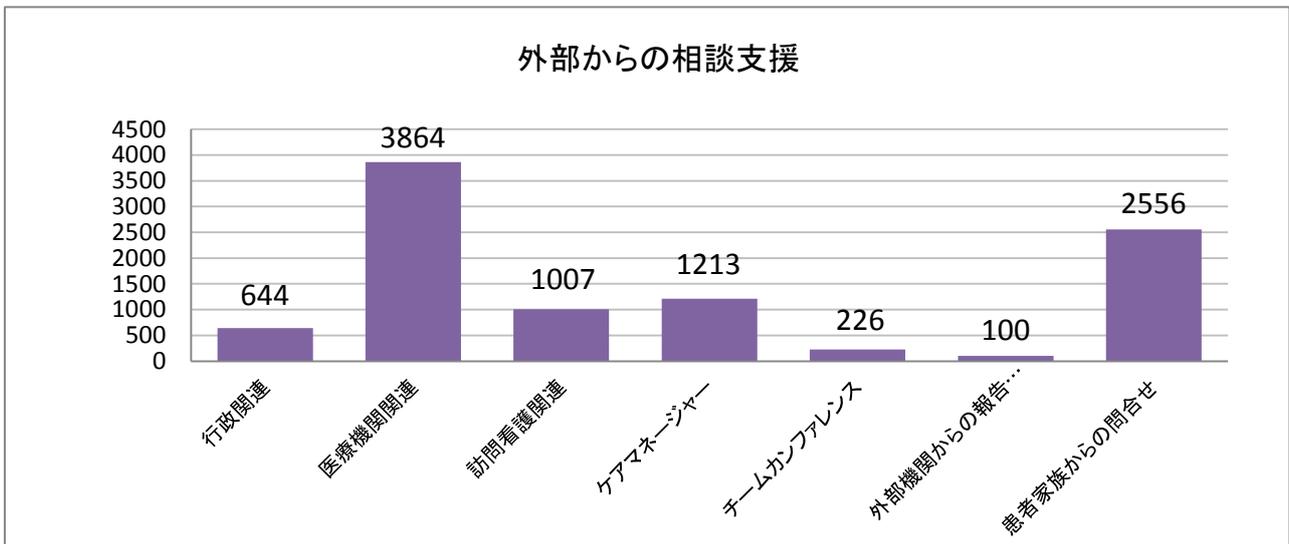
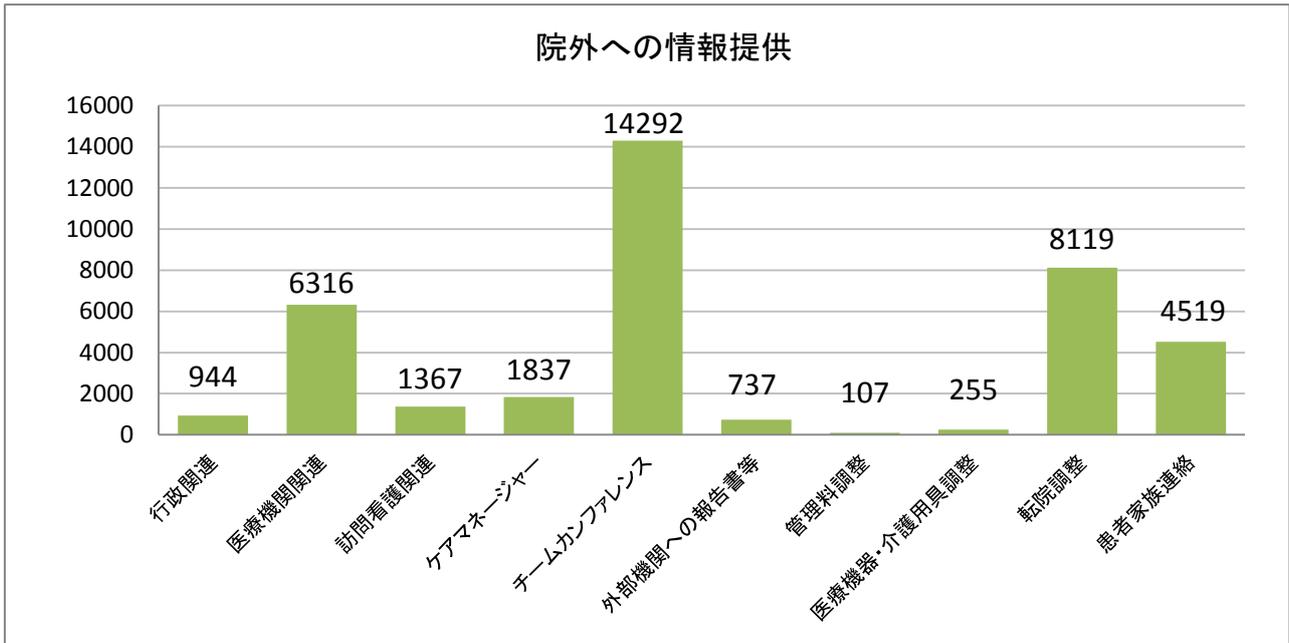
### 3-17(3).医療福祉相談室（退院支援看護師）

2018年度は診療報酬改定により、退院支援加算から入退院支援加算へ名称が変更となり、また新設された「入院時支援加算」により入退院支援加算算定患者で追加算定が可能となった。これは入院を予定している患者に入院前から支援することで、退院支援の効率化などが期待できるため、算定に向けシステムの構築に努め、4月から運用を開始することができ、年間で571件の算定となった。入院前から手厚い支援ができるように、入院時支援スクリーニングシートを利用し、退院困難な要因の洗い出しを行い、病棟へ繋げることができた。

入退院支援加算1の算定件数は8,236件で、前年度と比較した場合、28%の増加率となり、連携強化に努めた。

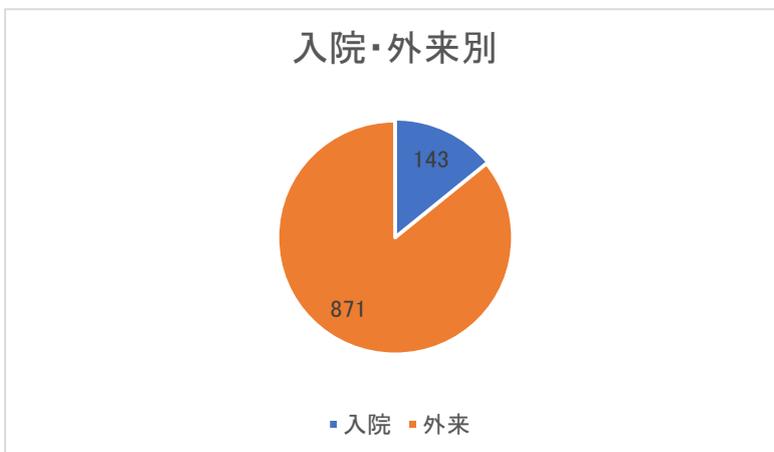
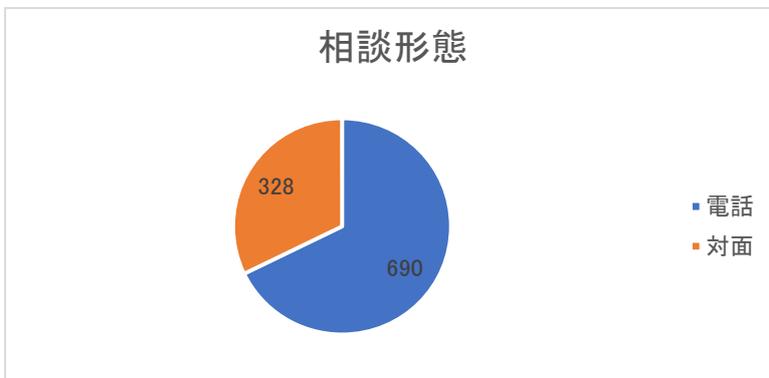
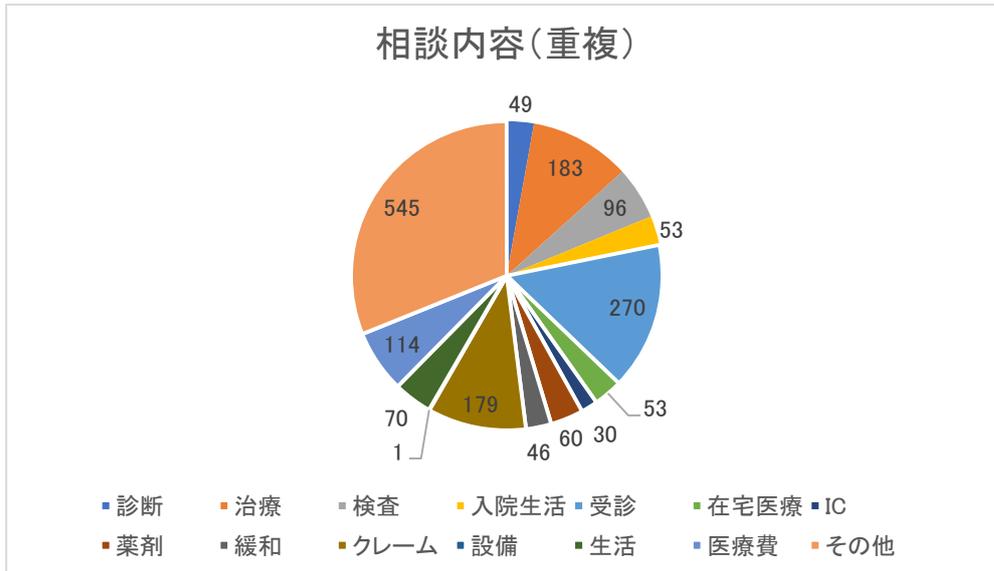
#### 業務実績





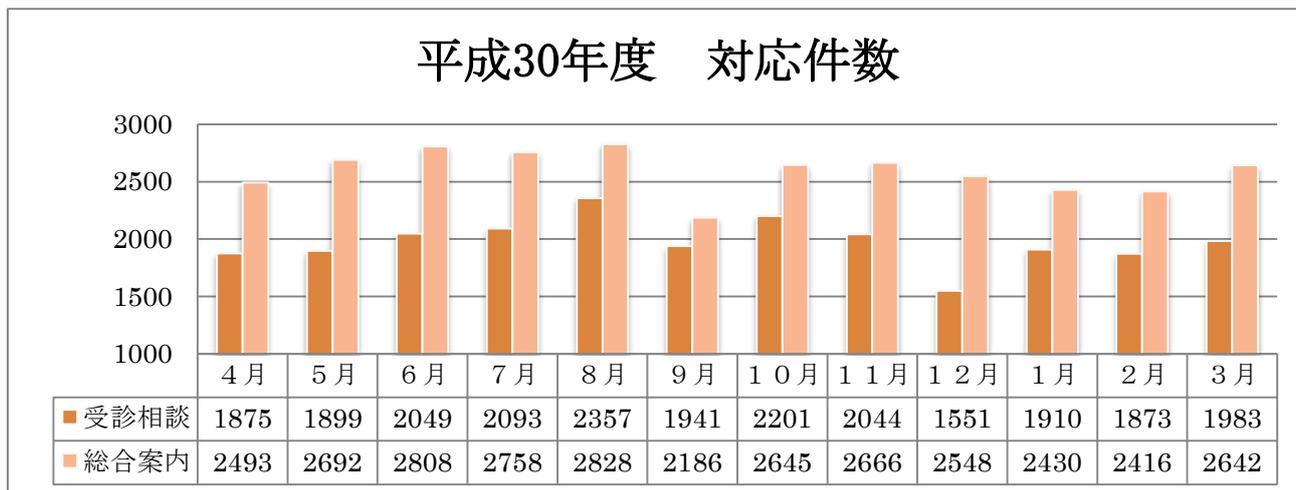
### 3-17 (4) 患者・看護相談室

#### 業務実績



### 3-17(5) 受診相談・総合案内

#### 業務実績



内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受診相談	受診相談	416	415	464	435	525	385	430	387	343	403	398	381
	電話相談	132	161	146	145	178	140	126	149	119	152	133	131
	院内案内	283	309	347	358	345	322	381	348	207	285	301	322
	面会案内	230	208	198	201	269	217	267	216	239	243	245	236
	受付案内	360	324	357	258	347	320	303	280	218	290	256	295
	その他の相談等	454	482	536	601	693	557	694	664	425	541	540	618
総合案内	院内案内	1235	1357	1438	1342	1423	1080	1244	1239	1203	1086	1129	1184
	面会案内	605	572	603	595	652	397	610	607	548	551	525	545
	受付案内	595	708	709	660	706	659	737	773	742	708	718	870
	その他の相談等	58	55	58	161	47	50	54	47	55	35	44	43

### 3-18.医療安全管理室

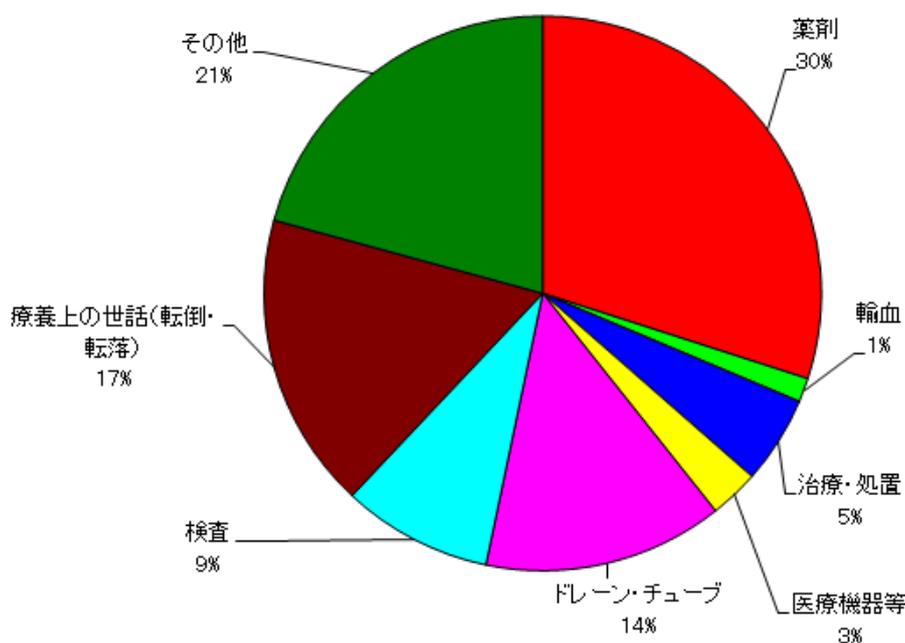
#### 主な活動と実績

医療安全管理室では、安全で質の高い医療を提供するため①医療の安全を確保するための改善方策に関すること ②医療安全管理のための職員への企画・運営および院内広報等の企画・実施 ③医療事故発生時の対応に関すること ④医療安全・危機管理委員会の円滑な運営に関すること ⑤医療安全管理に関する院内の連絡調整 ⑥医療安全に係るカンファレンスを週1回程度開催 ⑦その他医療安全管理に関する業務に取り組んでいる。

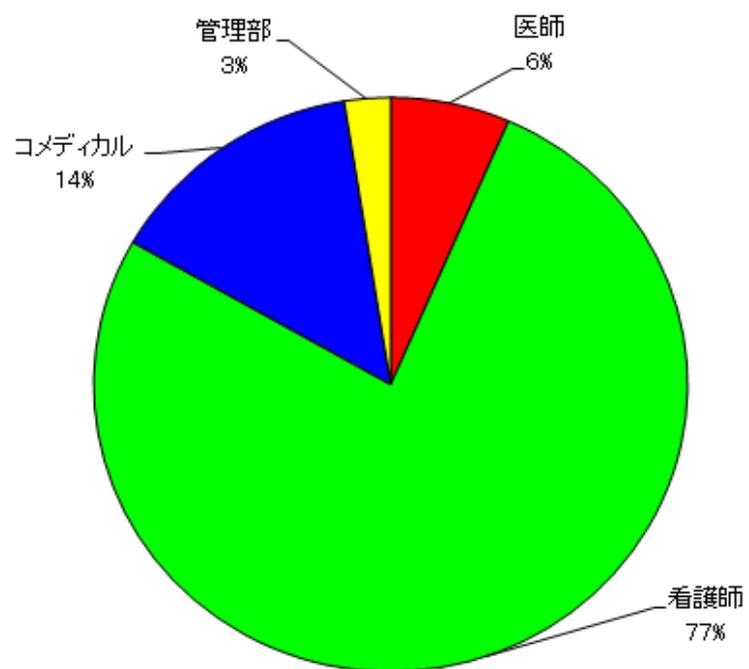
平成30年度の主な実績は、4月から薬剤師（薬剤科兼任）1名を加えた医師2名、看護師1名、調査役1名、事務1名の7名体制とし、インシデント管理システムを導入して管理体制を強化した。同システムにより、インシデントレポートの入力（提出）が簡素化されると共に職員の意識も向上し、レポート提出件数は2,155件と前年度に比べ471件増加した。病理診断報告書の未読を防止するため8月から毎月1回、確認状況を調査し、各科別に未読一覧表を作成のうえ、指導を行ったことで平成29年度に2,581件であったものが、平成30年度は、381件と大幅に減少した。画像診断報告書（MRI・CT）の見落としも散見されたことから、既読となるまで、電子カルテ上で各医師に開封確認を知らせるメッセージを自動通知する放射線レポート既読管理システムを11月より導入した。このほか、順天堂6病院で構成される医療安全ネットワーク（年2回）に参加して、各附属病院との情報共有を行い、医療安全危機管理委員会を毎月開催、医療安全研修を13回開催、医療安全に関する院内広報誌（リスクマネジメントニュースレター）を毎月発行した。また、苦情・クレームには公平中立な立場で対応し、適正な接遇への指導及び信頼回復に努めた。

#### 平成30年度 インシデント・アクシデントレポート報告割合

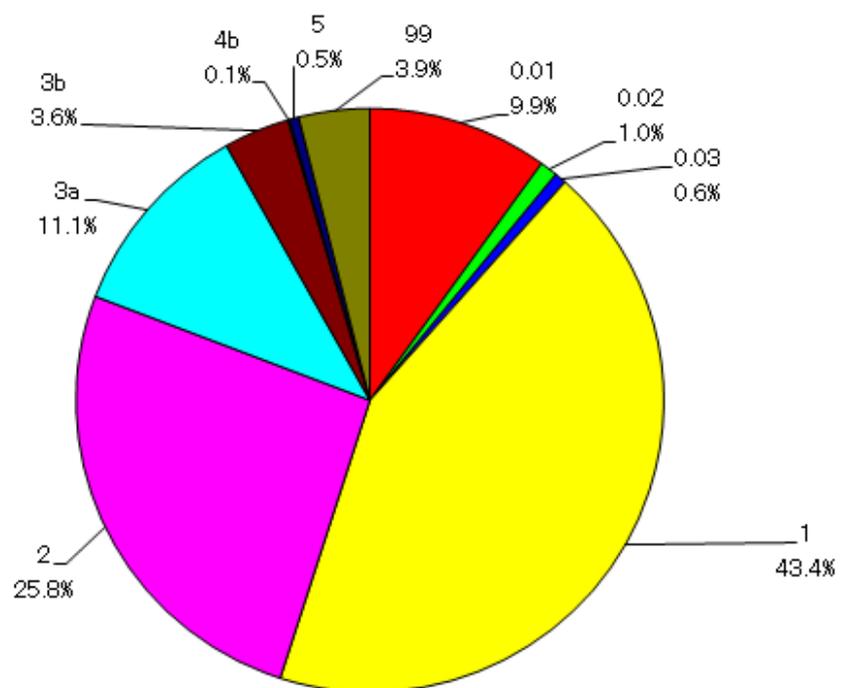
##### 1. 内訳



## 2. 所属部門



## 3. 影響レベル



平成 30 年度 医療安全対策研修会

日時	研修会内容	講師等	対象
5月31日	「採血時の検体取り扱いの注意点」	検査室 橋本 郁実	医師・看護師
6月25日	「輸血の取扱い」	臨床輸血看護師 今田 春子 菊池 麻里 酒井 寛美	全職員
7月27日	「転倒・転落」	医療安全管理者 高橋 真紀子	全職員
8月23日	「医療機器圧迫創傷」	形成外科 松本 茂 皮膚・排泄ケア認定看護師 浦岡 歩	全職員
8月28日	「適切な食事の形態・食べ方」	看護部 山口 嘉美 リハビリテーション室 海東 健太 栄養科 石渡 彩乃	全職員
10月1日	「情報はどこから漏れる？」	NEC フィールディング (株) 熊田 治昭	全職員
10月23日	「輸液ポンプ・シリンジポンプのトラブルと対処」	テルモ (株) 伊藤 正明	医師・看護師 コメディカル
1月21日	「褥瘡の処置について」	形成外科 内山 美津希 皮膚・排泄ケア認定看護師 浦岡 歩	全職員
2月22日	「医薬品安全性情報報告制度」 ～副作用報告について～	薬剤科 杉本 智恵子	全職員
1月28日 2月19日 3月12日 3月27日	「防犯教室：護身術」	医療安全管理室 調査役 名倉 克己 医案安全管理室 朝倉 寛之	全職員

## 3-19 感染対策室

### 業務内容

感染対策室では以下のような活動を行っている。

- ① 患者に対しては安全な医療環境を提供するために、診療上問題となる病原微生物が発生・伝播・拡散することを防ぐ活動。
  - 病原微生物の感染経路に応じて感染拡大を防止する対策を行う。
  - 手指衛生モニタリングを行い、アルコールゲルなどの使用状況に応じて各部署に指導を行う。
  - 週1回の病棟ラウンドで、広域抗菌薬や抗MRSA薬の適正な使用状況を確認し、奨励する。
  - 環境監査は年間計画に沿い、ハイリスク病棟は1回/週、病棟も1回/月、ハイリスク部署は1回/2ヶ月の頻度で行う。
  - 耐性菌を中心に、各病棟で問題となる病原微生物のアウトブレイクがないかチェックを行う。アウトブレイクと判断した場合は、当該部署に指導を行う。
- ② 職員を感染曝露から防ぐための活動。
  - 針刺し、切創、粘膜曝露予防策及び発生時の対応方法を職員に指導している。
  - 安全衛生管理室と連携して職業感染予防のためのワクチン接種を推進している。
- ③ 院内感染対策の広報活動。
  - 院内感染対策を職員に浸透させるための定期的な講習会を開催している。
  - 不定期でニュースレター(職員向け)とリーフレット(患者向け)を発行している。
- ④ 近隣病院との連携。
  - 連携をしている近隣病院との合同カンファレンスを通して、各施設が抱えている問題点を提示し、それに対する対策に関して意見交換を行う。
  - 連携病院と相互に院内ラウンドを行い、第三者の目から改善点を指摘しあう。

### 業務実績

月	日(曜日)	
4月	2日(月)	新入職員オリエンテーション
	5日(木)	研修医オリエンテーション
	17日(火)～19日(木)	防護具着脱・手指衛生研修会
	23日(月)	感染対策研修会
	25日(金)	感染対策委員会
5月	1日(火)22日(火)23日(水)	防護具着脱・手指衛生研修会
	14日(月)	東部地区感染対策担当者会議
	14日(月)	感染対策研修会
	19日(土)	6病院感染対策連絡会議
	25日(金)	感染対策委員会
	25日(金)	感染防止対策加算1・2合同カンファレンス

6月	11日(月) 12日(火) 14日(水)20日(火)21日(水) 15日(金)	感染対策研修会 感染対策講演会(耐性菌) 防護具着脱・手指衛生研修会 感染対策委員会
7月	4日(水)26日(木) 9日 27日(金)	防護具着脱・手指衛生研修会 感染対策研修会 感染対策委員会
8月	6日(月)7日(火)15日(水) 13日(月) 25日(金)	防護具着脱・手指衛生研修会 感染対策研修会 感染対策委員会
9月	1日(土) 3日(月)13日(木) 20日(木)25日(火) 10日(月) 10日(月) 11日(火) 15日(土) 21日(土) 21日(土)	私立医科大学病院感染対策総会 防護具着脱・手指衛生研修会 上記に同じ 東部地区感染対策担当者会議 感染対策研修会 感染防止対策地域連携加算ラウンド(静岡医療センター受け入れ) 6病院感染対策連絡会議 感染対策委員会 感染防止対策加算1・2合同カンファレンス
10月	3日(水)23日(火)25日(木) 15日(月) 19日(金) 22日(月) 31日(水)	防護具着脱・手指衛生研修会 感染対策研修会 感染対策委員会 東部地区感染対策全体会 感染対策講演会(インフルエンザ)
11月	1日(木)13日(火)22日(木) 12日(月) 16日(金) 19日(月) 28日(水) 30日(金)	防護具着脱・手指衛生研修会 感染対策研修会 感染防止対策加算1・2合同カンファレンス 感染防止対策地域連携加算ラウンド(NTT 東日本伊豆病院訪問) 感染対策講演会(小児呼吸器感染症) 感染対策委員会
12月	3日(月)11日(火)27日(木) 10日(月) 18日(火) 22日(土) 28日(金)	防護具着脱・手指衛生研修会 感染対策研修会 感染対策講演(抗菌薬) 6病院感染対策連絡会議 感染対策委員会
1月	9日(水)15日(火)29日(火) 18日(金) 21日(月) 28日(月)	防護具着脱・手指衛生研修会 感染対策委員会 感染対策研修会 東部地区感染対策担当者会議

2月	5日(火)19日(火)26日(火)	防護具着脱・手指衛生研修会
	6日(水)	東部地区感染対策合同カンファレンス(静岡がんセンター)
	18日(月)	感染対策研修会
	22日(金)	感染対策委員会
	25日(月)	感染対策講演会(抗菌薬)
	27日(水)	私立医科大学病院感染対策相互ラウンド(川崎市立多摩病院受入れ)
3月	2日(土)	6病院感染対策連絡会議
	5日(火)13日(水)	防護具着脱・手指衛生研修会
	7日(木)	感染対策講習会(肝炎)
	15日(金)	感染対策委員会
	15日(金)	感染防止対策加算1・2合同カンファレンス
	20日(水)	私立医科大学病院感染対策相互ラウンド川崎市立多摩病院訪問
	25日(月)	感染対策研修会

### 次年度目標(29年度の総括と次年度の目標)

- ① 平成29年度の総括
  - 抗菌薬ラウンドで広域抗菌薬や抗MRSA薬の使用適正化を進めた。
  - 手指衛生は直接観察法をICN、リンクナースが実施し質担保に努めているが、実施率70%、遵守率44%にとどまる。アルコールゲル使用量は15.0ℓ/1000患者程度を維持している。
  - 環境衛生についてはICTラウンドの実施、看護部リンクナースと協働し衛生的な病院環境の提供に努めているが、再ラウンドの改善率がよくない。
  - CLA-BSI/CA-UTIサーベイランスでは多くの部署で感染率が高いが、昨年度よりは改善している。
  - 感染経路別対策実施率は38.7%と低く、改善への取り組みが必要である。
  - MRSAレベルゼロシステムは各部署の主体的な活動にはつながっていない。
- ② 平成30年度の目標
  - 抗菌薬ラウンドと血液培養陽性症例のラウンドを一緒に行い、抗菌薬の適正使用の更なる推進を図る。
  - CLA-BSI/CA-UTI感染率は29年度データを下回る。
  - MRSAレベルゼロシステムに応じ、自主的な活動を促し実践能力の向上を目指すための支援を行う。

### 3-20 安全衛生管理室

平成 30 年度 安全衛生管理室行事

年 月	日	曜 日	行 事
30 年 4 月	4	水	新入職員オリエンテーション
	5	木	雇い入れ時健康診断
	25	水	安全衛生委員会
5 月	7~18	月~金	春季健康診断、ストレスチェック
	中旬~下旬	月~金	新入職員面談
	23	水	安全衛生委員会
6 月	上旬	月~金	新入職員面談
	4~8	月~金	胃検診(胃透視検査)
	27	水	安全衛生委員会
7 月	25	水	安全衛生委員会
8 月	1~2	水~木	B 型肝炎ワクチン接種
	23	水	安全衛生委員会
9 月	4~6	火~木	B 型肝炎ワクチン接種
	26	水	安全衛生委員会
10 月	15~19	月~金	雇い入れ時健康診断
	24	水	安全衛生委員会
	30	火	校医会・法人安全衛生委員会
11 月	5~9	月~金	秋季健康診断
	14~16	水~金	インフルエンザ予防接
	28	水	種安全衛生委員会
12 月	26	水	安全衛生委員会
31 年 1 月	9~10	水~木	麻疹・風疹ワクチン接種
	23	水	安全衛生委員会
2 月	13~14	水~木	B 型肝炎ワクチン接種
	27	水	安全衛生委員会
	27~28	水~木	麻疹・風疹ワクチン接種
3 月	20	水	安全衛生委員会
	26~27	火~水	雇い入れ時健康診断

【月毎定例行事】 飲食物取扱従事者検便《毎月第 2 火曜日》 ※6 月~9 月は、第 2・4 火曜日実施  
 託児所業務従事者検便《毎月第 2 火曜日》

【随 時】 雇い入れ時健康診断

## 業務実績

### 定期健康診断受診率

	春 季			秋 季		
実施期日	平成30年5月7日～11日、14日～18日			平成30年11月5日～9日		
実施項目	身体測定、血液検査、尿検査、血圧測定、視力検査、聴力検査、心電図検査、胸部X線、胃透視検査(40歳以上希望者)			身体測定、血液検査、尿検査、血圧測定、視力検査、聴力検査		
受 診 率	全 体	1,200/1,200	(100.0%)	全 体	770/770	(100.0%)
	医 師	218/218	(100.0%)	医 師	184/184	(100.0%)
	コメディカル	175/175	(100.0%)	コメディカル	54/54	(100.0%)
	看護部	709/709	(100.0%)	看護部	531/531	(100.0%)
	事務部	94/94	(100.0%)	研究センター	1/1	(100.0%)
	研究センター	4/4	(100.0%)			

## 4. 統計



#### 4-1 病床利用率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度
病床数	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577
病床利用率	100.1%	97.4%	102.9%	102.2%	100.8%	99.0%	98.3%	100.8%	97.6%	97.2%	100.0%	99.4%	99.6%

#### 4-2 在院日数

(単位:日)

診療科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度
内科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
膠原病・リウマチ科	35.3	17.1	17.4	21.9	18.6	21.6	17.0	17.7	23.4	14.3	17.7	19.0	19.1
血液内科	26.2	28.0	36.4	18.6	38.7	27.3	28.1	22.5	20.9	20.1	19.8	25.5	25.1
消化器内科	11.6	12.0	12.0	10.6	9.9	11.7	9.5	10.6	10.5	11.7	8.8	10.6	10.7
呼吸器内科	21.1	22.2	16.3	18.8	13.7	18.5	17.5	19.4	18.8	20.7	21.4	21.3	18.9
腎臓内科	21.7	23.6	20.4	23.6	14.5	15.9	21.8	23.7	14.2	20.9	16.4	20.1	19.1
糖尿病・内分泌内科	12.2	12.9	14.0	9.4	16.1	13.3	10.9	11.6	8.5	11.2	9.1	12.6	11.6
循環器内科	7.5	6.8	6.9	7.6	9.0	8.8	7.1	7.7	7.6	8.7	8.1	8.0	7.8
小児科	5.1	5.8	5.6	5.0	4.4	5.4	4.7	5.2	4.8	5.9	5.1	6.0	5.2
新生児科	22.1	21.7	22.1	23.0	22.2	24.3	21.7	18.7	25.0	25.5	24.0	24.5	22.8
外科	10.4	9.9	11.3	11.2	9.8	10.6	11.1	9.1	9.8	10.2	10.7	9.8	10.3
脳神経外科	17.2	16.4	17.3	19.3	16.3	18.2	20.3	17.7	17.6	18.1	16.3	14.9	17.4
整形外科	17.0	22.3	23.8	18.9	17.8	20.7	17.1	19.4	17.5	22.8	18.7	19.4	19.4
脳神経内科	18.5	17.5	15.7	22.8	20.7	19.1	21.1	18.5	15.9	19.1	17.7	27.0	19.2
心臓血管外科	24.8	20.2	15.0	16.6	19.2	14.1	13.1	15.9	19.1	18.2	14.3	16.8	16.9
呼吸器外科	12.5	12.5	12.2	12.8	13.2	11.4	12.1	11.6	11.3	13.1	12.9	13.6	12.4
形成外科	18.5	14.1	19.7	15.0	12.5	11.2	13.2	13.2	10.7	14.2	17.8	20.3	14.9
眼科	5.9	5.7	5.5	4.8	6.0	6.4	5.2	5.4	5.8	5.4	6.6	5.7	5.7
耳鼻咽喉科	9.1	10.0	9.7	8.1	9.6	12.1	12.2	14.2	9.7	6.7	12.0	12.5	10.3
麻酔科・ペインクリニック	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メンタルクリニック	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	35.0	12.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	16.7
皮膚・アレルギー科	12.8	11.4	8.2	13.4	10.5	7.3	7.5	9.3	8.7	8.9	10.2	7.9	9.4
泌尿器科	9.7	10.5	8.0	8.3	9.3	7.4	9.9	8.6	7.7	9.2	8.1	8.4	8.7
産婦人科	7.1	7.5	7.4	8.2	8.3	7.5	7.7	8.6	7.8	7.1	8.3	8.3	7.8
救急診療科	12.7	8.3	10.3	9.5	9.1	10.6	8.1	8.8	9.7	9.3	8.6	15.9	9.8
リハビリテーション科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	11.6	11.5	11.4	11.5	11.2	11.7	11.3	11.4	11.3	11.9	11.5	11.8	11.5

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

### 4-3 診療科別延患者数(外来)

(単位:人)

診療科	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
内 科		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
膠原病・リウマチ科		1,272	1,380	1,331	1,370	1,354	1,244	1,495	1,321	1,293	1,317	1,267	1,371	1,335	16,015	15,097	106.1%
血液内科		1,098	1,104	1,117	1,149	1,183	1,102	1,265	1,332	1,087	1,133	1,026	1,171	1,147	13,767	12,741	108.1%
消化器内科		1,823	1,969	1,963	1,992	1,913	1,877	2,139	1,806	2,025	1,860	1,807	2,039	1,934	23,213	23,210	100.0%
呼吸器内科		1,726	1,829	1,932	1,876	1,920	1,717	2,005	1,893	1,836	1,897	1,760	1,897	1,857	22,288	22,933	97.2%
腎臓内科		1,076	1,143	1,096	1,119	1,175	1,118	1,148	1,156	1,126	1,150	1,013	1,183	1,125	13,503	13,088	103.2%
糖尿病・内分泌内科		1,925	1,930	1,921	1,917	1,991	1,840	2,064	1,966	2,014	1,910	1,907	1,978	1,947	23,363	22,288	104.8%
循環器内科		3,945	3,956	4,025	3,909	4,024	3,779	4,169	4,080	3,941	3,917	3,731	3,920	3,950	47,396	47,141	100.5%
小児科		1,257	1,318	1,346	1,577	1,670	1,430	1,539	1,418	1,465	1,510	1,445	1,587	1,464	17,562	17,344	101.3%
新生児科		0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	200.0%
外 科		2,236	2,198	2,354	2,426	2,440	2,346	2,613	2,424	2,358	2,173	2,188	2,391	2,346	28,147	26,929	104.5%
脳神経外科		2,290	2,287	2,280	2,267	2,336	2,111	2,403	2,231	2,224	2,245	2,073	2,272	2,252	27,019	26,119	103.4%
整形外科		2,863	2,943	2,978	2,825	2,989	2,636	2,990	2,743	2,548	2,664	2,580	2,760	2,793	33,519	34,897	96.1%
脳神経内科		1,908	2,013	2,016	1,959	2,046	1,835	2,093	2,024	1,913	1,977	1,865	2,041	1,974	23,690	22,894	103.5%
心臓血管外科		353	362	353	400	398	347	401	407	393	386	378	383	380	4,561	4,000	114.0%
呼吸器外科		249	215	242	238	232	232	268	286	265	279	259	298	255	3,063	3,027	101.2%
形成外科		369	412	391	379	379	310	364	339	341	378	304	378	362	4,344	4,911	88.5%
眼 科		2,634	2,811	2,957	2,845	2,978	2,644	2,890	2,853	2,776	2,757	2,624	2,984	2,813	33,753	31,666	106.6%
耳鼻咽喉科		1,371	1,349	1,339	1,369	1,440	1,192	1,364	1,330	1,290	1,244	1,334	1,642	1,355	16,264	16,156	100.7%
麻 酔 科		179	167	177	187	185	146	180	163	165	173	172	186	173	2,080	2,014	103.3%
放射線科		269	333	325	227	258	187	368	346	201	222	256	319	276	3,311	3,587	92.3%
メンタルクリニック		2,176	2,257	2,206	2,316	2,399	2,097	2,426	2,292	2,287	2,236	2,183	2,352	2,269	27,227	26,957	101.0%
皮膚・アレルギー科		2,088	2,183	2,234	2,352	2,494	2,268	2,483	2,285	2,250	2,138	2,175	2,380	2,278	27,330	26,657	102.5%
泌尿器科		1,565	1,702	1,718	1,736	1,862	1,652	1,781	1,849	1,831	1,780	1,768	1,945	1,766	21,189	18,455	114.8%
産婦人科		2,591	2,666	2,790	2,760	2,763	2,569	2,874	2,604	2,532	2,299	2,212	2,498	2,597	31,158	32,558	95.7%
救急診療科		114	103	127	162	133	96	121	129	115	127	98	109	120	1,434	1,254	114.4%
リハビリテーション科		49	36	43	34	48	63	80	60	53	44	45	43	50	598	593	100.8%
合 計		37,426	38,666	39,262	39,391	40,611	36,838	41,523	39,337	38,329	37,816	36,470	40,127	38,816	465,796	456,517	102.0%

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

## 4-4 診療科別延患者数(入院)

(単位:人)

診療科	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
	膠原病・リウマチ科		200	190	210	194	198	181	217	197	195	207	159	181	194	2,329	2,376
血液内科		462	536	527	511	514	498	478	469	418	452	415	517	483	5,797	5,644	102.7%
消化器内科		1,004	964	985	1,007	962	800	938	985	956	963	795	927	941	11,286	11,644	96.9%
呼吸器内科		786	858	751	817	705	717	880	829	843	854	750	850	803	9,640	9,648	99.9%
腎臓内科		387	369	362	404	418	354	412	397	396	396	364	435	391	4,694	4,681	100.3%
糖尿病・内分泌内科		213	187	171	183	163	129	171	169	145	138	132	163	164	1,964	2,071	94.8%
循環器内科		1,521	1,432	1,639	1,490	1,578	1,519	1,329	1,510	1,439	1,614	1,552	1,770	1,533	18,393	18,398	100.0%
小児科		352	383	431	499	462	435	436	430	409	443	335	394	417	5,009	4,304	116.4%
新生児科		831	839	863	972	928	850	895	829	919	887	786	794	866	10,393	9,862	105.4%
外科		1,948	2,020	2,071	2,100	2,110	1,989	2,004	1,710	1,983	1,888	1,914	1,945	1,974	23,682	22,899	103.4%
脳神経外科		1,873	1,832	1,854	2,036	1,736	1,729	2,002	1,849	1,895	2,087	1,598	1,668	1,847	22,159	22,816	97.1%
整形外科		1,833	1,863	1,906	1,886	1,850	1,938	1,921	2,039	1,919	2,091	1,825	1,963	1,920	23,034	22,856	100.8%
脳神経内科		797	779	777	833	842	777	774	798	709	771	746	809	784	9,412	9,528	98.8%
心臓血管外科		475	509	446	437	474	431	465	456	546	450	355	434	457	5,478	5,143	106.5%
呼吸器外科		238	236	260	236	205	268	280	230	264	238	195	278	244	2,928	3,208	91.3%
形成外科		243	304	300	233	212	214	234	220	190	173	319	323	247	2,965	2,887	102.7%
眼科		724	798	809	732	756	713	759	747	747	648	690	780	742	8,903	9,059	98.3%
耳鼻咽喉科		421	440	435	374	493	515	479	472	416	305	422	454	436	5,226	4,887	106.9%
麻酔科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
放射線科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
メンタルクリニック		0	0	0	0	3	36	7	0	7	0	0	0	4	53	0	—
皮膚・アレルギー科		247	229	239	266	270	266	234	250	238	240	239	215	244	2,933	3,078	95.3%
泌尿器科		598	523	542	626	590	496	571	573	553	543	536	617	564	6,768	6,523	103.8%
産婦人科		1,728	1,651	1,785	1,869	1,867	1,703	1,657	1,888	1,659	1,539	1,577	1,683	1,717	20,606	20,873	98.7%
救急診療科		453	487	454	579	698	576	437	402	610	466	457	582	517	6,201	4,802	129.1%
リハビリテーション科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
合計		17,334	17,429	17,817	18,284	18,034	17,134	17,580	17,449	17,456	17,393	16,161	17,782	17,488	209,853	198,048	106.0%

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

### 4-5 新患者数(外来)

(単位:人)

診療科	月													月平均	当年度計	前年度計	前年比
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
内 科	—			-		-	-	-		-	-		—	—	—	—	
膠原病・ リウマチ科	48	49	43	49	46	41	52	32	28	52	41	50	44	531	460	115.4%	
血液内科	42	44	54	47	58	66	63	53	40	61	50	57	53	635	615	103.3%	
消化器内科	101	100	81	115	93	108	120	100	115	111	121	102	106	1,267	1,363	93.0%	
呼吸器内科	59	82	84	84	83	80	106	61	73	129	89	78	84	1,008	1,112	90.6%	
腎臓内科	35	37	34	47	60	50	45	34	39	49	28	50	42	508	556	91.4%	
糖尿病・ 内分泌内科	54	42	31	55	42	45	37	49	45	56	44	40	45	540	484	111.6%	
循環器内科	87	97	107	99	100	101	113	97	86	85	85	107	97	1,164	1,219	95.5%	
小 児 科	124	156	169	241	219	160	149	108	170	215	159	206	173	2,076	2,116	98.1%	
新生児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
外 科	86	83	80	107	132	121	131	142	119	112	105	110	111	1,328	1,392	95.4%	
脳神経外科	134	128	147	126	121	114	127	138	105	132	96	129	125	1,497	1,570	95.4%	
整形外科	265	307	265	244	288	247	237	250	221	269	257	230	257	3,080	3,086	99.8%	
脳神経内科	95	69	99	75	87	66	80	77	54	81	75	80	78	938	988	94.9%	
心臓血管外科	18	17	19	15	13	12	16	15	17	13	20	18	16	193	178	108.4%	
呼吸器外科	7	6	6	6	6	8	6	5	4	3	8	7	6	72	74	97.3%	
形成外科	56	57	50	49	65	38	54	54	40	35	30	56	49	584	639	91.4%	
眼 科	159	169	162	136	160	116	150	129	127	154	141	165	147	1,768	1,688	104.7%	
耳鼻咽喉科	125	129	137	124	144	114	111	122	115	105	163	165	130	1,554	1,733	89.7%	
麻 酔 科	4	2	4	4	6	5	3	2	4	8	7	9	5	58	66	87.9%	
放射線科	19	16	20	24	26	14	21	20	25	18	13	19	20	235	219	107.3%	
メンタル クリニック	50	54	72	61	60	40	56	56	59	46	59	66	57	679	711	95.5%	
皮膚 ・アレルギー科	141	148	149	181	188	153	159	123	136	112	99	142	144	1,731	1,804	96.0%	
泌尿器科	63	64	79	75	88	70	70	64	56	62	61	82	70	834	917	90.9%	
産 婦 人 科	170	156	220	250	236	228	261	261	220	219	133	146	208	2,500	2,400	104.2%	
救急診療科	67	65	71	89	80	62	68	89	83	88	57	65	74	884	829	106.6%	
リハビ リテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
合 計	2,009	2,077	2,183	2,303	2,401	2,059	2,235	2,081	1,981	2,215	1,941	2,179	2,139	25,664	26,219	97.9%	

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

## 4-6 新患者数(入院)

(単位:人)

診療科	月												月平均	当年度計	前年度計	前年比	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
内 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膠原病・リウマチ科	5	10	13	9	8	8	11	10	8	13	8	8	9	111	87	127.6%	
血液内科	18	19	11	25	15	15	18	21	17	23	20	20	19	222	177	125.4%	
消化器内科	80	76	75	90	83	62	90	88	76	81	75	80	80	956	881	108.5%	
呼吸器内科	35	38	43	46	42	42	45	39	40	42	34	34	40	480	466	103.0%	
腎臓内科	15	15	18	18	28	21	17	14	25	17	22	17	19	227	210	108.1%	
糖尿病・内分泌内科	14	14	13	17	9	9	16	14	12	14	12	12	13	156	168	92.9%	
循環器内科	182	186	203	177	160	153	170	178	163	177	174	195	177	2,118	1,912	110.8%	
小 児 科	54	58	65	85	88	64	82	68	72	63	54	58	68	811	693	117.0%	
新生児科	35	39	40	39	40	31	40	39	39	33	32	28	36	435	435	100.0%	
外 科	168	189	169	165	193	181	162	172	173	182	167	176	175	2,097	2,059	101.8%	
脳神経外科	96	113	103	101	94	100	96	97	105	106	91	107	101	1,209	1,172	103.2%	
整形外科	108	69	77	93	86	86	108	92	98	88	90	91	91	1,086	1,047	103.7%	
脳神経内科	42	41	47	35	43	35	35	44	35	42	40	31	39	470	456	103.1%	
心臓血管外科	20	23	29	27	23	27	32	26	23	25	20	26	25	301	242	124.4%	
呼吸器外科	16	17	17	16	15	21	23	15	21	19	13	19	18	212	225	94.2%	
形成外科	13	17	14	13	13	17	16	16	13	13	18	11	15	174	156	111.5%	
眼 科	102	123	122	126	108	93	124	116	103	105	95	115	111	1,332	1,358	98.1%	
耳鼻咽喉科	45	39	38	41	51	36	38	31	35	41	34	30	38	459	482	95.2%	
麻 酔 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
放 射 線 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
メンタルクリニック	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
皮膚・アレルギー科	19	18	26	19	23	32	26	26	24	26	23	22	24	284	246	115.4%	
泌尿器科	51	46	62	66	58	56	51	65	55	59	57	66	58	692	743	93.1%	
産婦人科	215	194	216	205	199	197	193	203	174	202	168	174	195	2,340	2,366	98.9%	
救急診療科	38	61	42	63	81	48	51	50	62	50	51	36	53	633	523	121.0%	
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
合 計	1,371	1,405	1,443	1,476	1,461	1,335	1,444	1,424	1,374	1,421	1,298	1,356	1,401	16,808	16,104	104.4%	

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

## 4-7 退院患者数

(単位:人)

診療科	月												月平均	当年度計	前年度計	前年比	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
内 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
膠原病・リウマチ科	6	11	10	8	12	8	13	11	8	14	9	10	10	120	87	137.9%	
血液内科	16	18	17	27	11	20	15	19	21	20	20	19	19	223	184	121.2%	
消化器内科	80	73	77	84	92	64	89	82	89	72	86	80	81	968	756	128.0%	
呼吸器内科	36	36	44	37	53	32	50	42	45	37	33	42	41	487	381	127.8%	
腎臓内科	19	15	16	15	26	21	19	18	27	19	20	24	20	239	210	113.8%	
糖尿病・内分泌内科	18	13	10	18	10	9	13	13	18	9	14	12	13	157	139	112.9%	
循環器内科	175	181	210	170	157	156	161	171	171	157	167	198	173	2,074	2,023	102.5%	
小 児 科	60	55	66	82	85	71	73	71	70	65	56	55	67	809	743	108.9%	
新生児科	37	35	35	42	40	36	39	45	32	34	31	34	37	440	414	106.3%	
外 科	173	182	167	178	198	164	168	167	192	157	162	184	174	2,092	1,897	110.3%	
脳神経外科	109	99	100	100	106	81	92	101	99	112	94	103	100	1,196	966	123.8%	
整形外科	96	90	77	96	110	92	105	107	109	88	95	101	97	1,166	1,000	116.6%	
脳神経内科	40	43	46	35	35	42	35	38	48	35	40	27	39	464	444	104.5%	
心臓血管外科	17	25	27	23	24	30	34	28	31	22	26	23	26	310	280	110.7%	
呼吸器外科	19	18	22	18	14	22	20	21	22	15	15	19	19	225	169	133.1%	
形成外科	12	23	15	16	18	18	17	15	19	10	16	19	17	198	206	96.1%	
眼 科	108	115	125	125	108	98	120	117	116	98	88	119	111	1,337	1,290	103.6%	
耳鼻咽喉科	39	41	43	41	43	42	35	31	42	39	31	37	39	464	472	98.3%	
麻 酔 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	—	—	—	—	
放 射 線 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	—	—	—	—	
メンタルクリニック	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	—	—	—	—	
皮膚・アレルギー科	17	19	26	18	24	32	29	23	25	23	20	26	24	282	199	141.7%	
泌尿器科	60	45	59	68	57	61	54	56	71	49	61	65	59	706	547	129.1%	
産婦人科	211	195	208	200	203	202	189	193	200	180	170	186	195	2,337	2,416	96.7%	
救急診療科	29	45	39	49	59	51	46	34	53	41	45	33	44	524	354	148.0%	
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
合 計	1,377	1,377	1,439	1,450	1,485	1,353	1,417	1,403	1,509	1,296	1,299	1,416	1,402	16,821	15,177	110.8%	

※平成28年7月より、リハビリテーション科の開設、同年10月より総合内科の廃止

### 4-8 年齢別延患者数(外来)

(単位:人)

年齢	月	月												月平均	当年度計	前年度計	前年比
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
0	歳	551	559	531	561	592	537	622	545	590	573	471	491	552	6,623	7,193	92.1%
1-6	歳	703	773	793	817	830	715	823	744	719	794	741	831	774	9,283	9,575	97.0%
0-9	歳	1,484	1,593	1,599	1,671	1,762	1,486	1,696	1,538	1,532	1,589	1,433	1,571	1,580	18,954	20,118	94.2%
10-19	歳	927	969	1,062	1,095	1,416	1,016	1,042	942	1,051	972	990	1,283	1,064	12,765	12,861	99.3%
20-29	歳	1,466	1,548	1,614	1,628	1,743	1,468	1,675	1,438	1,434	1,462	1,472	1,579	1,544	18,527	18,818	98.5%
30-39	歳	2,409	2,438	2,571	2,607	2,601	2,498	2,601	2,448	2,427	2,424	2,279	2,439	2,479	29,742	30,817	96.5%
40-49	歳	3,546	3,571	3,562	3,581	3,664	3,469	3,988	3,748	3,670	3,512	3,413	3,901	3,635	43,625	44,051	99.0%
50-59	歳	4,114	4,200	4,361	4,461	4,457	4,161	4,796	4,422	4,411	4,172	4,052	4,470	4,340	52,077	48,713	106.9%
60-64	歳	2,670	2,722	2,792	2,746	2,772	2,498	2,858	2,742	2,651	2,714	2,593	2,764	2,710	32,522	33,153	98.1%
65-74	歳	9,830	10,211	10,232	10,186	10,421	9,497	10,698	10,215	9,782	9,729	9,344	10,090	10,020	120,235	118,957	101.1%
75歳以上		10,980	11,414	11,469	11,416	11,775	10,745	12,169	11,844	11,371	11,242	10,894	12,030	11,446	137,349	129,029	106.4%
合	計	37,426	38,666	39,262	39,391	40,611	36,838	41,523	39,337	38,329	37,816	36,470	40,127	38,816	465,796	456,517	102.0%

### 4-9 年齢別延患者数(入院)

(単位:人)

年齢	月	月												月平均	当年度計	前年度計	前年比
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
0	歳	979	973	1,091	1,225	1,150	1,089	1,160	1,043	1,109	1,074	879	928	1,058	12,700	11,830	107.4%
1-6	歳	214	208	240	306	234	189	158	262	261	255	191	243	230	2,761	2,707	102.0%
0-9	歳	1,230	1,263	1,373	1,596	1,462	1,375	1,368	1,325	1,415	1,374	1,081	1,213	1,340	16,075	14,989	107.2%
10-19	歳	254	247	230	209	404	305	261	160	202	187	258	224	245	2,941	2,706	108.7%
20-29	歳	517	571	721	620	651	593	590	643	446	405	394	565	560	6,716	7,019	95.7%
30-39	歳	927	984	1,013	1,065	1,152	1,033	1,012	1,264	1,055	918	841	899	1,014	12,163	12,764	95.3%
40-49	歳	1,129	1,209	1,320	1,266	1,298	1,086	1,121	1,125	1,166	966	1,010	1,103	1,150	13,799	14,435	95.6%
50-59	歳	1,690	1,393	1,521	1,317	1,401	1,551	1,516	1,491	1,540	1,317	1,346	1,425	1,459	17,508	17,934	97.6%
60-64	歳	1,160	1,056	1,448	1,466	1,154	1,032	1,038	1,137	1,144	881	976	1,109	1,133	13,601	13,082	104.0%
65-74	歳	4,386	4,484	4,149	4,419	4,470	4,486	4,441	4,467	4,550	4,415	4,245	4,689	4,433	53,201	51,718	102.9%
75歳以上		6,041	6,222	6,042	6,326	6,042	5,673	6,233	5,837	5,938	6,930	6,010	6,555	6,154	73,849	72,540	101.8%
合	計	17,334	17,429	17,817	18,284	18,034	17,134	17,580	17,449	17,456	17,393	16,161	17,782	17,488	209,853	207,187	101.3%

## 4-10 地区別延患者数(外来)

(単位:人)

市町村	月												月平均	当年度計	前年度計	前年比
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
下田市	980	988	984	957	965	991	1,042	1,020	980	902	864	1,045	977	11,718	12,275	95.5%
東伊豆町	649	669	689	668	665	645	731	667	683	683	639	769	680	8,157	7,828	104.2%
河津町	436	455	511	459	502	476	514	551	484	481	423	506	483	5,798	5,611	103.3%
南伊豆町	406	418	423	395	372	395	427	405	438	326	387	427	402	4,819	4,611	104.5%
松崎町	416	427	442	448	423	397	478	408	410	387	323	381	412	4,940	4,619	106.9%
西伊豆町	710	696	736	736	765	681	842	753	744	652	663	691	722	8,669	8,845	98.0%
熱海市	882	967	978	942	956	887	983	942	966	839	858	946	929	11,146	11,419	97.6%
伊東市	3,293	3,389	3,554	3,529	3,545	3,245	3,773	3,541	3,451	3,458	3,245	3,638	3,472	41,661	40,114	103.9%
沼津市	3,916	4,053	4,183	4,165	4,517	3,947	4,456	4,115	3,989	3,919	3,846	4,264	4,114	49,370	48,269	102.3%
三島市	4,061	4,121	4,220	4,347	4,320	3,914	4,441	4,193	4,013	4,136	4,014	4,445	4,185	50,225	47,836	105.0%
御殿場市	970	969	1,022	992	1,067	1,001	1,115	1,048	980	990	932	1,068	1,013	12,154	11,307	107.5%
裾野市	792	814	828	856	915	817	869	844	856	857	806	919	848	10,173	9,353	108.8%
伊豆市	4,370	4,464	4,393	4,498	4,793	4,236	4,804	4,508	4,333	4,408	4,191	4,473	4,456	53,471	52,642	101.6%
伊豆の国市	8,773	9,302	9,298	9,412	9,491	8,639	9,745	9,232	9,118	8,888	8,698	9,340	9,161	109,936	109,887	100.0%
函南町	3,147	3,231	3,331	3,340	3,491	3,210	3,565	3,417	3,338	3,289	3,129	3,355	3,320	39,843	38,510	103.5%
清水町	789	807	756	766	755	734	742	786	769	746	713	815	765	9,178	8,469	108.4%
長泉町	657	676	667	650	727	635	799	716	672	685	684	731	692	8,299	8,481	97.9%
小山市	174	173	186	178	153	160	165	194	204	175	157	177	175	2,096	2,137	98.1%
富士宮市	232	235	236	251	241	260	264	269	288	264	232	263	253	3,035	2,364	128.4%
富士市	532	539	562	503	529	469	557	501	497	497	496	574	521	6,256	6,277	99.7%
県内その他	190	218	216	235	228	195	219	211	199	185	208	214	210	2,518	2,666	94.4%
県外	1,051	1,055	1,047	1,064	1,191	904	992	1,016	917	1,049	962	1,086	1,028	12,334	12,997	94.9%
合計	37,426	38,666	39,262	39,391	40,611	36,838	41,523	39,337	38,329	37,816	36,470	40,127	38,816	465,796	456,517	102.0%

## 4-11 地区別延患者数(入院)

(単位:人)

市町村	月													月平均	当年度計	前年度計	前年比
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
下田市		535	548	604	398	487	564	470	676	576	579	602	608	554	6,647	7,178	92.6%
東伊豆町		230	247	322	487	401	327	471	486	432	239	260	419	360	4,321	3,693	117.0%
河津町		339	402	171	180	137	209	324	346	431	354	208	217	277	3,318	2,781	119.3%
南伊豆町		213	185	212	281	250	181	223	252	264	275	154	170	222	2,660	3,038	87.6%
松崎町		212	140	191	209	354	219	190	135	151	244	316	290	221	2,651	2,833	93.6%
西伊豆町		308	361	371	361	386	409	329	371	304	415	341	490	371	4,446	4,479	99.3%
熱海市		365	397	539	419	570	410	418	377	532	528	353	419	444	5,327	4,919	108.3%
伊東市		1,685	1,613	1,881	1,925	1,826	1,924	1,767	1,826	1,697	1,554	1,434	1,769	1,742	20,901	20,762	100.7%
沼津市		2,239	2,132	1,980	1,912	1,887	1,697	1,661	1,887	2,164	2,181	2,043	2,147	1,994	23,930	22,580	106.0%
三島市		1,703	1,838	1,910	1,575	1,346	1,657	1,668	1,482	1,435	1,431	1,514	1,654	1,601	19,213	20,627	93.1%
御殿場市		700	724	648	711	785	740	773	774	729	723	586	810	725	8,703	8,952	97.2%
裾野市		408	387	472	676	544	499	350	354	451	374	469	395	448	5,379	5,242	102.6%
伊豆市		1,445	1,531	1,491	1,628	1,755	1,652	1,731	1,754	1,982	1,944	1,696	1,728	1,695	20,337	20,353	99.9%
伊豆の国市		3,128	2,968	3,205	3,340	3,064	2,843	3,117	2,902	2,734	2,844	2,843	2,904	2,991	35,892	35,996	99.7%
函南町		1,651	1,502	1,636	1,695	1,637	1,644	1,651	1,535	1,616	1,465	1,250	1,338	1,552	18,620	17,131	108.7%
清水町		388	488	357	355	367	349	528	481	372	563	452	476	431	5,176	3,806	136.0%
長泉町		373	448	409	381	416	444	308	435	308	398	418	494	403	4,832	5,006	96.5%
小山町		119	112	107	172	165	113	200	257	190	235	116	122	159	1,908	2,033	93.9%
富士宮市		287	202	212	250	337	194	350	230	188	286	261	271	256	3,068	2,186	140.3%
富士市		321	485	246	335	325	367	377	357	248	235	306	412	335	4,014	4,063	98.8%
県内その他		101	62	31	217	130	163	72	64	80	46	60	74	92	1,100	1,615	68.1%
県外		584	657	822	777	865	529	602	468	572	480	479	575	618	7,410	7,914	93.6%
合計		17,334	17,429	17,817	18,284	18,034	17,134	17,580	17,449	17,456	17,393	16,161	17,782	17,488	209,853	207,187	101.3%